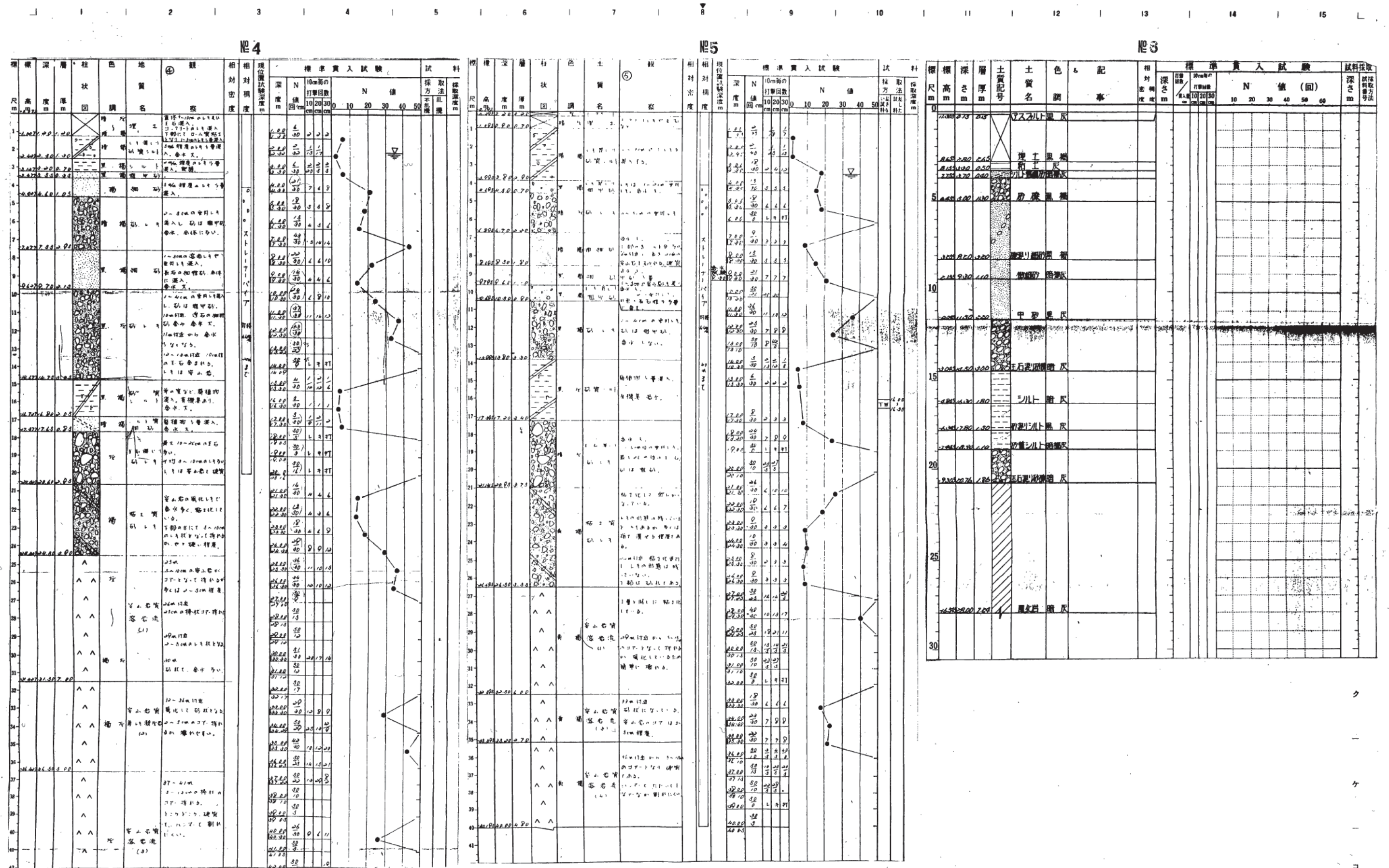


2001	ボーリング柱状図 1	2018	地下外壁配筋図	2035	小梁断面表・床版配筋表 壁配筋表	2052	Y ₈ , Y ₉ , Y ₁₀ 軸組図
2002	" 2	2019	B2階伏図	2036	床版配筋表	2053	X ₉ ・X ₇ 通り鉄骨架構詳細図 (1)
2003	" 3	2020	B1階 "	2037	配筋詳細図 (1)	2054	" (2)
2004	" 4	2021	1階 "	2038	" (2)	2055	X ₁₄ ・Y ₇ " (1)
2005	鉄筋規準図 (1)	2022	2階 "	2039	5.基準階座屈止の配置図	2056	" (2)
2006	" (2)	2023	3階 "	2040	X ₈ 通り軸組図	2057	Y ₇ "
2007	" (3)	2024	4階 "	2041	X ₉ "	2058	PH Y ₆ , X ₁₆ "
2008	場所打杭(ハット工法)の特記仕様書	2025	5階・6階 "	2042	X ₁₀ , X ₁₈ "	2059	Y ₃ " (1)
2009	鉄骨規準図 (1)	2026	8階伏図・基準階伏図 14階 "	2043	X ₁₁ "	2060	Y ₃ " (2)
2010	" (2)	2027	M15階伏図・R階伏図 15階 "	2044	X ₁₂ , X ₁₃ , X ₁₄ "	2061	R階梁伏鉄骨架構詳細図
2011	" (3)	2028	柱断面表 (1), 柱符号図	2045	X ₁₅ "	2062	鉄板耐震床詳細図
2012	B2階基礎伏図	2029	ブレース断面表, 柱断面表 (2)	2046	X ₁₆ "	2063	エクspansion鉄骨詳細図
2013	B1 "	2030	大梁断面表 (1)	2047	X ₁₇ "	2064	階段詳細図 (1)
2014	基礎詳細図 (1)	2031	" (2)	2048	Y ₁ , Y ₂ , Y ₄ "	2065	" (2)
2015	" (2)	2032	" (3)	2049	Y ₃ , Y ₅ "	2066	" (3)
2016	地中梁断面表	2033	鉄骨小梁断面表 大 " (4)	2050	Y ₆ "	2067	風除室廻り (1)
2017	底盤配筋表 地中小梁断面表	2034	PC小梁断面表, PC小梁配筋図	2051	Y ₇ "	2068	" (2)

2069	渡り廊下 (1)	2086	柱断面表 (2)	2103	X7, Y6' 通り鉄骨架構詳細図	2112	PCパネル立面割付図
2070	" (2)	2087	1階柱脚断面表	2104	2階, 5階平面詳細図		
2071	地下トレンチ	2088	大梁断面表 (1)	2105	玄関庇鉄骨詳細図		
2072	雑詳細図 (1)	2089	" (2)	2106	階段詳細図		
2073	" (2)	2090	" (3)	2107	雑詳細図		
2074	鉄骨規準図 (4)	2091	PS梁断面表 (1)	2100	PCパネル詳細図 (1)		
2075	" (5)	2092	" (2)	2101	" (2)		
2076	溶接規準図	2093	小梁断面表, 床版配筋表 壁配筋表	2102	" (3)		
2077	PS工事仕様書	2094	Y3' 通り配筋詳細図	2103	PCパネル標準配筋図		
2078	基礎伏図, 1階伏図	2095	"	2104	PCパネル1階平面割付図		
2079	基礎詳細図	2096	X6 "	2105	" 2階 "		
2080	地中梁断面表	2097	X2, X3, X4 " 特記事項(コンクリート強度区分, 後打ち) スラブ補強配筋図	2106	" 3階 "		
2081	増築部1階断面図	2098	2・3階鉄骨梁伏図	2107	" 4階 "		
2082	2・3階伏図	2099	X1, X2, X3, X4, X5 通り軸組図 (1)	2108	" 5~14階 "		
2083	4・5階伏図	2100	Y3', Y5', Y6', Y8', Y9 Y6, Y9 " (2)	2109	" 15・M15階 "		
2084	6・R階 "	2101	X6, X7, X7' " (3)	2110	PCパネル立面割付図		
2085	柱断面表 (1)	2102	Y6', X4 通り鉄骨架構詳細図	2111	"		

No 3

校ノ内	号
区	金銀樓



肥 9

相対深度 m	相対位置 m	土質 名	土質 調	柱状 図	試料 採取 法	標準貫入試験		試料 採取 深度 m			
						N 値	備考				
0	0					10	20	30	40	50	
1	0.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	20	25	30	35	40	
2	1.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	25	30	35	40	45	
3	1.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	30	35	40	45	50	
4	2.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	35	40	45	50	55	
5	2.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	40	45	50	55	60	
6	3.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	45	50	55	60	65	
7	3.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	50	55	60	65	70	
8	4.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	55	60	65	70	75	
9	4.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	60	65	70	75	80	
10	5.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	65	70	75	80	85	
11	5.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	70	75	80	85	90	
12	6.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	75	80	85	90	95	
13	6.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	80	85	90	95	100	
14	7.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	85	90	95	100	105	
15	7.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	90	95	100	105	110	
16	8.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	95	100	105	110	115	
17	8.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	100	105	110	115	120	
18	9.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	105	110	115	120	125	
19	9.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	110	115	120	125	130	
20	10.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	115	120	125	130	135	
21	10.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	120	125	130	135	140	
22	11.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	125	130	135	140	145	
23	11.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	130	135	140	145	150	
24	12.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	135	140	145	150	155	
25	12.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	140	145	150	155	160	
26	13.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	145	150	155	160	165	
27	13.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	150	155	160	165	170	
28	14.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	155	160	165	170	175	
29	14.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	160	165	170	175	180	
30	15.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	165	170	175	180	185	
31	15.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	170	175	180	185	190	
32	16.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	175	180	185	190	195	
33	16.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	180	185	190	195	200	
34	17.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	185	190	195	200	205	
35	17.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	190	195	200	205	210	
36	18.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	195	200	205	210	215	
37	18.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	200	205	210	215	220	
38	19.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	205	210	215	220	225	
39	19.5	砂質土	中	○	標準貫入試験	210	215	220	225	230	
40	20.0	砂質土	中	○	標準貫入試験	215	220	225	230	235	

相対深度
m

相対位置
m

土質
名

土質
調

柱状
図

試料
採取
法

標準貫入試験

N 値

備考

試料
採取
深度
m

10

20

30

40

50

0

10

20

30

40

50

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

砂質土

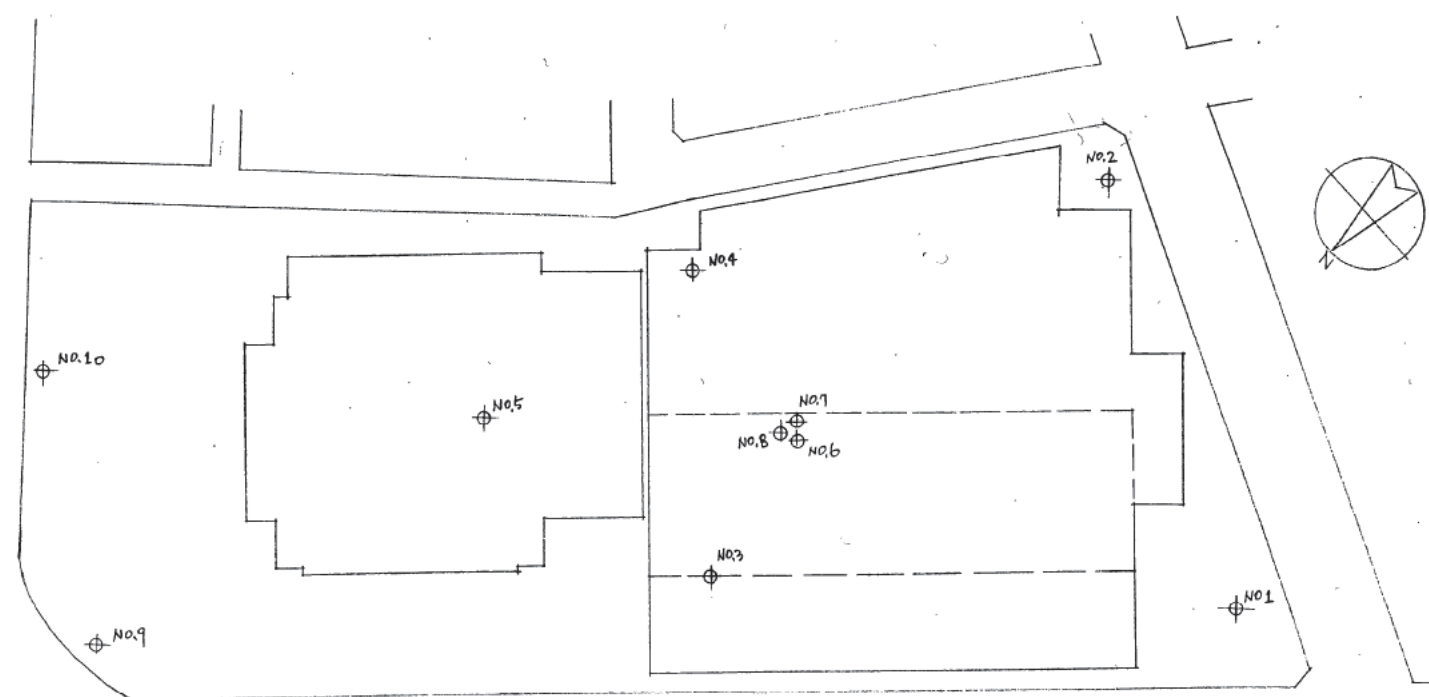
砂質土

砂質土

砂質

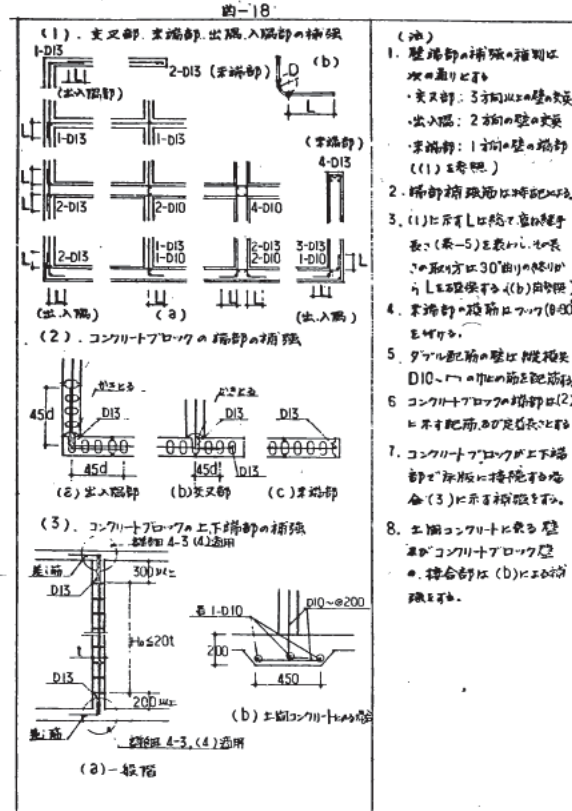
No.10

相対深度 m	相対深度 m	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	土質	
-----------	-----------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	--

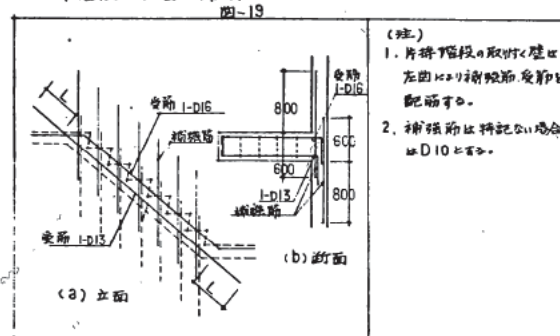


ボーリング配置図 1/500

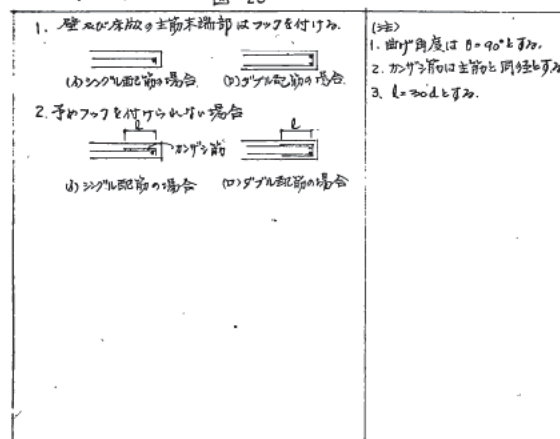
4-4. 壁の補強



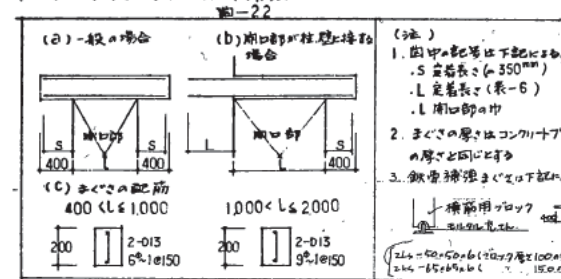
4-5. 片持階段の受壁の補強



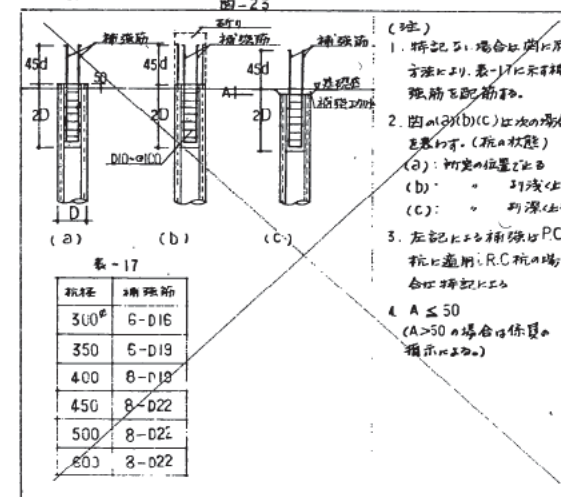
4-6. 床版の補強



5-4. コンクリートブロック壁開口部補強

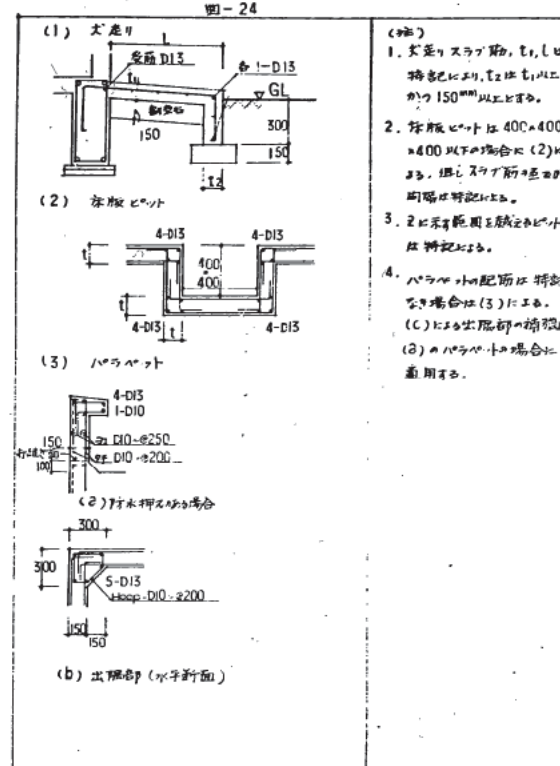


5-5. 既製コンクリート杭壁補強



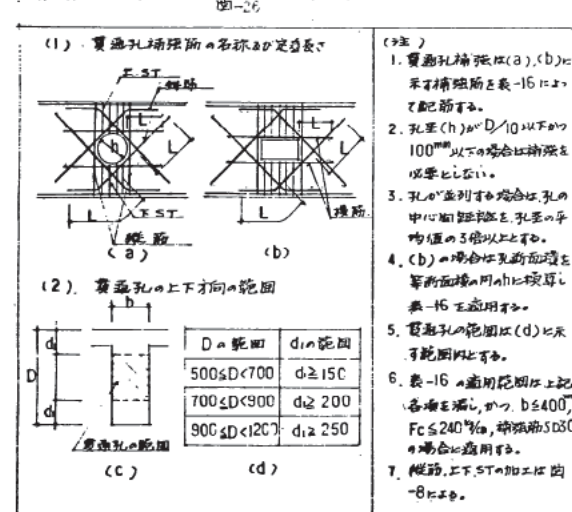
6. 鉄筋配筋詳細

6-1. 鉄筋配筋



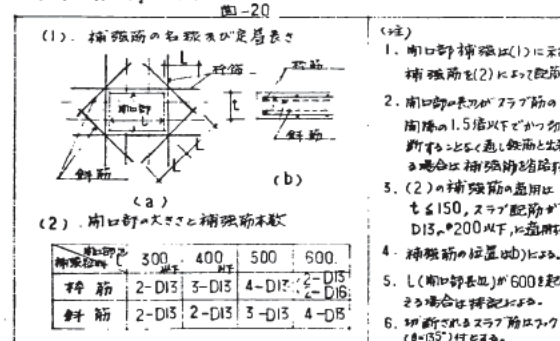
5. 開口部補強

5-1. 開口部補強

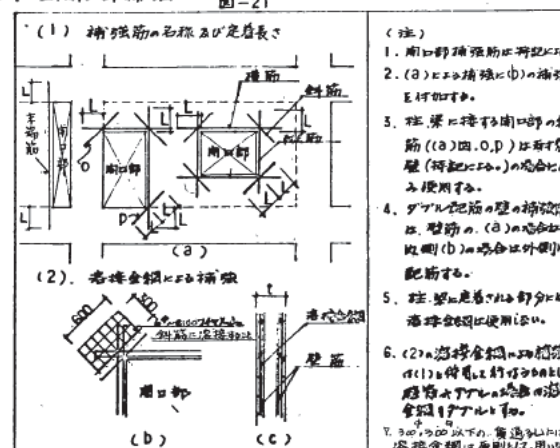


開口部	補強筋 (SD30)
A (h ≤ D/3) B (h ≤ D/4)	斜筋 縦筋 横筋 上下ST
h ≤ 100	h ≤ 150 2(2-D13) 2(2-D13) — —
100 < h ≤ 200	150 < h ≤ 250 4(2-D13) 2(2-D13) 2(2-D13) 3(2-D13)
200 < h ≤ 300	250 < h ≤ 350 4(2-D16) 2(2-D16) 2(2-D13) 4(2-D13)
300 < h ≤ 400	350 < h ≤ 400 4(2-D19) 2(3-D16) 2(2-D16) 6(2-D13)

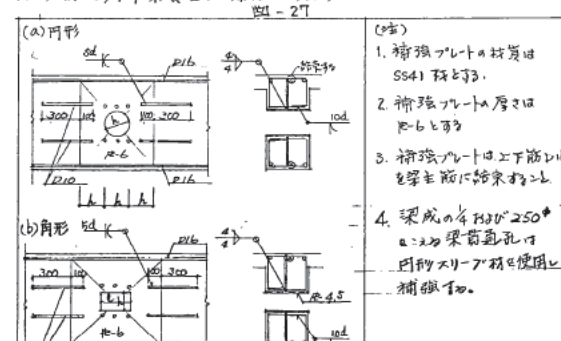
5-2. 床版開口部補強



5-3. 壁開口部補強

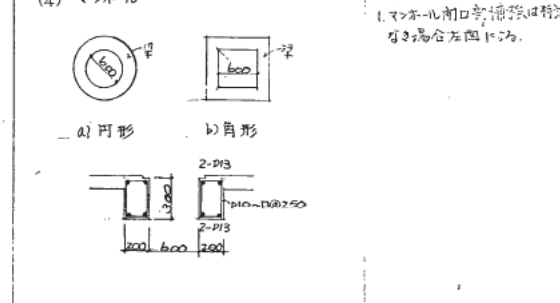


5-1A 鉄筋コンクリート壁貫通孔補強 (鉄板)



開口部	補強筋 (SD30)
A (h ≤ D/3) B (h ≤ D/4)	斜筋 縦筋 横筋 上下ST
h ≤ 100	h ≤ 150 2(2-D13) 2(2-D13) — —
100 < h ≤ 200	150 < h ≤ 250 4(2-D13) 2(2-D13) 2(2-D13) 3(2-D13)
200 < h ≤ 300	250 < h ≤ 350 4(2-D16) 2(2-D16) 2(2-D13) 4(2-D13)
300 < h ≤ 400	350 < h ≤ 400 4(2-D19) 2(3-D16) 2(2-D16) 6(2-D13)

(4) マンホール



場所打杭（ペルト工法）の特記仕様書

1 施工計画書・報告書

- イ) 施工計画書を提出し、確認を受けた後に施工する事。
ロ) 施工報告書を施工完了後に速やかに提出する事。
ハ) 会社経歴書及び現場作業員、担当技術者の経歴書を提出し、係員の承認を受ける事。
その他責任ある技術者を現場に配し施工を行なう事。

2 作業場以外のき固

- イ) 必要により排水用水槽を設置する事。
ロ) 機上運搬その他自動車等の出発前洗車装置を設置する事。
ハ) 搬出土砂の水切等を完全に行なう事。
ニ) 近接道路の清掃・散水・補修・出入車輛の交通整備には専任作業員を配置し常駐させる事。
ホ) 地下埋設物に注意し、施工法・機械重量等により必要なる防護をする事。

3 機器取付の芯出し

- 据付地盤の安定確認
正確な位置・鉛直度・水平度等作業中の安全及び引抜き反力等確保のためサンドマフト・覆工板・角材その他地盤を補強する事。

建物位置

- 埋設物（シールド等越流管）敷地境界既存建物、工作物等を配座して、補強し位置を定め、係員の確認を得る事。

杭の芯出しくい

- 正確に、又移動しない様に十分防護し、引照点を設け随時チェックする事。
杭頭高及び杭長
水準点を設け、杭の深度・施工高を正確に計測する事。

ケーシング位置

- 先端ケーシングチューブの据付は外周位置の3ヶ所以上をチェックして位置の確認をする事。

4 掘削機器

- 掘削能力
掘削買入能力、引抜き掘削能力、その他を考慮して地質に合った十分能力のある機器を使用する事。 MT 200 型又は同等以上。
予備部品
機器には予備ハンマグラフ等予備部品を備え機器の故障等に対して速やかに対処できる様に準備する事。

ケーシングチューブ

- 二重管を使用し、ジョイントは十分均等に締付けてロックピン孔の摩耗等をチェックする事。

5 掘削

- 掘削速度
先端ケーシングチューブ掘削買入完了まで水準器（掘削機を水平に設置する）及び下げ張り（前後左右から）等により傾斜を常にチェックし、修正しながら正確に垂直を保つ事。

ボーリングの防止

- 地下水位等の監視を十分に行ない、地下水位の低下のない様適時防止策を実施する事。

掘削

- 掘削速度
土質に合った掘削速度で施工する事。

支持層

- 確認は地質柱状図・掘削深度・掘削速度を参考にし、掘削土砂で確認する事。（係員の確認を受ける事）

支持層買入

- 1mを標準とする。

底ざらい

- 孔底沈没物の除去のため底ざらい用バケット、エアリフトその他の方法にて確実に実施する事。

スライム処理

- スライム処理は係員の確認を受ける事。

施工順序

- 施工時の杭上に重機が乗らない順序で施工する事。
但し、止むを得ない場合又は空掘部分がある場合には鉄板等にて養生をし

杭に悪影響のないようにして施工する事。

6 鉄筋（構造図に特記なき限り下記による。）

材質

- 鉄筋は主筋・補強筋各々 JIS-G3112のSD35・SD30の規格品とする。
鉄筋量
主筋 鉄筋比、上部10mは0.8%以上 その他は0.4%以上とする。
帯筋 D13 上部10mはφ150mm その他はφ200mmとする。
（上部10mは帯筋の2倍長さとする。）

加工

- イ) 組立 組立用治具を使用する事。
ロ) かぶり ケーシングチューブより帯筋までの間隔は100mm以上とし、150mmを標準とする。鉄筋比上りを考慮して大きくする時は鉄筋量のチェックを行う事。
ハ) 帯筋 主筋と直内に組立（特にカブ上部を正確に）てる事。
ニ) 継手 加工時においては原則として主筋の継手は行わない事。継手時に於ける継手は重ね長さ45d（10m以上で上下2ヶ所以上結束し、前後左右4ヶ所以上（1ヶ所に付10d（以上）を片側溶接する事）以上とする。
やむをなく継ぐ場合はガス圧接とする。
但し、帯筋重ね長さは30d（主筋と電弧点溶接し、重ね部分は末端部片側5dを電弧点溶接する）とする。
主筋の内1本は長さ計測用とし、合マークを付け長さのチェックをする事。

長さ

- ハ) 長さ チェック
ヘ) 底部鉄筋 建設時長さ調整した後に先端部に太物D19以上で○状に孔底突きささり防止をする事。

ト) スペーサ

- 側面はD13鉄筋を帯筋をまいて円周上に6ヶ所以上主筋に電弧点溶接し、間隔は3.0mを標準とする。
D19φ2000（主筋の内周）を標準とする。

チ) 組立鉄筋

- リ) 余長 主筋のフーチング内アンカー用余長は45dとする。
ヌ) 補強 プレート FB-6×65φ3000（主筋の内側）○状を標準とする。

組立

- イ) 杭中心に正しく垂直に施工する。
ロ) 鉄筋天端高確認用の鉄筋等をケーシング天端まで伸しておいてチェックする事。

ハ) 主筋が正確に垂直になる様、仮置バーを設置する事。

ニ) 産別防止に十分注意し、落下させたり頂部を叩かない事。

変形

- イ) 変形しない方法で吊込む事。
ロ) 現場外で加工組立の場合は変え等の変形防止の補強する事。

コンクリート打込み（構造図に特記なき限り下記による）

材質

種別	設計基準強度 (kg/cm ²)	強度上の水セメント比 (°/wt)	混和剤	所要スランプ (mm)	粗骨材の最大粒径 (mm)	単位体積重量 (kg/m ³)	備 考
A種	210以上	60以下	AE剤	20	25 (20)	320	穴の中に水が無い場合
B種	270以上	50以下				390	穴の中に水がある場合

トレミー管

- イ) トレミー管を使用し、管内の排水はブランジャー式及び底ぶた式とし、管内水面とブランジャーの間に空気を入れない事。
（但し、底ぶた式を使用する場合は管内に水がない場合に限る。）

ロ) トレミー管は常に清掃し、変形に注意しておく事。

ハ) トレミー管はコンクリート内に20m買入している事を標準とする。

ニ) 連続打込みとする（事故に備えて代替生コン工場を準備する事）。

ホ) 打込時間は繰り返し後60分以内とする。

ヘ) 打込数量と立上り高を常にチェックする事（計測は孔内周辺3ヶ所以上とする。又ケーシングチューブ引抜きによる降下を計算して施工

する）。

- ト) ケーシングチューブは常時コンクリート内に1.5m以上買入させる事。
打込最初
ブランジャー式
トレミー管先端を孔底より10～20cm上げ、孔底までコンクリートを一気に打込む事（くいのコンクリート中に空隙を生じさせないように行う事）。

余 盛

- 100cmを標準とする。
（但し、管内に水がない場合は係員の承認を得た後に50cm以上とすることが出来る。）
最終コンクリート立上り高の検測は円形台形おもりで測定し最盛値による（粗骨材に当たった所で計測する）。

埋戻し

- コンクリート打設後は現地盤まで埋戻す事。
山砂又は良質掘削土を用いる。 尚埋戻しまでに時間がある場合は危険防止の養生をする事。

鉄筋比上り防止上の注意

- イ) 先端ケーシングチューブの清掃をよく行う事。
ロ) 鉄筋カゴとケーシングチューブの間隔を確実にとる事。
ハ) 鉄筋カゴの製作精度と変形防止のため必要に応じ止め筋を使用する事。

ニ) 鉄筋カゴの接続施工に於いて上下を通り良くする事。

ホ) ケーシングチューブの正確な施工（鉛直性）を実施する事。

ヘ) 底部鉄筋は堅固に取付ける事。

ト) 鉄筋の座組の恐れのある場合は、補強筋を入れる事。

チ) 孔底のスライム処理及び仕上りを平にする事。

杭芯ずれ及び余盛コンクリートの加不足

- 10cmを超える杭芯ずれが上家工事施工時に証明された場合、又杭実長不足及び100cmを超える余盛が上家工事施工時に証明された場合は、本杭打工事請負業者は係員の指示する上家構造物に対する補強工事を上家工事請負業者に委託施工する事（この場合の費用は本杭打工事請負業者の負担とする）。

材料試験

- コンクリート
イ) 試験回数 杭1本につき2回とする。
（一週及び四週圧縮強度試験）
ロ) 供試体採取 工事監督者立会いの上成形
後に側面に検印が残る様な措置をする。

ハ) 供試体養生 現場内水中養生とする。
（地下水槽とし、直射を避ける）

施工精度

- くい芯のずれは10cm以内とする。

その他

- イ) 有害ガス酸欠空気に注意する事。
溶接工作で作業員が孔内立入前にはチェックする事。

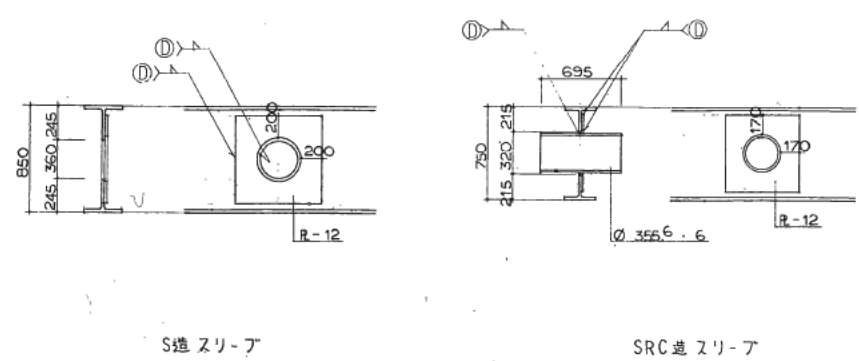
ロ) くいの実長については、1m程度の増減については請負者の変更は行な

ハ) 工事記録写真

- A) 施工一般 敷地全図、機器、施工方法等
B) 杭工事 杭一本毎に 各工程毎に
C) 隣接工作物の現状 施工による影響の出ると考えられる範囲の工作物（建物、道路、その他）の現状を施工による影響がわかる様、施工前に撮影の事。

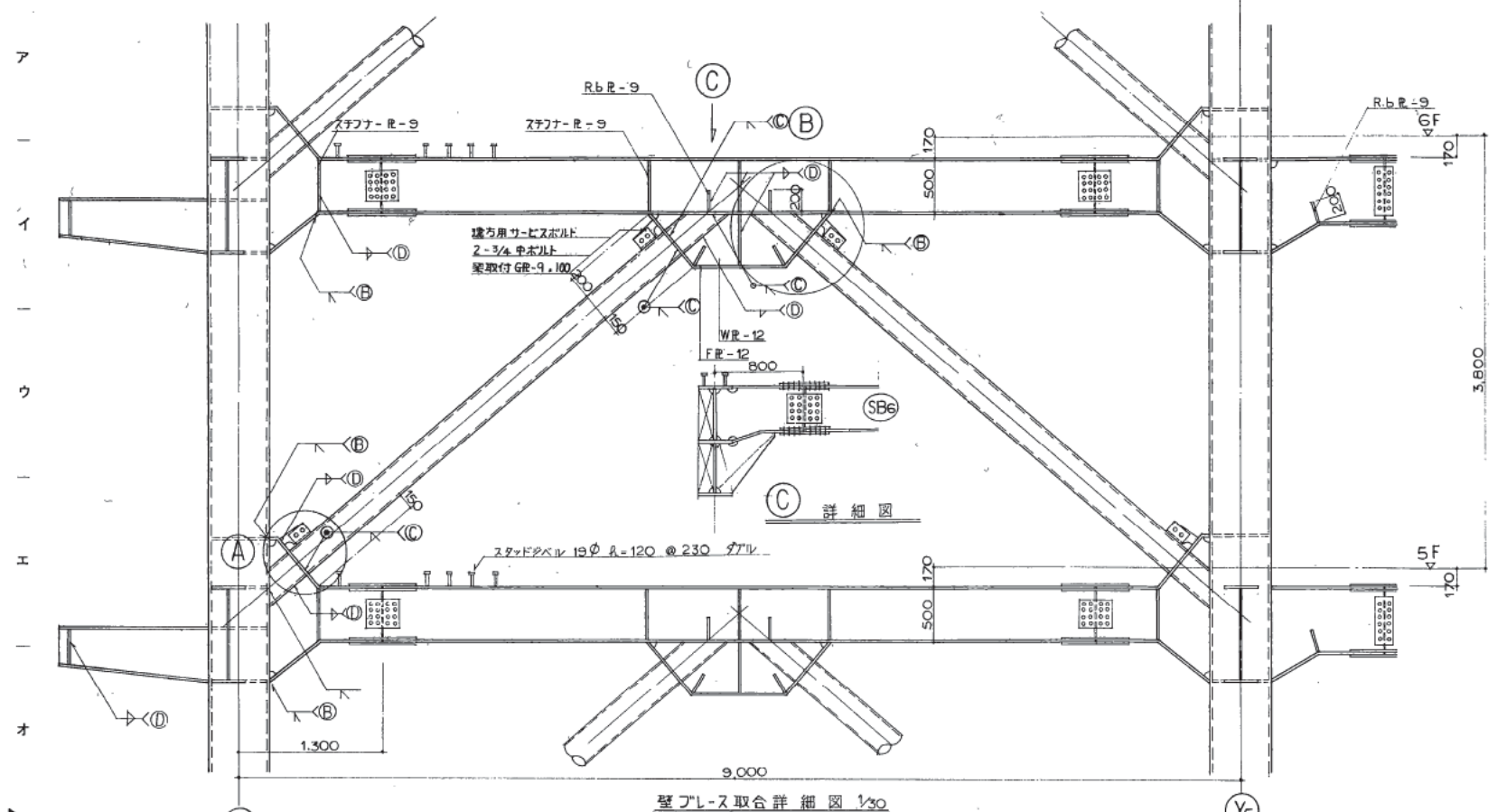
ニ) 機 器

- 発電機使用の場合は消費装置付とする。
ホ) 杭工事は工事請負業者と基礎施工業者の連帯責任施工とする。

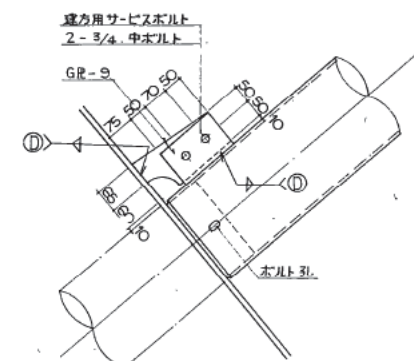


部 材	材 質
・柱・柱アライメント・ベースプレート・ ・スラブアライメント・スラブアライプレート・ ・アスの取付・スラブアライメント・ ・アス取付部プレート(フランジ・ ウェア・リブ) ・既設壁面設置金座	SH50A
・スラブアライメント・スラブアライメント・ ・プレート・スラブ金座・スラブアライ・ ・山金・スラブアライプレート・ ・プレート(パイプ)	SS41
・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・	STK-50
・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・	HTB-F10T
・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・ ・柱・スラブ・処理場・パイプ・	中本丸

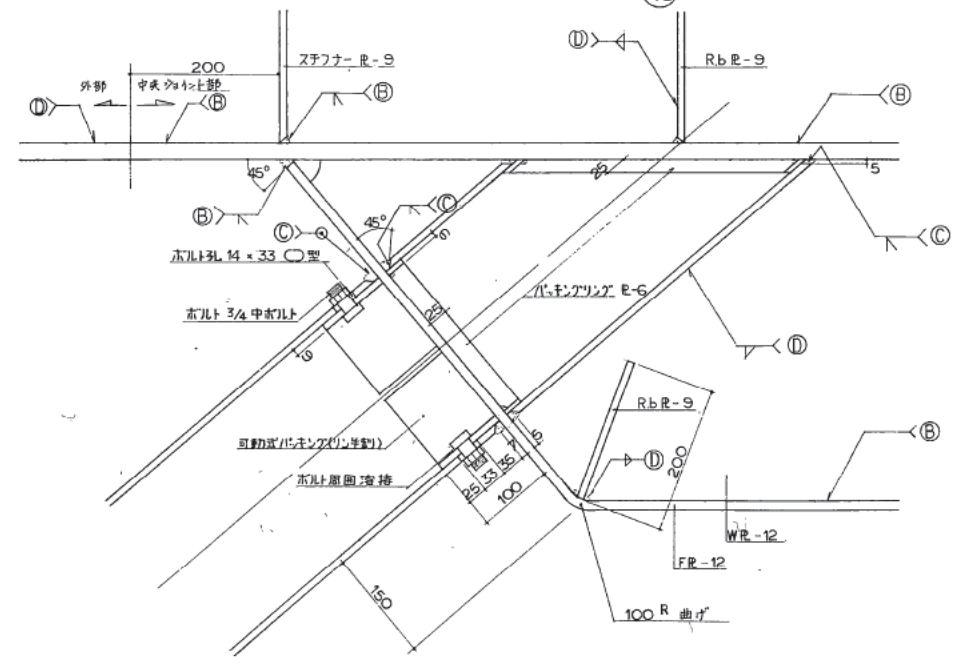
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



壁アレス取合詳細図 1/30



① 詳細図 1/10



② 詳細図 1/5

大梁ジョイントリスト					
フランジ			ウェブ		
フランジ (SM50A)	HTB (F10T)	S.R. (SM50A)	ウェブ (SS41)	HTB (F10T)	S.R. (SS41)
250・19	10 - M20	R-12・250・645 2R-12・100・645	500・12	4 - M20	2R-9・165・290
250・22	12 - M20	R-12・250・765 2R-16・100・765	600・12	6 - M20	2R-9・165・430
250・25	14 - M20	R-16・250・885 2R-16・100・885	850・12	9 - M20	2R-9・165・640
300・19	12 - M20	R-12・300・615 2R-12・125・615	1000・16	12 - M20	2R-12・165・850
300・22	14 - M20	R-12・300・705 2R-16・125・705	1350・12	14 - M20	2R-9・165・990
300・25	16 - M20	R-16・300・795 2R-16・125・795	1350・16	16 - M20	2R-12・165・1130
300・28	18 - M20	R-16・300・885 2R-19・125・885	300・10	3 - M20	2R-6・165・220
			600・16	7 - M20	2R-9・165・430
			750・9	6 - M20	2R-6・165・600
			750・12	8 - M20	2R-9・165・600

小梁ジョイントリスト					
小梁 サイズ	HTB (F10T)	S.R. (SS41)			
H-150・75・5・7	2 - M16	R-6・145・80	H-250 125 6 9	2 - M20	2R-6・165・140
H-198・99・4.5・7	2 - M16	2R-6・165・140	H-300 150 6.5 9	3 - M20	2R-6・165・200
H-248・124・5・8	2 - M20	2R-6・165・140	H-350 175 7 11	4 - M20	2R-6・165・260
H-298・149・5.5・8	3 - M20	2R-6・165・200	H-400 200 8 13	4 - M20	2R-9・165・260
H-346・174・6・9	4 - M20	2R-6・165・260	H-500 200 10 16	6 - M20	2R-9・165・380
H-396・199・7・11	4 - M20	2R-6・165・260	H-600 200 11 17	7 - M20	2R-9・165・440
H-450・200・9・14	5 - M20	2R-9・165・320	H-588 300 12 20	7 - M20	2R-9・165・440
H-148・100・6・9	2 - M16	R-6 145 80			
H-194・150・6・9	2 - M16	2R-6 165 140			
H-200・200・8・12	2 - M16	2R-6 165 140			

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

図面
作成
確認
作成
8/10/20

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
鉄骨標準図 (2)
縮尺

図面番号
2010
枚/内
区分
建築標準図

溶接開先規準 (溶接記号及び記載方法はJIS Z 3021による)

種 別	溶 接 開 先 詳 細 図																
A TYPE V型突合せ溶接	同厚の場合 ($t \leq 16$) 注) a は 4mm 以下をれも越える時は $a \cdot t \cdot a$ の配分を加工する。 板厚が異なる場合 ($t \leq 16$) $t \geq 16$ の場合	$t \geq 16$ の場合															
B TYPE	$t \leq 16$ の場合	$t \geq 16$ の場合															
C TYPE		<table border="1"> <thead> <tr> <th>t</th><th>a</th><th>f</th><th>W</th><th>O</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 ~ 16</td><td>2</td><td>6</td><td>6</td><td>45°</td></tr> <tr> <td>19 ~ 28</td><td>2</td><td>7</td><td>9</td><td>35°</td></tr> </tbody> </table>	t	a	f	W	O	9 ~ 16	2	6	6	45°	19 ~ 28	2	7	9	35°
t	a	f	W	O													
9 ~ 16	2	6	6	45°													
19 ~ 28	2	7	9	35°													
D TYPE	手溶接 自動溶接	<table border="1"> <thead> <tr> <th>t1</th><th>S1</th><th>S2</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td><td>6</td><td>4</td></tr> <tr> <td>9</td><td>7</td><td>6</td></tr> <tr> <td>12</td><td>10</td><td>9</td></tr> </tbody> </table> 離間溶接 ($t1 \geq 12$ の場合)	t1	S1	S2	6	6	4	9	7	6	12	10	9			
t1	S1	S2															
6	6	4															
9	7	6															
12	10	9															
BOX 柱 JOINT E TYPE	V型突合せ溶接 BOX 柱 $t1 > t2$ (適用範囲 $t2 \leq 32$)	I型突合せ溶接 $t1 > t2$ (適用範囲 $t2 \geq 25$)															
F TYPE	V型突合せ溶接 ボックス柱、パイプの両方 C TYPEに準ずる スチールボルト	I型突合せ溶接 スチールボルト <table border="1"> <thead> <tr> <th>t</th><th>S</th><th>W</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16 ~ 36</td><td>20</td><td>t+20</td></tr> </tbody> </table> 溶接ノズル式エレクトロslag溶接	t	S	W	16 ~ 36	20	t+20									
t	S	W															
16 ~ 36	20	t+20															

種 別	溶接開先詳細図		
BOX 柱・梁 G TYPE	V型ガ溶接		
	ボックス柱 G TYPE $t > 12$ FB-25x9	ボックス柱 G TYPE FB-25x9	ボックス梁 G TYPE FB-50x9

スカラップ詳細図	工場用	現場用
	上フランジ 下フランジ	上フランジ 下フランジ

1 鉄骨 - 鋼材特記事項	2 現場における溶接開先の特記事項
- 溶接棒は材質に応じてJISに規定するものを使用する。 - エンドアップは同厚、同開先とし、手動の場合 30、30、自動の場合 10、10とする。除去は5mm残しとしガス切断とする。 - 高カボルト接合の厚肉部はラウンドアブラスト、ショットクリート等により溶き錆、ペンキ、黒皮等を除去する。 - 本事項に特に規定していない事項は「溶接工作規準」及びJASSで定める標準仕様のうち「鉄骨工事」による。 - 予熱温度は下表に従う。 - 最終溶接は溶接加工業者の工事経験量、設備能力、溶接工事量を考慮し、作業の進捗を妨げないよう、必要に応じて行う。 - 最終溶接は事前に「溶接工作規準」を関係者に提出し承認を受けるものとする。 - 溶接部の状態 - 材料引張試験 - 手動、半自動における溶接技術試験 (プル・バグ等) - 高カボルト引張試験	- 溶接棒はノンガスワイヤを使用する。 - 溶接部は可能な限り連続して行う。 - スカラップ加工はフランジ部にノッチを付けない。溶接に注意し、フランジの形状には変更を加えない。 - 溶接の仕上は自動ガス切断機により行う。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。 - エンドアップの溶接は原則として溶接部前とする。但し、予め工務に同意し、取付けの場合は必要に応じて溶接部後とする。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。 - 溶接部の溶接は溶接部後とする。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。 - 溶接部の溶接は溶接部後とする。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。 - 溶接部の溶接は溶接部後とする。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。 - 溶接部の溶接は溶接部後とする。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。 - 溶接部の溶接は溶接部後とする。溶接部は溶接に支障のない溶接等による溶接処理を行う。

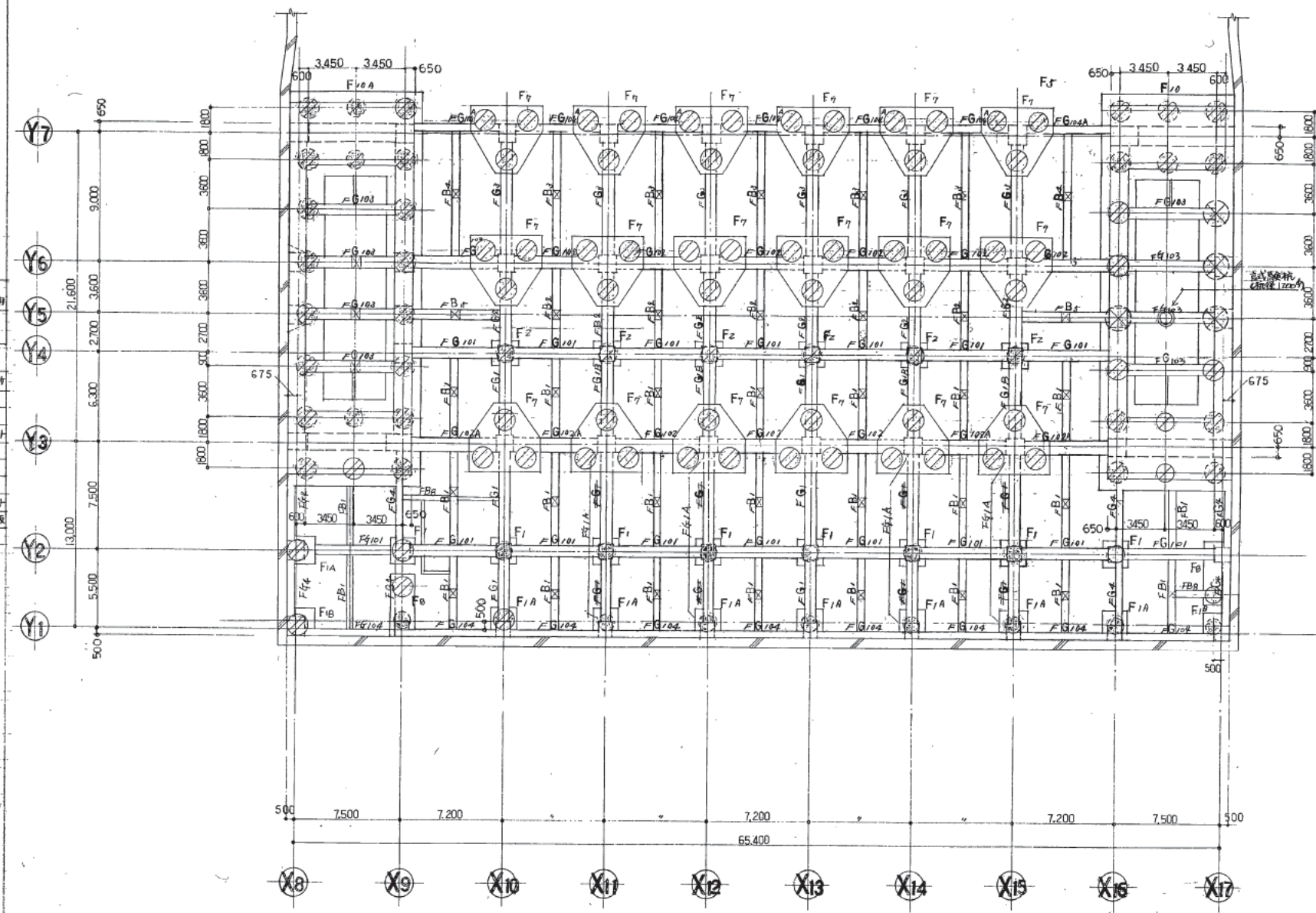
表. 予熱温度

板厚	SS41	SM50A
20mm以下	ナシ	ナシ
20 ~ 35	20°C	20°C
36 ~ 60	50°C以下	75°C以下

- 使用材料
- 1) 地盤 一般コンクリート ⑤ 50mm
砂利地盤 ⑥ 60mm
 - 2) 杭基礎 場所打ちコンクリート杭 (バット工法)
先端深さ 右図の杭部外径計41-29.8
スライム処理、エアリフト式等
コンクリート 普通コンクリート
FC=270 kg/cm²
スランツ 20mm
主筋 SD35
ブーパ筋 SD30
 - 3) 地下連杭壁 先端深さ 41-19.0
スライム処理、エアリフト式等
コンクリート 普通コンクリート
FC=270 kg/cm²
スランツ 20mm
D25~D19 SD35
D16以下 SD30
 - 4) 高力ボルト F10T (H=0.45)
設計引張力 (t)

	M16	M20
F10T	11.7	18.2
 - 5) テッキプレート UKA型同等品以上 厚さ1.2mm
 - 6) 塗材材料
軟鋼用 JIS S3211 (S304)
イリジウム系塩化水素使用
高張力鋼用 JIS S3212 (S450A)
塩化水素使用
 - 7) コンクリート

位置	コンクリート種別	設計引張力 (kg/cm ²)	圧縮比 (kg/cm ²)	所用スランツ (mm)	使用場所
地下部分 (基礎)	普通コンクリート	240	2.3	15	基礎
	軽量コンクリート	240	2.3	18	その他
地上部分	普通コンクリート	135	1.9	20	押入コンクリート
	普通コンクリート	210	2.3	18	床版
	普通コンクリート	400	2.3	42.1	RC外壁
	軽量コンクリート (一種)	210	1.9	18	床版
		135	1.9	20	押入コンクリート
		300	1.9	52.2	RC外壁版
 - 8) コンクリートブロック B種コンクリートブロック
厚さ150mm, 100mm
 - 9) 鉄筋 SD30 → D10~D16
(D9以上は SD35 → D19~D25
使用しない) 柱、梁の継手は、ガス圧接とする。
ワイヤメッシュ 6φ-675
 - 10) 鉄骨 (規格品) SS41
(金型寸法) SM50A → 〇形鉄骨
(例) BM-850・300・12 (H25)
使用しない
STK41
STK50 → 〇形鉄骨
(例) 264.7 × 92.7
 - 11) スタッドシール 19φ (φ=120mm)
大等、小等、SRC柱 (BOX型のみ)
(13φ (φ=100mm)
鉄板耐震床
 - 12) アンカーボルト SS41 → 20φ
 - 13) 阻和材料 防水剤 (バテン)
地下トレンチ部分は防水剤を
用いる。
防せい剤
塩分含有量 0.1%を超え、0.2%以下の鉄
骨材を使用する場合は防せい剤を使用
する。
 - 14) 杭の杭頭試験を行う。
位置は右図参照。試験杭は指杭とする。
杭先端部 41-29.8とすることが基礎底盤までは薄板や
板がないようにする。
最大荷重は設計荷重 (250t) の半額とする。マサイル
は基礎 5.0kg/cm²以上とする。
試験に先立ち試験計画書を提出し、関係者の承認
を得る。

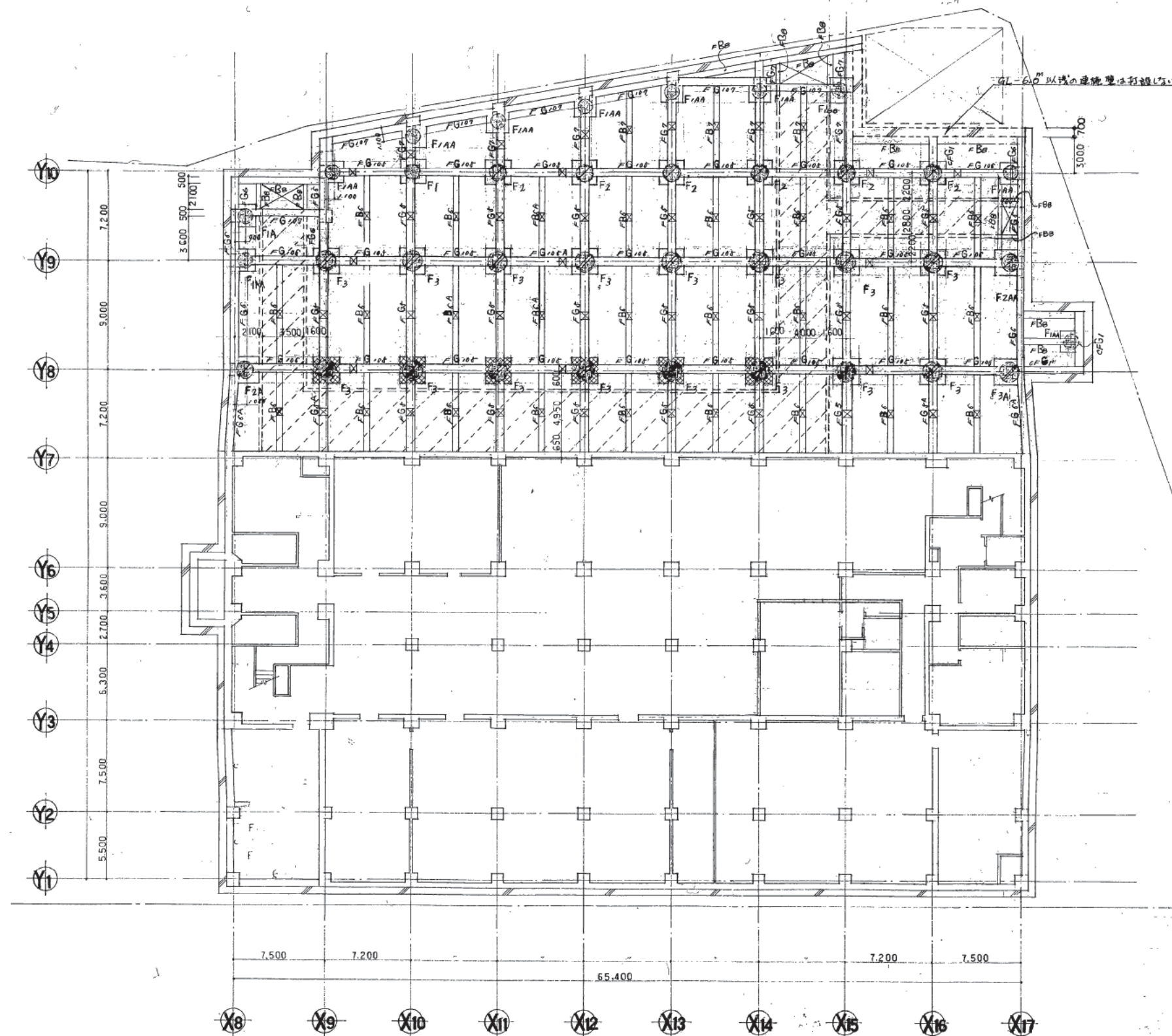


B2 階 基礎図 1:200

- 特記事項
1. コンクリート下地 基礎梁、底盤 特記外 FL-2.750 (設計GL-12.550)
基礎 特記外 FL-2.960
 2. 防水層 〇〇とする。
 3. コア (Y1-Y7) 間 X8-X9 間 X10-X11 間 X12-X13 間 X14-X15 間 X16-X17 間 〇〇基礎、基礎梁は 〇〇 図に依る。
 4. EP NK1, NK2 を示す。
 5. EP 〇〇 人通孔 (600φ) を示す。
 6. 埋地管、通気管位置 〇〇図に依る。
 7. 杭 〇〇 EP 〇〇
① 〇〇 1.800φ
② 〇〇 1.300φ
③ 〇〇 1.800φ
④ 〇〇 1.800φ

高層棟杭本数と奥長

杭先端	GL-31 ^m	GL-29 ^m	GL-24 ^m
基礎位置	B2F		
床面杭頭部	-2.85 ^m	-2.85 ^m	-2.85 ^m
GL 杭頭部	-12.65 ^m	-12.65 ^m	-12.65 ^m
杭奥長	18.35 ^m	16.35 ^m	11.35 ^m
杭径	1200φ	4	6
	1300φ	3	5
	1500φ	18	49
	1800φ	0	0
	2000φ	—	0
本数	25	60	36



高層棟杭本数と奥長

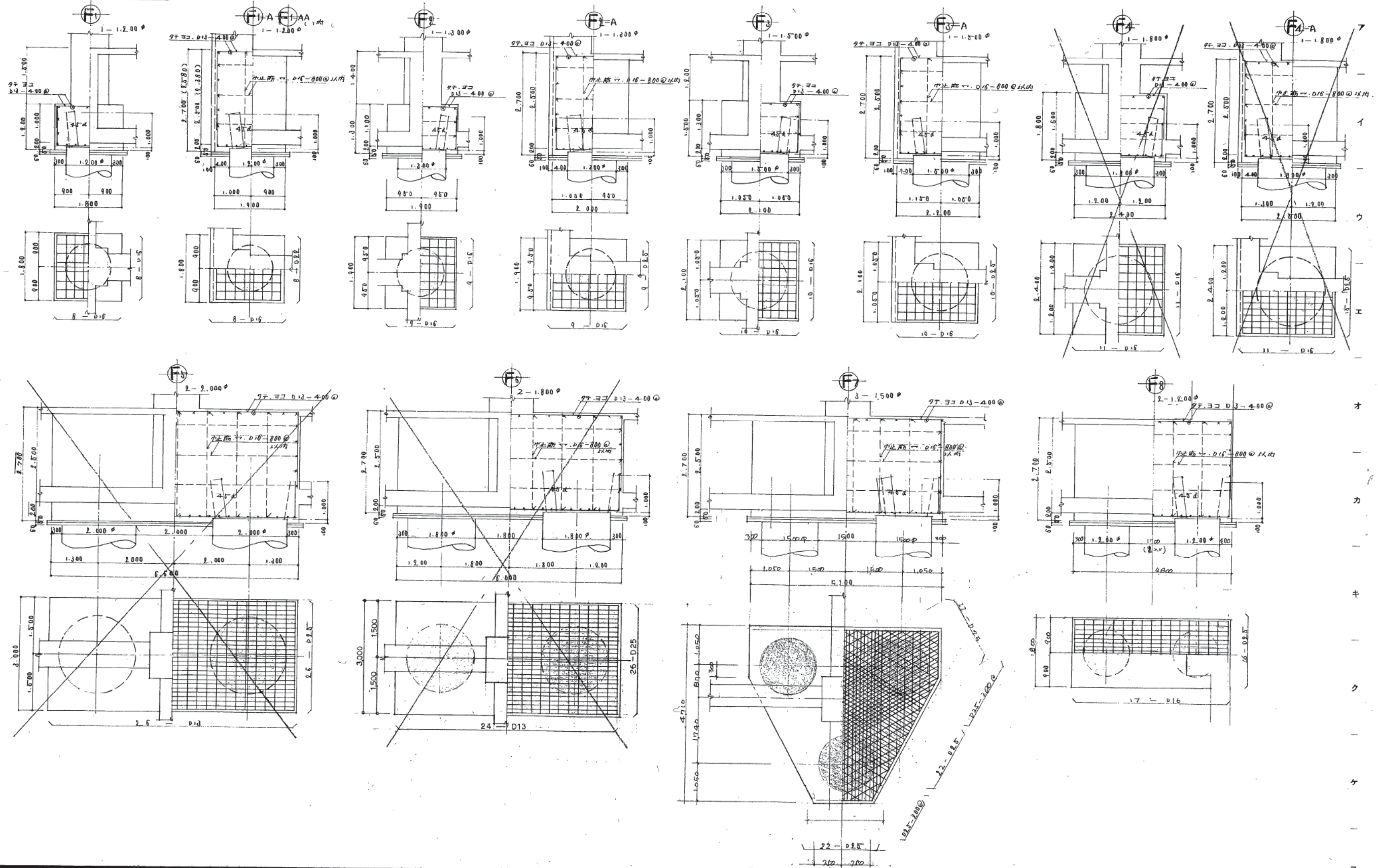
杭先端	GL-31 M	GL-29 M	GL-22 M
基礎位置	B1F		
床面杭頭部	-2.63 M	-2.63 M (-5.43)	-2.63 M
GL面杭頭部	-6.43 M	-6.43 M (-9.33)	-6.43 M
杭奥長	24.57 M	22.57 M (19.77)	15.57 M
杭径	1200 φ	0	10
	1300 φ	—	5
	1500 φ	—	12 (6)
	1800 φ	—	5
	2000 φ	—	—
本数	0	27	10

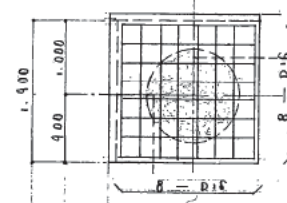
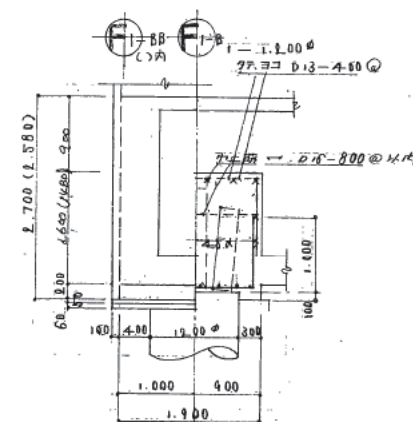
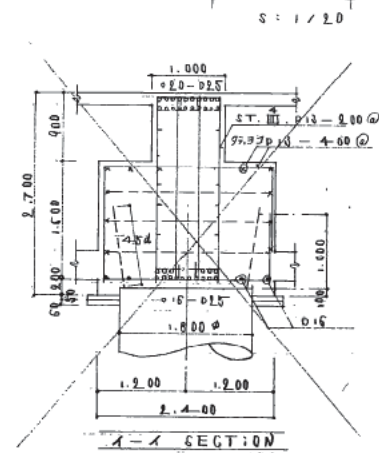
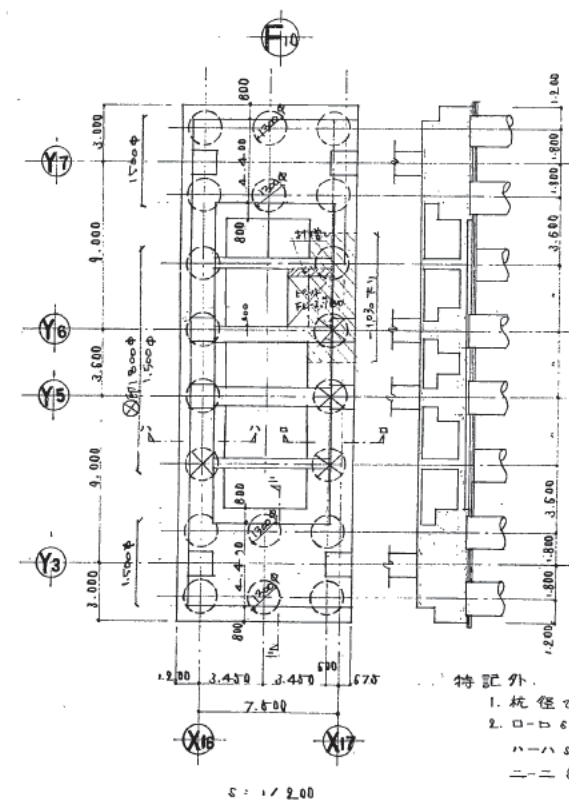
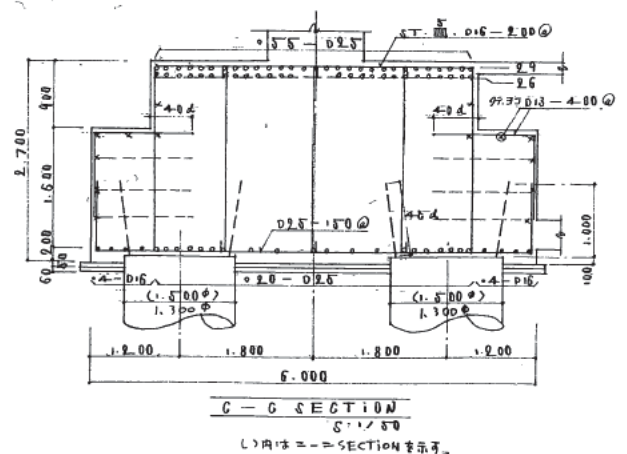
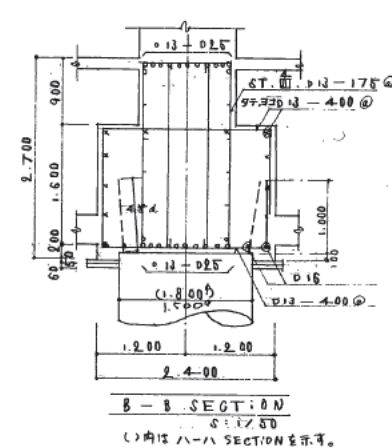
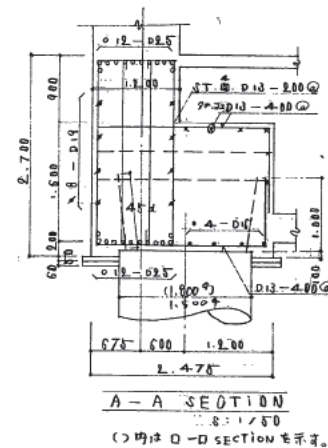
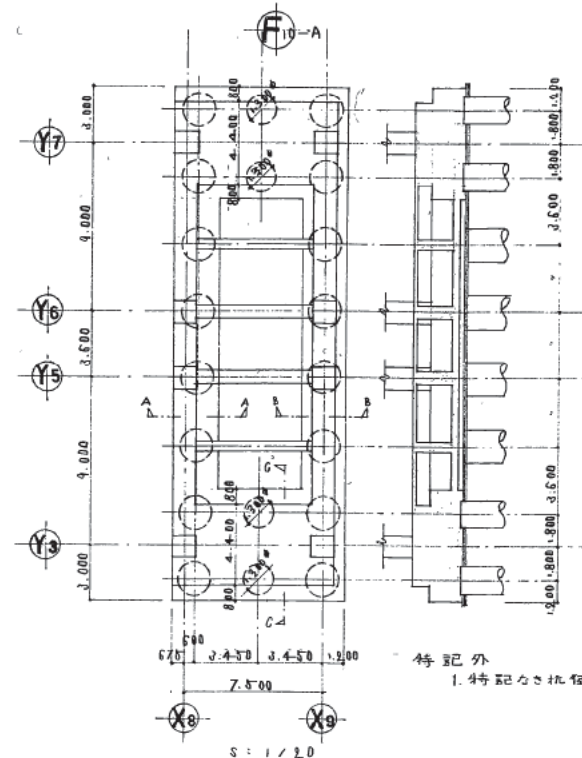
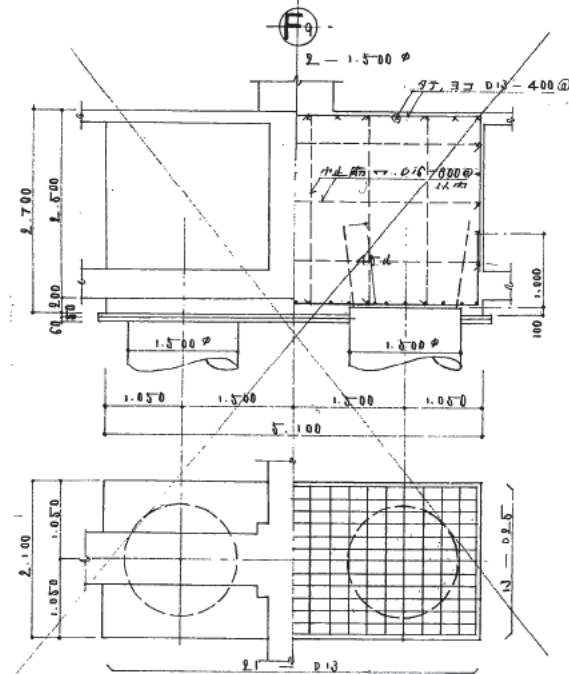
注) ①内数値は、1500φ12本の内9本の
系2φ(1)由表示値である。

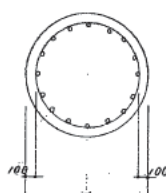
特記事項

1. コンクリート下端
特記外 基礎梁及び屋盤 --- FL-2.500 (GL-
基礎 --- FL-2.700
基礎梁及び屋盤 --- FL-2.500
基礎 --- FL-2.850
基礎 --- FL-55.30
2. 耐木壁符号 --- F-82-
3. EP --- WK1, WK2 を示す。
4. EP --- 人通り (600φ) を示す。
5. 通気管、通気管位置 --- 設備図に依る。
6. 杭径 ① EP --- 1,200φ
② " --- 1,300φ
③ " --- 1,500φ
④ " --- 1,800φ
7. 切 トレ子を示す。

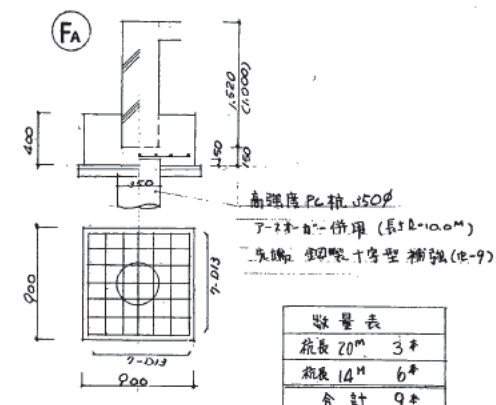
B1階 基礎伏図 1:200





ベント杭仕様									
コンクリート: F ₀ = 270 kg/cm ² 所毎スラブ厚: 20cm									
鉄筋: S D35 (主筋), S D30 (7-7筋)									
ベント断面	基礎符合	杭径	設計耐力	杭実長 (M)	主筋		H ₀₀ P		本数 (本)
		φ	t/本		柱頭	杭下部	柱頭	杭下部	
	F ₁ F ₁ -A F ₁ A F ₁ -B F ₁ -BB	1,200	279 301 327 350	11.35 12.35 15.57 20.57	14-D25	9-D25	D15-1500	D15-3000	32
	F ₂ F ₂ -A F ₁ D	1,300	324 375 379 406	11.35 15.57 16.35 22.57	15-D25	11-D25	D15-1800	D15-3000	19
	F ₃ F ₃ -A F ₁ D	1,500	401 468 288 521	11.35 15.57 16.35 22.57	21-D25	14-D25	D15-1500	D15-3000	107
	F ₄ F ₄ -A F ₆ F ₁ -A	1,800	529 651 651	11.35 14.35 18.35	31-D25	21-D25	D15-1500	D15-3000	4
	F ₈	2,000	622	11.35	38-D25	25-D25	D15-1500	D15-3000	0

註： 杭頭——杭貫長の1/3又は杭径の2倍長さのいずれか大きい方
余長——1,000以上



地中梁リスト S:1/50

特記外

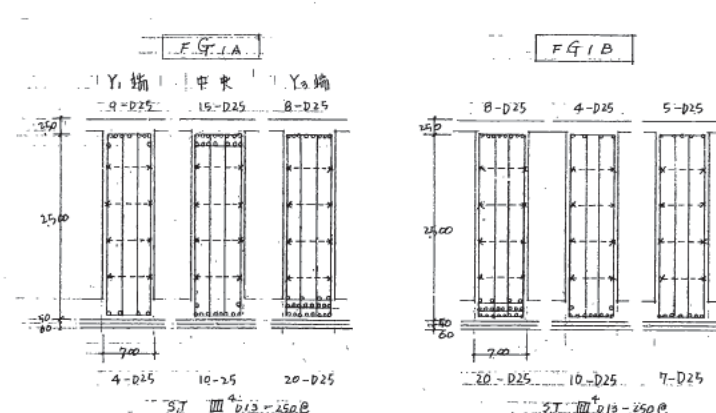
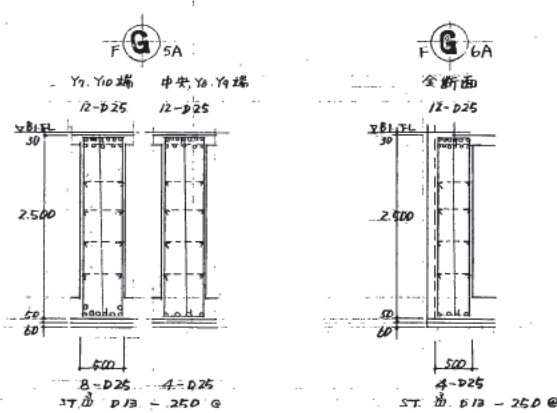
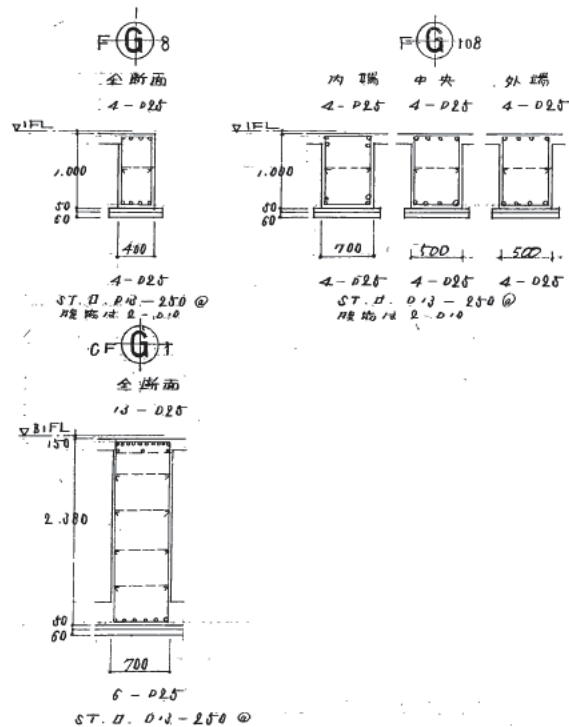
1. 腹筋は 8-D13 (D>2,400)

5-D13 (D≤2,400) とする

2. 止端は .D10-1,000 @ 以内とする

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG101	FG102	FG102A	FG103
位置	外端 中央 内端	Y4端 中央 Y6端	Y6端 中央 Y7端	全断面	外端 中央 内端	両端 中央	全断面	X8,X14通9端 中央 X9,X15通9端
断面								
スタッド	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @

符号	FG104	FG104A	FG5	FG6	FG7	FG105	FG105-A	FG106	FG107
位置	全断面	全断面	Y7,Y10端 中央 Y8,Y9端	全断面	全断面	端部 中央	端部 中央	外端 中央 内端	全断面
断面									
スタッド	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @	面 .D13-250 @



地中梁リスト S-1/50

特記外

1. ST. D. D13-250 @

2. 筋筋は 8-D13 (D=2.500)

6-D13 (D=2.500)

3. 中土筋 D10-1.000 @ 1/4

符合	FB1	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6 FB6-A	FB7	FB8
位置	外端 中央 内端	Y2端 中央 Y1端	Y6端 中央 Y7端	端部 中央	X9端 中央 X10端	端部 中央	内端 中央 外端	全断面
断面	4-D22 4-D22 4-D22 2.500 400 4-D22 3-D22 6-D22	4-D22 4-D22 6-D22 2.500 400 6-D22 5-D22 10-D22	6-D22 7-D22 4-D22 2.500 400 10-D22 5-D22 3-D22	6-D22 12-D22 2.500 400 4-D22 6-D22	4-D22 7-D22 3-D22 2.500 400 5-D22 4-D22 3-D22	5-D22 3-D22 2.500 (2.230) 400 3-D22 4-D22	5-D22 3-D22 3-D22 2.500 400 3-D22 4-D22 3-D22	4-D22 2.500 400 4-D22
スケーリング								

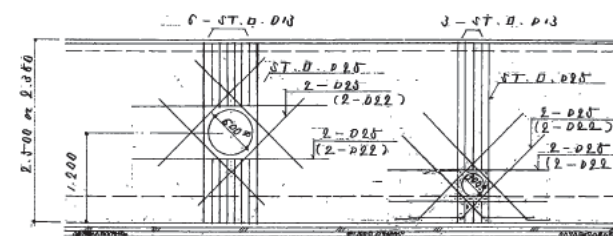
底盤配筋リスト

特記外 中土筋 D10-1.000 @ 1/4

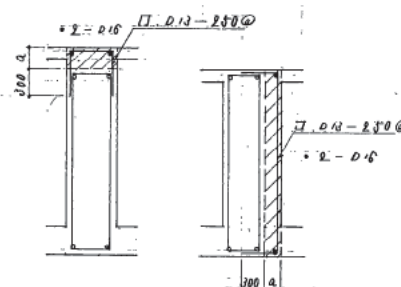
符合	版厚	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配力筋)
FS1	400	端部 中央 側部 D13-200 @ 200	端部 中央 側部 D13-200 @ 200
FS2	300	D13-200 @ 200	D13-250 @ 200

地中梁貫通孔補強要領

特記外: 1. () 内は地中梁を示す。



地中梁フカン要領



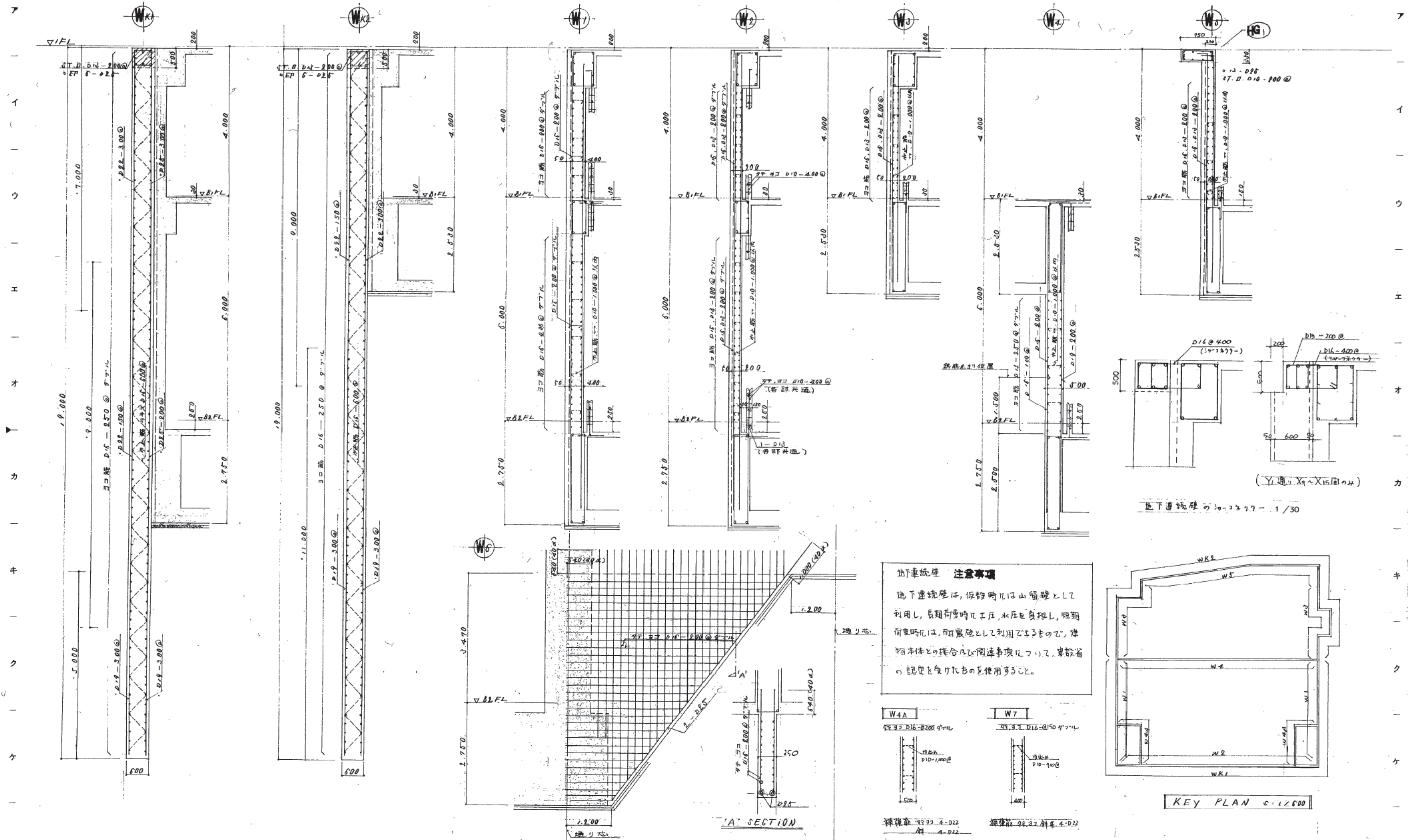
特記外

1. ハナ子部はフカン部を示す。

2. 補強筋は a ≥ 100 の場合。

a < 100 は無筋とする。

地下外壁配筋図 3:1/30



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工
8/10/20

訂正
45.1.20 W4A W7 リスト追加
45.2.2.2.2

特記

熊本市庁舎

図面内容
地下外壁配筋図
縮尺
1/30

図面番号
20.18
版/内
1
区分
建築構造部

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

ア

イ

ウ

エ

オ

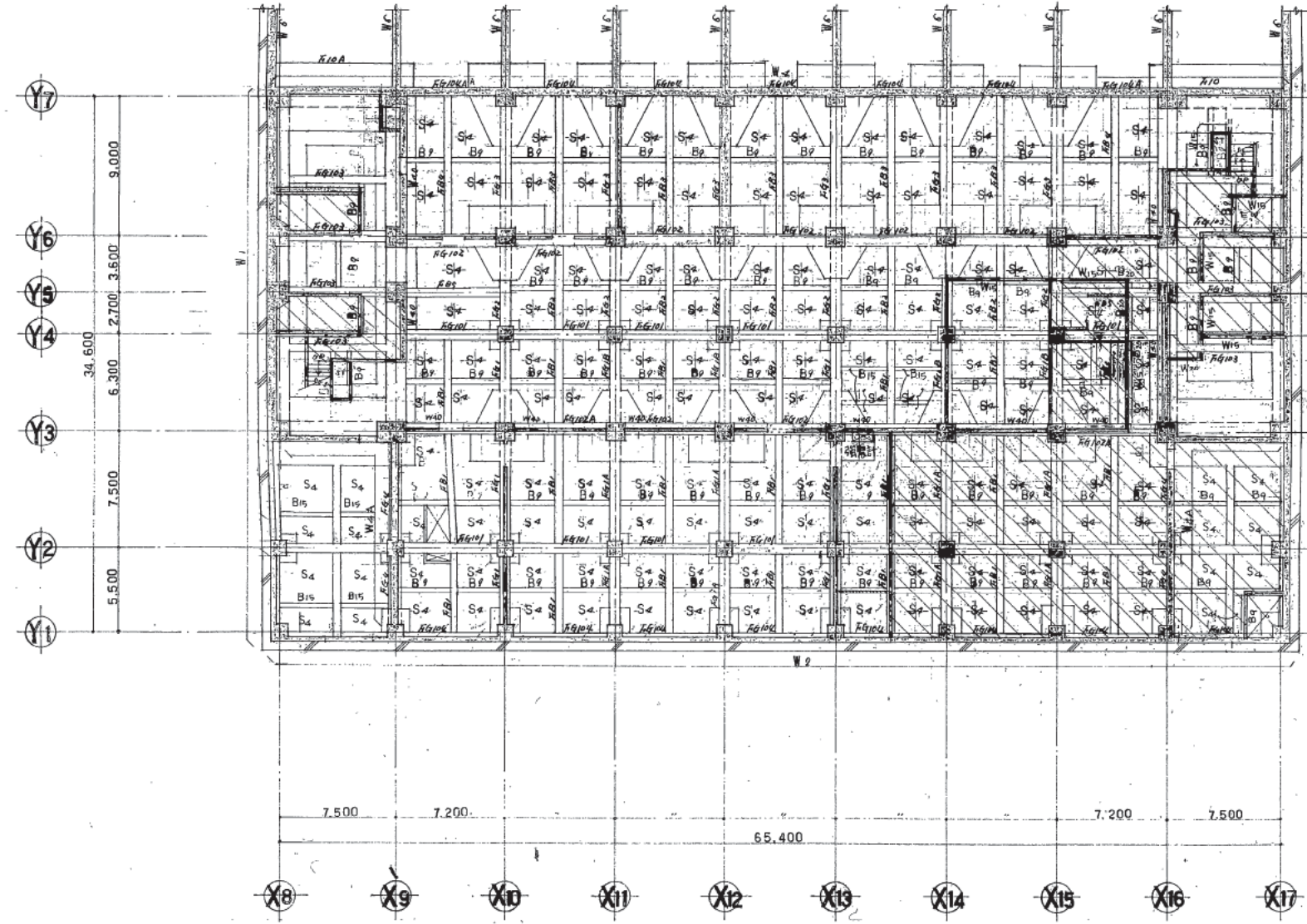
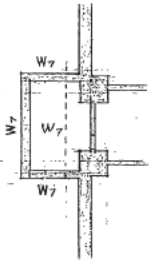
カ

キ

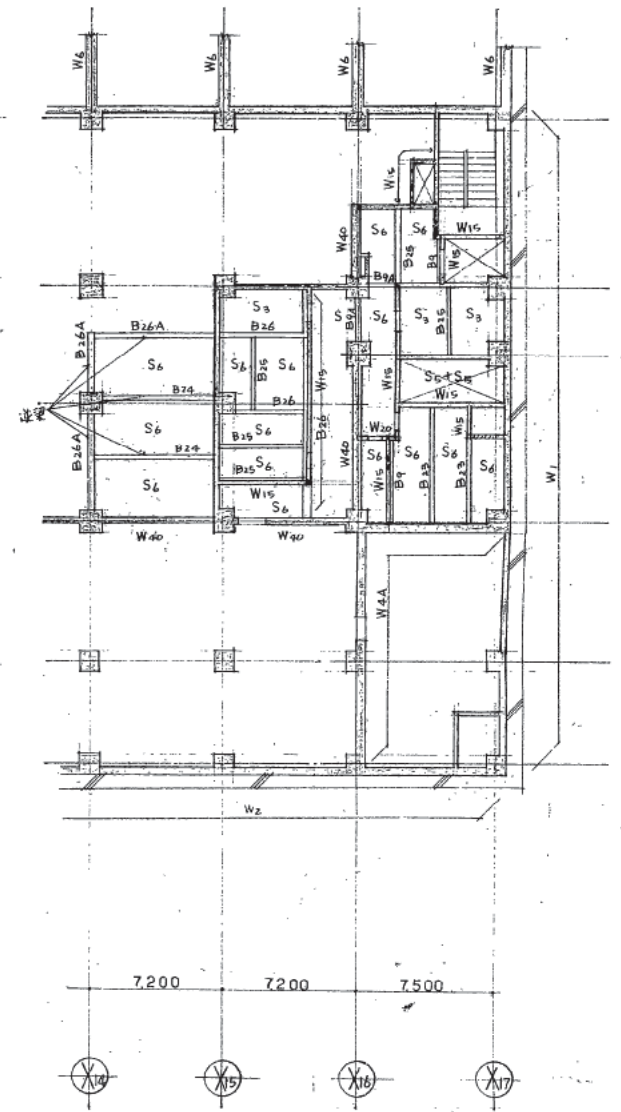
ク

ケ

コ



B2階平面図 1:200



MB2階平面図 1:200

- 特記事項
1. コンクリート床 特記外 --- FL-21.0
 2. 壁 --- EP --- AC壁 特記外 W.20
 3. 窓 --- EP --- WK. 1000 W.20
 4. スラット付 特記外 --- S4

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

施工図
2019.04.20

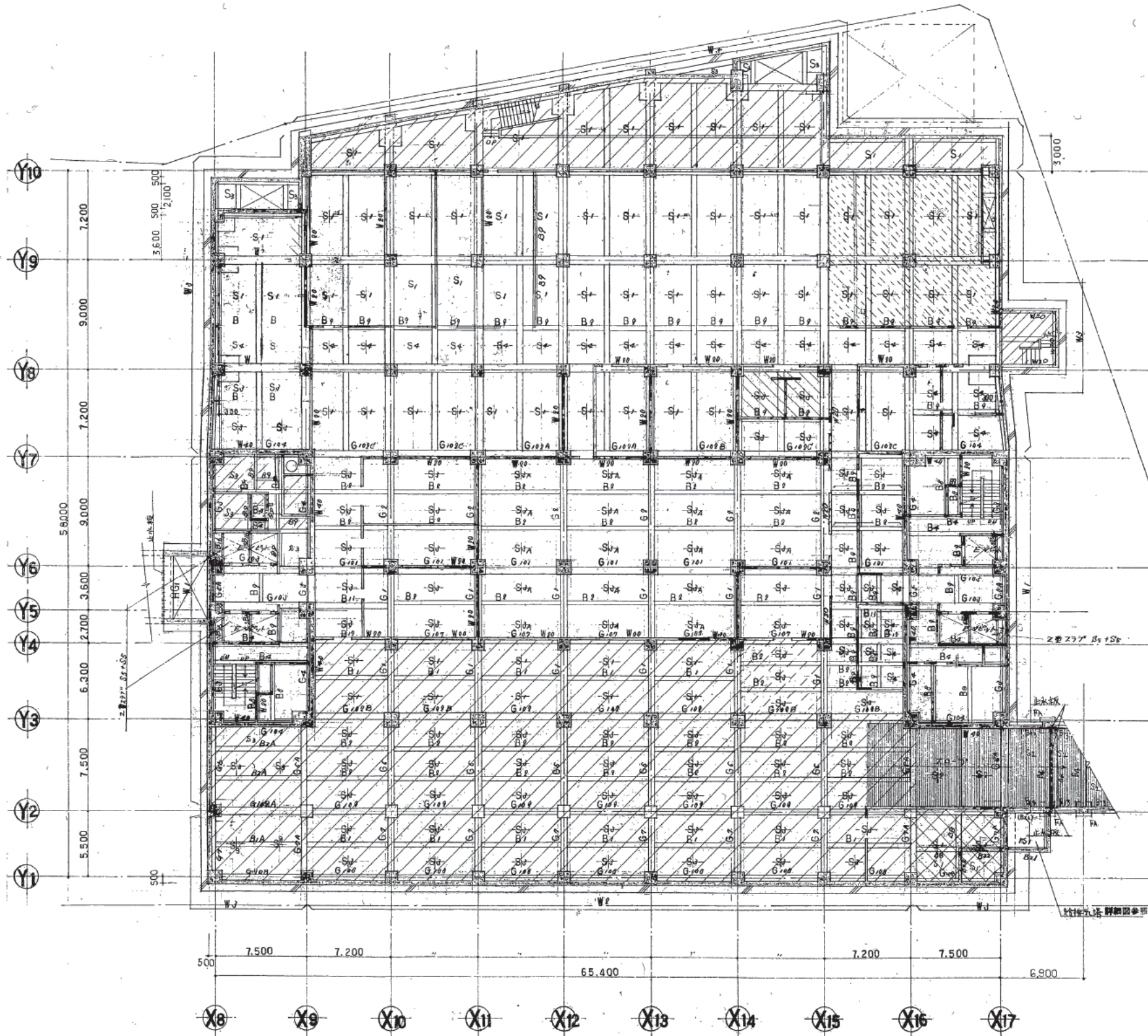
訂正
4/20 伏田直正
MB2階床伏田直正

特記
建築設計は別途商品提供

熊本市庁舎

図面内容
B2階平面図
縮尺
1:200

図面番号
2019
枚数
1/1
区分
建築構造図



B1階伏図 1:200

特記事項

1. コンクリート端 特記外 --- FL-00
 2. スラブ符号 特記外 --- S-0
 3. 壁 --- RC壁 特記外 --- W-0
 (但し FL-00より W-0 とする。)
 4. EP --- WK1, WK2 を示す。

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工
2020.10.10

熊本市庁舎

B1階伏図

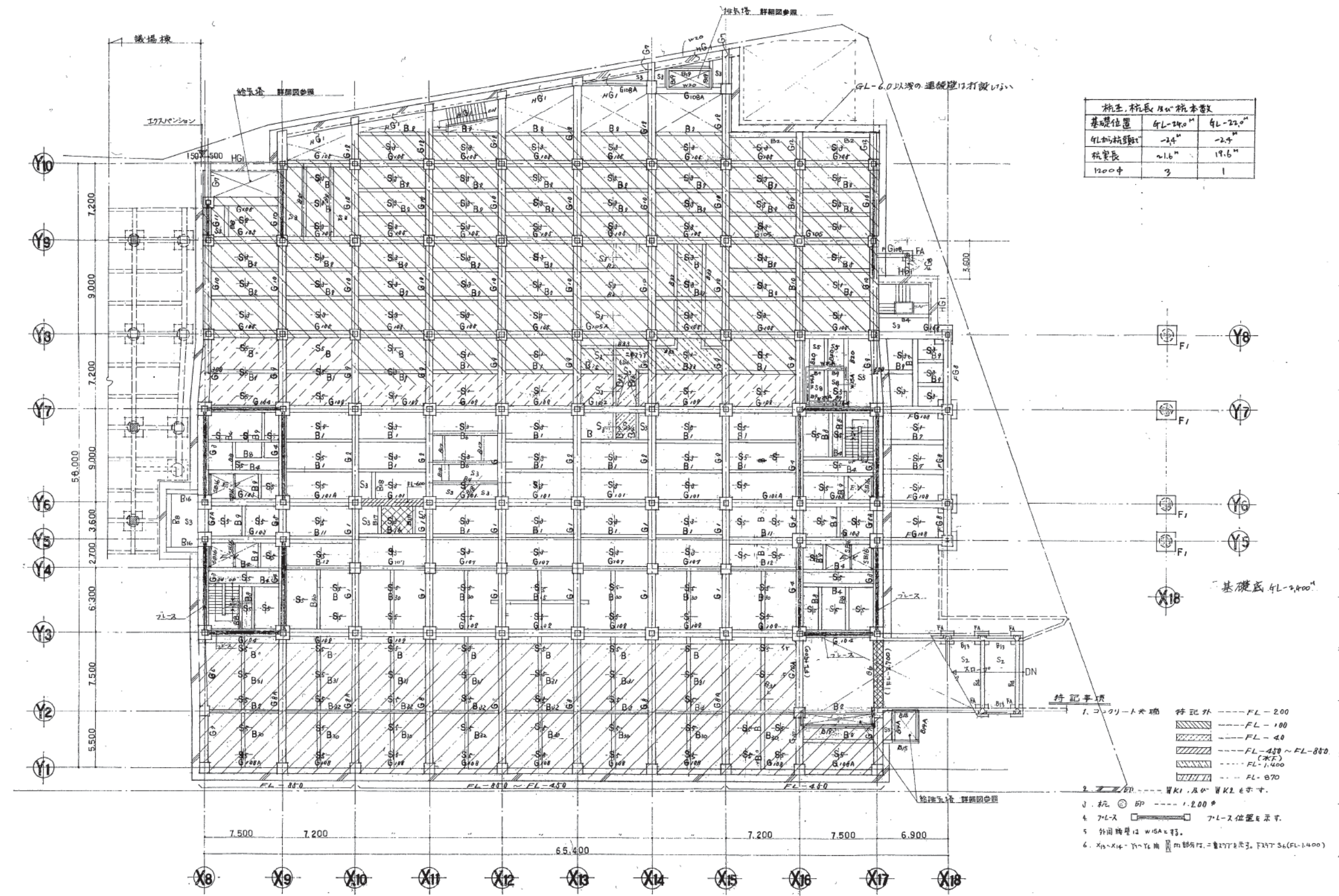
図面番号 20-20

縮尺 1:200

区分 重要構造物

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

ア
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク
ケ
コ



柱主筋長及本数		
基礎位置	4L-24.0"	4L-22.0"
4Lから柱頭部	-2.4"	-2.4"
柱実長	~1.6"	19.6"
1200中	3	1

1階伏図 1:200

- 特記事項
1. コーリー・ホールド 特記外 --- FL-200
 2. --- FL-100
 3. --- FL-40
 4. --- FL-450 ~ FL-880 (木)
 5. --- FL-1,400
 6. --- FL-870
3. 柱 ① ② --- 1,200φ
4. フラス --- フラス位置を示す。
5. 外周断壁は W15A 2φ。
6. X13-X14-Y5-Y6 間 内部断壁は W17A 2φ。下377 S6 (FL-1,400)

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

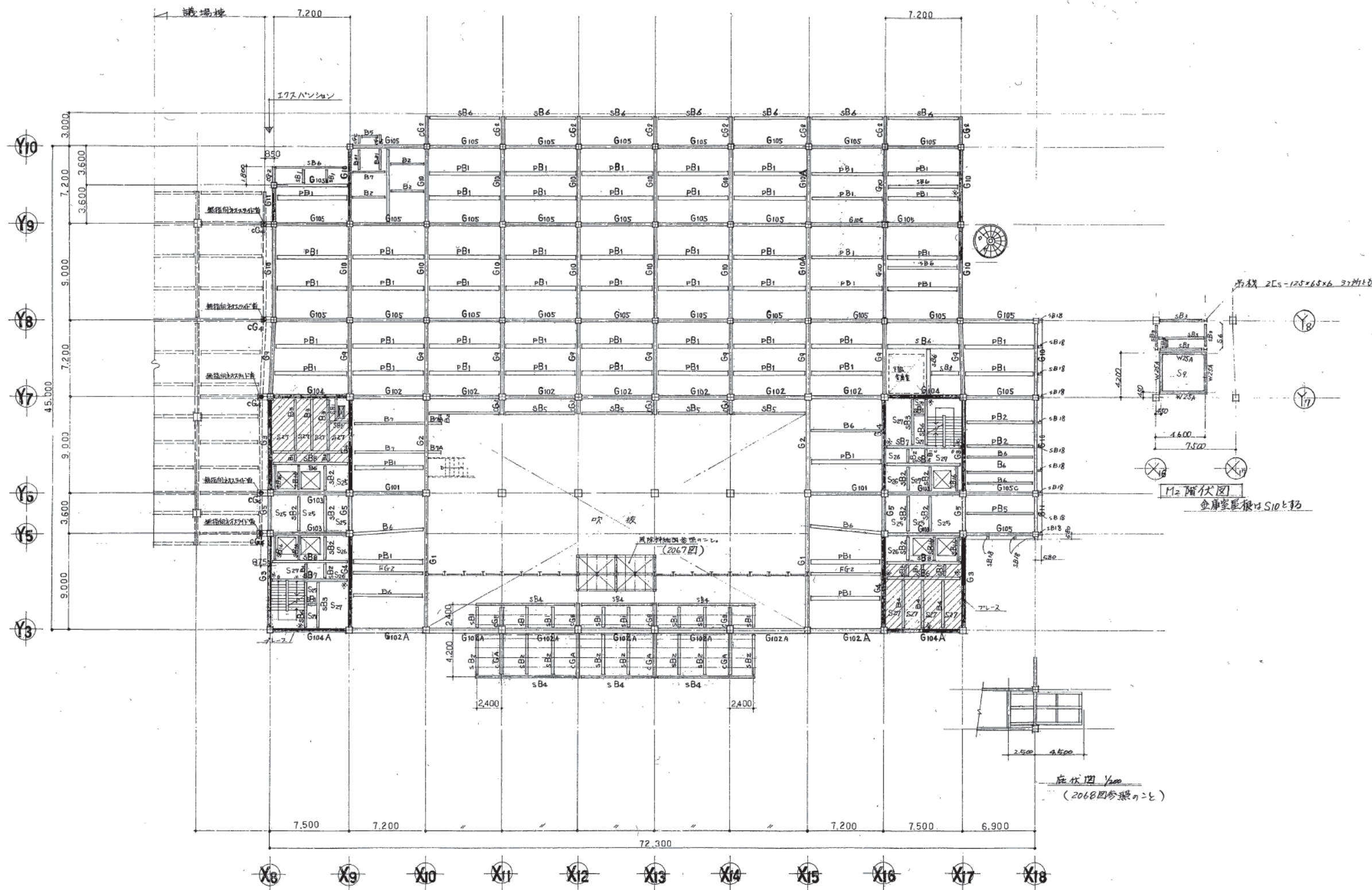
竣工図
2021.10.25

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
1階伏図
縮尺 1:200

図面番号
2021
枚/内
区分 建築構造図



2階伏図 1:200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計
21/10/20

訂正

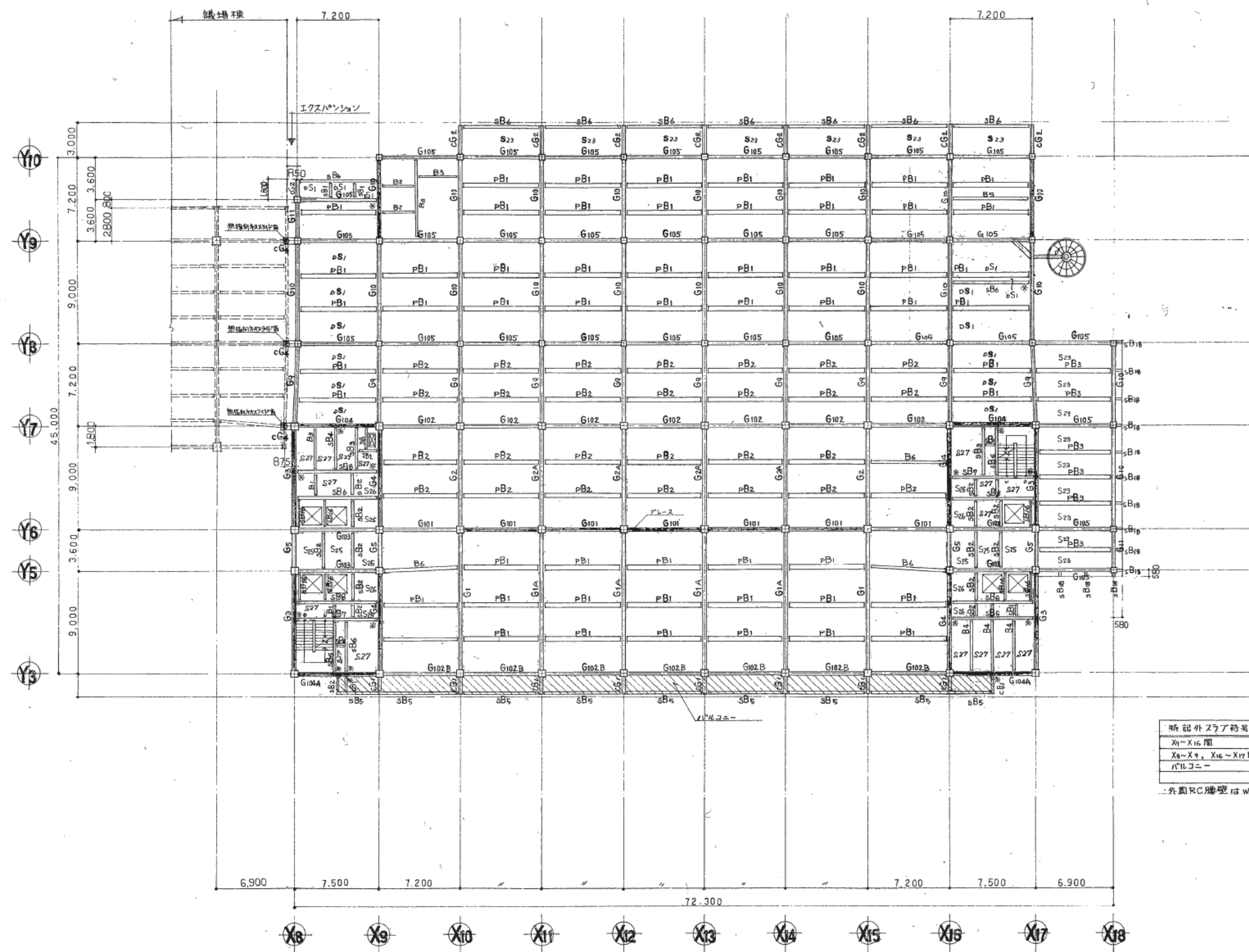
特記
1. スラコンクリート床、特記外—FL—c (パイル層)
2. 特記外スラブ符号—DS1
3. [] はアール位置を示す
4. *印は、剛接合とする。

熊本市庁舎

図面内容
縮尺

2階伏図
1:200

図面番号
2022
区分
建築構造図



略記外スラブ符号	
X1~X16 間	051
X16~X17 間	S27
パイルコー	S24

外周RC壁はW5Aとする。

3階伏図 1:200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工
3/10/20

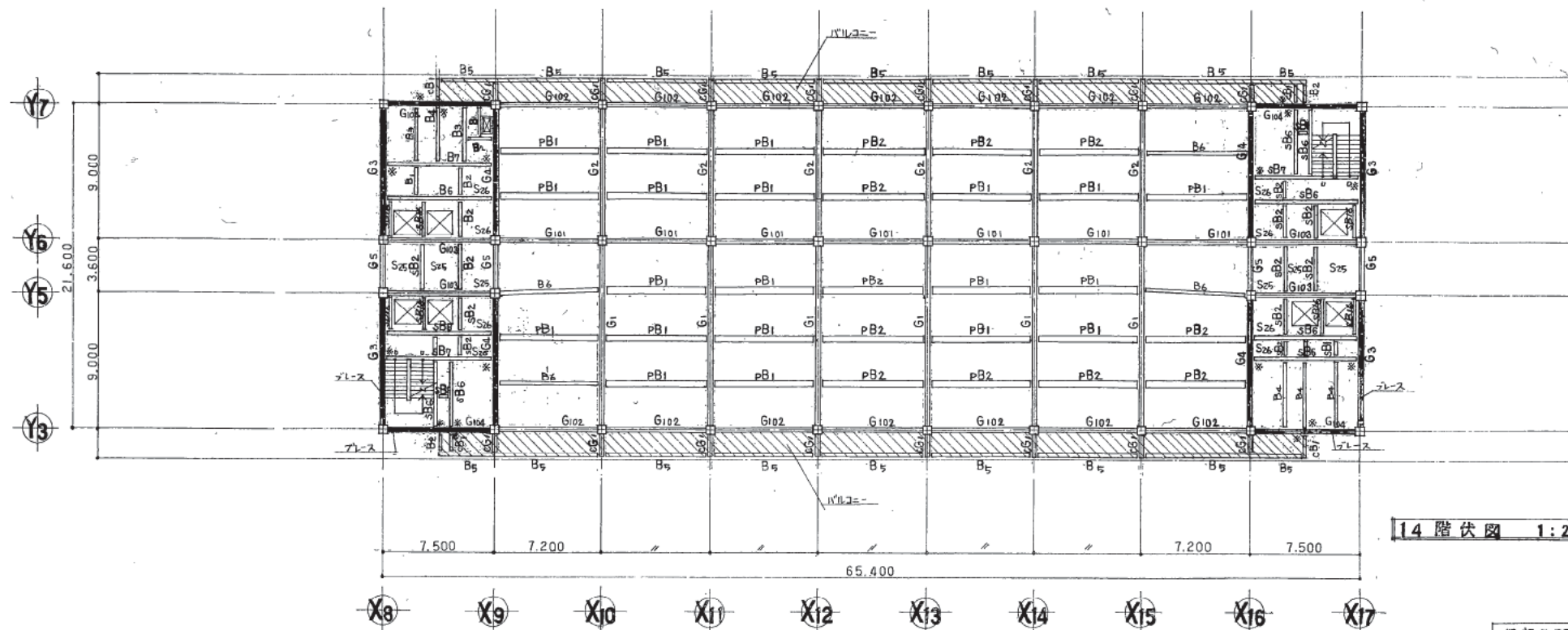
訂正

1. スラット/リフト床、特記外—FL— (P741/原)
FL-385
2. はアレス位置を示す。
3. *印は別表を参照。

熊本市庁舎

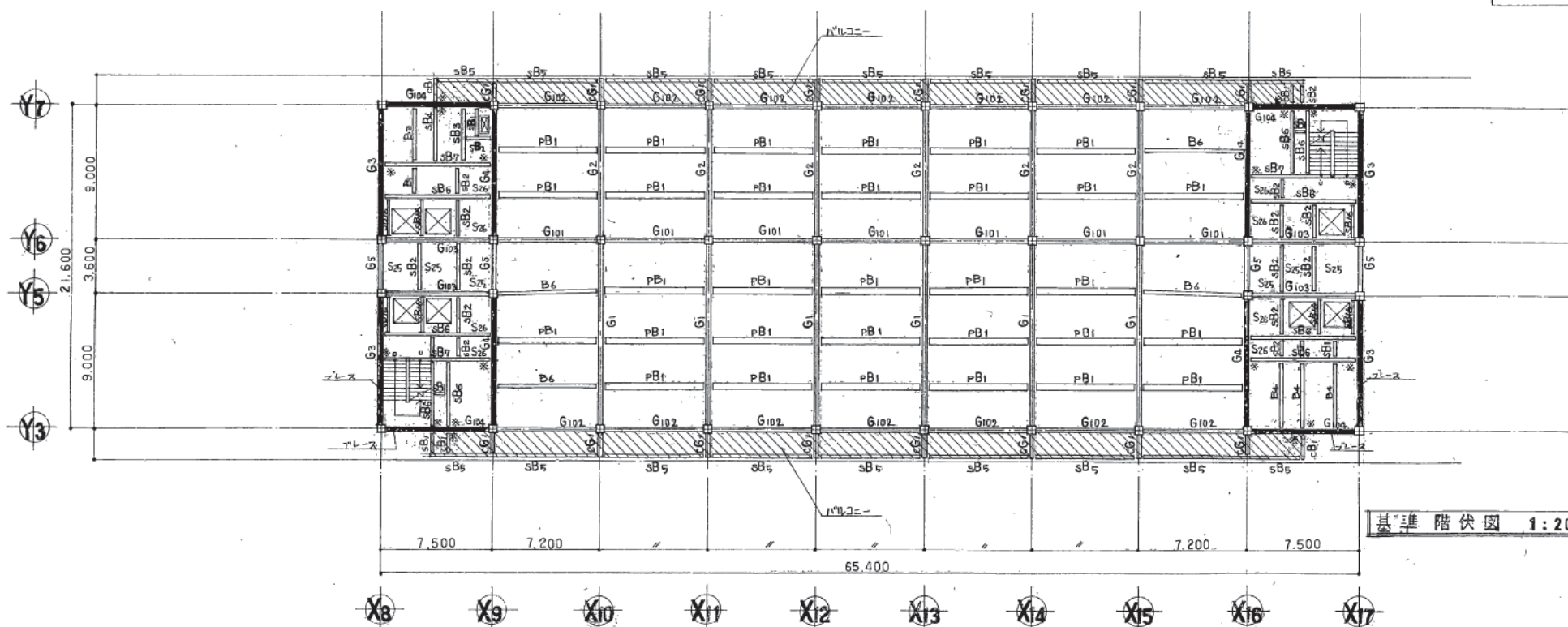
図面内容
3階伏図
縮尺
1:200

図面番号
2023
枚ノ内
1
区分
建築標準型

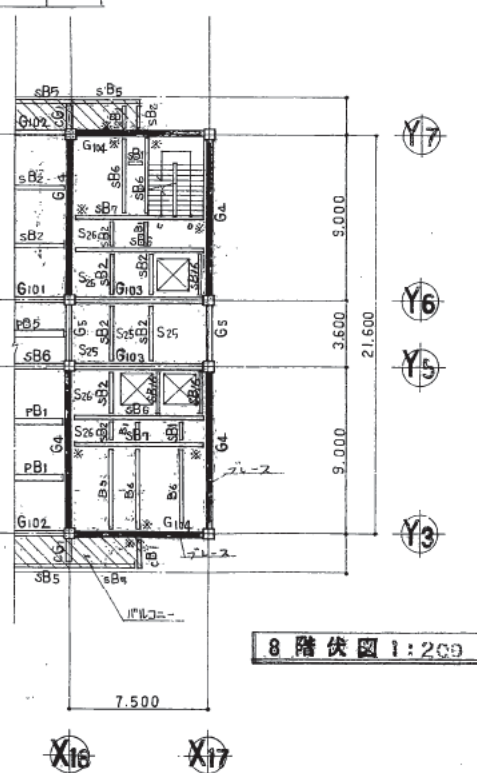


14階伏図 1:200

略記外スラブ符号	
X9~X16 間	PS1
X8~X7, X16~X17 間	S27
バルコニー	S24



基準階伏図 1:200



8階伏図 1:200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工図
保存承認
機密厳守
作成

8/10/20

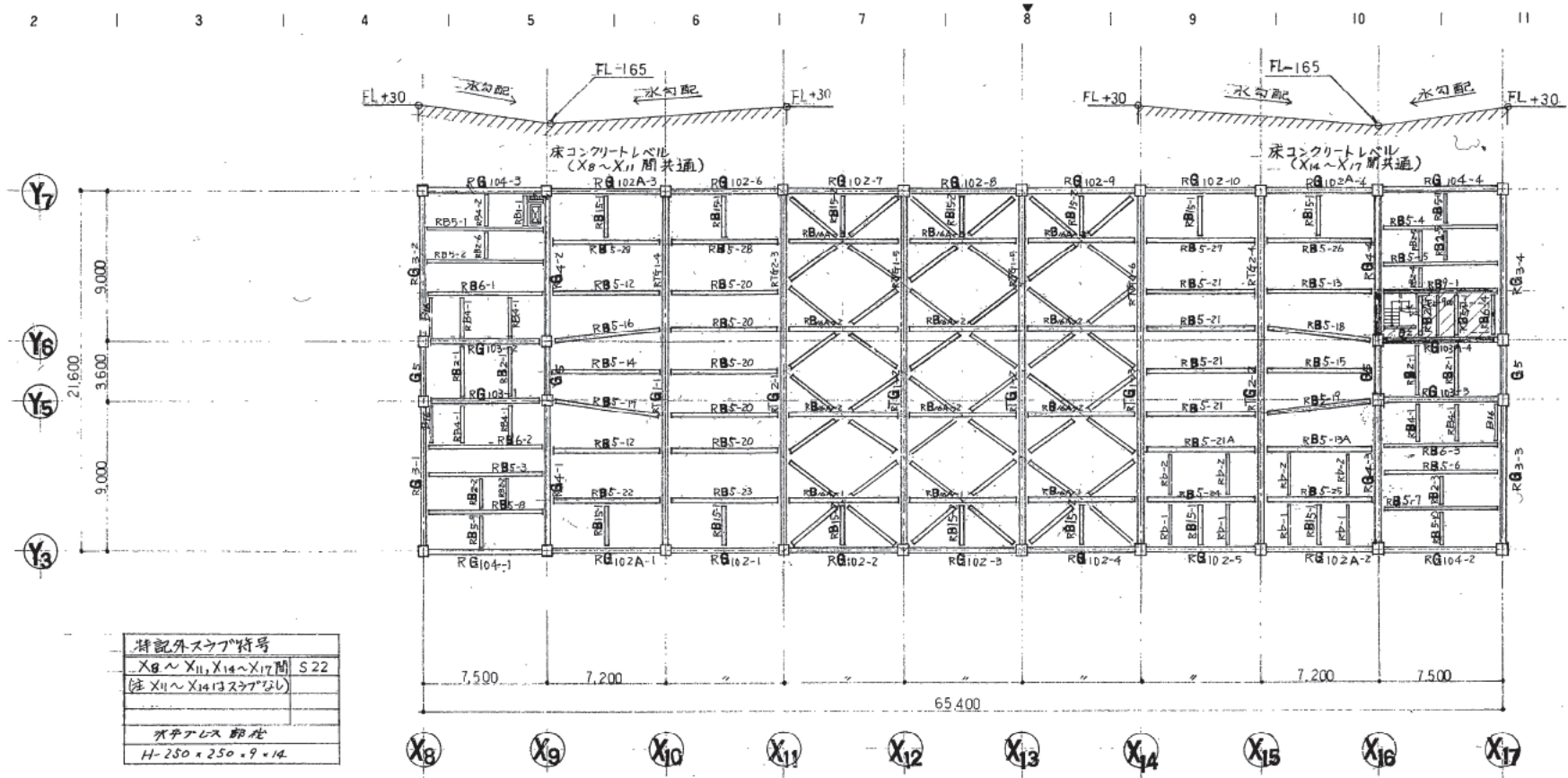
訂正

1. コンクリート天端 略記外 FL-1 (P041/13)
FL-385
2. 1/4 フラット位置を修正

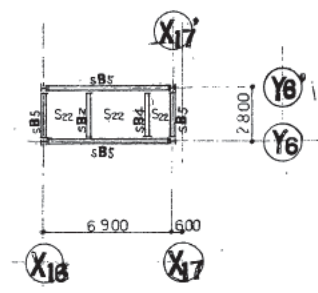
熊本市庁舎

図面内容
8階伏図、基準階伏図
14階伏図
縮尺
1:200

図面番号
2026
枚/内
区分
建築標準図

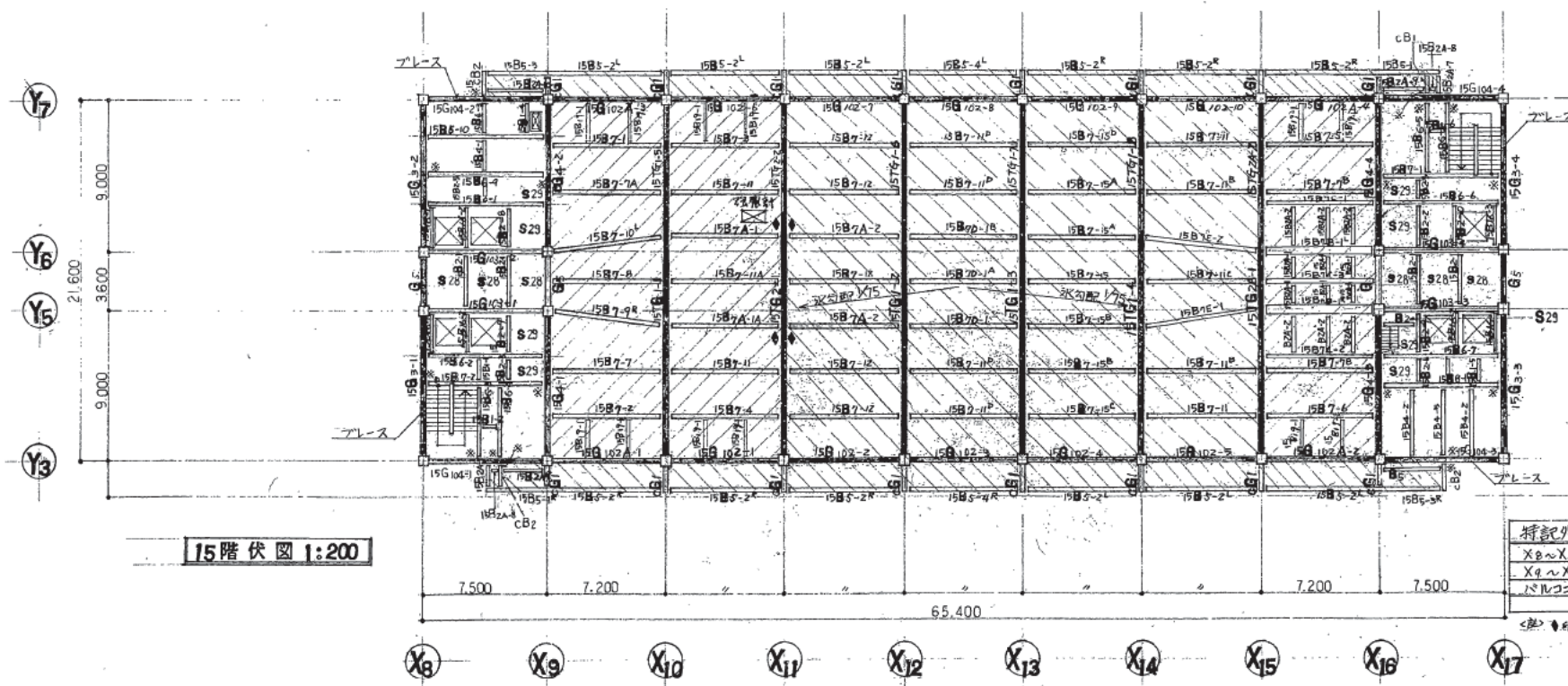


特記外スラブ特号
X8~X11, X14~X17間 S22
(注 X11~X14はスラブなし)
スラブ厚
H=250×250×9×14



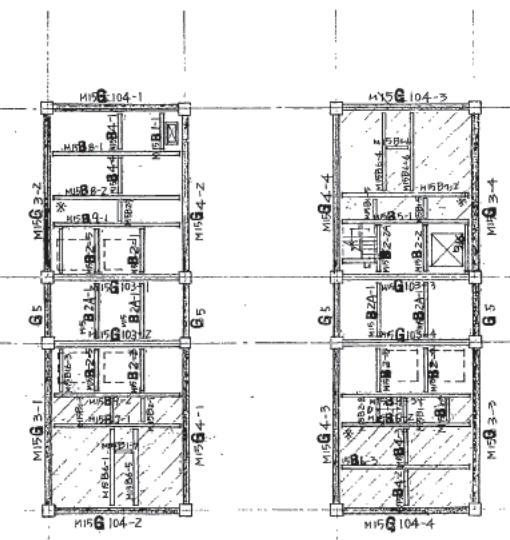
RP階伏図 1:200

R階伏図 1:200



15階伏図 1:200

特記外スラブ特号
X8~X9, X16~X17間 S30
X9~X16間 S21
バルコニー S24



M15階伏図 1:200

床版口金 S21
特記外スラブ特号
FL-100
特記外スラブ特号
FL-100
EV11室のマンホール受口
H=300×150×6.5×9 L=300 42口前

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

訂正
8/10/20

特記
1. コンクリート天端
特記外
FL-100 (PPH)
FL-1080
FL-150
FL+850 (K)

熊本市庁舎

M15階伏図 R階伏図
15階伏図
1:200

図面番号
2027
枚/内
区分 建築構造図

柱断面表 S:1/40

特記事項

1. 特記外 HRP、B、D、D₁ - 100 ④
2. 梁成内 HRP、D、D₁ - 150 ④
3. HRP、B、D、D₁ - 100 ④

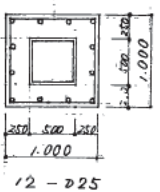
4. 使用鋼材は全て S400-A 規格品とする。

5. 特記以外のスラットレベルは、180×200×400×12 段とす。但し C1、C12 は、同じ 12。

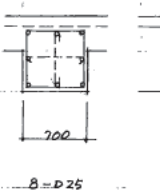
6. 別階 Box 柱内に無収縮豆粒砂利 20mm を充填すること。

符号	C1	C1A (C1B)	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12 (C12A)	C13 (C13A)	C14 (C14A)	C15 (C15A)
柱頭																
主筋	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	40 - D25	40 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	12 - D25	52 - D25
鉄骨	□ - 550×550×36 (□ - 550×550×42)	□ - 700×700×32	□ - 550×550×32	□ - 550×550×32 (□ - 550×550×40) (□ - 700×700×32)	□ - 550×550×32 (□ - 550×550×40) (□ - 700×700×32)	□ - 550×550×32	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22	□ - 550×550×22
HRP																
柱脚																
主筋	28 - D25	24 - D25	24 - D25	24 - D25	52 - D25	52 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	20 - D25	20 - D25	64 - D25
HRP																
柱身																
主筋	28 - D25	24 - D25	24 - D25	24 - D25	52 - D25	52 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	20 - D25	20 - D25	64 - D25
HRP																

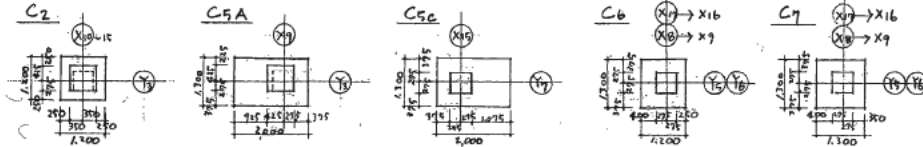
B1C10



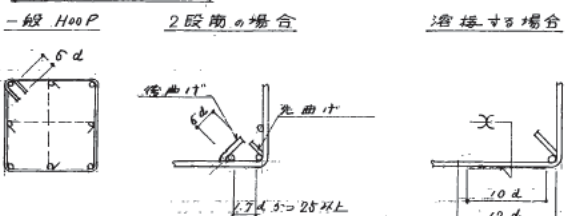
B1C14



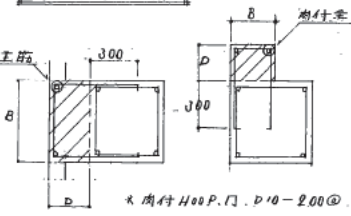
柱芯案内図 S:1/100 下記以外の柱は柱芯と通り筋は一致する。



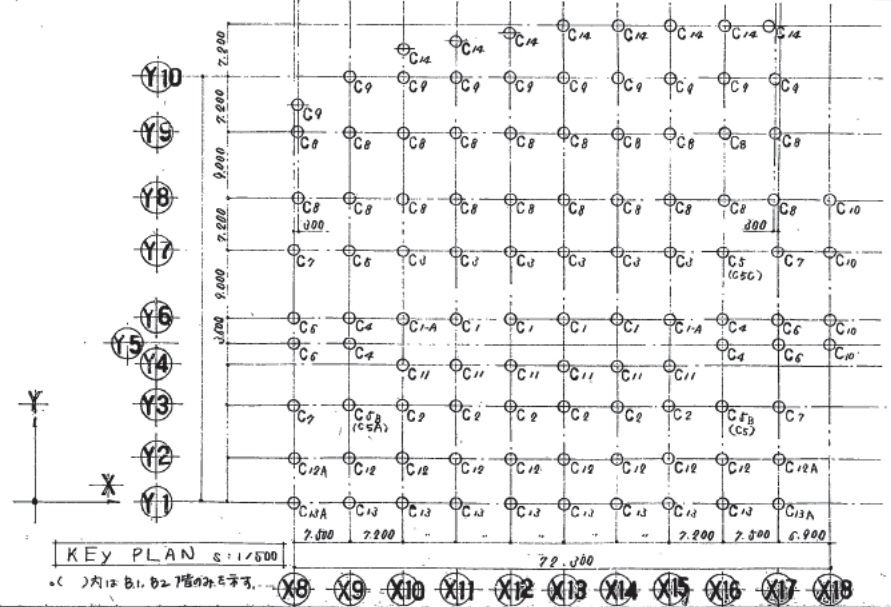
HRRP 加工要領



柱内付要領



肉付要領表		
D	500~700	700~1,000
70~100	3 - D13	4 - D13
100~200	3 - D13	4 - D13
200以上	3 - D19	4 - D19



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
8/10 20

特記

熊本市庁舎

柱断面表(1) 柱符号図

1/40

2028
図面番号
竣工図

柱断面リスト 材質 R-SM50A H-RT-SS41														
	C ₁ (1A)	C ₂	C ₃	C ₄	C ₅ (5B)	C ₆	C ₇	C ₈	C _{8A}	C ₉	C ₁₀	C ₁₁	C ₁₂	P ₁
15 F		□-550・550・ Φ 19	□-550・550・ Φ 19	□-550・550・ Φ 19	□-550・550・ Φ 19	□-550・550・ Φ 19	□-550・550・ Φ 19							
14 F		↓	↓	↓	↓	↓	↓							
13 F	□-550・550・ Φ 19	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
12 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
11 F	□-550・550・ Φ 22	□-550・550・ Φ 22	□-550・550・ Φ 22	□-550・550・ Φ 22	□-550・550・ Φ 22	□-550・550・ Φ 22	□-550・550・ Φ 22							
10 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
9 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
8 F	□-550・550・ Φ 25	□-550・550・ Φ 25	□-550・550・ Φ 25	□-550・550・ Φ 25	□-550・550・ Φ 25	□-550・550・ Φ 25	□-550・550・ Φ 25							
7 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
6 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
5 F	□-550・550・ Φ 28	□-550・550・ Φ 28	□-550・550・ Φ 28	□-550・550・ Φ 28	□-550・550・ Φ 28	□-550・550・ Φ 28	□-550・550・ Φ 28							
4 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓							
3 F	↓	□-700・700・ Φ 32	↓	↓	□-550・550・ Φ 28 (□-700・700・ Φ 32)	↓	↓	□-500・500・ Φ 22	□-550・550・ Φ 12	□-500・500・ Φ 22				
2 F	□-650・650・ Φ 36 (□-550・550・ Φ 32)		□-550・550・ Φ 32	□-550・550・ Φ 32	□-550・550・ Φ 32 (□-700・700・ Φ 32)	□-550・550・ Φ 32	□-550・550・ Φ 40				□-500・500・ Φ 22			H-300・300・ Φ 15
1 F	↓		↓	↓	↓	↓	↓							
B1 F	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			XH-600・200・11・17 YRT-600・200・12・15	XH-400・200・8・13 YRT-200・200・8・13

X 通りブレース断面			Y 通りブレース断面			材質
階	X ₈ , X ₉ , X ₁₆ , X ₁₇	X ₁₀ ~ X ₁₅	Y ₃	Y ₇	Y ₆	
15, P1	□-267 ⁴ ・6 ⁰	(□-300・300・ Φ 15)	□-267 ⁴ ・6 ⁰	□-267 ⁴ ・6 ⁰		◇ STK41材 補強材は STK41材 ◎ - SM50A
14	↓		□-267 ⁴ ・9 ³	□-267 ⁴ ・9 ³		
13	↓		□-267 ⁴ ・6 ⁰	□-267 ⁴ ・6 ⁰		
12	□-267 ⁴ ・6 ⁵		↓	↓		
11	↓		↓	↓		
10	↓		↓	↓		
9	□-267 ⁴ ・9 ³		□-267 ⁴ ・6 ⁵	□-267 ⁴ ・6 ⁵		
8	↓		↓	↓		
7	↓		□-267 ⁴ ・9 ³	□-267 ⁴ ・9 ³		
6	↓		↓	↓		
5	↓		↓	↓		
4	↓		↓	↓		
3	↓		◇ □-318 ⁵ ・10 ³	↓	□-267 ⁴ ・9 ³	
2	◇ □-267 ⁴ ・9 ³		◇	◇ □-318 ⁵ ・10 ³		
1	↓		◇	◇		

RF 柱・ブレース断面	
P ₂	ブレース
H-200・200・8・12 (SS41)	◇-165 ² ・5 ⁰ (STK41)

〈註〉 X₈, Y₇ 通り P₁ 15 階の Y₅ ~ Y₆ 間のブレースは H-300・300・ Φ 15 とする。
 X₉, Y₆ 通り P₁ 15 階の Y₅ ~ Y₆ 間のブレースは H-300・300・ Φ 15 とする。

大梁断面表 NO.1 S=1:40

特記事項

1. 縦筋

D-1000 --- 4-D13 D-2500 --- 8-D13

2. 中止筋はD10-1000@以内

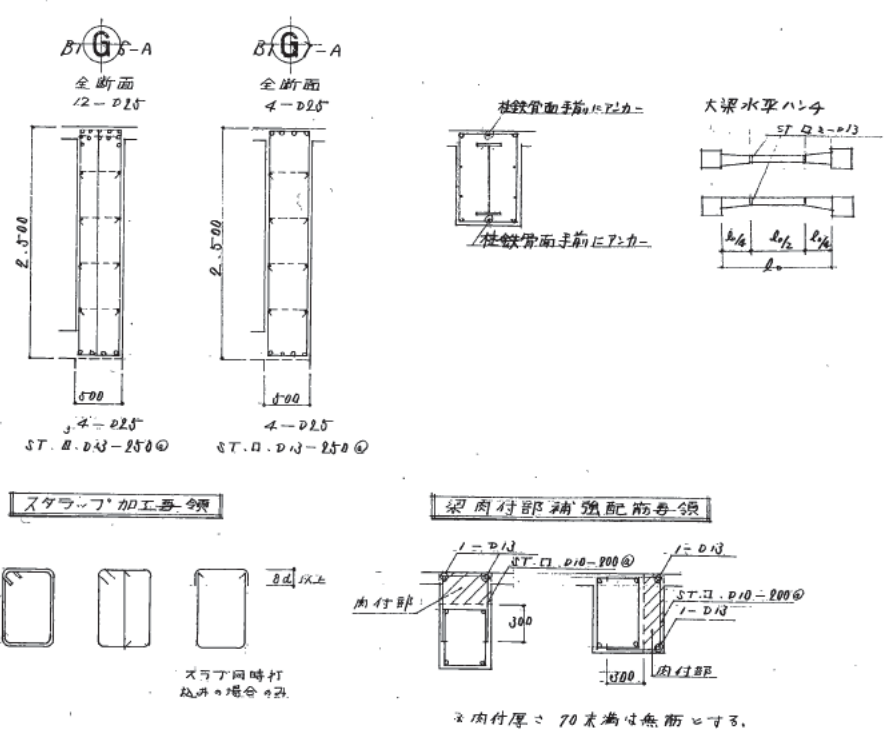
3. 使用鋼材はS41規格品とする。但し○印はSM50-A規格品とする。

4. フォット-柱より1.300mmとする。

階	符号	G1			G2			G3		G4		G5		G5-A		G6			G7		
		Y ₁ 通り端	中央	Y ₂ 通り端	Y ₁ 通り端	中央	Y ₂ 通り端	端部	中央	全断面	全断面	Y ₁ 通り端	中央	Y ₂ 通り端	Y ₁ 通り端	中央	Y ₂ 通り端				
1	1																				
		スラップ			スラップ			スラップ		スラップ		スラップ		スラップ			スラップ				
		鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)				
		(中央)			(中央)			(中央)		(中央)		(中央)		(中央)			(中央)				
エ	B1																				
		スラップ			スラップ			スラップ		スラップ		スラップ		スラップ			スラップ				
		鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)				
		(中央)			(中央)			(中央)		(中央)		(中央)		(中央)			(中央)				
カ	1																				
		スラップ			スラップ			スラップ		スラップ		スラップ									
		鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)			鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)		鉄骨主材(端部)									
		(中央)			(中央)			(中央)		(中央)		(中央)									
キ	B1																				
ク	B1																				
ケ	B1																				

スラップ加工要領

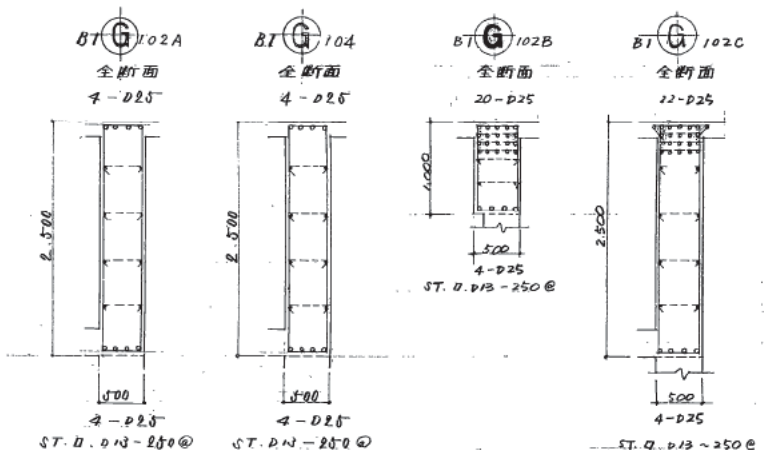
梁肉付部補強配筋要領



1. 断面 D=1000---A-D13 D=1300---C-D13 D=2500---E-D13
2. 中込筋 D10-1.000 @ 以内

3. 使用鋼材は S541 規格品とする。但し O 印は S450-A 規格品とする。
4. スラッパ加工品は 50' 以内部補強筋は S=2070 図に依る。

階	符号	G101		G101-A		G102		G103			G104		G105			G105-A	
		端部	中央	端部	中央	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端	X _{1/2} 通り端	中央
1	イ																
		スラッパ: D13-250 @		D13-250 @		D13-250 @		D13-250 @			D13-250 @		D13-250 @			D13-250 @	
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)		BH-750 x 250 x 9 x (22)		BH-750 x 250 x 9 x (22)		BH-750 x 250 x 9 x (22)			BH-750 x 250 x 9 x (22)		BH-750 x 250 x 9 x (22)			X _{1/2} 端 BH-750 x 250 x 9 x (22)	
イ	ウ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	エ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	オ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	カ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	キ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	ク																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	ケ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									
イ	コ																
		スラッパ: D13-250 @				D13-250 @		D13-250 @									
		鉄骨主材(端部): BH-750 x 250 x 9 x (22)				BH-750 x 250 x 9 x (19)		BH-750 x 250 x 9 x (19)									



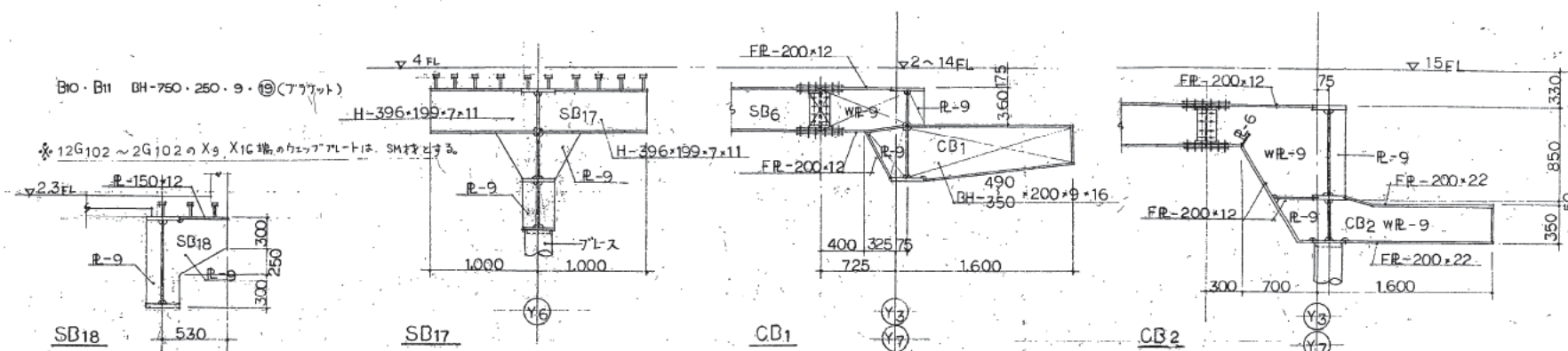
大梁断面リスト 材質 ○印 SM50A, その他 SS41															
		G ₁	G _{1-A, 2-A}	G ₂	G ₃	G ₄	G ₅	G _{10-A}	G _{8, 6-A}	G ₁₀	G _{11, 5A}	CG ₁	CG ₂	G _{6, G₁₂}	G ₉
R F	端部	BH-850・300・12・㉔		BH-850・250・12・㉔	BH-850・300・12・㉔	BH-500・300・12・㉔	BH-600・300・12・㉔								
	中央	BH-850・300・12・㉔		BH-850・250・12・㉔											
P1 F	端部				BH-500・300・12・㉔		BH-500・300・12・㉔								
	中央														
15 F	端部	BH-1000・300・16・㉔	BH-1350・200・16・22	BH-1000・300・16・㉔	BH-850・300・12・㉔		BH-600・300・12・㉔					BH-350~490 200・9・16			
	中央	BH-1000・300・12・㉔	BH-1350・200・16・19	BH-1000・300・12・㉔											
14 F	端部	BH-850・300・12・㉔		BH-850・250・12・㉔											
	中央	BH-850・300・12・㉔		BH-850・250・12・19											
13 F	端部														
	中央														
12 F	端部	BH-850・300・12・㉔		BH-850・300・12・㉔											
	中央	BH-850・300・12・㉔		BH-850・300・12・19											
11 F	端部														
	中央														
10 F	端部														
	中央														
9 F	端部	BH-850・300・12・㉔													
	中央	BH-850・300・12・㉔													
8 F	端部														
	中央														
7 F	端部			BH-850・300・12・㉔											
	中央			BH-850・300・12・㉔											
6 F	端部														
	中央														
5 F	端部														
	中央														
4 F	端部							BH-1000・300・12・㉔ BH-1000・300・12・19		BH-850・300・12・㉔ BH-850・300・12・19		BH-850・250・12・19		BH-850・250・9・16	BH-850・300・12・㉔ BH-850・300・12・19
	中央														
3 F	端部		BH-1000・300・16・㉔ BH-1000・300・12・㉔												BH-850・300・12・㉔ BH-850・300・12・19
	中央														
2 F	端部														
	中央														
1 F	端部	BH-750・250・9・㉔		BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・12・㉔	BH-750・200・9・16	BH-750・300・12・㉔ BH-750・300・12・19	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・19			BH-750・250・9・㉔ (トラス)	BH-750・250・9・㉔ BH-750・250・9・19
	中央	BH-750・250・9・19		BH-750・250・9・19											

	TG ₁	TG ₂
上弦材	BH-850・300・12・㉔	BH-850・300・12・㉔
下弦材	BH-600・300・12・㉔	BH-450・300・12・㉔
ラギス材	㊤-300・300・10・15	㊤-300・300・10・15

	CG _A	CG _B	CG ₃	CG ₄
2 F	BH-350~550 250・9・12	BH-350~550 250・9・16	BH-350~850 200・6・12	㊤-550・500・㉔

大梁断面リスト 材質 ○印 S50A, その他 SS41														
		G101	G101-A		G102	G102-A (C)内は X9, X16 鋼材を指定	G103	G104 (C)内は X9, X16 鋼材を指定	G105	G106	G107, 105-A (C)内は X16 鋼材を指定	G108	G104A	G102B
R F	端部	BH-850・250・12・㉔			BH-1100・300・12・㉔	BH-1100・300・12・㉔ (BH-1250・300・12・㉔)	BH-650・250・12・㉔	BH-650・300・12・㉔						
	中央	BH-850・250・12・㉔			BH-1100・300・12・㉔	BH-1100・300・12・㉔	BH-650・250・12・㉔	BH-650・300・12・㉔						
P1 F	端部						BH-400・300・12・㉔	BH-500・300・12・㉔						
	中央						BH-400・300・12・㉔	BH-500・300・12・㉔						
15 F	端部	BH-850・250・12・㉔			BH-1100・300・12・㉔	BH-1100・300・12・㉔ (BH-1650・300・12・㉔)	BH-850・300・12・㉔	BH-650・300・12・㉔						
	中央	BH-850・250・12・㉔			BH-1100・300・12・㉔	BH-1100・300・12・㉔	BH-850・300・12・㉔	BH-650・300・12・㉔						
14 F	端部	BH-850・250・12・㉔			BH-850・250・12・㉔		BH-850・250・12・㉔	BH-650・300・12・㉔						
	中央	BH-850・250・12・㉔			BH-850・250・12・㉔		BH-850・250・12・㉔	BH-650・300・12・㉔						
13 F	端部													
	中央													
12 F	端部	BH-850・300・12・㉔			BH-850・300・12・㉔		BH-850・300・12・㉔							
	中央	BH-850・300・12・㉔			BH-850・300・12・㉔		BH-850・300・12・㉔							
11 F	端部													
	中央													
10 F	端部													
	中央													
9 F	端部	BH-850・300・12・㉔					BH-850・300・12・㉔							
	中央	BH-850・300・12・㉔					BH-850・300・12・㉔							
8 F	端部													
	中央													
7 F	端部	BH-850・300・12・㉔			BH-850・300・12・㉔									
	中央	BH-850・300・12・㉔			BH-850・300・12・㉔									
6 F	端部													
	中央													
5 F	端部													
	中央													
4 F	端部								BH-650・300・12・㉔	BH-650・300・12・㉔		BH-1000・300・12・㉔	BH-650・500・12・㉔	
	中央								BH-650・300・12・㉔	BH-650・300・12・㉔		BH-1000・300・12・㉔	BH-650・500・12・㉔	
3 F	端部													
	中央													
2 F	端部										BH-750・250・9・㉔ (BH-450・250・9・㉔)			
	中央					□-850・550・㉔					BH-450・250・9・19			
1 F	端部	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔		BH-750・250・9・㉔		BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-1050・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔		
	中央	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔		BH-750・250・9・㉔		BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-1050・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔	BH-750・250・9・㉔		

小梁断面リスト 註記 SS47		○印はSM51A	
SB1	H=148・100・6・9	SB9	H=596・199・10・15
SB2	H=194・150・6・9	SB10	H=582・300・12・17
SB2A	H=200・200・8・12	SB11	BH=850・250・9・16
SB3	H=248・124・5・8	SB12	BH=1000・250・12・25
SB4	H=298・149・55・8	SB13	BH=850・250・9・16
SB5	H=346・174・6・9	SB14	H=250・250・9・14
SB6	H=396・199・7・11	SB15	H=200・200・8・12 712・215・75・9
SB7	H=446・199・8・12	SB16	H=125・125・6.5・9
SB8	H=500・200・10・16	SB17	H=396・199・7・11



PC小梁リスト S=1:30

	p b 1A, 1B	p b 1	p b 2	p b 3	p b 4	p b 5A	p b 5

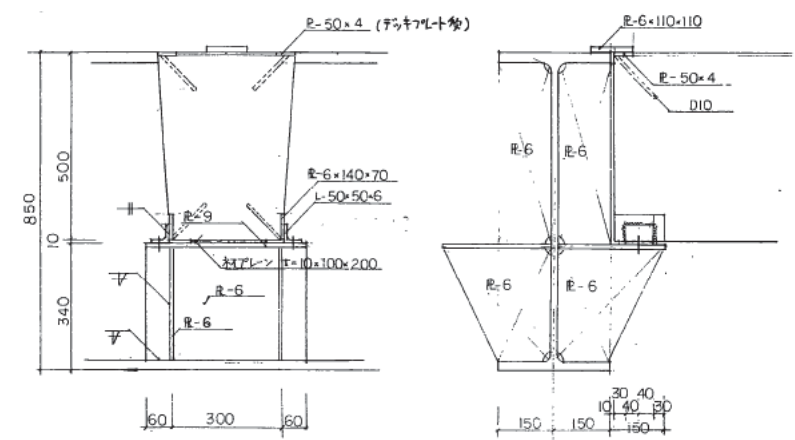
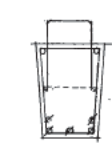
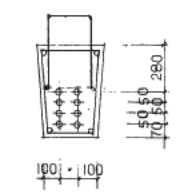
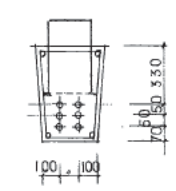
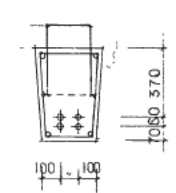
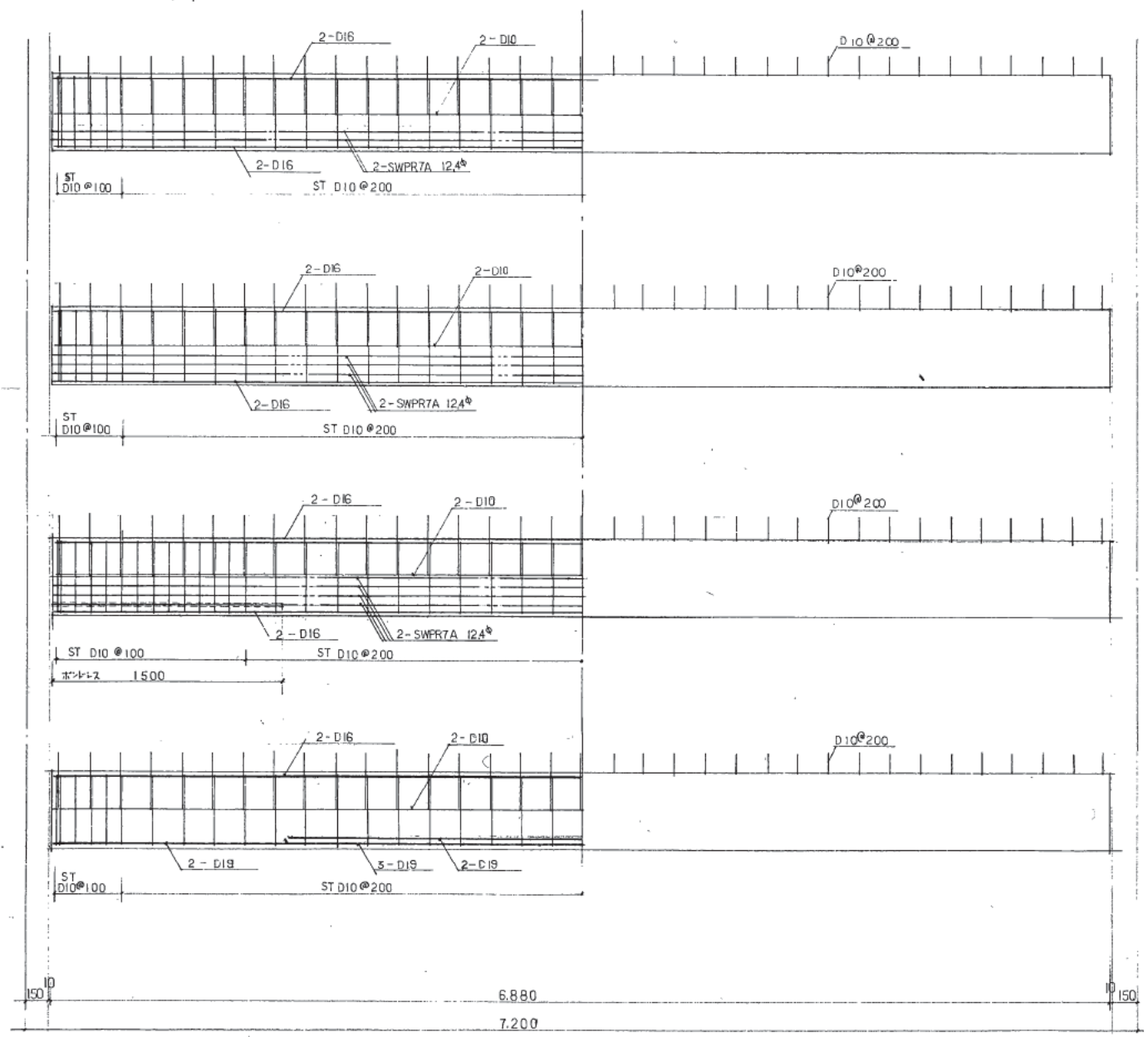
PC小梁配筋図 S=1:20

p b 1A

p b 2 3

p b 4

p b 5A



PC小梁とS大梁との取合要領詳細図 S=1:10

コンクリート F28 = 40.0 N/mm² (スラブ厚 4±1 cm)
 PC鋼材 SWPR7A-12.4 Pu = 16300 kg
 Py = 13900 kg
 吊りフック 工場、現場等、条件と考慮し決定する。
 ケーブル緊張力 11.2 t/本

株式会社 山下設計
 YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
 21.10.16

訂正
 特記

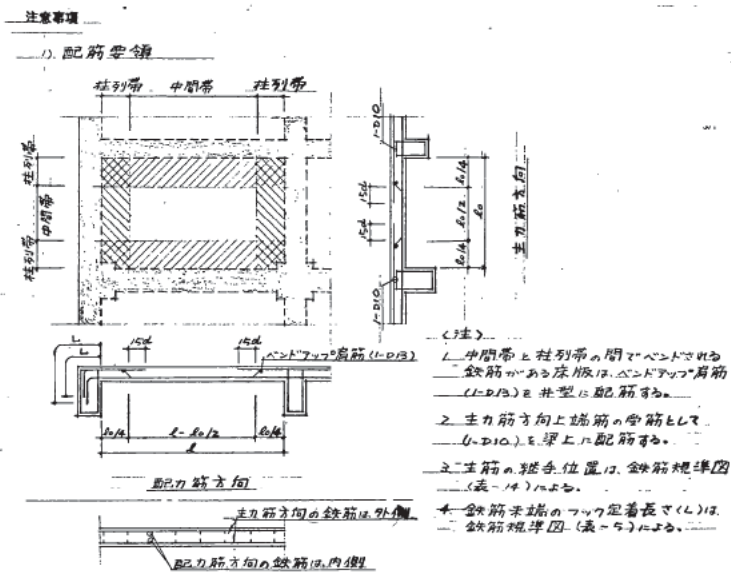
熊本市庁舎

図面内容 PC小梁断面表, PC小梁配筋図
 図面番号 2034
 縮尺 1/30 1/20
 区分 建築構造図

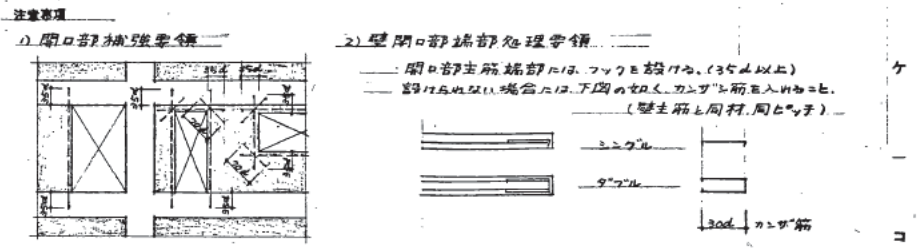
小梁断面表 注記:1)特記外腹筋 D10 2)特記外 巾止め筋 D10-@1,000 以内 3)使用鋼材はS55A規格品とする。但し○EPはS45-A規格品とする。(プレート一柱より1200mmの長さ)

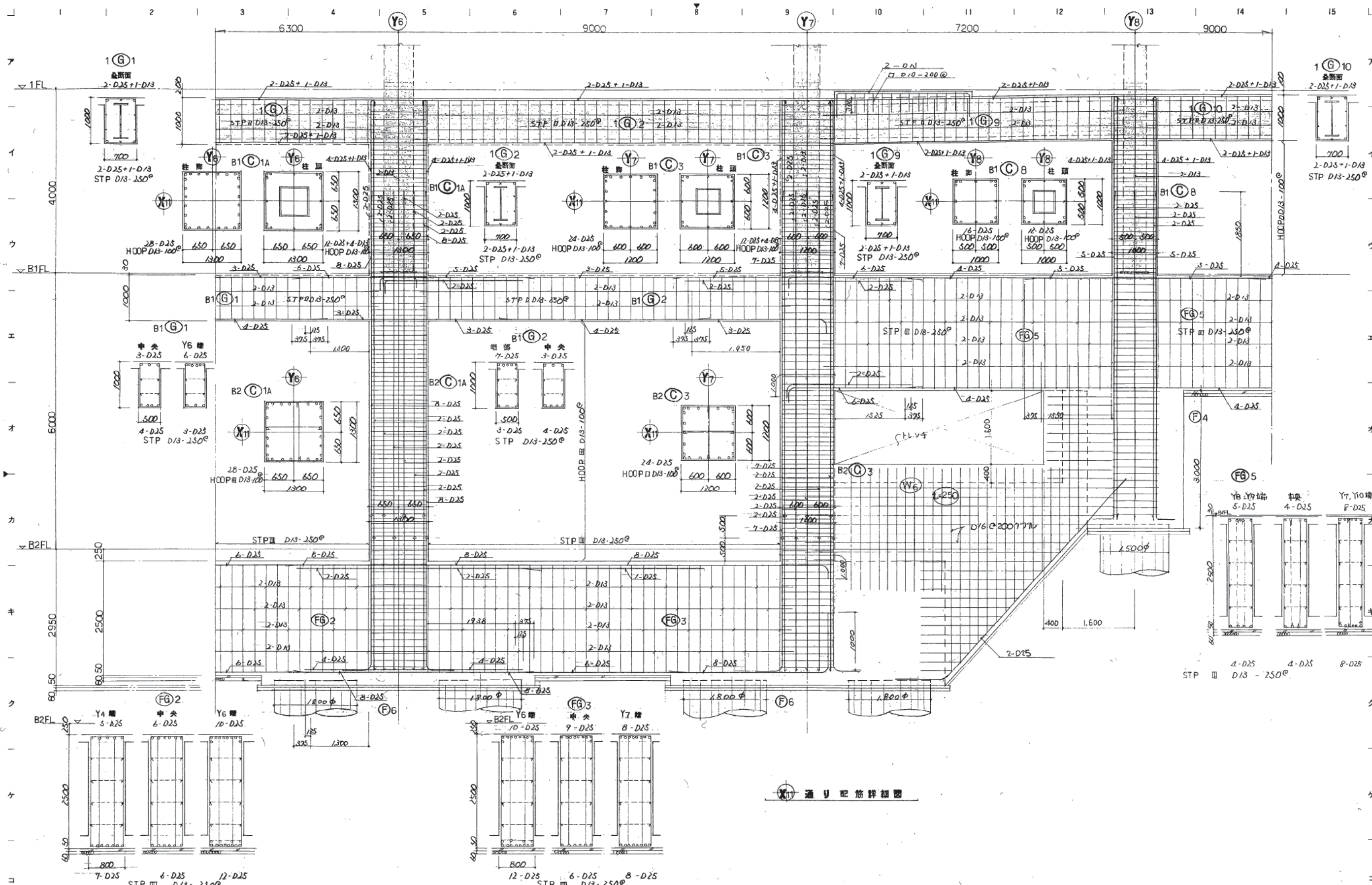
断面	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	B10
断面	外筋 3-D22 中央 2-D22 内筋 5-D22 2-D22 4-D22 3-D22 300	外筋 2-D22 中央 2-D22 内筋 4-D22 2-D22 3-D22 2-D22 300	外筋 5-D22 中央 2-D22 内筋 4-D22 3-D22 4-D22 350	外筋 3-D22 中央 2-D22 内筋 6-D22 3-D22 6-D22 350	外筋 3-D22 中央 2-D22 内筋 5-D22 3-D22 5-D22 3-D22 350	外筋 3-D25 中央 2-D25 内筋 5-D25 3-D25 5-D25 350	外筋 3-D22 中央 2-D22 内筋 5-D22 3-D22 5-D22 350	外筋 2-D19 中央 2-D19 内筋 4-D19 2-D19 4-D19 300	外筋 2-D16 中央 2-D16 内筋 2-D16 2-D16 2-D16 250	外筋 2-D25 中央 2-D25 内筋 2-D25 2-D25 2-D25 1-D13 700 BH-750×250×9-19 D13-@180
ST	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D13-@250	D10-@200	D13-@250	D10-@200	D10-@200	D10-@250	D13-@180
断面	B11	B12	B13	B14 (B14A)	B15	B16	B17	B18	B19	B20
断面	外筋 2-D25 中央 2-D25 内筋 1-D13 2-D25 2-D25 1-D13 700 BH-750×250×9-19 D13-@180	外筋 5-D25 中央 2-D25 内筋 3-D25 3-D25 3-D25 2-D25 300	外筋 2-D19 中央 2-D19 内筋 2-D19 2-D19 2-D19 200	外筋 3-D16 中央 3-D16 内筋 3-D16 3-D16 3-D16 300	外筋 4-D22 中央 4-D22 内筋 4-D22 4-D22 4-D22 300	外筋 4-D25 中央 4-D25 内筋 4-D25 4-D25 4-D25 400	外筋 3-D16 中央 3-D16 内筋 3-D16 3-D16 3-D16 200	外筋 5-D22 中央 5-D22 内筋 5-D22 5-D22 5-D22 700	外筋 4-D22 中央 4-D22 内筋 4-D22 4-D22 4-D22 350	外筋 4-D25 中央 4-D25 内筋 4-D25 4-D25 4-D25 400
ST	D13-@180	D13-@250	D10-@200	D10-@200	D10-@200	D10-@150	D10-@200	D13-@200	D10-@200	D13-@200
断面	B21	B22	B	B	B	B	B	B	B	B
断面	外筋 4-D22 中央 4-D22 内筋 4-D22 4-D22 4-D22 400	外筋 4-D22 中央 4-D22 内筋 4-D22 4-D22 4-D22 400								
ST	D13-@200	D10-@200								

床版配筋表		主筋方向		配筋方向		備考
符号	厚	端部	中央	柱列帯	端部	
S1	150	上	D10-D13-@200	D10-@250	D10-@250	
S2	150	下	D10-D13-@200	D10-@250	D10-@250	
S3	150	上	D10-@200	D10-@250	D10-@250	
S4	150	下	D10-@200	D10-@250	D10-@250	
S5	200	上	D13-@200	D13-@200	D13-@200	
S6	120	下	D10-@200	D10-@200	D10-@200	
S7	300	上	D13-@200	D13-@200	D13-@200	
S8	250	下	D16-@150	D16-@150	D16-@150	金庫室
S9	150	上	D13-@100	D13-@100	D13-@100	
S10	200	下	D16-@150	D16-@150	D16-@150	



壁配筋表		主筋		開口部補強筋		備考
符号	厚	端部	中央	端部	中央	
W12	120	S	D10-@200	D10-@200	1-D13	
W15	150	S	D10-@200	D10-@200	2-D13	
W15A	150	CD	D10-@250	D10-@250	2-D13	
W20	200	D	D13-@200	D13-@200	2-D16	
W25	250	D	D13-D16-@200	D13-D16-@200	2-D19	
W30	300	D	D16-@200	D16-@200	4-D19	
W35	350	D	D16-@200	D16-@200	4-D19	
W40	400	D	D16-@200	D16-@200	4-D22	
W25A	250	CD	D16-@150	D16-@150	2-D16	金庫室
BW15	150	S	D10-@400	D10-@600	1-D13	ブロッケ壁
BW						





2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

ア

イ

ウ

エ

オ

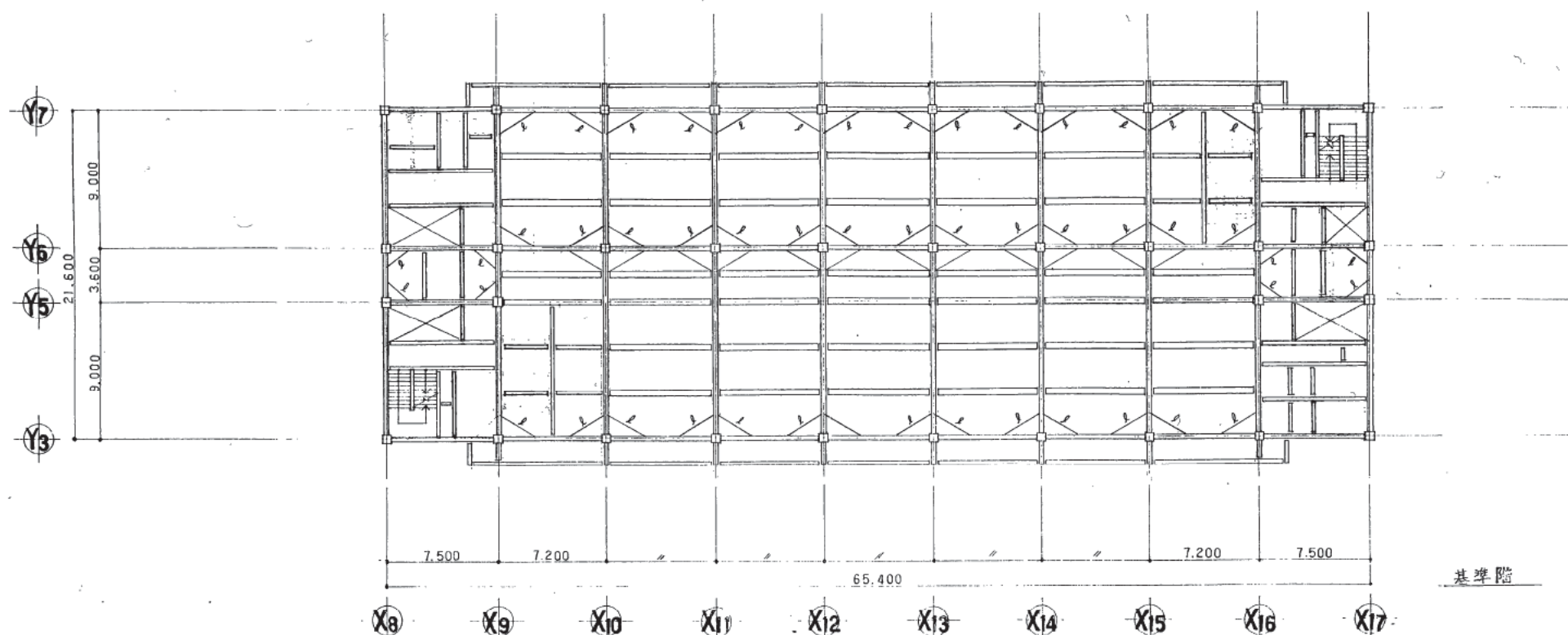
カ

キ

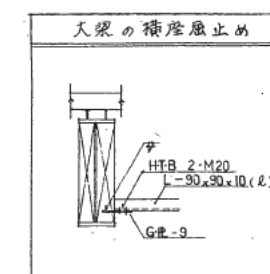
ク

ケ

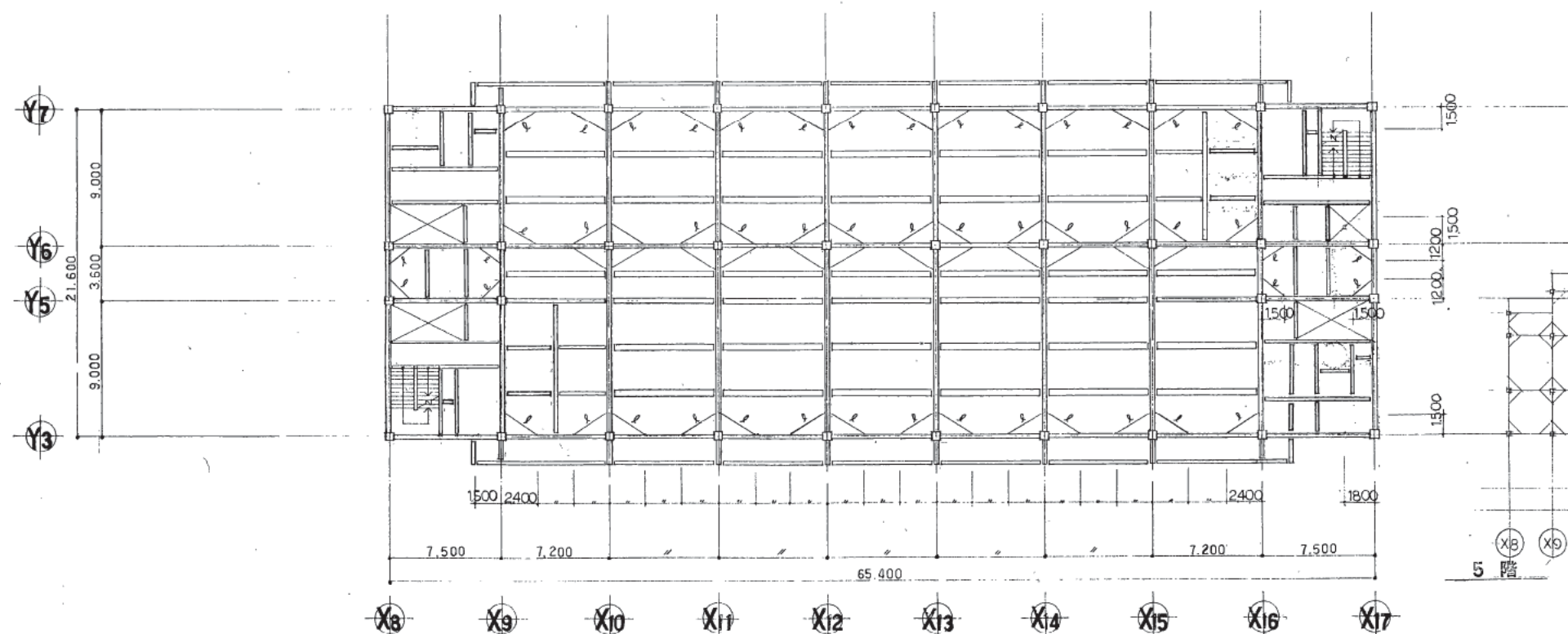
コ



基準階



R~2階以上記横座屈止めを配置する。
位置は、左図に示す。



5階

低層部座屈止めKEY PLAN

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
保管承認書作成

訂正
21,000

特記

熊本市庁舎

図面内容
縮尺

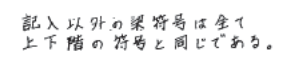
5,基準階 座屈止めの配置図

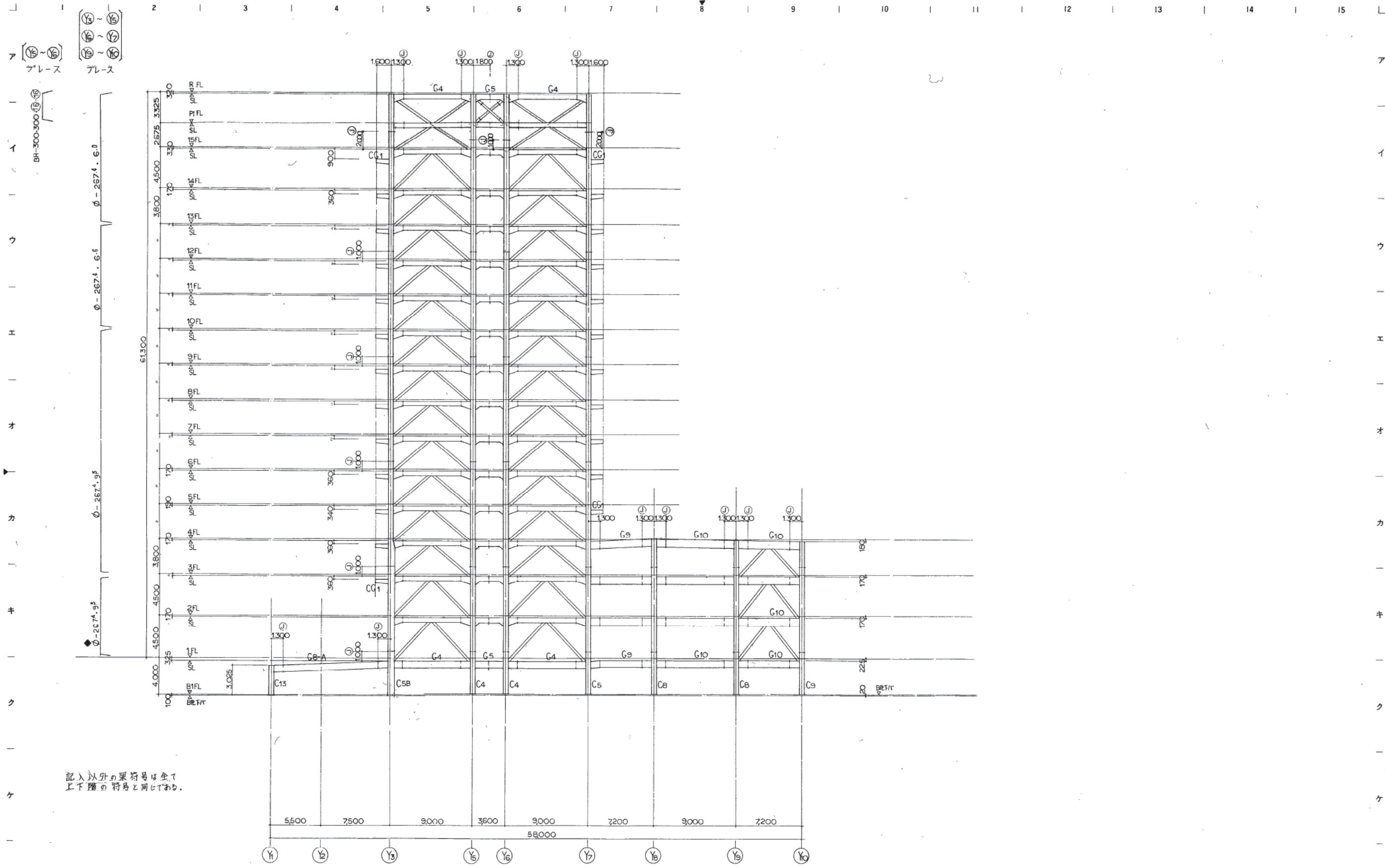
1/200

図面番号
枚/内
区分

2039

建築構造図





株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

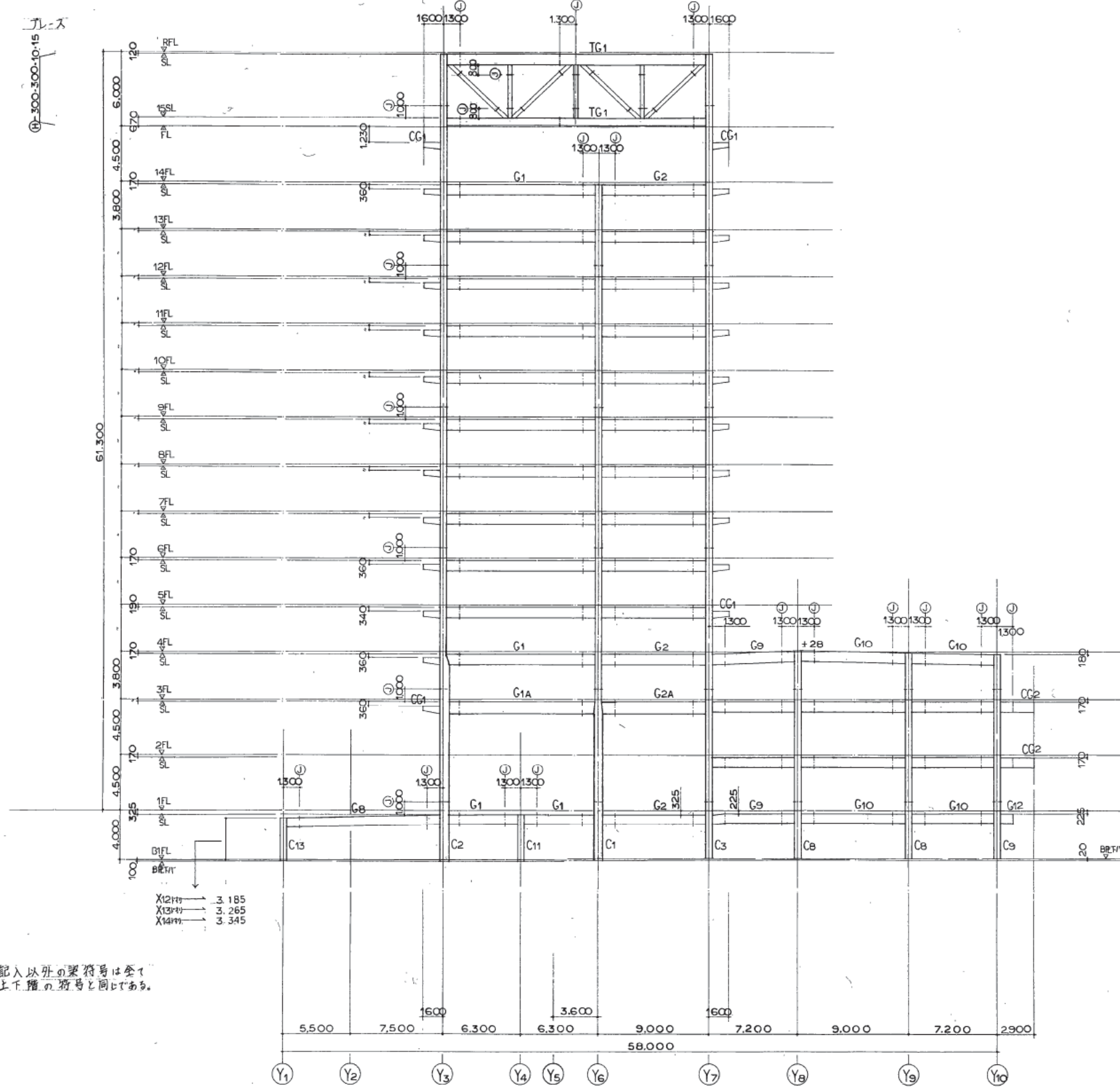
施工図
8/1 10/10

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
X9 通り軸組図
縮尺 1/200

図面番号
2041
枚数 1
区分 建築構造図



記入以外の梁符号は全て
上下階の符号と同じである。

X12F → 3.185
X13F → 3.265
X14F → 3.345

X12, X13, X14 通り軸組図 1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

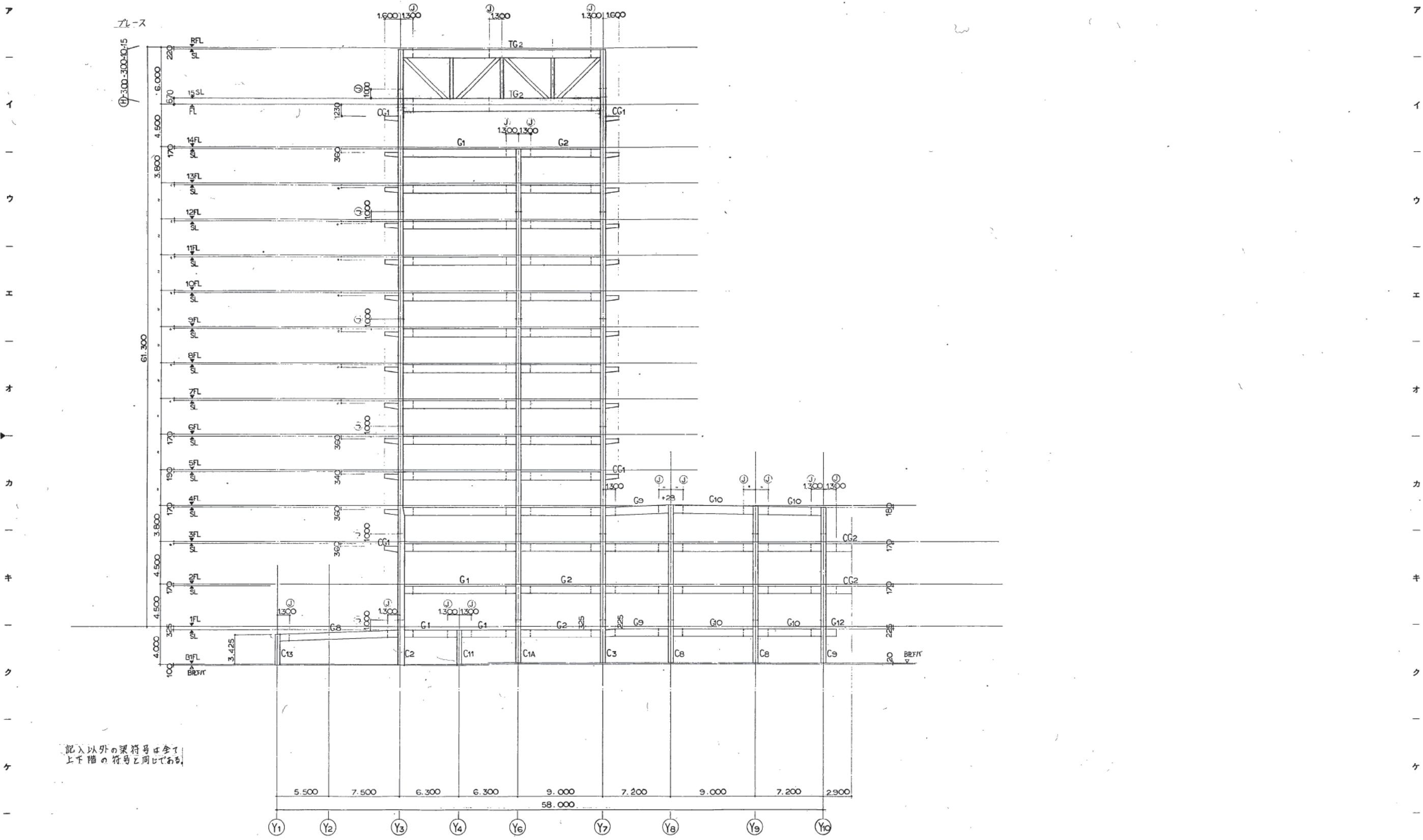
竣工図
保管承認
確認作成

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
縮尺
X12, X13, X14 通り軸組図
1/200

図面番号
2044
区分
建築構造図



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

施工図
8/10/20

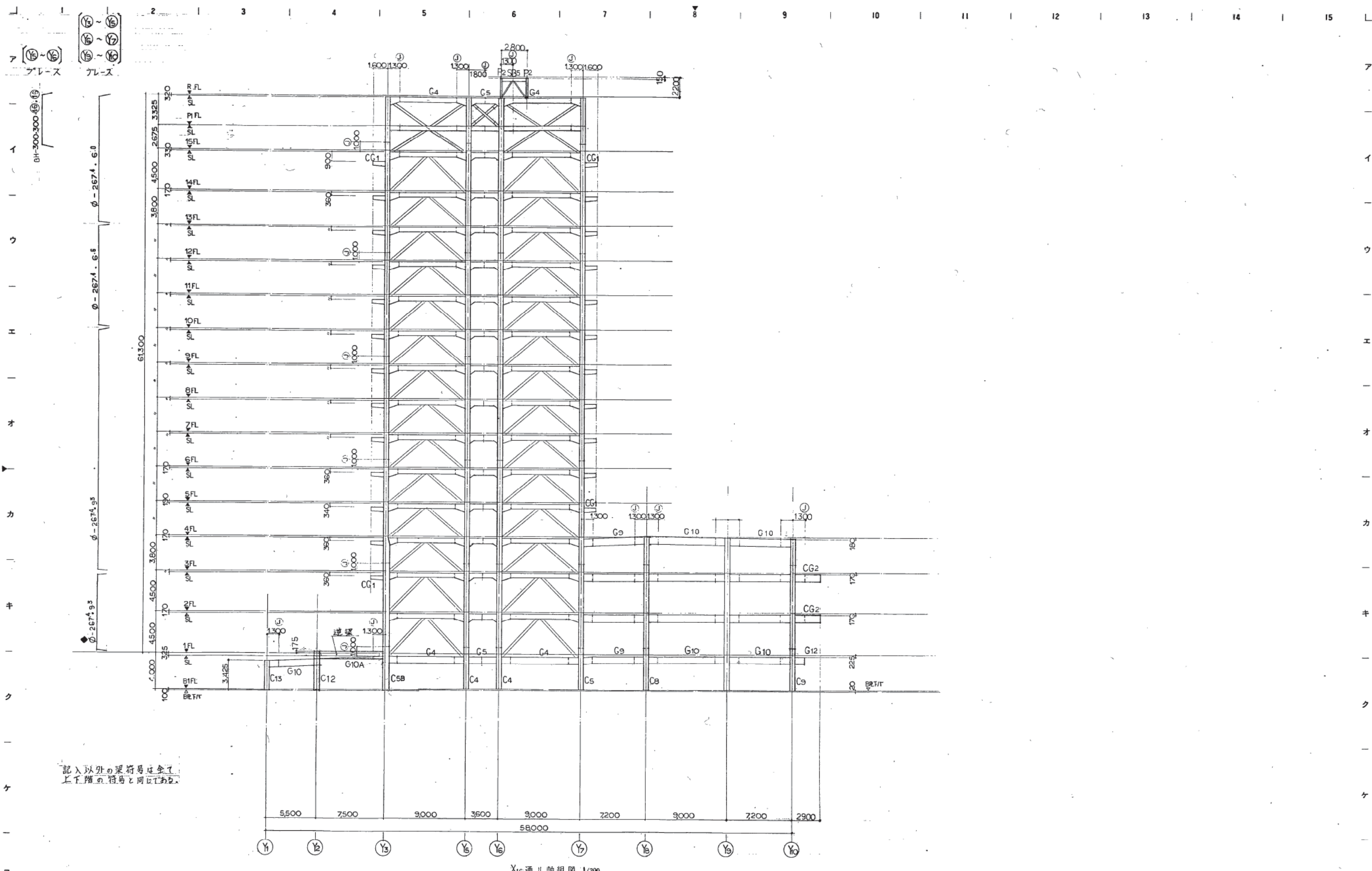
訂正
特記

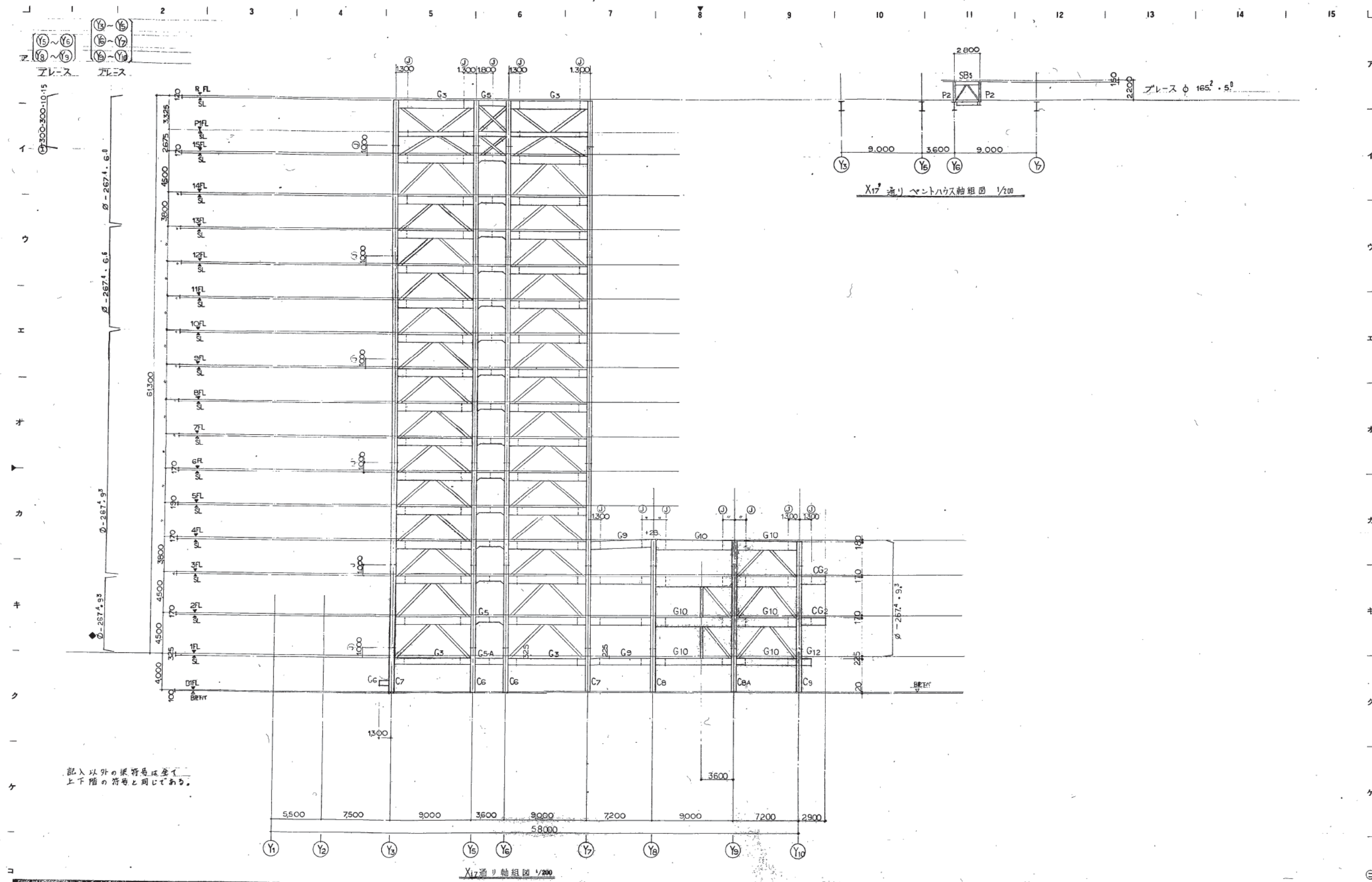
熊本市庁舎

図面内容
縮尺 1/200

X15通り軸組図

図面番号
2045
区分 建築構造図





株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工図
8/1/2015

訂正
特記

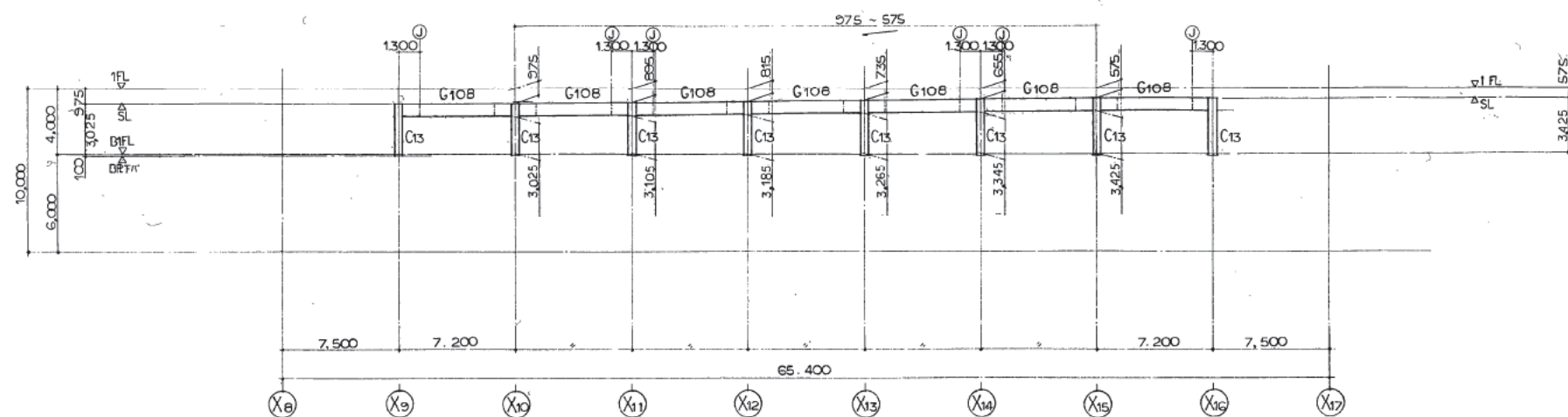
熊本市庁舎

図面内容
縮尺

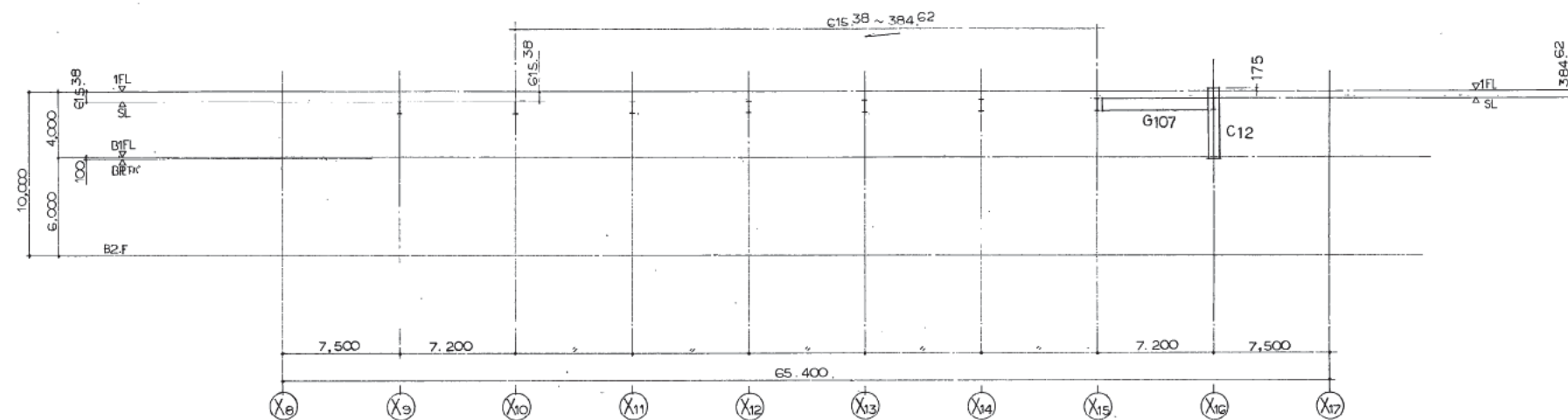
X17 通り 軸組図

1/200

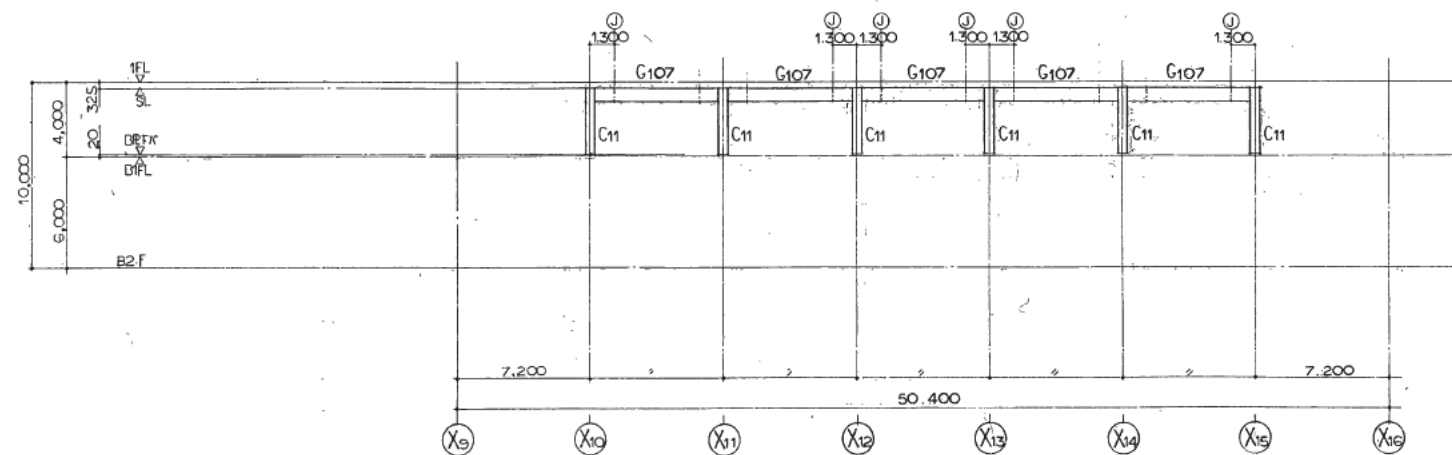
図面番号
2047
区分
建築構造図



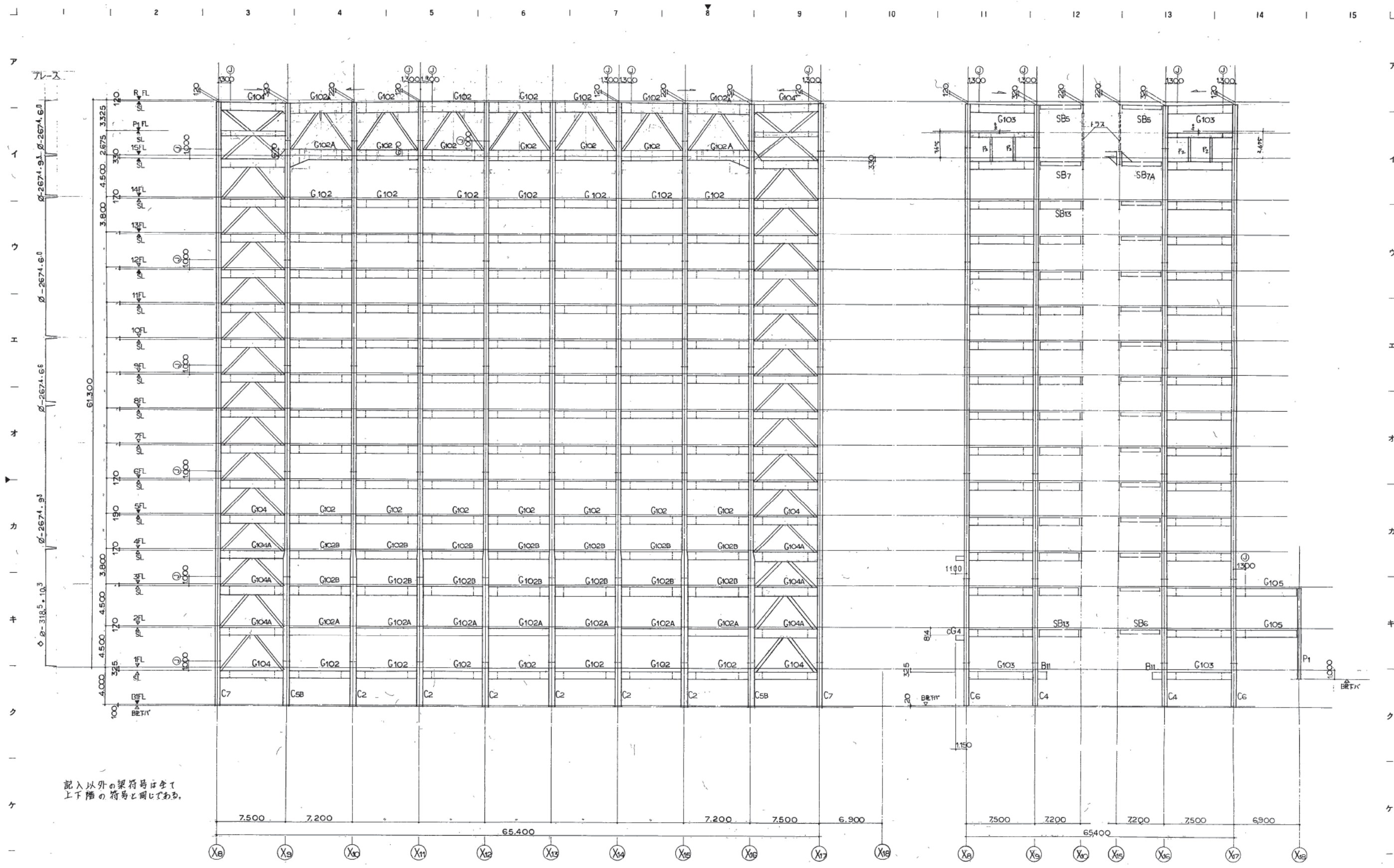
Y1 通り軸組図 1/200



Y2 通り軸組図 1/200



Y4 通り軸組図 1/200



Y3 通り軸組図 1/200

Y5 通り軸組図 1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

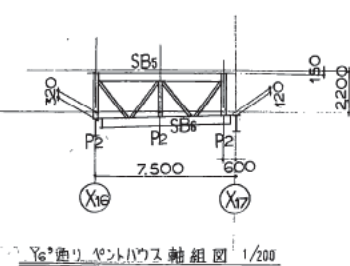
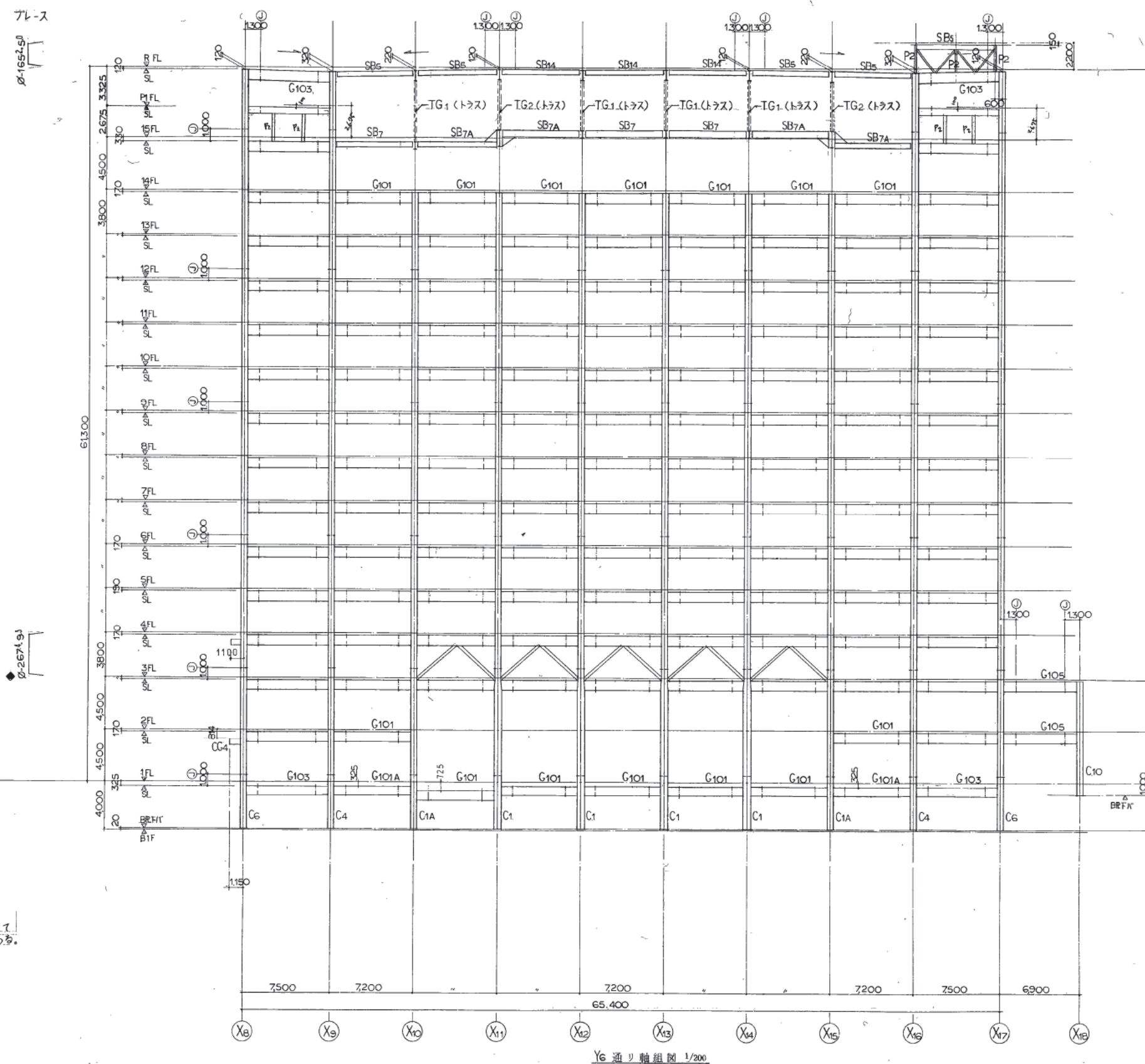
設計者
監理者
構造設計
建築士
2019.10.10

訂正
配管

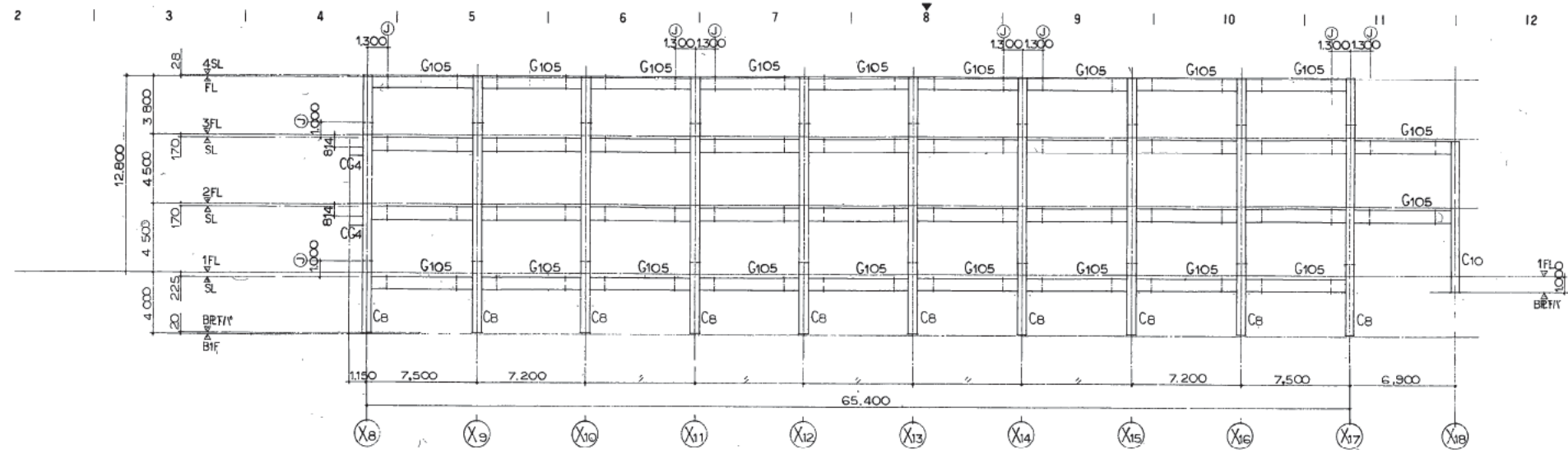
熊本市庁舎

図面内容
Y3.5 通り軸組図
1/200

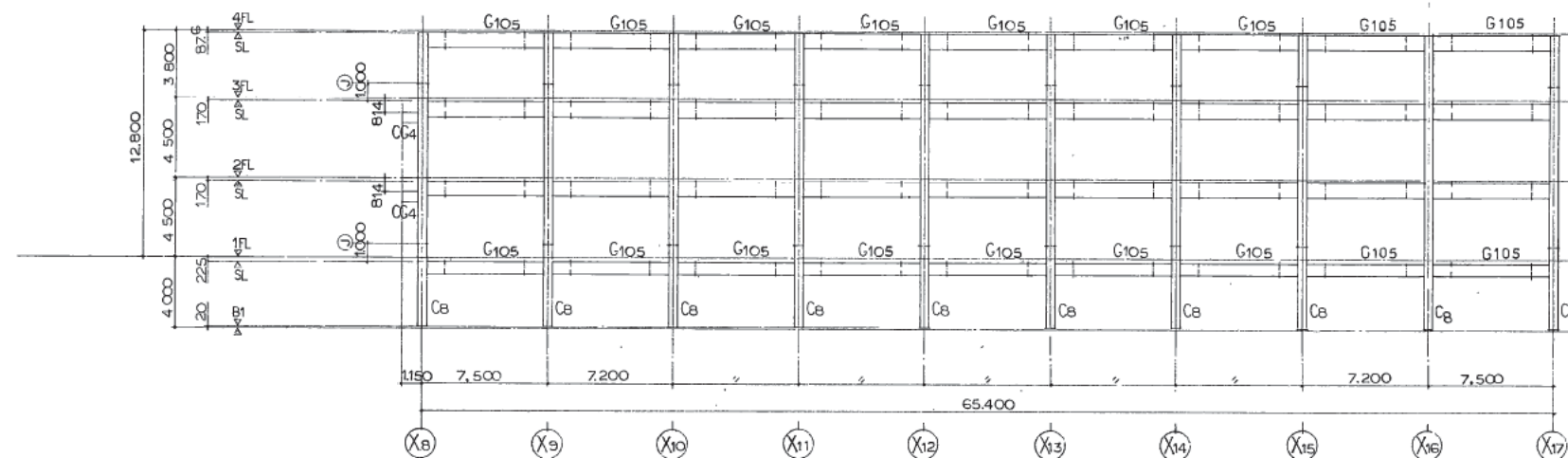
図面番号
2049
枚数
1/200
区分
建築構造図



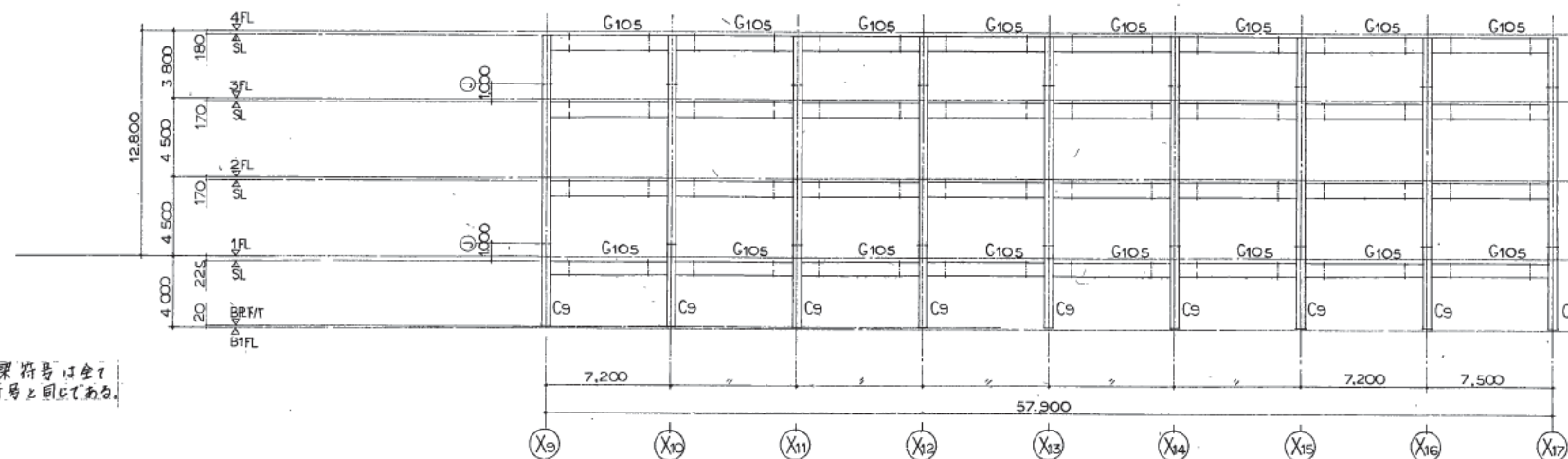
記入以外の渠符号は全て
上下階の符号と同じである。



Y8 通り軸組図 1/200

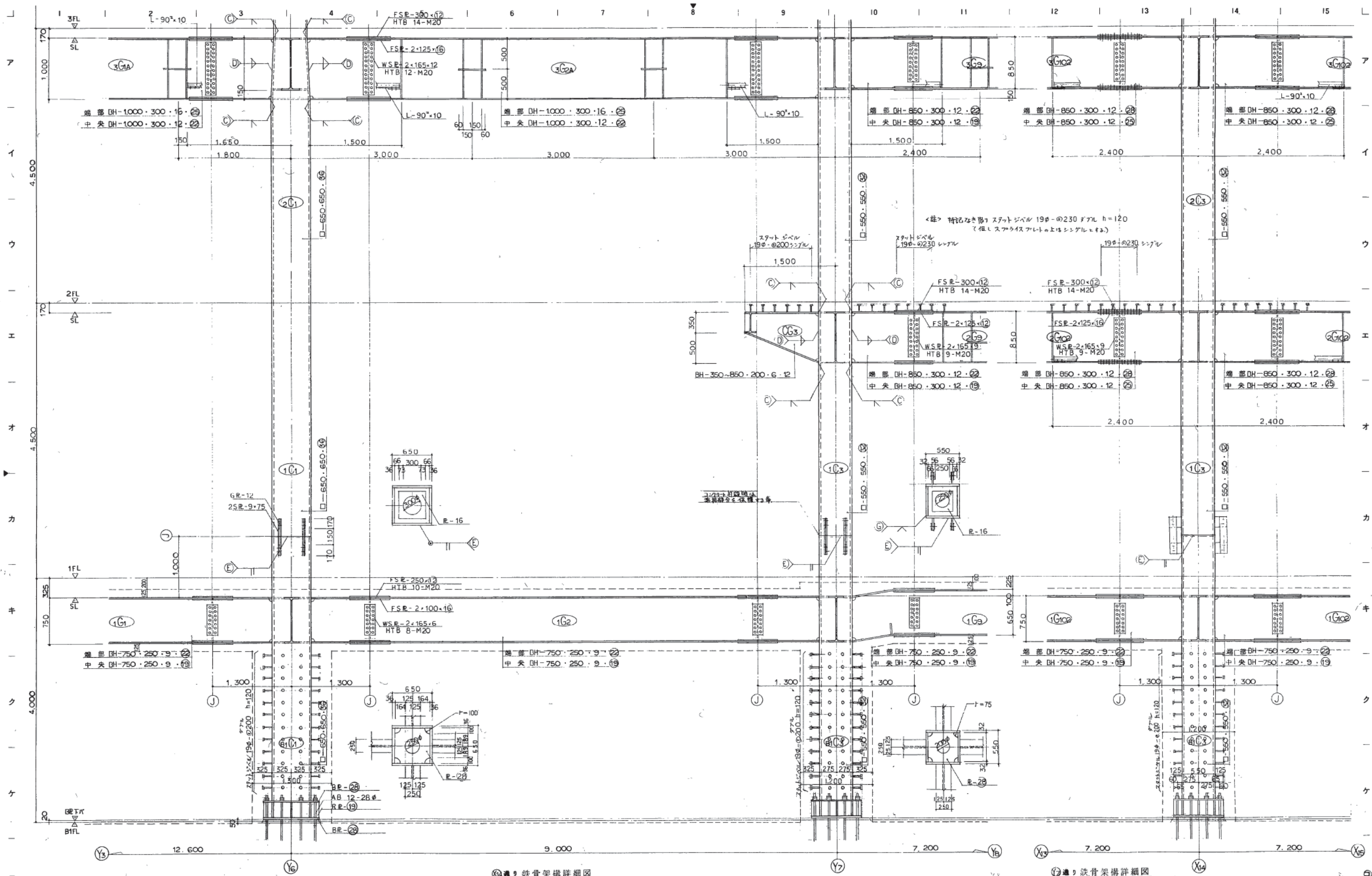


Y9 通り軸組図 1/200



Y10 通り軸組図 1/200

記入以外の梁符号は全て
上下階の符号と同一である。



⑧通り鉄骨架構詳細図

⑨通り鉄骨架構詳細図

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

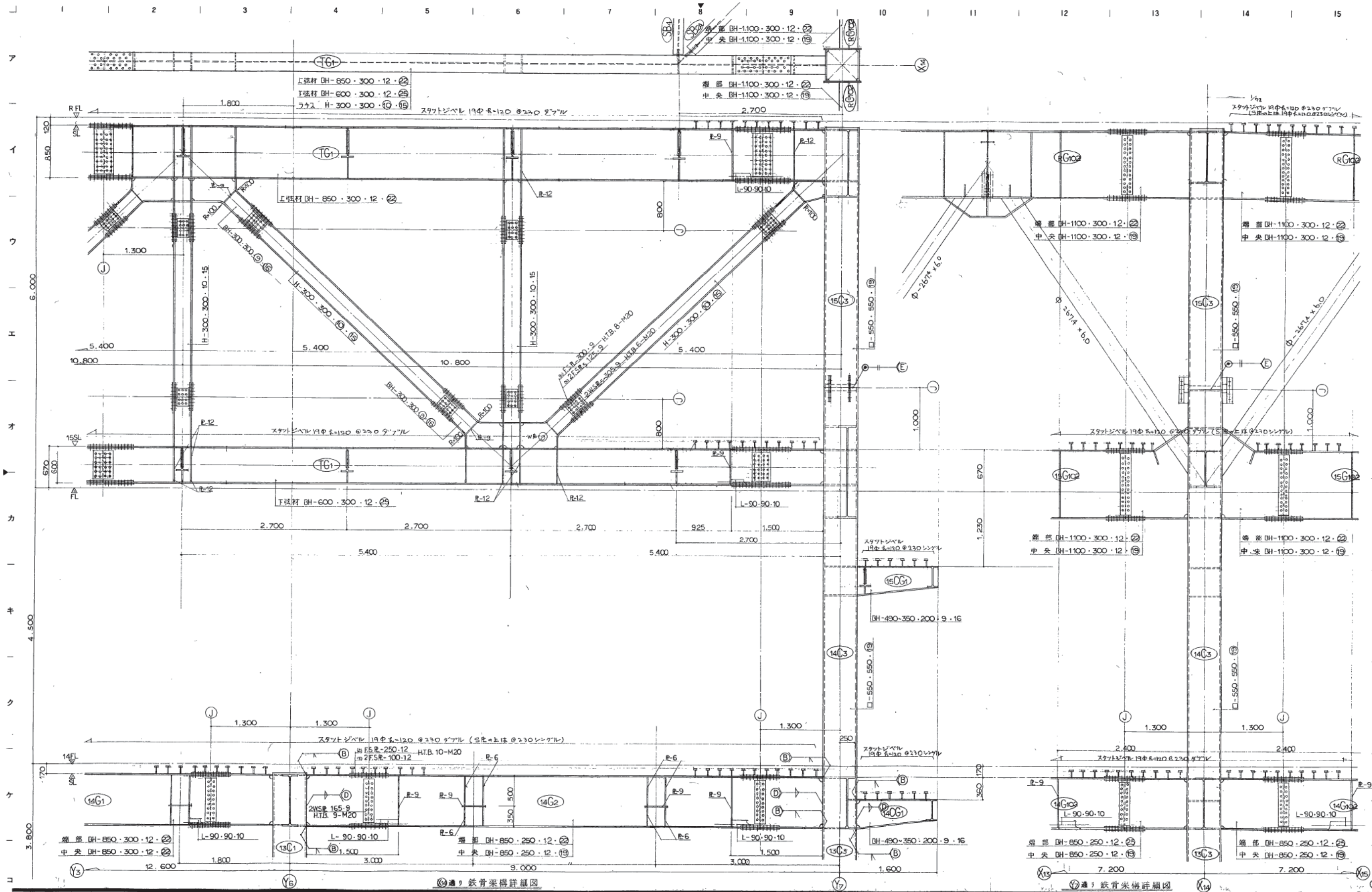
竣工図
2012.09

訂正
1. 桁骨 柱・大梁 ○印は SM50A
それ以外 SS41

熊本市庁舎

図面内容
⑧・⑨通り鉄骨架構詳細図(1)
縮尺 1/30

図面番号
2055
収ノ内
区分 建築構造図



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

構図番号

竣工図

設計者

監理者

作成者

訂正

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

訂正理由

訂正箇所

訂正内容

訂正日

訂正者

熊本市庁舎

図面内容

縮尺

1/30

図面番号

2056

図面枚数

1/30

図面区分

建築構造図

図面内容

縮尺

1/30

図面番号

2056

図面枚数

1/30

図面区分

建築構造図

図面内容

縮尺

1/30

図面番号

2056

図面枚数

1/30

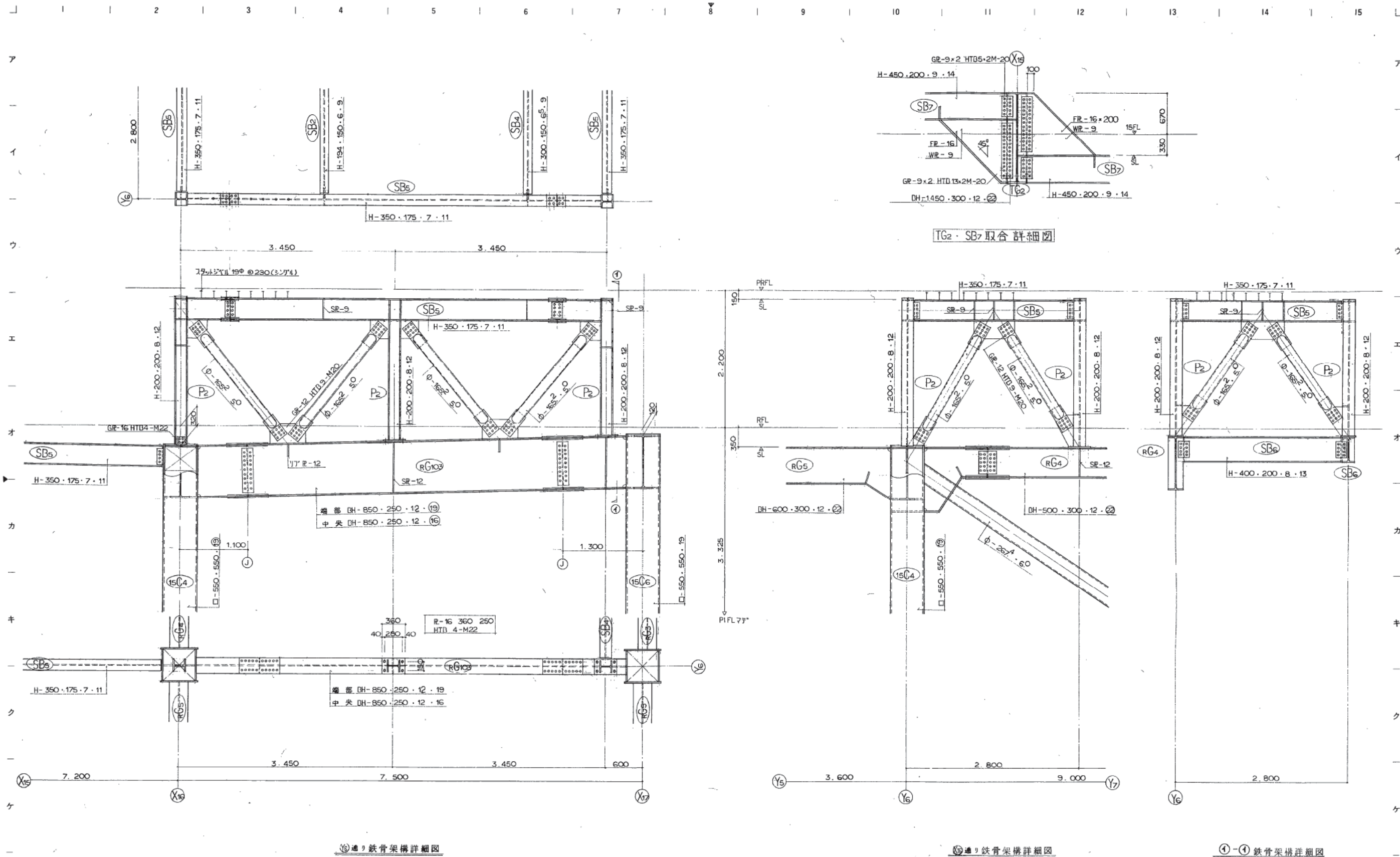
図面区分

建築構造図

図面内容

縮尺

1/30



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
保管
承認
作成

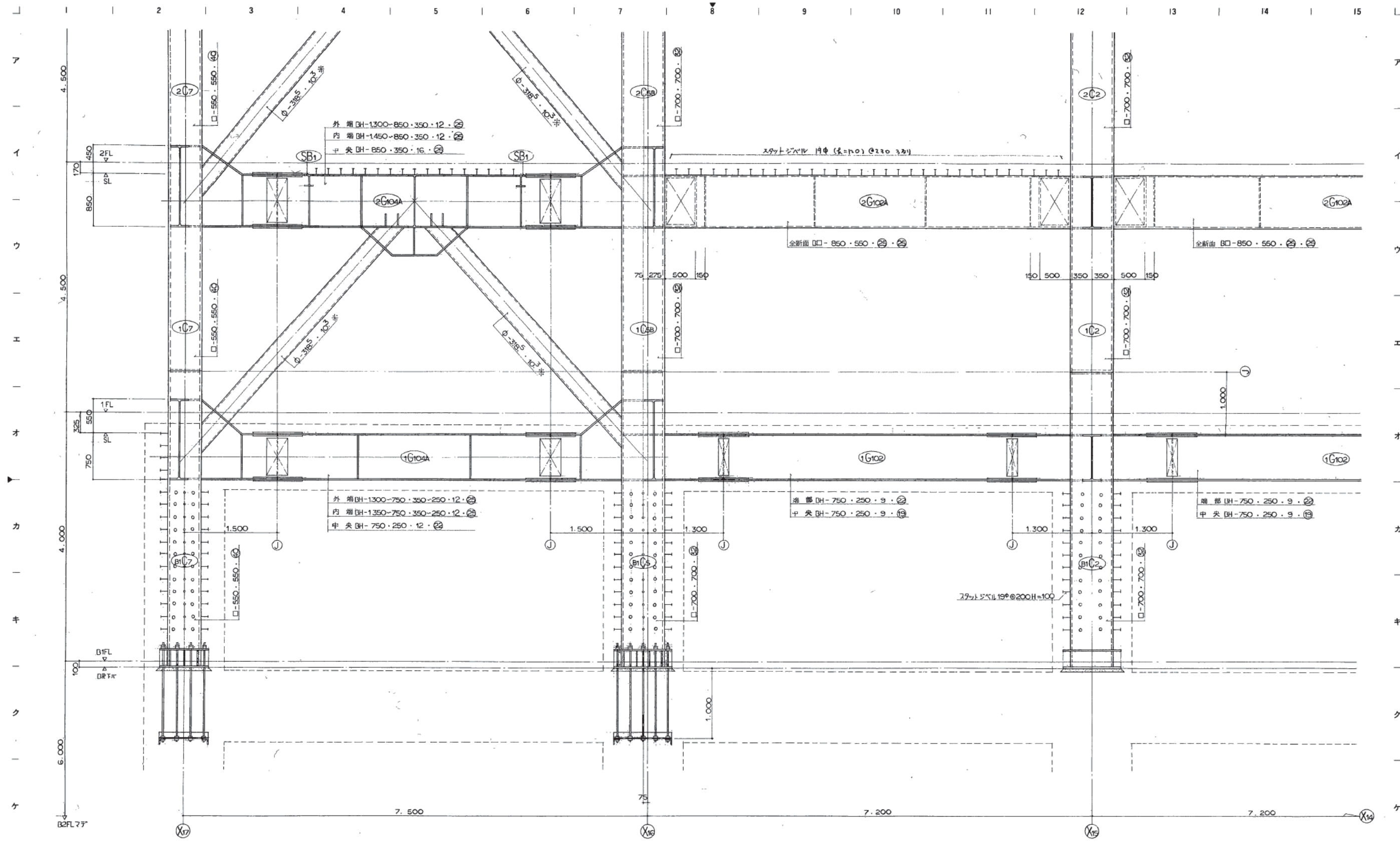
訂正
21/10/10

特記 1. 材質 鋼材 大梁
○印は SM50A
△印は SS41
△印は STR41

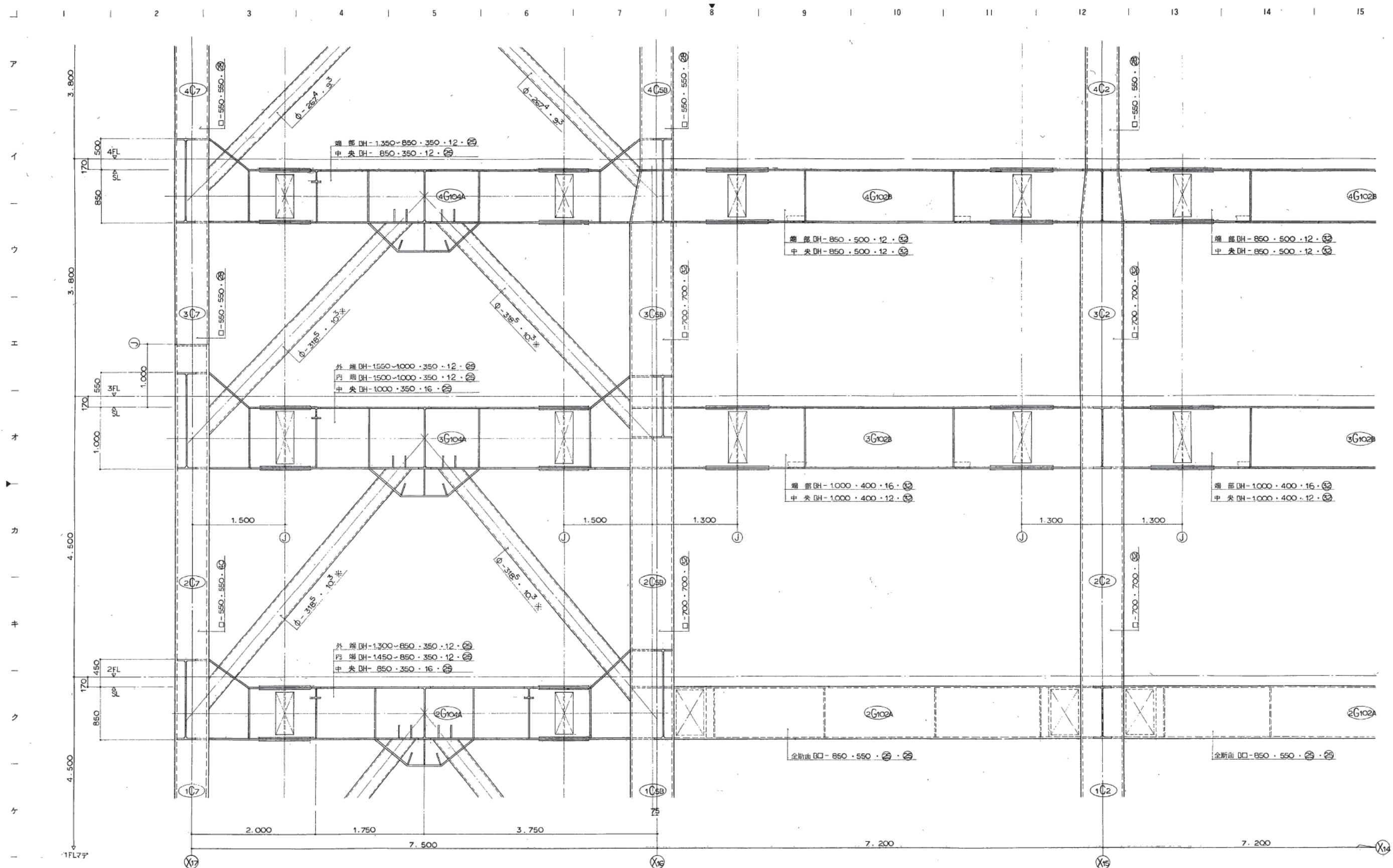
熊本市庁舎

図面内容
PH
⑤ 通り鉄骨架構詳細図
縮尺 1/30

図面番号
2058
枚ノ内
区分 建築構造図



⑨通り 鉄骨架構詳細図



⑬ 3F 鉄骨架構詳細図

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計
8/10/20

校訂
8/10/20

訂正

材料

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

材種

柱・梁

熊本市庁舎

図面内容

⑬ 3F 鉄骨架構詳細図 (2)

縮尺

1/30

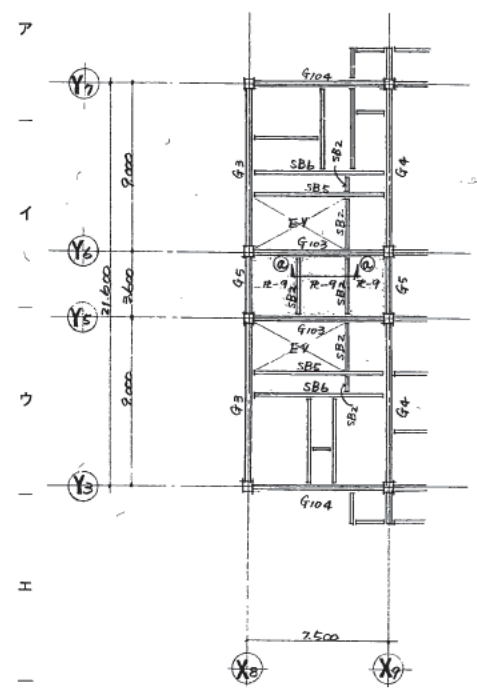
図面番号

2060

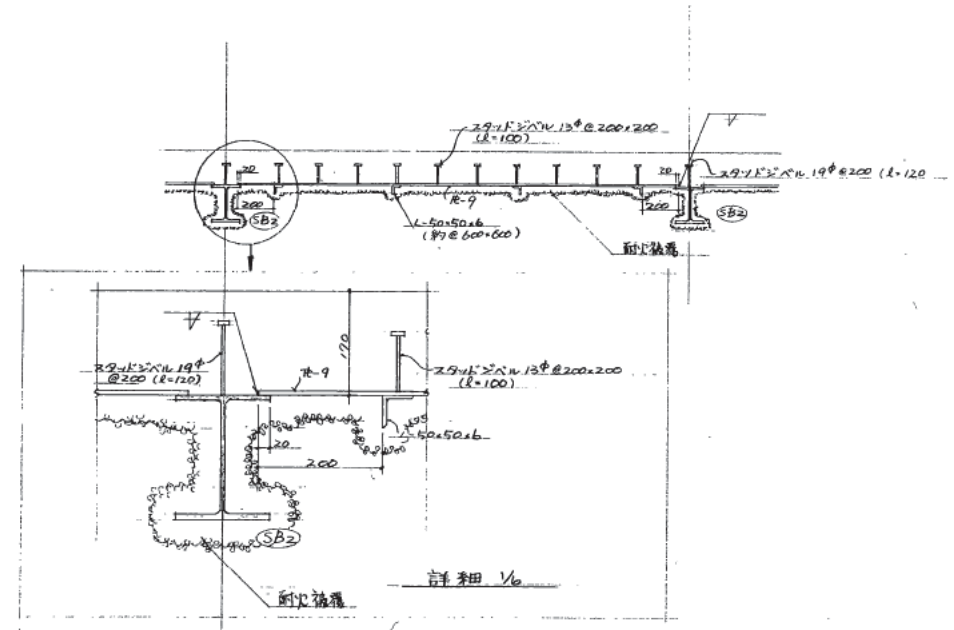
区分

建築構造図

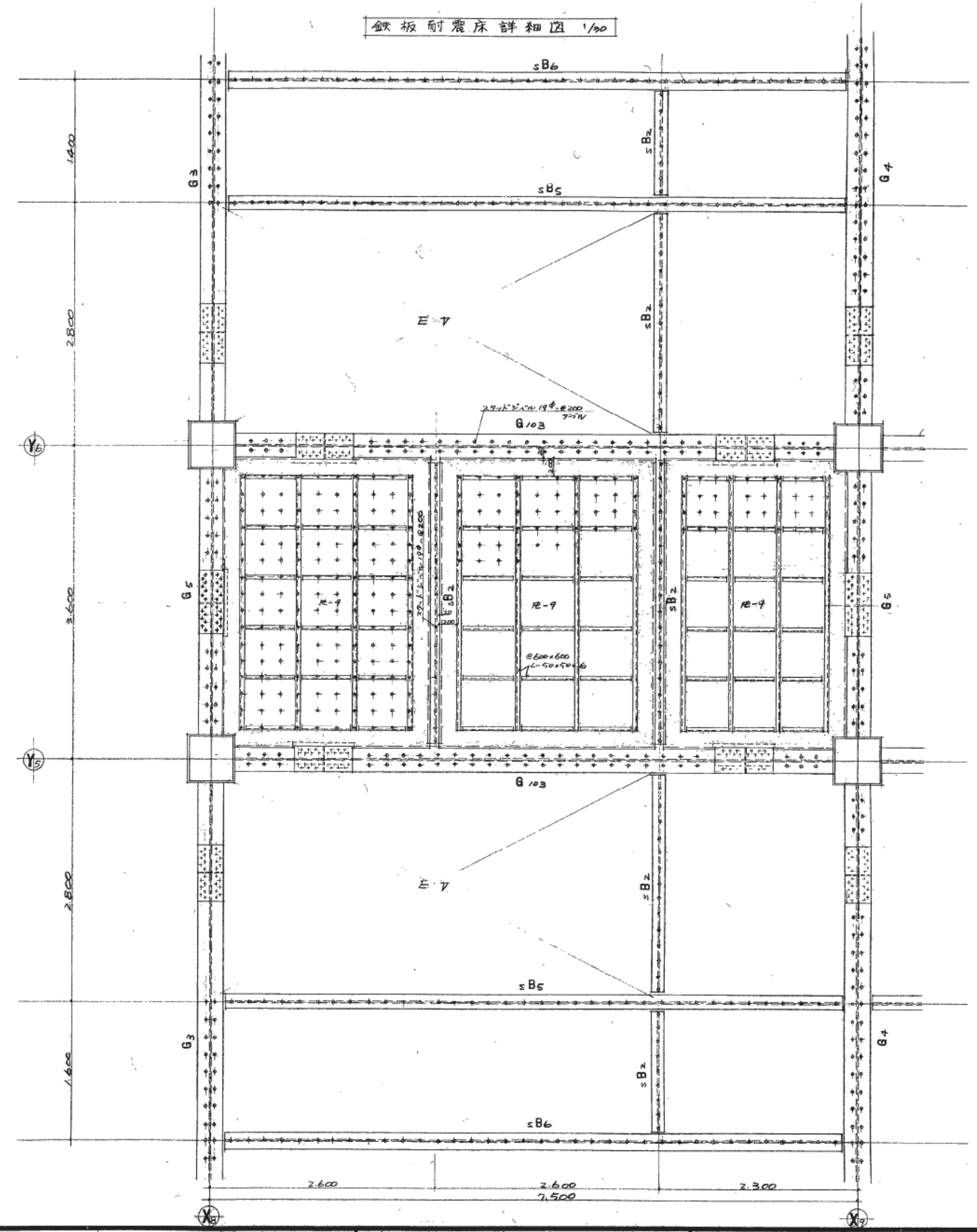
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



KEY PLAN 1/200



断面図 1/20



鉄板耐震床詳細図 1/90

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

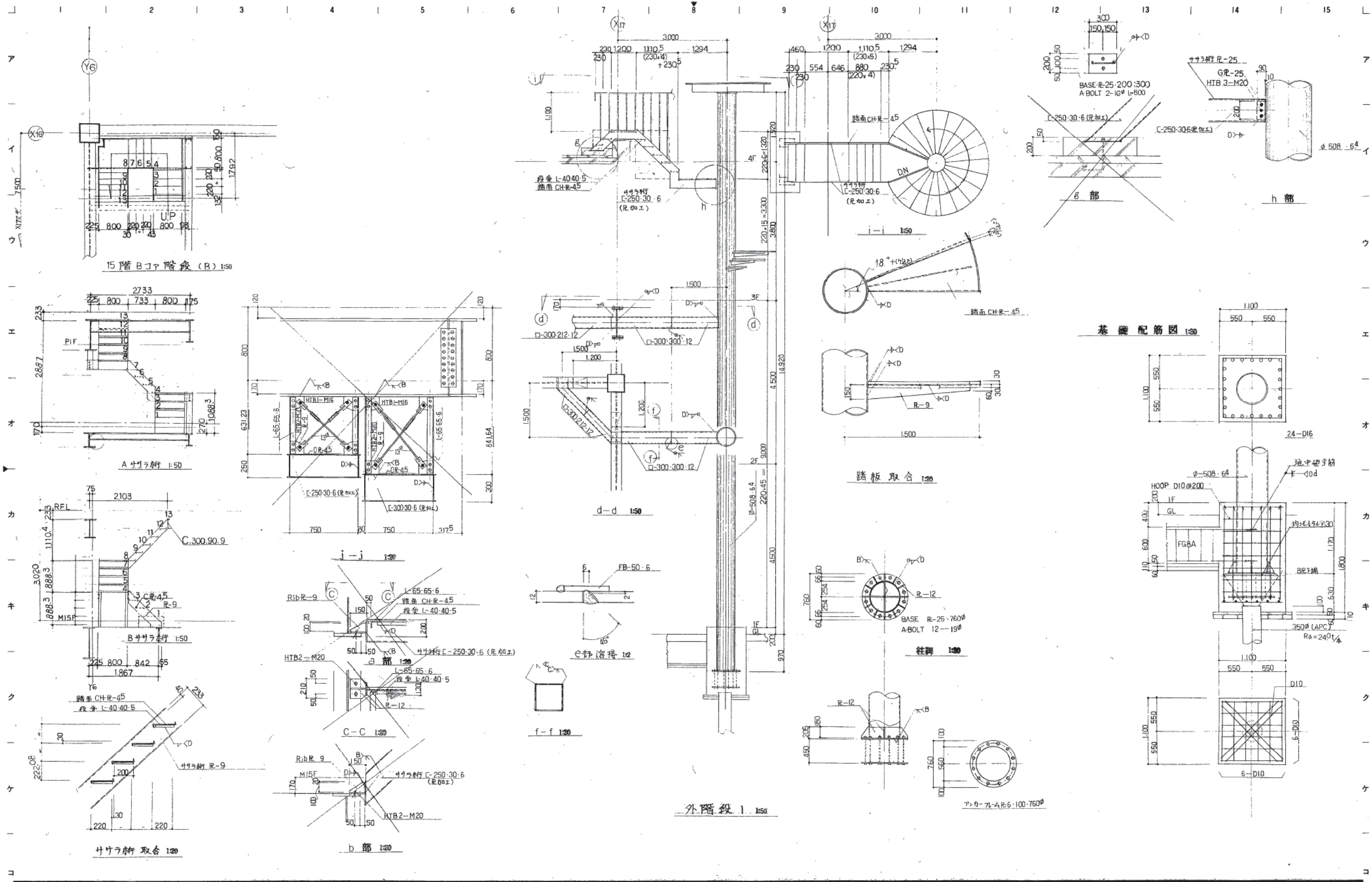
竣工図
保管承認
確認作成
2010.10.10

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
鉄板耐震床詳細図
図面番号
2062
収ノ内
区分
建築構造図

図面番号
2062
収ノ内
区分
建築構造図



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

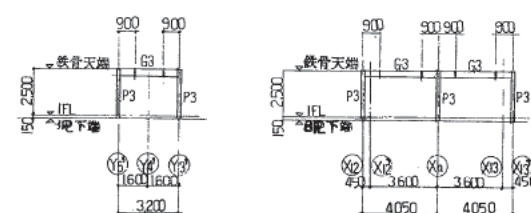
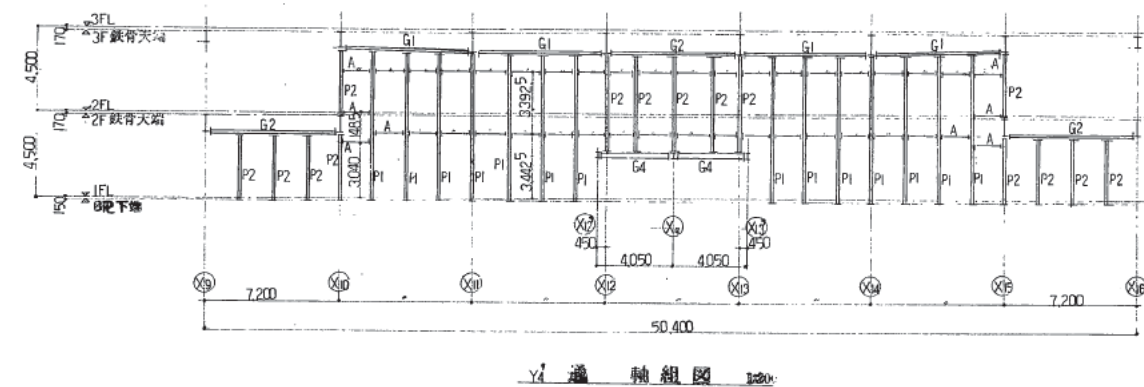
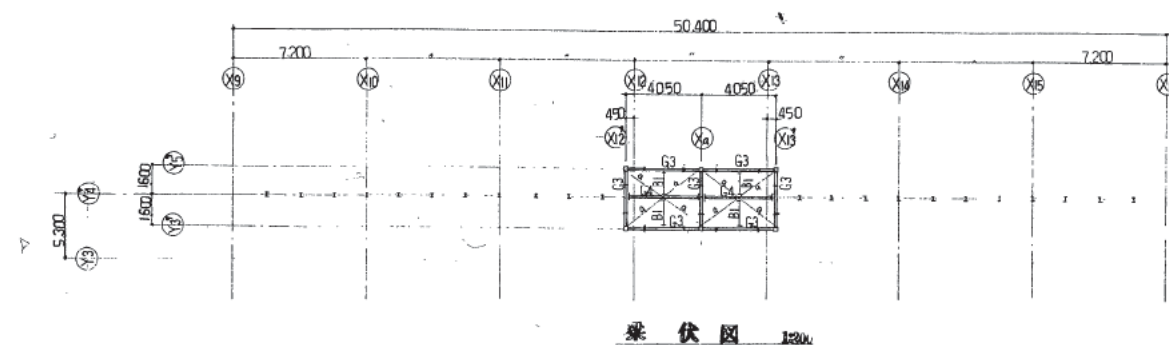
施工図
21019

訂正
特記

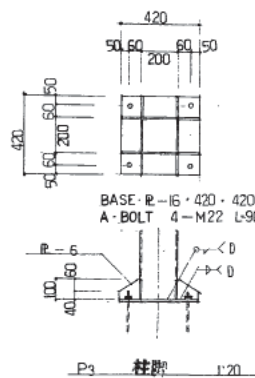
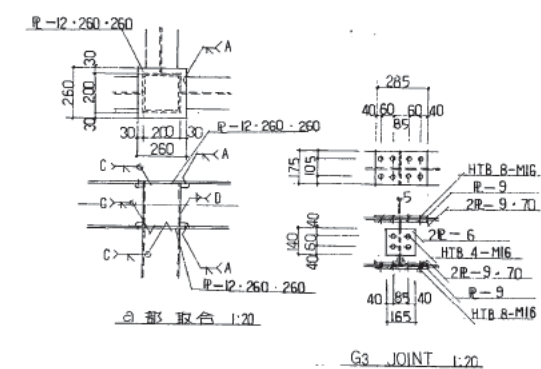
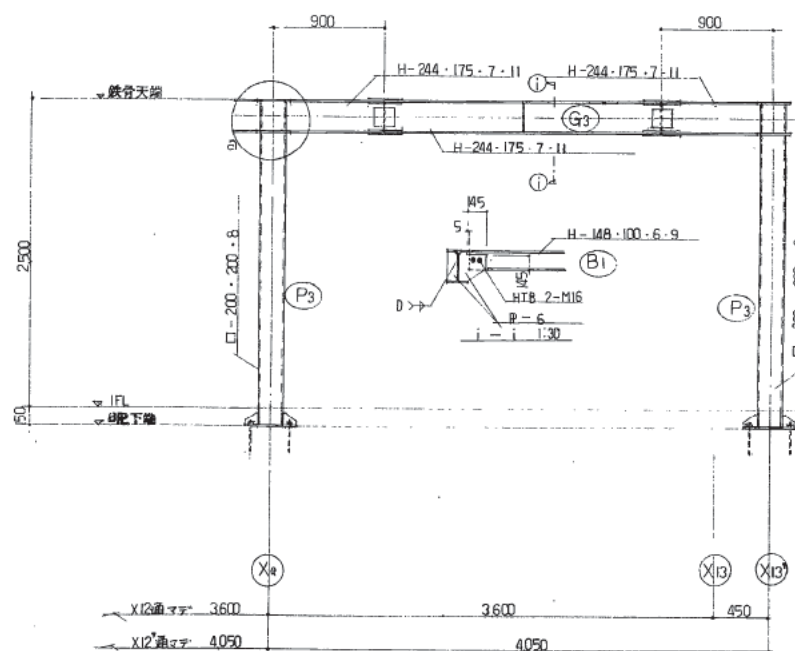
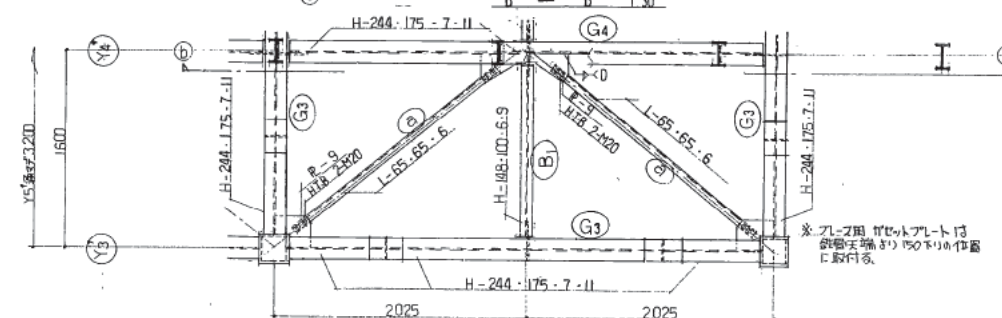
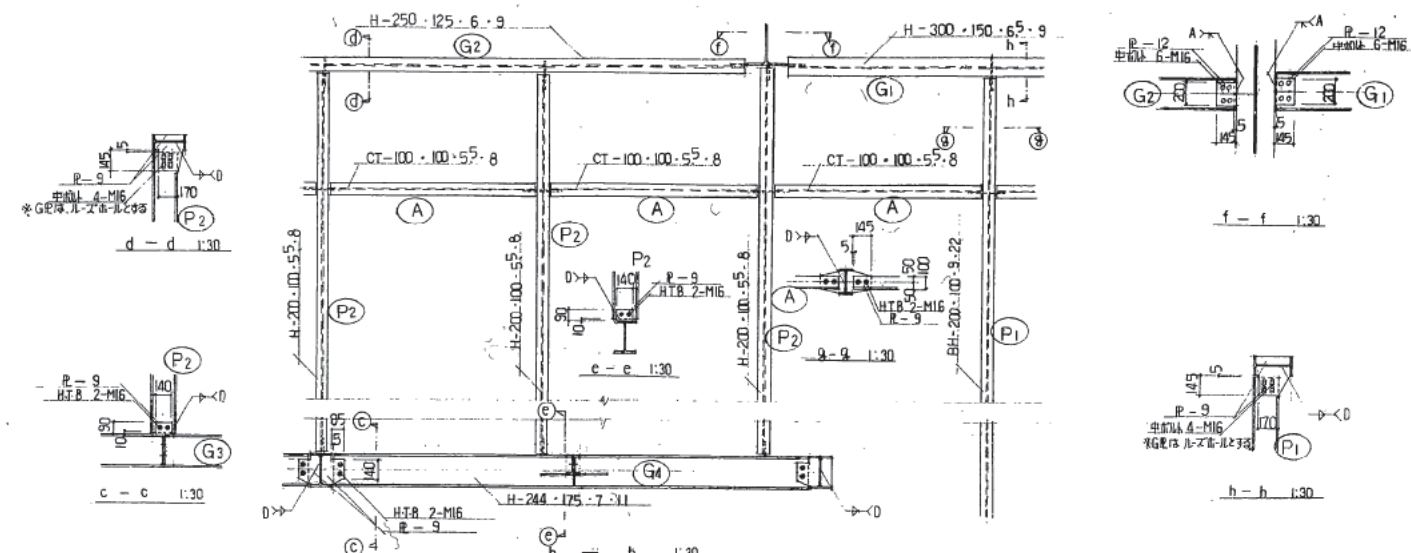
熊本市庁舎

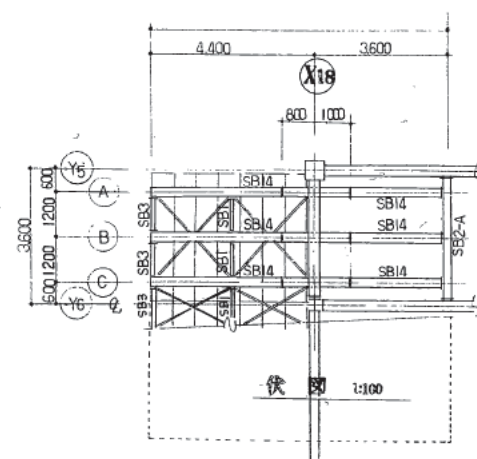
図面内容
階段詳細図 (3)
縮尺

図番
2066
枚ノ内
1
区分
建築構造図

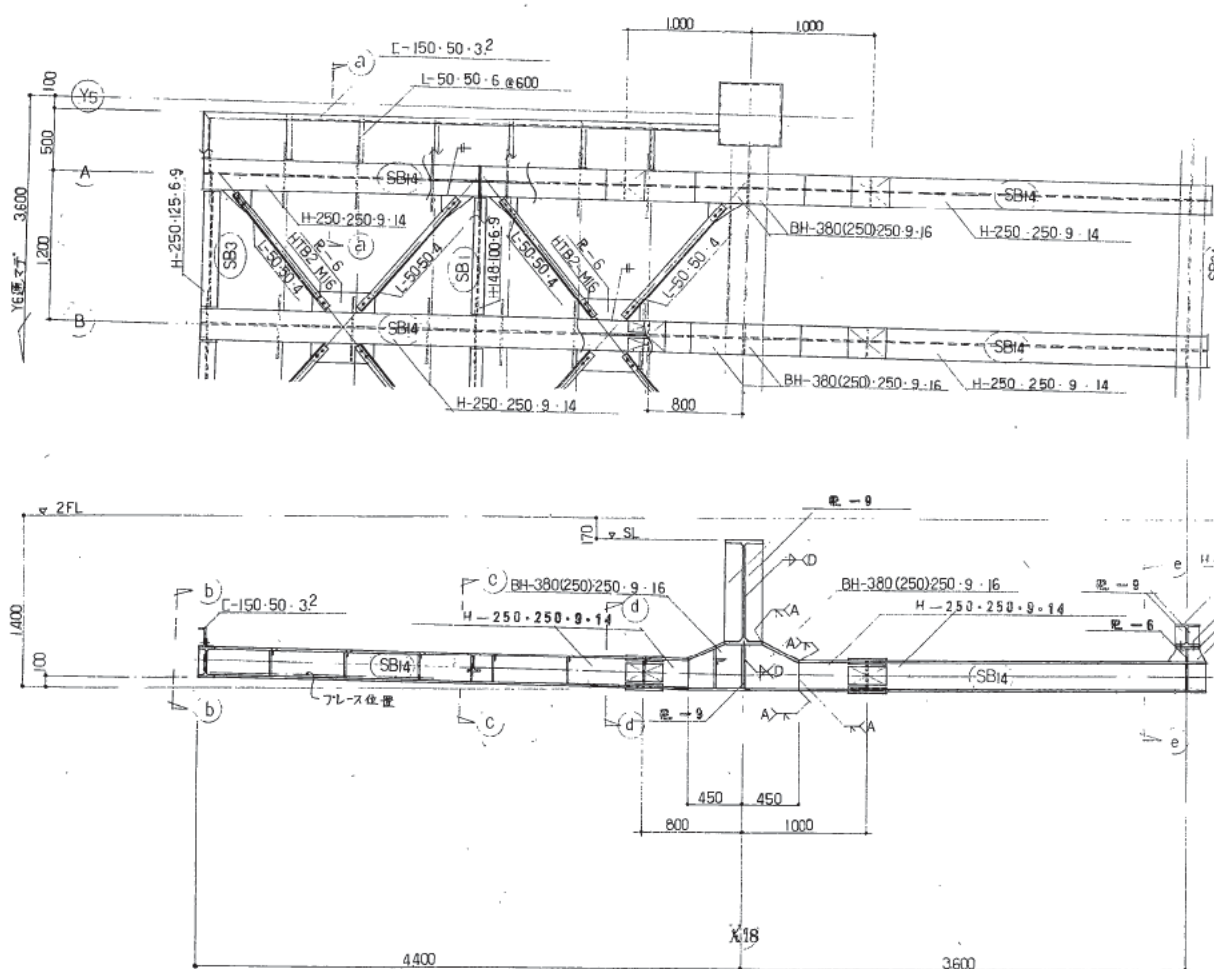


部 材 リ ス ト		
記 号	部 材	備考
P1	BH - 200・100・9・22	柱
P2	H - 200・100・55・8	、
P3	□ - 200・200・8 (BOX)	、
G1	H - 300・150・65・9	梁
G2	H - 250・125・6・9	、
G3	H - 244・175・7・11	、
G4	H - 244・175・7・11	、
B1	H - 146・100・6・9	ツギキ 梁
A	CT - 100・100・55・8	ツギキ 材
a	L - 65・65・6	木平プレス

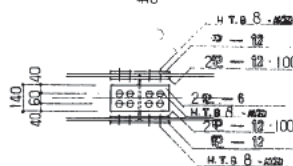
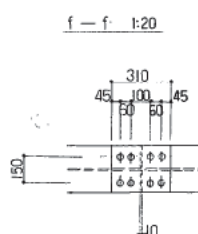
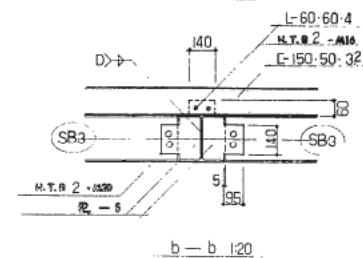
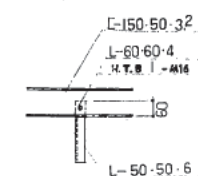
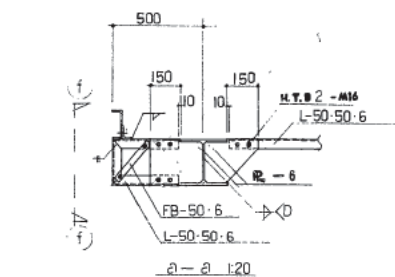




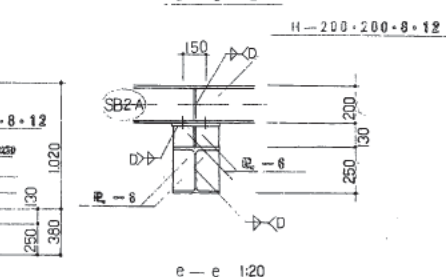
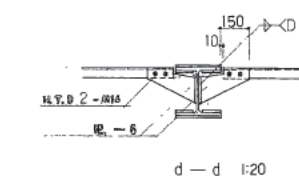
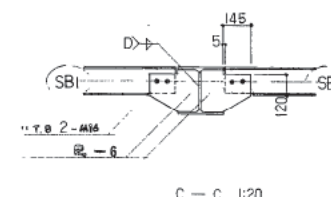
部 材 リ ス ト		
記 号	部 材	備 考
SB1	H-148・100・6・9	
SB2-A	H-200・200・8・12	
SB3	H-250・125・8・8	
SB14	端 部 BH-380(250)250・9・16 中 央 H-250・250・9・14	詳細図参照
水平プレス	L-50・50・4	
モヤ	L-50・50・8	φ600
泉陸シ	Γ-150・50・3.2	
ヤネ床	R-23	

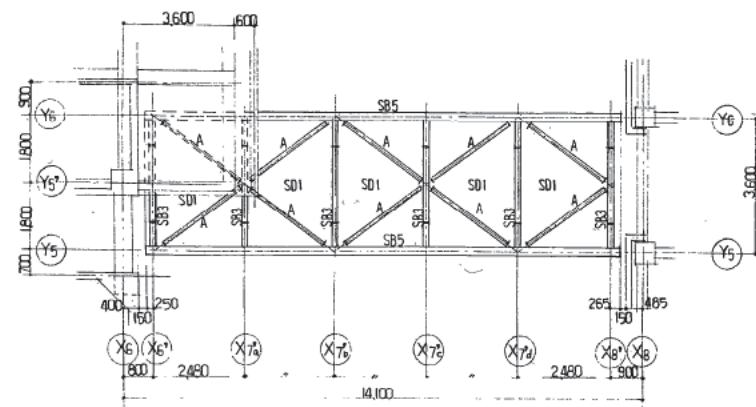


B通鉄骨詳細図 1:200

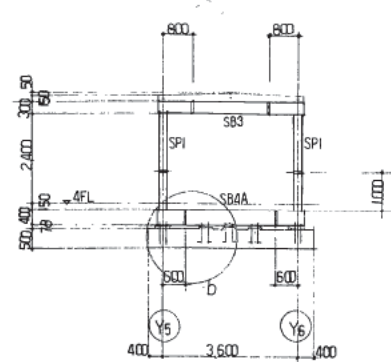


SB14 JOINT 1:20

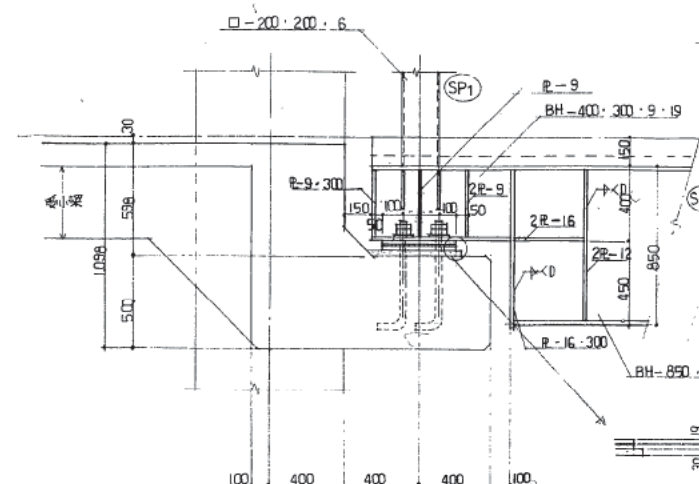




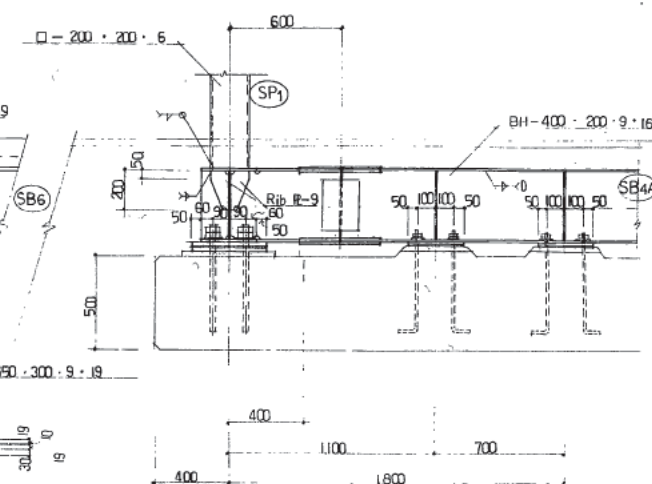
5階伏図 1:100



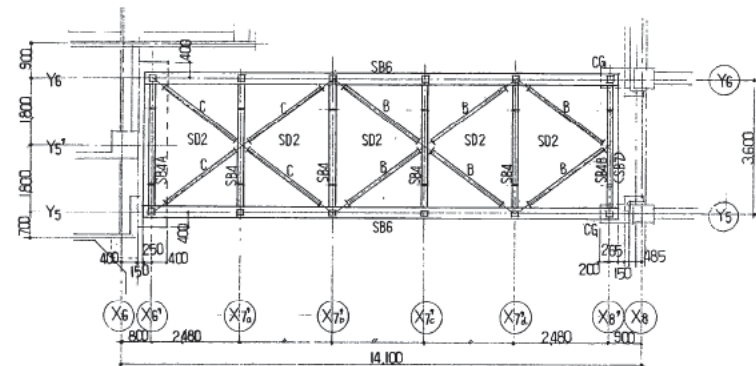
X6'通軸組図 1:100



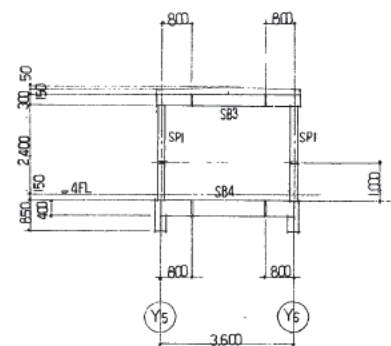
a部詳細 1:20



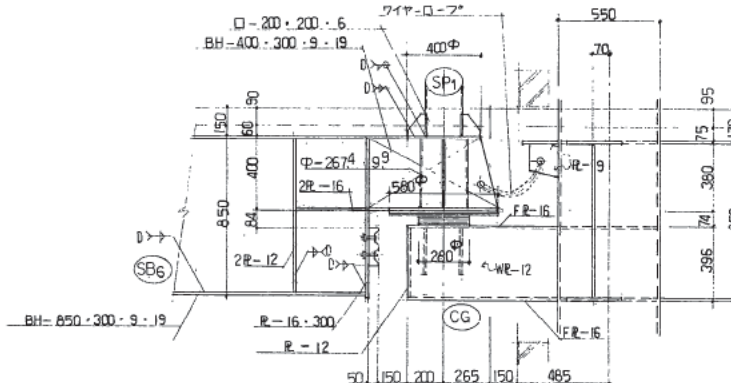
b部詳細 1:20



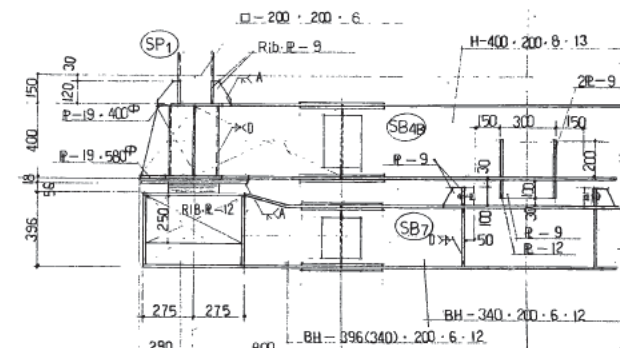
4階伏図 1:100



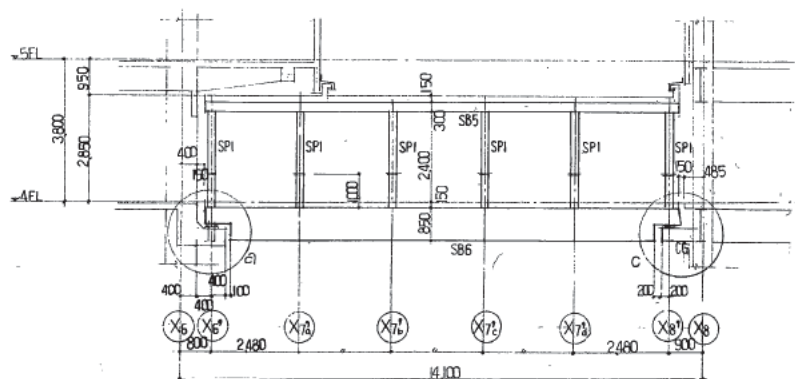
X7'-X7'通軸組図 1:100



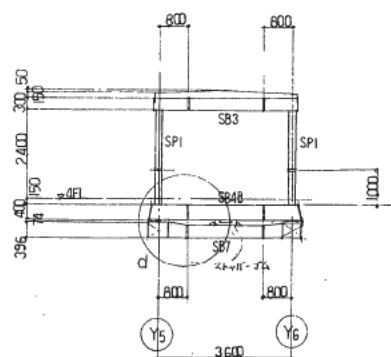
c部詳細 1:20



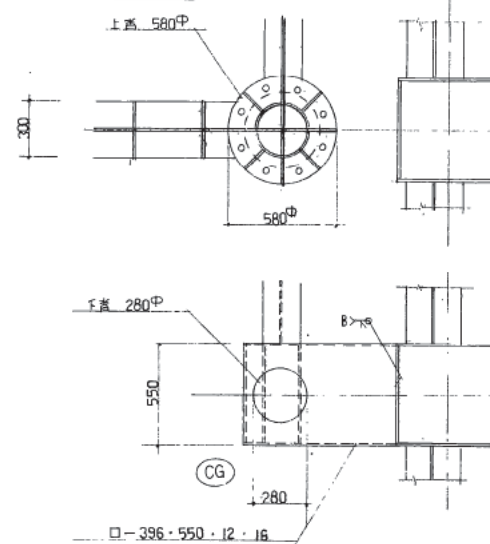
d部詳細 1:20



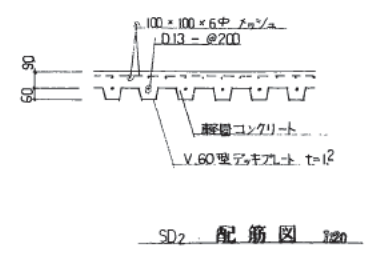
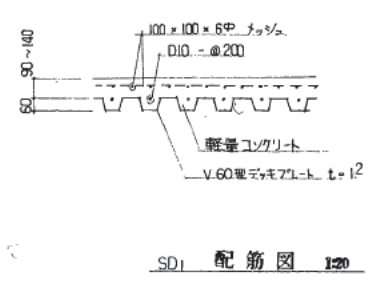
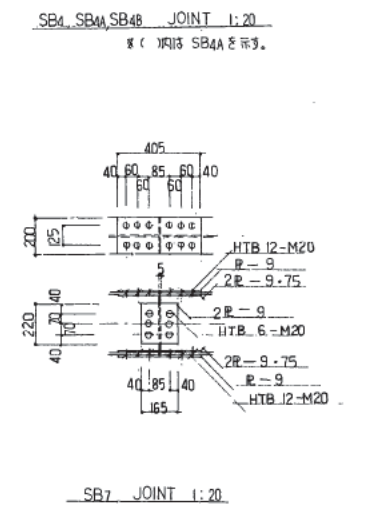
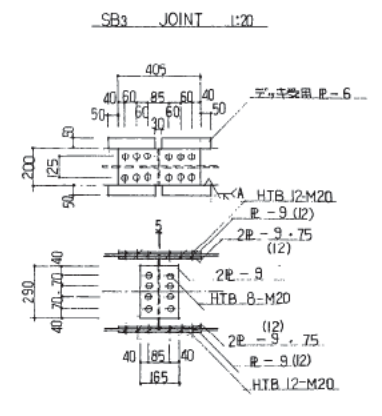
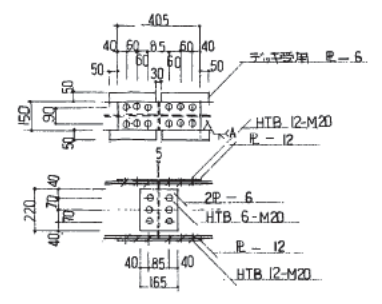
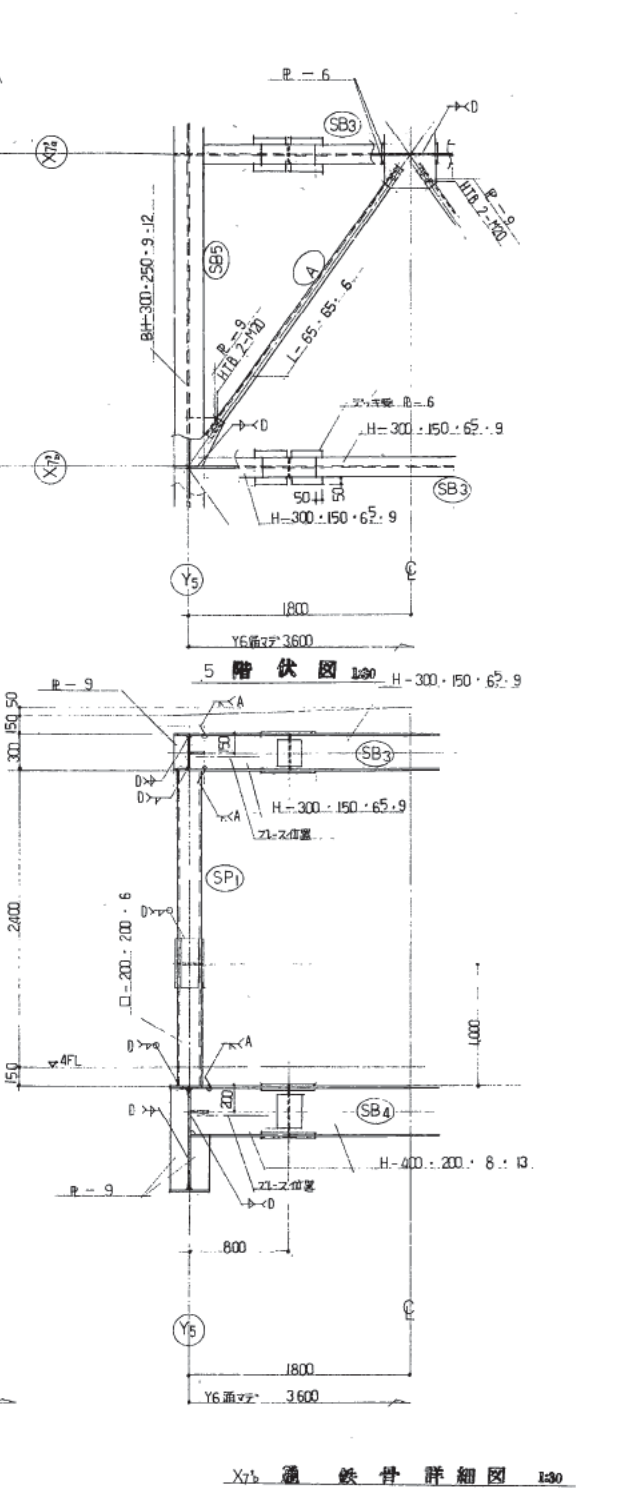
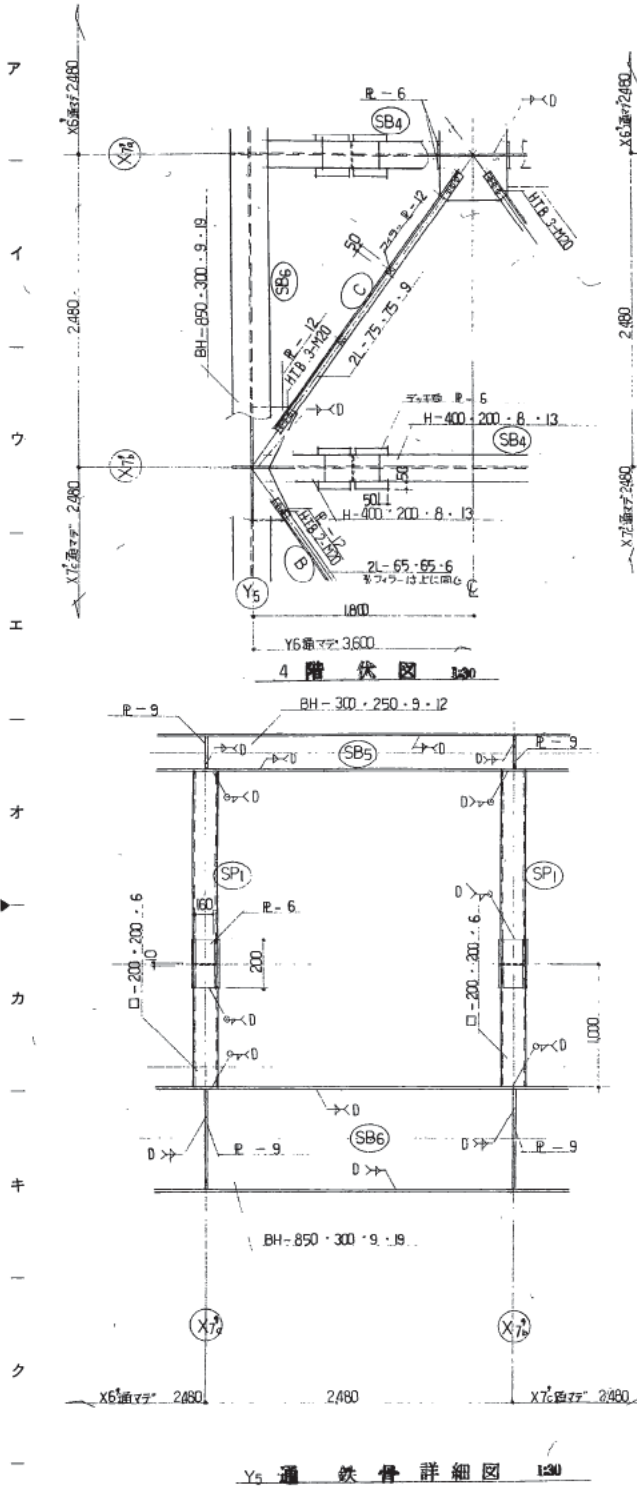
Y5, Y6通軸組図 1:100

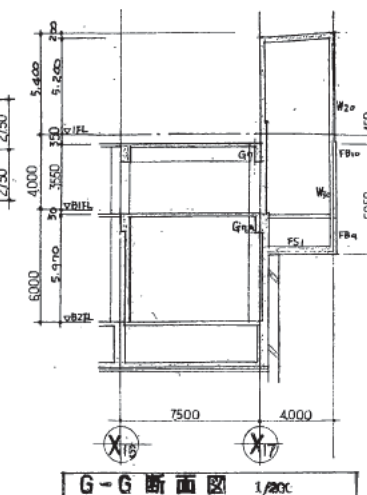
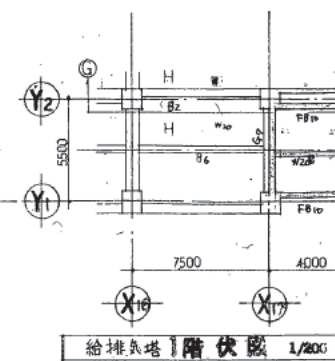
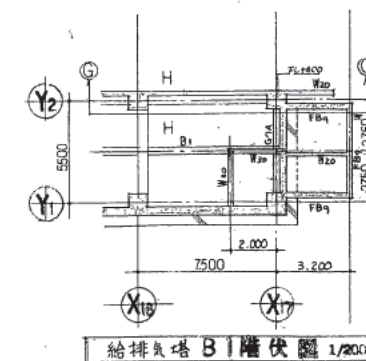
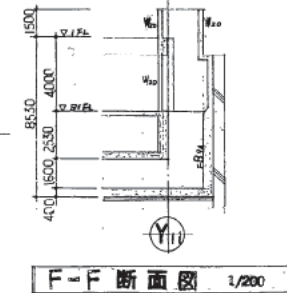
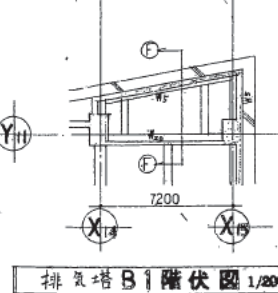
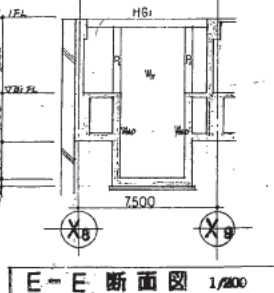
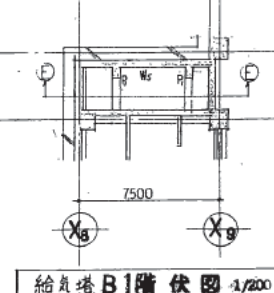
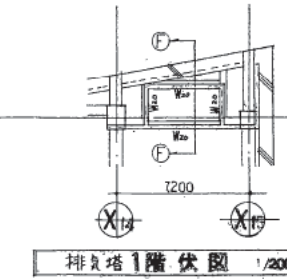
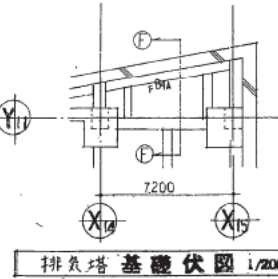
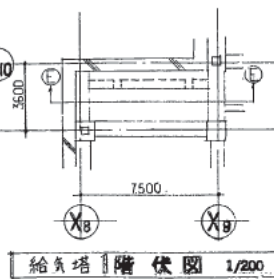
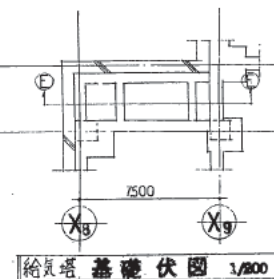
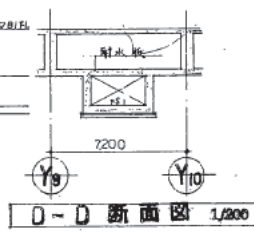
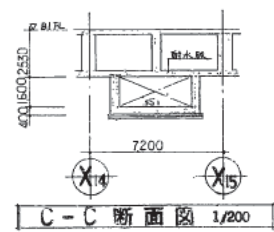
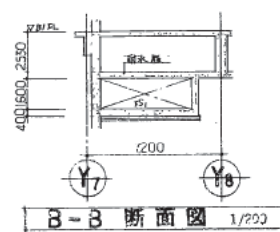
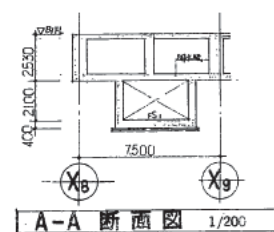
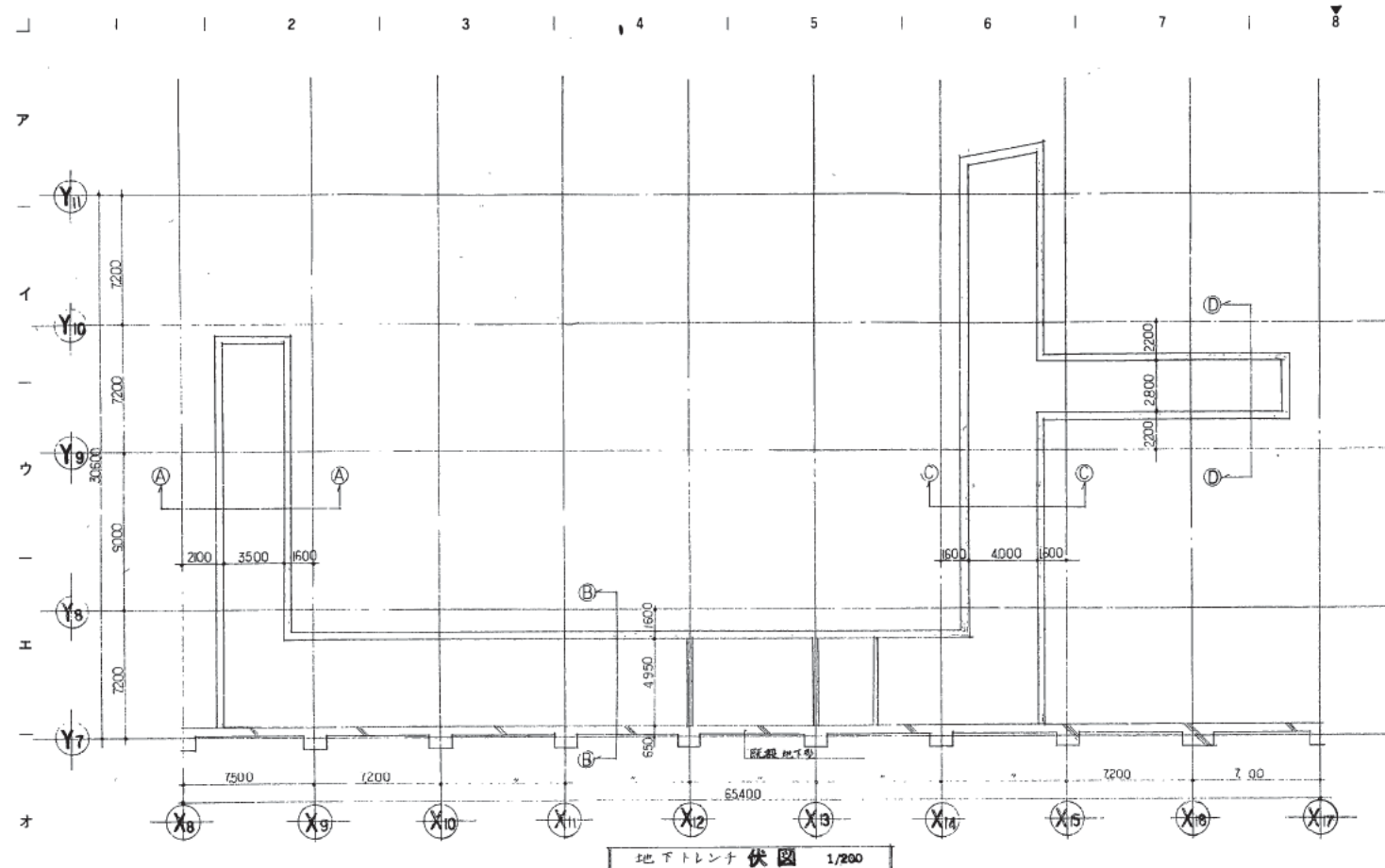


X8'通軸組図 1:100

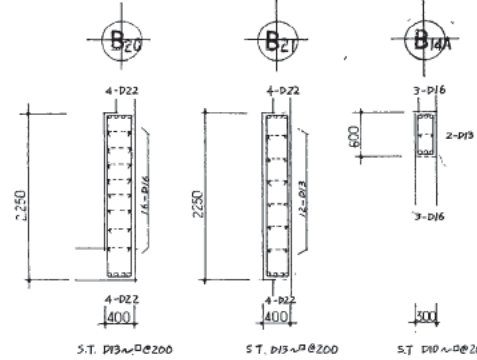
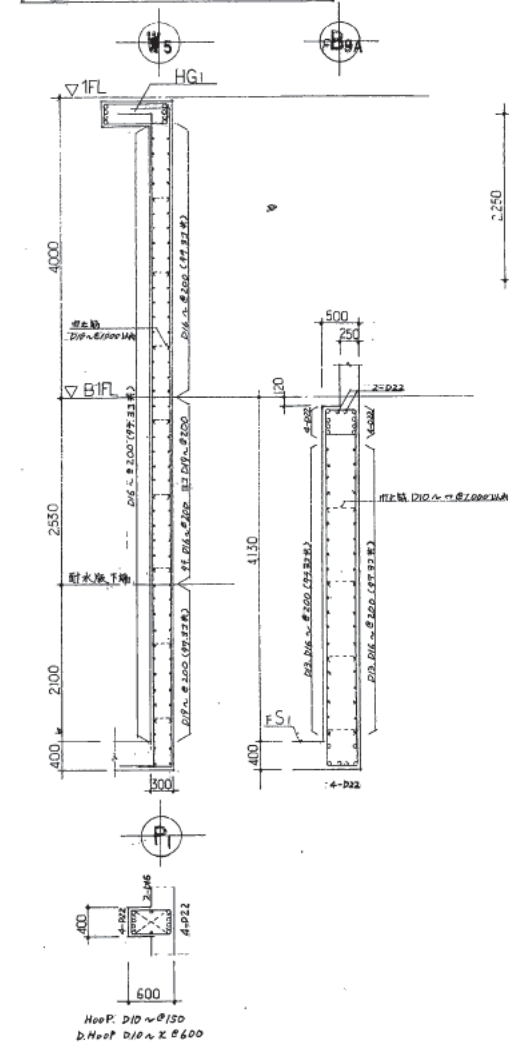


部 材 リ ス ト		
記 号	部 材	備 考
SP1	□-200・200・6	柱
SB3	H-300・150・65・9	梁
SB4	H-400・200・8・13	梁
SB4A	BH-400・200・9・16	梁
SB4B	H-400・200・8・13	梁
SB5	BH-300・250・9・12	梁
SB6	BH-400・300・9・19	梁
SB7	BH-396(340)・200・6・12	梁
CG	□-396・550・12・16	柱
A	2L-65・65・6	水平ブレース
B	2L-65・65・6	梁
C	2L-75・75・9	梁

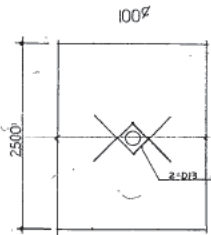
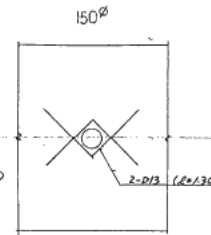
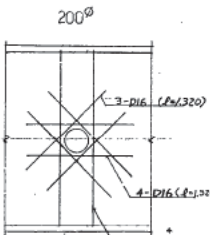
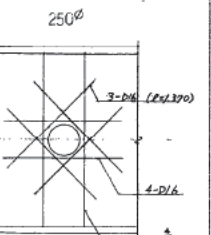
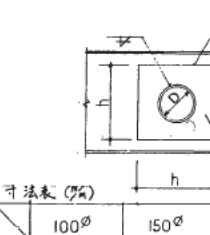
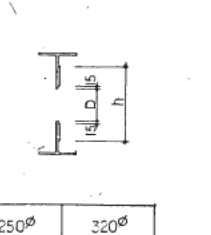
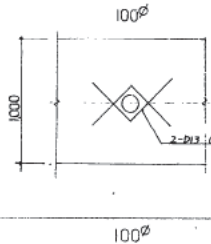
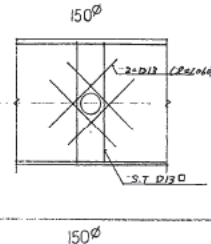
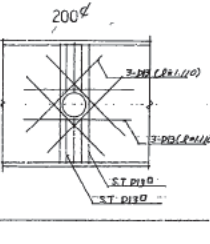
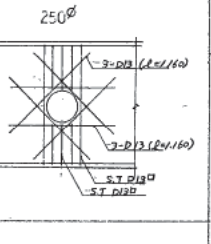
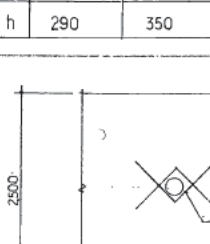
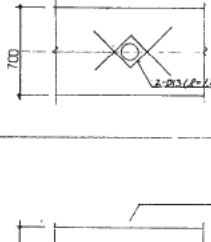
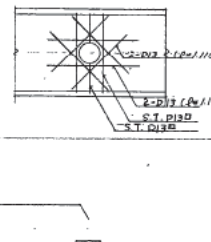
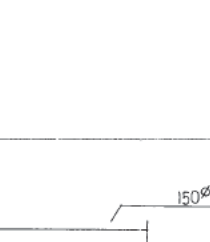
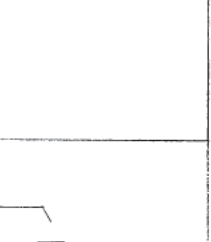
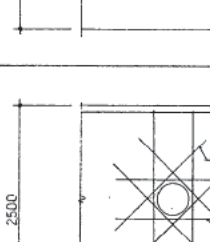
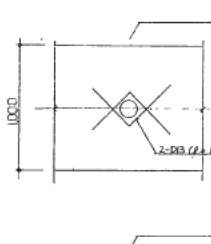
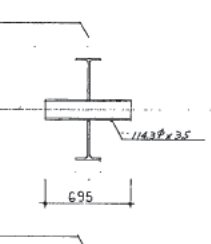
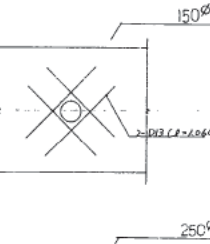
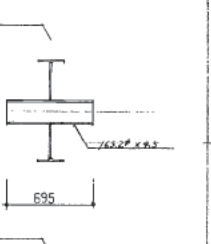
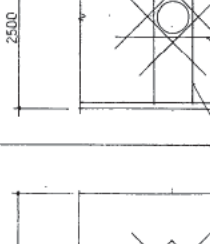
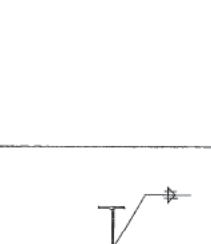
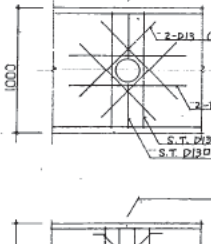
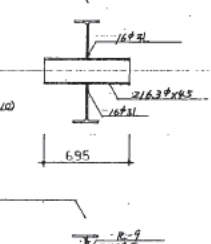
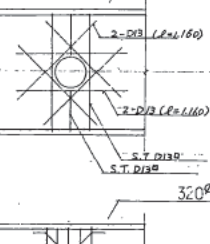
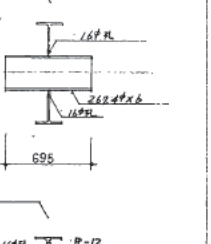
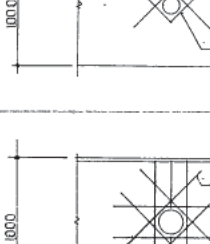
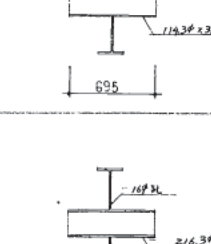
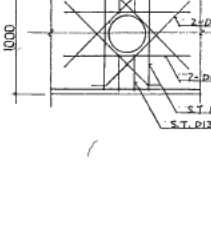
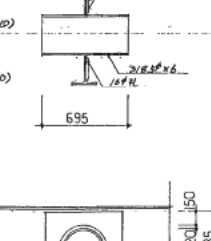
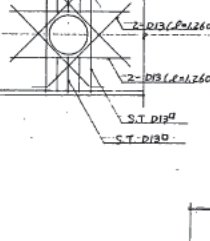
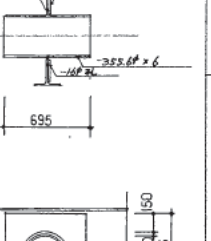
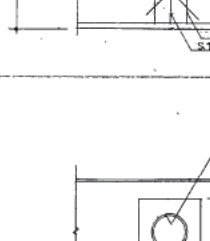
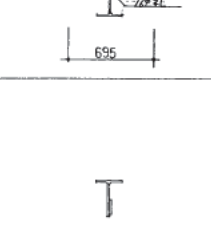




壁小梁断面表 1/50



高層棟 設備貫通孔補強要領図

躯体種別	梁寸法	呼称	個数	補強方法				躯体種別	梁寸法	呼称	個数	補強方法						
RC造	800×2500	100φ	32					S造	—	100φ	973							
		150φ	42							150φ	329							
		200φ	70							200φ	112							
		250φ	11							250φ	178							
	500×1000	100φ	77					RC造 (電気)	800×2500	100φ	10		注: RC梁のスリーブ管のみ電気工事					
		150φ	22							—	—							
		200φ	41							—	—							
		250φ	35							—	—							
		300×700	100φ	31							250φ	30						
			150φ	44							—	—						
		SRC造	700×1000	100φ	40							SRC造 (電気)		700×1000	100φ	10		
				150φ	65										—	—		
200φ	37			—	—													
250φ	46			—	—													
300φ	14			—	—													
320φ	38			—	—													
—	—		—					200φ	30									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
—	—		—					250φ	55									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									
	—		—					—	—									

熊本市庁舎

雑詳細図 (1)

2072

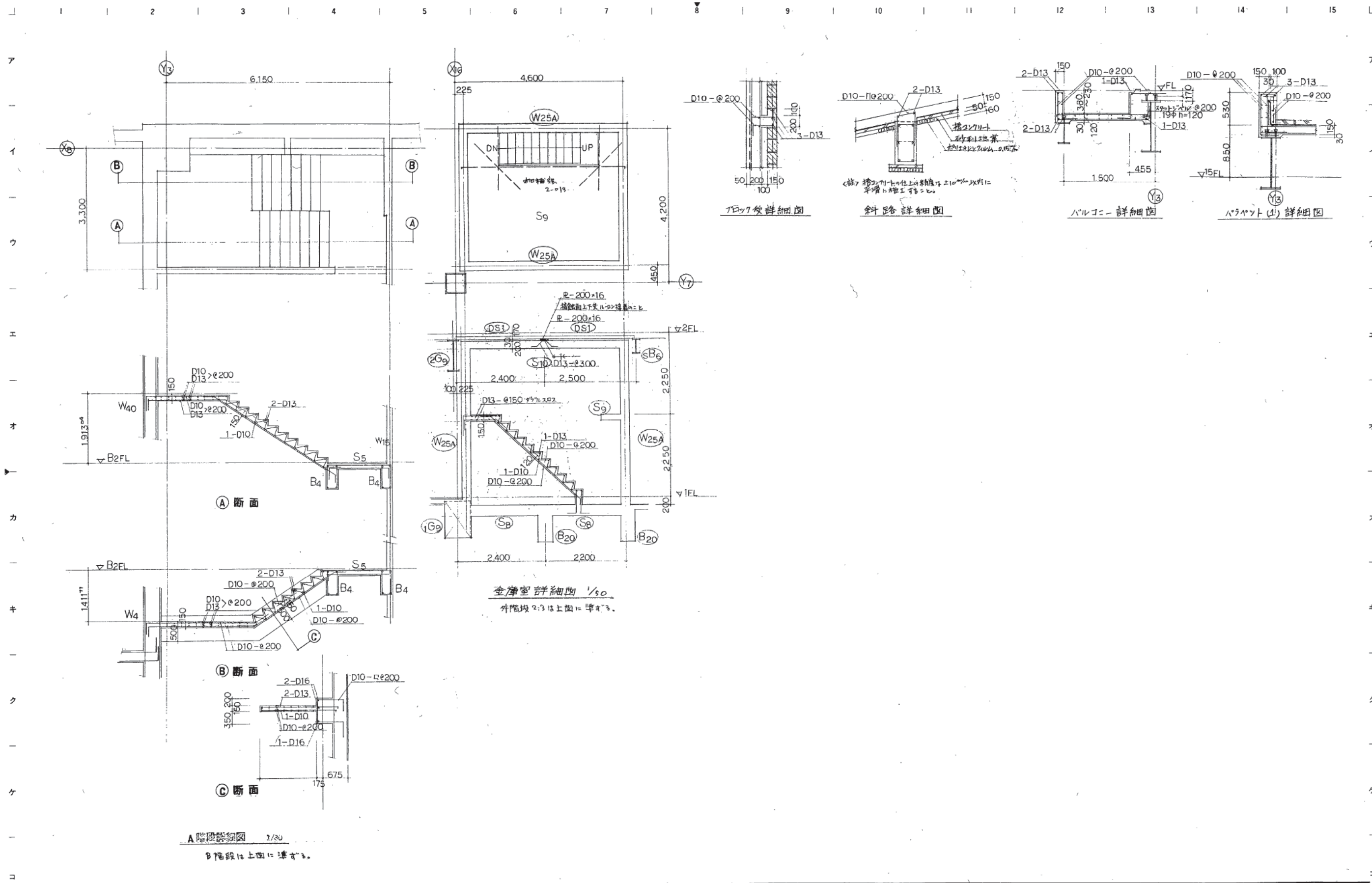
図面番号
2072
区分 建築構造

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計
監理
施工
検査
補修
その他

訂正
1/104D

備考



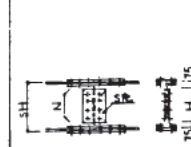
主 鉄 材 質				SS41				主 鉄 材 質				SM50A					
FRL-サイズ	ボルト径	N	添え板 S&E(1)	添え板 S&E(2)	FRL-サイズ	ボルト径	N	添え板 S&E(1)	添え板 S&E(2)	FRL-サイズ	ボルト径	N	添え板 S&E(1)	添え板 S&E(2)			
FPL-125	3	M16	6	PL- 6×125×410	2PL- 6× 50×410	FPL-125	3	M16	6	PL- 6×125×410	2PL- 6× 50×410	FPL-125	3	M16	6	PL- 6×125×410	2PL- 6× 50×410
	12	M16	6	PL- 6×125×410	2PL- 3× 50×410		12	M16	6	PL- 6×125×410	2PL- 3× 50×410		12	M16	6	PL- 6×125×410	2PL- 3× 50×410
FPL-150	9	M20	6	PL- 6×150×490	2PL- 6× 60×490	FPL-150	9	M20	6	PL- 6×150×490	2PL- 6× 60×490	FPL-150	9	M20	6	PL- 6×150×490	2PL- 6× 60×490
	12	M20	6	PL- 6×150×490	2PL- 9× 60×490		12	M20	6	PL- 6×150×490	2PL- 9× 60×490		12	M20	6	PL- 6×150×490	2PL- 9× 60×490
	16	M20	6	PL- 9×150×490	2PL- 12× 60×490		16	M20	6	PL- 9×150×490	2PL- 12× 60×490		16	M20	6	PL- 9×150×490	2PL- 12× 60×490
	19	M20	6	FL- 12×150×490	2PL- 12× 60×490		19	M20	6	PL- 12×150×490	2PL- 12× 60×490		19	M20	6	PL- 12×150×490	2PL- 12× 60×490
	22	M20	6	FL- 12×150×490	2PL- 16× 60×490		22	M20	6	PL- 12×150×490	2PL- 16× 60×490		22	M20	6	PL- 12×150×490	2PL- 16× 60×490
	25	M20	6	FL- 16×150×490	2PL- 16× 60×490		25	M20	8	PL- 16×150×630	2PL- 16× 60×630		25	M20	8	PL- 16×150×630	2PL- 16× 60×630
FPL-175	9	M20	6	PL- 6×175×490	2PL- 6× 70×490	FPL-175	9	M20	6	PL- 6×175×490	2PL- 6× 70×490	FPL-175	9	M20	6	PL- 6×175×490	2PL- 6× 70×490
	12	M20	6	PL- 6×175×490	2PL- 9× 70×490		12	M20	6	PL- 6×175×490	2PL- 9× 70×490		12	M20	6	PL- 6×175×490	2PL- 9× 70×490
	16	M20	6	PL- 9×175×490	2PL- 12× 70×490		16	M20	6	PL- 9×175×490	2PL- 12× 70×490		16	M20	6	PL- 9×175×490	2PL- 12× 70×490
	19	M20	6	PL- 12×175×490	2PL- 12× 70×490		19	M20	6	PL- 12×175×490	2PL- 12× 70×490		19	M20	6	PL- 12×175×490	2PL- 12× 70×490
	22	M20	6	PL- 12×175×490	2PL- 16× 70×490		22	M20	8	PL- 12×175×630	2PL- 16× 70×630		22	M20	8	PL- 12×175×630	2PL- 16× 70×630
	25	M20	6	PL- 16×175×490	2PL- 16× 70×490		25	M20	8	PL- 16×175×630	2PL- 16× 70×630		25	M20	8	PL- 16×175×630	2PL- 16× 70×630
FPL-200	9	M20	6	PL- 6×200×490	2PL- 6× 80×490	FPL-200	9	M20	6	PL- 6×200×490	2PL- 6× 80×490	FPL-200	9	M20	6	PL- 6×200×490	2PL- 6× 80×490
	12	M20	6	PL- 6×200×490	2PL- 9× 80×490		12	M20	6	PL- 6×200×490	2PL- 9× 80×490		12	M20	6	PL- 6×200×490	2PL- 9× 80×490
	16	M20	6	PL- 9×200×490	2PL- 12× 80×490		16	M20	6	PL- 9×200×490	2PL- 12× 80×490		16	M20	6	PL- 9×200×490	2PL- 12× 80×490
	19	M20	6	PL- 12×200×490	2PL- 12× 80×490		19	M20	8	PL- 12×200×630	2PL- 12× 80×630		19	M20	8	PL- 12×200×630	2PL- 12× 80×630
	22	M20	6	FL- 12×200×490	2PL- 16× 80×490		22	M20	10	PL- 12×200×770	2PL- 16× 80×770		22	M20	10	PL- 12×200×770	2PL- 16× 80×770
	25	M20	8	PL- 16×200×630	2PL- 16× 80×630		25	M20	10	PL- 16×200×770	2PL- 16× 80×770		25	M20	10	PL- 16×200×770	2PL- 16× 80×770
	28	M20	8	PL- 16×200×630	2PL- 19× 80×630		28	M22	10	PL- 16×200×770	2PL- 19× 80×770		28	M22	10	PL- 16×200×770	2PL- 19× 80×770
	32	M20	10	PL- 16×200×770	2PL- 22× 80×770		32	M22	10	PL- 16×200×770	2PL- 22× 80×770		32	M22	10	PL- 16×200×770	2PL- 22× 80×770
FPL-250	9	M20	6	PL- 6×250×490	2PL- 6×100×490	FPL-250	9	M20	6	PL- 6×250×490	2PL- 6×100×490	FPL-250	9	M20	6	PL- 6×250×490	2PL- 6×100×490
	12	M20	6	PL- 6×250×490	2PL- 9×100×490		12	M20	6	PL- 6×250×490	2PL- 9×100×490		12	M20	6	PL- 6×250×490	2PL- 9×100×490
	16	M20	6	PL- 9×250×490	2PL- 12×100×490		16	M20	8	PL- 9×250×630	2PL- 12×100×630		16	M20	8	PL- 9×250×630	2PL- 12×100×630
	19	M20	8	FL- 12×250×630	2PL- 12×100×630		19	M20	10	PL- 12×250×770	2PL- 12×100×770		19	M20	10	PL- 12×250×770	2PL- 12×100×770
	22	M20	8	PL- 12×250×630	2PL- 16×100×630		22	M22	10	PL- 12×250×770	2PL- 16×100×770		22	M22	10	PL- 12×250×770	2PL- 16×100×770
	25	M20	10	PL- 16×250×770	2PL- 16×100×770		25	M22	10	PL- 16×250×870	2PL- 16×100×870		25	M22	10	PL- 16×250×870	2PL- 16×100×870
	28	M20	10	PL- 16×250×770	2PL- 19×100×770		28	M22	12	PL- 16×250×1030	2PL- 19×100×1030		28	M22	12	PL- 16×250×1030	2PL- 19×100×1030
	32	M22	10	PL- 16×250×870	2PL- 22×100×870		32	M22	14	PL- 16×250×1190	2PL- 22×100×1190		32	M22	14	PL- 16×250×1190	2PL- 22×100×1190
						FPL-350	28	18	PL- 16×350×770	2PL- 19×150×770	FPL-350	28	18	PL- 16×350×770	2PL- 19×150×770		
							32	20	PL- 16×350×770	2PL- 22×150×770		32	20	PL- 16×350×770	2PL- 22×150×770		

1. 主鉄材と添え板の接合部は、主鉄材の材質と同一とする。
 2. 添え板(S&E)の厚さは、主鉄材の厚さと同じとする。
 3. 2枚の添え板を接合する場合、板厚に1mm以上の差がある場合は、フラットを挿入する。
 4. ボルトはF10Tで、すべて防錆0.45の場合のみ適用する。

主 鉄 材 質				SS41				主 鉄 材 質				SS41				主 鉄 材 質				SM50A				
SH	WR	N	添え板 S&E	SH	WR	N	添え板 S&E	SH	WR	N	添え板 S&E	SH	WR	N	添え板 S&E	SH	WR	N	添え板 S&E	SH	WR	N	添え板 S&E	
350	6	3	2 PL - 6 × 150 × 200	4	1000	6	8	2 PL - 6 × 150 × 850	11	1050	6	8	2 PL - 6 × 170 × 850	11	1100	6	9	2 PL - 6 × 150 × 900	12	1150	6	9	2 PL - 6 × 170 × 900	12
	9	3	2 PL - 6 × 270 × 200	* 4		9	8	2 PL - 6 × 170 × 850	11		9	8	2 PL - 6 × 170 × 900	12		9	8	2 PL - 6 × 170 × 950	12					
	12	* 4	2 PL - 9 × 270 × 200	* 5		12	11	2 PL - 9 × 170 × 850	15		12	11	2 PL - 9 × 170 × 900	15										
400	6	4	2 PL - 6 × 150 × 250	5	1050	6	8	2 PL - 6 × 150 × 900	12	1100	6	9	2 PL - 6 × 150 × 950	13	1150	6	9	2 PL - 6 × 150 × 1000	13	1200	6	10	2 PL - 6 × 150 × 1050	14
	9	4	2 PL - 6 × 270 × 250	* 5		9	8	2 PL - 6 × 170 × 900	12		9	8	2 PL - 6 × 170 × 950	13		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1000	14					
	12	4	2 PL - 9 × 270 × 250	* 6		12	11	2 PL - 9 × 170 × 900	15		12	11	2 PL - 9 × 170 × 950	15		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1000	15					
450	6	4	2 FL - 6 × 150 × 300	5	1100	6	9	2 PL - 6 × 150 × 950	13	1150	6	9	2 PL - 6 × 150 × 1000	13	1200	6	9	2 PL - 6 × 150 × 1050	14	1250	6	10	2 PL - 6 × 150 × 1100	14
	9	4	2 PL - 6 × 170 × 300	5		9	8	2 PL - 6 × 170 × 950	12		9	8	2 PL - 6 × 170 × 1000	13		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1050	14					
	12	5	2 PL - 9 × 170 × 300	* 7		12	* 11	2 PL - 9 × 170 × 950	16		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1000	16		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1050	16					
500	6	4	2 PL - 6 × 150 × 350	6	1150	6	9	2 PL - 6 × 150 × 1000	13	1200	6	9	2 PL - 6 × 150 × 1050	14	1250	6	9	2 PL - 6 × 150 × 1100	14	1300	6	10	2 PL - 6 × 150 × 1150	15
	9	4	2 PL - 6 × 170 × 350	6		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1000	13		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1050	14		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1100	15					
	12	5	2 FL - 9 × 170 × 350	* 5		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1000	17		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1050	17		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1100	17					
550	6	5	2 PL - 6 × 150 × 400	7	1200	6	10	2 PL - 6 × 150 × 1050	14	1250	6	10	2 PL - 6 × 150 × 1100	15	1300	6	10	2 PL - 6 × 150 × 1150	15	1350	6	11	2 PL - 6 × 150 × 1200	16
	9	5	2 PL - 6 × 170 × 400	7		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1050	13		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1100	14		9	9	2 PL - 6 × 170 × 1150	15					
	12	6	2 PL - 9 × 170 × 400	* 8		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1050	18		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1100	18		12	12	2 PL - 9 × 170 × 1150	18					
600	6	5	2 PL - 6 × 150 × 450	7	575	6	5	2 PL - 6 × 150 × 500	7	735	6	6	2 PL - 6 × 150 × 650	9	800	6	6	2 PL - 6 × 150 × 700	10	850	6	6	2 PL - 6 × 150 × 750	10
	9	5	2 PL - 6 × 170 × 450	7		9	5	2 PL - 6 × 170 × 500	7		9	5	2 PL - 6 × 170 × 650	9		9	5	2 PL - 6 × 170 × 700	10		9	5	2 PL - 6 × 170 × 750	10
	12	6	2 PL - 9 × 170 × 450	* 9		12	6	2 PL - 9 × 170 × 500	* 9		12	6	2 PL - 9 × 170 × 650	12		12	6	2 PL - 9 × 170 × 700	12		12	6	2 PL - 9 × 170 × 750	12
650	6	5	2 PL - 6 × 150 × 500	8	735	6	6	2 PL - 6 × 150 × 650	9	800	6	6	2 PL - 6 × 150 × 700	10	850	6	6	2 PL - 6 × 150 × 750	10	900	6	6	2 PL - 6 × 150 × 800	11
	9	5	2 PL - 6 × 170 × 500	7		9	6	2 PL - 6 × 170 × 650	9		9	6	2 PL - 6 × 170 × 700	10		9	6	2 PL - 6 × 170 × 750	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 800	11
	12	7	2 PL - 9 × 170 × 500	* 10		12	8	2 PL - 9 × 170 × 650	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 700	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 750	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 800	11
700	6	6	2 PL - 6 × 150 × 550	8	800	6	6	2 PL - 6 × 150 × 700	10	850	6	6	2 PL - 6 × 150 × 750	10	900	6	6	2 PL - 6 × 150 × 800	11	950	6	6	2 PL - 6 × 150 × 850	11
	9	6	2 PL - 6 × 170 × 550	8		9	6	2 PL - 6 × 170 × 700	10		9	6	2 PL - 6 × 170 × 750	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 800	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 850	11
	12	7	2 PL - 9 × 170 × 550	10		12	7	2 PL - 9 × 170 × 700	11		12	7	2 PL - 9 × 170 × 750	11		12	7	2 PL - 9 × 170 × 800	11		12	7	2 PL - 9 × 170 × 850	11
750	6	6	2 PL - 6 × 150 × 600	9	850	6	6	2 PL - 6 × 150 × 750	10	900	6	6	2 PL - 6 × 150 × 800	11	950	6	6	2 PL - 6 × 150 × 850	11	1000	6	6	2 PL - 6 × 150 × 900	11
	9	6	2 PL - 6 × 170 × 600	8		9	6	2 PL - 6 × 170 × 750	10		9	6	2 PL - 6 × 170 × 800	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 850	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 900	11
	12	8	2 PL - 9 × 170 × 600	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 750	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 800	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 850	11		12	8	2 PL - 9 × 170 × 900	11
800	6	7	2 PL - 6 × 150 × 650	9	900	6	7	2 PL - 6 × 150 × 800	11	950	6	7	2 PL - 6 × 150 × 850	11	1000	6	7	2 PL - 6 × 150 × 900	11	1050	6	7	2 PL - 6 × 150 × 950	11
	9	6	2 PL - 6 × 170 × 650	9		9	6	2 PL - 6 × 170 × 800	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 850	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 900	11		9	6	2 PL - 6 × 170 × 950	11
	12	8	2 PL - 9 × 170 × 650	12		12	8	2 PL - 9 × 170 × 800	12		12	8	2 PL - 9 × 170 × 850	12		12	8	2 PL - 9 × 170 × 900	12		12	8	2 PL - 9 × 170 × 950	12
850	6	7	2 PL - 6 × 150 × 700	10	950	6	7	2 PL - 6 × 150 × 850	11	1000	6	7	2 PL - 6 × 150 × 900	11	1050	6	7	2 PL - 6 × 150 × 950	11	1100	6	7	2 PL - 6 × 150 × 1000	11
	9	7	2 PL - 6 × 170 × 700	9		9	7	2 PL - 6 × 170 × 850	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 900	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 950	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 1000	11
	12	9	2 PL - 9 × 170 × 700	11		12	9	2 PL - 9 × 170 × 850	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 900	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 950	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 1000	12
900	6	7	2 PL - 6 × 150 × 750	10	1000	6	7	2 PL - 6 × 150 × 900	11	1050	6	7	2 PL - 6 × 150 × 950	11	1100	6	7	2 PL - 6 × 150 × 1000	11	1150	6	7	2 PL - 6 × 150 × 1050	11
	9	7	2 PL - 6 × 170 × 750	10		9	7	2 PL - 6 × 170 × 900	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 950	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 1000	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 1050	11
	12	9	2 PL - 9 × 170 × 750	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 900	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 950	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 1000	12		12	9	2 PL - 9 × 170 × 1050	12
950	6	8	2 PL - 6 × 150 × 800	11	1050	6	8	2 PL - 6 × 150 × 950	11	1100	6	8	2 PL - 6 × 150 × 1000	11	1150	6	8	2 PL - 6 × 150 × 1050	11	1200	6	8	2 PL - 6 × 150 × 1100	11
	9	7	2 PL - 6 × 170 × 800	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 950	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 1000	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 1050	11		9	7	2 PL - 6 × 170 × 1100	11
	12	10	2 PL - 9 × 170 × 800	14		12	10	2 PL - 9 × 170 × 950	12		12	10	2 PL - 9 × 170 × 1000	12		12	10	2 PL - 9 × 170 × 1050	12		12	10	2 PL - 9 × 170 × 1100	12

- 1 棒倉部で棒倉とこの部材
の接合部が弱い時は、弱い
で決定する。
- 2 棒倉部（棒倉）の接合部は、
この部材と棒倉。
- 3 棒倉部が棒倉と棒倉の
接合部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒倉と棒倉。
棒倉部は、棒

1. 接合部と接合部間の間隔は、主鉄材の材質と同一とする。
 2. 添え板(S&E)の厚さは、主鉄材の厚さと同じとする。
 3. 使用部材のボルトは、主鉄材の材質と同一とする。
 4. 2枚の添え板を接合する場合、板厚に1mm以上の差がある場合は、フラットを挿入する。
 5. ボルトはF10Tで、すべて防錆0.45の場合のみ適用する。
 6. ケースに他の部材を挿入する場合は、適用する。
 7. ※印は2列配置とする。

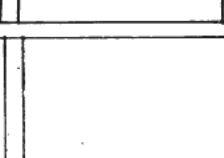


均等ボルトで割つた場合
 SH: 板厚
 H: 150
 H: 添え板の厚さ

主鉄材と添え板の接合部
 (フルウェイトの場合)

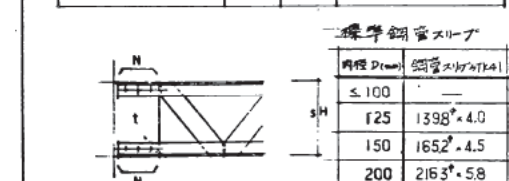
主 鉄 材 質				SS41				SM50A				主 鉄 材 質				SS41				SM50A															
SD	WR	厚	N	添え板 SR				SD	WR	厚	N	添え板 SR				SD	WR	厚	N	添え板 SR															
150	6	2		2 PL- 9 × 270 × 70				2	475	6	6	2 PL- 6 × 270 × 260				8	9	6		2 PL- 6 × 310 × 370				8											
	9	2		2 PL- 9 × 310 × 80				2		12	8	2 PL- 9 × 310 × 320 (360)				10		12	8	2 PL- 6 × 270 × 280 (310)				10											
	12	2		2 PL- 12 × 310 × 80				2		12	10	2 PL- 6 × 310 × 400				10		12	10	2 PL- 9 × 310 × 360 (380)				12											
175	6	4		2 PL- 6 × 270 × 120				4	500	6	8	2 PL- 6 × 270 × 250 (310)				10	9	8		2 PL- 6 × 310 × 450				10											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 130				4		12	10	2 PL- 9 × 310 × 380 (405)				12		12	10	2 PL- 6 × 270 × 310				10											
	12	4		2 PL- 12 × 310 × 130				4		12	10	2 PL- 6 × 310 × 410				10		12	10	2 PL- 9 × 310 × 400 (430)				12											
200	6	4		2 PL- 6 × 270 × 130				4	525	6	8	2 PL- 6 × 270 × 320				10	9	8		2 PL- 6 × 310 × 450				10											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 150				4		12	10	2 PL- 6 × 270 × 340 (370)				12		12	10	2 PL- 9 × 310 × 420 (470)				14											
	12	4		2 PL- 12 × 310 × 150				4		12	10	2 PL- 6 × 310 × 470				10		12	10	2 PL- 9 × 310 × 430 (500)				14											
225	6	4		2 PL- 6 × 270 × 130				4	550	6	8	2 PL- 6 × 270 × 350 (370)				12	9	8		2 PL- 6 × 310 × 490				12											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 150				4		12	10	2 PL- 6 × 310 × 460 (525)				16		12	10	2 PL- 9 × 310 × 460 (525)				16											
	12	4		2 PL- 12 × 310 × 150				4		12	10	2 PL- 6 × 270 × 370				12		12	10	2 PL- 6 × 310 × 510				12											
250	6	4		2 PL- 6 × 270 × 160				4	575	6	8	2 PL- 6 × 270 × 380 (430)				14	9	8		2 PL- 6 × 310 × 530				12											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 170				4		12	10	2 PL- 9 × 310 × 490 (570)				16		12	10	2 PL- 6 × 270 × 390 (430)				14											
	12	4		2 PL- 12 × 310 × 170				6		12	10	2 PL- 6 × 310 × 510 (570)				16		12	10	2 PL- 9 × 310 × 510 (570)				16											
275	6	4		2 PL- 6 × 270 × 160 (190)				6	600	6	10	2 PL- 6 × 270 × 400 (430)				14	9	8		2 PL- 6 × 310 × 550				14											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 190				6		12	10	2 PL- 6 × 310 × 530				12		12	10	2 PL- 9 × 310 × 530 (570)				16											
	12	6		2 PL- 12 × 310 × 190				6		12	10	2 PL- 6 × 270 × 410 (250)				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 290				8											
300	6	4		2 PL- 6 × 270 × 170 (190)				6	625	6	10	2 PL- 6 × 270 × 420 (290)				8	9	8		2 PL- 6 × 310 × 270 (290)				8											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 180 (220)				6		12	10	2 PL- 6 × 310 × 220 (240)				8		12	10	2 PL- 6 × 270 × 190 (250)				8											
	12	6		2 PL- 9 × 310 × 220				6		12	10	2 PL- 6 × 310 × 250 (260)				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 330				8											
325	6	4		2 PL- 6 × 270 × 180 (190)				6	650	6	10	2 PL- 6 × 270 × 430 (430)				14	9	8		2 PL- 6 × 310 × 310 (340)				12											
	9	4		2 PL- 9 × 310 × 180 (220)				6		12	10	2 PL- 6 × 310 × 270				8		12	10	2 PL- 6 × 270 × 250				8											
	12	6		2 PL- 9 × 310 × 230 (240)				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 290				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 350				8											
350	6	4		2 PL- 6 × 270 × 190				6	675	6	10	2 PL- 6 × 270 × 440 (430)				14	9	8		2 PL- 6 × 310 × 310 (340)				12											
	9	6		2 PL- 6 × 310 × 270				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 290				8		12	10	2 PL- 6 × 270 × 260				8											
	12	6		2 PL- 9 × 310 × 250 (260)				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 330				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 350				8											
375	6	6		2 PL- 6 × 270 × 190 (250)				8	700	6	10	2 PL- 6 × 270 × 450 (430)				14	9	8		2 PL- 6 × 310 × 310 (340)				12											
	9	6		2 PL- 6 × 310 × 290				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 290				8		12	10	2 PL- 6 × 270 × 260				8											
	12	6		2 PL- 9 × 310 × 270 (290)				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 330				8		12	10	2 PL- 6 × 310 × 350				8											
400	6	6		2 PL- 6 × 270 × 220 (250)				8																											
	9	6		2 PL- 6 × 310 × 310				8																											
	12	8		2 PL- 9 × 310 × 290 (320)				10																											
6	6		2 PL- 6 × 270 × 250				8																												
9	6		2 PL- 6 × 310 × 330				8																												
12	8		2 PL- 9 × 310 × 310 (340)				12																												
6	6		2 PL- 6 × 270 × 260				8																												
9	6		2 PL- 6 × 310 × 350				8																												
12	8		2 PL- 9 × 310 × 320 (360)				10																												

1. 添え板(S&E)の厚さは、主鉄材の厚さと同じとする。
 2. 使用部材のボルトは、主鉄材の材質と同一とする。
 3. ボルトはF10Tで、すべて防錆0.45の場合のみ適用する。
 4. 原則として2列配置とする。
 5. (*)印はSM50Aとする。



主鉄材と添え板の接合部
 (フルウェイトの場合)

主 鉄 材 質				SS41			
アンガルサイズ	板寸法	N	カセット長				
L-65×65×6	M16	4	GR-9×270×SH				
L-65×65×9	M16	5	GR-9×330×SH				
L-75×75×6	M20	3	GR-9×240×SH				
L-75×75×9	M20	4	GR-9×310×SH				
2L5-65×65×6	M16	4	GR-9×270×SH				
2L5-65×65×8	M16	5	GR-9×330×SH				
2L5-75×75×6	M20	3	GR-9×240×SH				
2L5-75×75×9	M20	4	GR-12×310×SH				



主鉄材と添え板の接合部
 (フルウェイトの場合)

鉄骨柱と鉄骨梁の接合部 (単位:mm)

公称径 D10 D15 D16 D19 D22 D25 D28 D32

実径 17 21 25 29 33 36 40 44

梁筋の補強要領

鉄骨柱と鉄骨梁の接合部

1. 鉄骨部分

2. 鉄骨部分

3. 鉄骨部分

鉄骨柱と鉄骨梁の接合部
 (フルウェイトの場合)

5 T継手	(使用箇所) 裏はつりのない場所、柱フランジ板と梁フランジ板との接合	溶接条件	寸法 (mm)		裏はつり
	形 状		θ	裏はつり	
レ形の場合 G		片面溶接	θ S a	$\theta = 35^\circ$ $= 7$ ≤ 1	なし
6 突合せ溶接	(使用箇所) 直し梁フランジ板と直交する梁フランジ板との接合	溶接条件	寸法 (mm)		裏はつり
	形 状		t1 θ S a	< 12 $= 45^\circ$ $= 0$ ≤ 2	
レ形の場合 H	(1) $t_2 \leq t_1 + 4$ 	両面溶接	t1 θ S a	< 12 $= 45^\circ$ $= 0$ ≤ 2	あり
	(2) $t_2 > t_1 + 4$ 	両面溶接	t1 θ S a	< 12 $= 60^\circ$ $= 0$ ≤ 2	あり
7 隅肉溶接	(使用箇所) 法線(アール)とララス板との接合	溶接条件	寸法 (mm)		裏はつり
	形 状		t S a 12	S 6 7 9	
I					なし

P・S 工事仕様書

1 一般事項

- この要領書は現場打ちプレストレストコンクリート造に適用するものである。
- P・S 工事は、施工業者と P・S 業者との連帯責任施工とする。P・S 工事に先立ち「P・S 工事施工計画書」及び「緊張計画書」を提出のこと。
- P・S 鋼材のミルシートを提出のこと。

2 型枠工事

型枠組立に際して P・S コンクリートは、高強度のコンクリートを打設し、又ケーブル配線、緊張グラウト工事があるため、下記の点に注意する。

- 梁の片側をあけておく。
- モルタル洩れのないようにする。
- 事前にセパレーターの配置に気をつけ、ケーブルに当たらないように計画する。
- 緊張端のアンカプレート取付け板に P・C 鋼線の貫通孔 (80φ) をあけておく。
- シースに穴をあけないようにし、あけたら直ちに粘着テープにて補修しておく。
- 柱型枠締付け時に金物・バタ角・単管等がケーブルに当たらないようにする。
- シース先組工法を用いてもよい (地上で梁型枠に鉄筋及びシースを配置したものを持ち上げ、柱型枠にセットし、その後ケーブルを通す)。

3 鉄筋工事

- 型枠組み後、P・S 梁の鉄筋を組立てるのであるが、小梁の鉄筋組立てはケーブル配線後とする。
- P・S 梁と柱頭部分は P・C 鋼線と複雑に関係するので、柱筋、梁筋の位置に注意する。
- 柱頭フープ筋は、ケーブル配線後に入れるか、順番に入れる。
- スペーサーブロックはできるだけ細かく入れる。
- 小梁筋はケーブル配線後に配筋するが、ケーブルとの取り合いを事前に検討しておく。(P・S 梁と直交する小梁の下端筋がシースに当たる場合は、梁成を 50mm 内外大きくする。)
- 鉄筋のガス圧接、仮設材の切断などの際、発生する火花を P・C 鋼材に直接あてないように充分保護すること。又、保管場所、スラブへの荷揚位置には注意する。火花を受けた P・C 鋼材は使用してはならない。

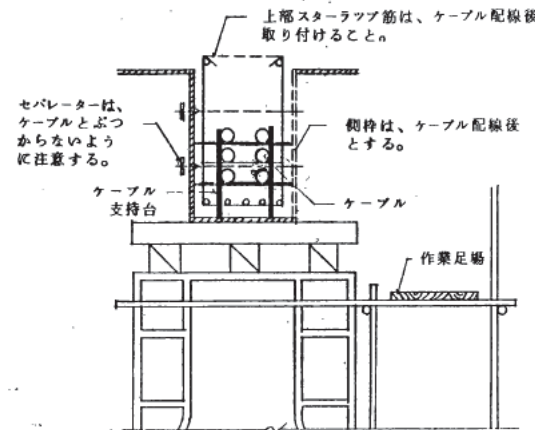
4 ケーブルの配置セット

施工順序

- 型枠に漏出しを行ない、ケーブルの支持台のセットをする。
- 緊張側アンカプレートを取り付ける。
- ケーブル支持台にスパイラルシースを配置し、結束する。
- P・C 鋼線をスパイラルシースの中に引張り込む。
- 緊張端及び固定端の定着体を固定する。
- スパイラルシースの破損、接続具合を再点検する。

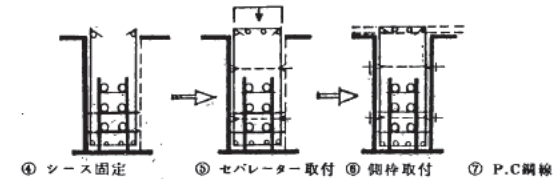
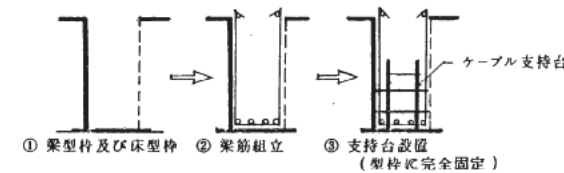
7 緊張端部を保護する。

- グラウト注入管及び排気管の口元を粘着テープにて蓋をする。これは緊張後のグラウトに支障をきたすので特に注意する。
- シースの縦方向の誤差は梁成りの 1/200 以内とする。



5 P・S 工事作業手順

- P・S 梁、床版の型枠。
P・S 梁の型枠は、側枠を一方だけ開けておく。
床版の型枠は全面はつてもさしつかえない。
P・S 梁のセパレーターは、P・S ケーブル布設後に取り付ける。



- ② 梁筋組立ての段階では、鉄筋の下端にスペーサーをかつて、鉄筋の位置を所定の寸法でおさめる。
なお、腹筋等を取付ける。
- ④ シース布設時にシースをホルダー筋に結束線で固定し、ケーブルシースの破損等を点検、補修を行う。
シースの横移動がないようホルダー筋に突起をつける。
- ⑤ セパレーター取付け時に先立つてセパレーターと P・S ケーブルがぶつからないように P・S 工事関係者と型枠関係者は充分検討を行う。

討を行う。
P・S ケーブルと P・S 梁に直交する小梁の主筋との位置関係を充分検討する。

2) P・S ケーブル配置

- P・S ケーブル布設前に端部の型枠を完了すること。
- 柱の主筋とケーブルの位置についての取合いを検討する。
- 小梁の主筋とケーブルの位置についての取合いを検討する。
- ケーブルの端部処理が終わらない場合は、スラブ筋を配筋してはならない。
- ケーブルと柱主筋がぶつからないように注意する。
- 緊張端及び固定端の上部よりの写真を提出のこと。

6 コンクリート工事

プレストレストコンクリートに用いるコンクリートは、富調合堅練りで、粘性が高いので密実なコンクリートにするために強力なバイブレーター (8,000~12,000 YPM) を使用して締め固める。
コンクリートの空気量は 3% 以下とする。
現場打ちで、フレキシブルバイブレーターを用いるのが良い。

コンクリートを効果的に締め固めるためには、バイブレーターを 40cm~60cm おきに垂直に挿入し、一回に 5 秒~15 秒位いかける。

(コンクリート打設注意事項)

- P・S 大梁のコンクリートは原則として打継ぎをしてはならない。又、梁中央より、両端へ打設を進める。
- シースには、バイブレーターが直接当たらないよう注意する。
- P・S 梁以外にコンクリートを打設する際、コンクリートが P・S 梁にこぼれないように、又こぼれたら取り除く。
- P・C 鋼材、定着体、鉄筋、型枠が損傷しないように注意する。
- 排気管やグラウト孔にベーストがつかまらないように充分養生しておく。
- 一体打 P・S 工法である為、スラブも梁の一部であり、T 型梁として構造計算されているので、スラブにもバイブレーターを充分に使用して締め固めなければならない。
- コンクリート打設時の配筋計画書を見積書に添えて提出のこと。
- 試験：スラブ・空気量の試験はミキサ車 1 台につき 1 回行うこと。
強度試験は、1.00 m²につき 1 回且つ 1 日 3 回 (朝・昼・夕) 以上行うこと。
- 型枠の解体：支保工は最上階の P・S 導入まで存置する。

7 緊張工事

1) 緊張計算書の作成

プレストレストコンクリートは、設計されたプレストレスを与える緊張作業が終了して初めて構造部材としての機能が生まれる。従って緊張作業には所定のプレストレスが得られるよう充分な管理を行うものとする。

本工事に於ける P・S 梁の作業緊張力の決定については、別に緊張計算書を作成し、管理グラフにより所定のプレストレスが導入されるように算出し、緊張力を決定する。
又、緊張の順番を定め、この順番に従って緊張すること。
(係員の承認を得ること)

2) 緊張管理

設計上に指定された所定のプレストレスが完全に導入されるよう現

場において緊張計算に基づいた緊張力と P・C 鋼線の伸び量を管理方式により、グラフの作成を行い、緊張管理を行うものとする。
緊張は係員立会いの下に行い、緊張の確認を行う。
又、緊張を示す写真を提出のこと。

3) 緊張時間

コンクリート強度が 30.0 kg/cm² 以上に達したことを確認の上緊張工事を行う。

8 グラウト工事

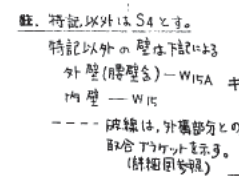
グラウトは充分に P・C 鋼線を包み、P・C 鋼線をさびさせないように保護すると共に鋼線とコンクリートの付着を得ることを目的とするもので、非常に重要な工事であり、係員立会いの下に行う。グラウトの作業は下記により行うこと。

- シース内の閉塞の有無を確認する。
- 最初に入れたグラウトが他端より流出したグラウトと同じ程度になるまで注入を続け、同じ程度になったら木栓等で孔をふさぐ。
- 各個所毎に作業写真を添付して報告する。
- グラウトの配合計画書及びグラウト機械の性能を提出する。
- グラウト注入がわかる作業写真を提出のこと。

グラウトの混和剤に塩化カルシウムを含んだもの (例：ボゾリス No.5、No.10) は絶対に使用してはならない。



	泰磁底面深
A	FL-2080
B	FL-2240
C	FL-3080
D	FL-3220
E	FL-3690
N	FL-4030
P	FL-5830
Q	FL-2330



位置	2079-1 音響	設計基準値 FC (dB _{max})	設計基準 dB _A (1m)	所用 2079-1 (dB _A)	使用場所
地下部分 (基台) (~1階迄)	音響 2079-1	210	2.3	18	蓄音機 その他
		210	2.3	18	
		210	2.3	18	床版
	流動化 2079-1	310	2.3	15	コンクリート 床版 2079-1
地上部分	音響 2079-1 (1-2階)	135	1.4	20	2079-1 2079-1
〃	音響 2079-1	350	2.3	15	PC 梁

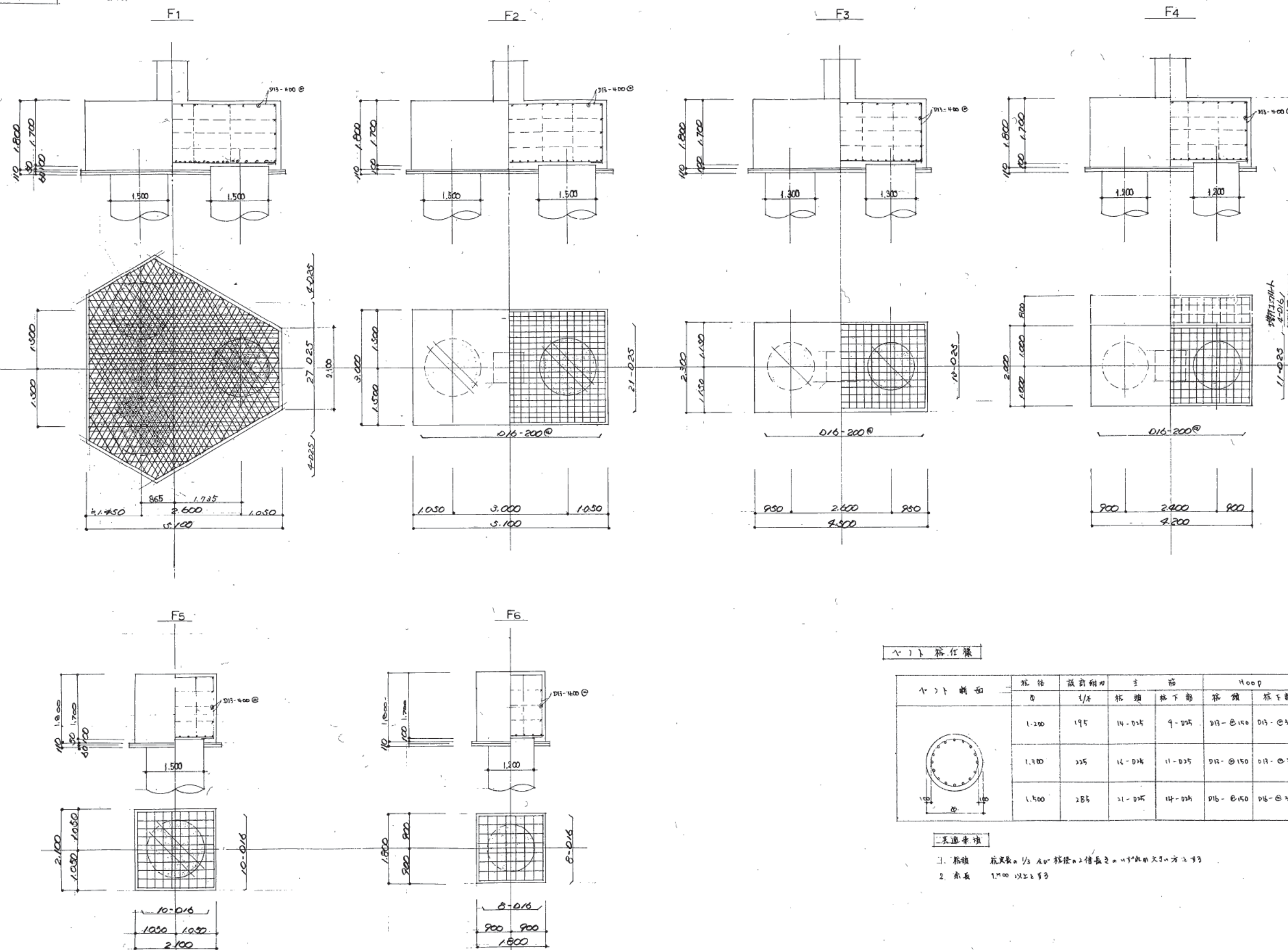
71 2079-1 7 ロック --- 8 種 2.3 - 7 ロック
厚さ 150mm 100mm

(8) 鉄筋 ----- S D 30 → D 10 ~ D 16
S D 35 → D 19 ~ D 25
注、深の違ふは、圧入圧接を要す。
74 W - マグマ --- 6 中 @ 100

(9) 鉄骨(現場品) ---- SS 41
 $S M 50 A \rightarrow \textcircled{E} 0$ 表示
(例) - B H - B 50 x 300 x 17 w (㊟)
ST K 41
ST K 50 → $\textcircled{E}$ 印表示
(例) - 中 264.7 x ㉞

(10) スタッドジベル ----- 19 中 (長 120^{mm}) --- 大梁、小梁迄

11) 混和材料 防水剤(ベストン) 地下にナ部分のみ使用する。(防水部分)
防せし者 塩分含有量0.1%を超え0.2%以下の高塩分枝を使用する場合は防せし剤を使用する。 2



へんじ 新紅様

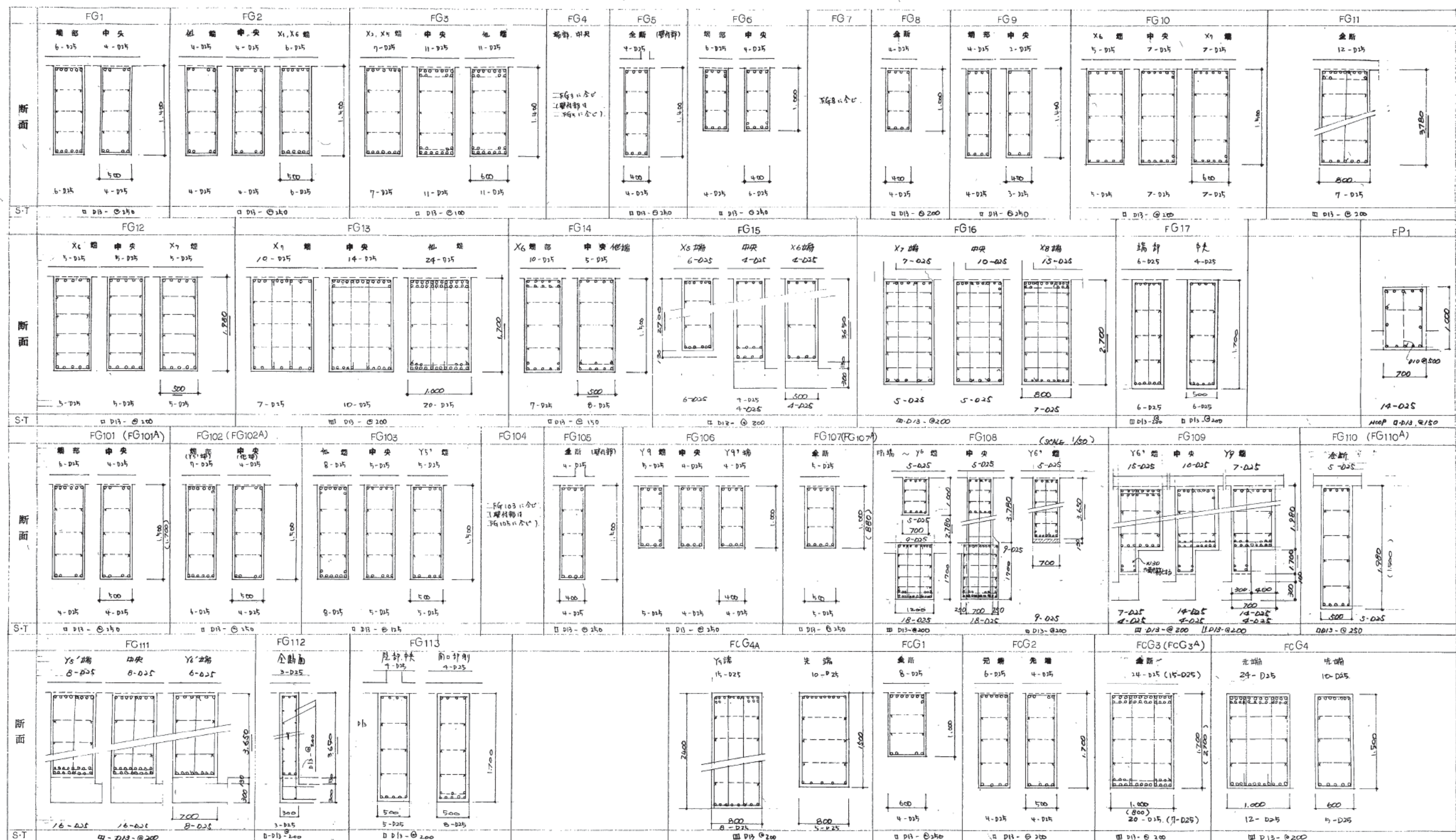
个 个 断面	梳 梳		主 筋		Hoop		单 单
	Φ	1/8	梳 头	梳 下 部	梳 头	梳 下 部	
	1.200	195	14-Φ25	9-Φ25	Φ13-@150	Φ13-@300	30
	1.300	225	16-Φ25	11-Φ25	Φ13-@150	Φ13-@300	26
	1.500	285	21-Φ25	14-Φ25	Φ16-@150	Φ16-@300	20

莫逆來賓

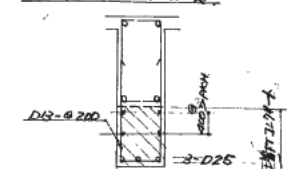
2. 航速 $n \frac{1}{3}$ 及 航程 n 倍長之 n 時此航大之方有 3 倍
2. 航速 1.500 以上有 3 倍

地中梁断面表 S=1:50

1. 断面 0-1.000 4-D13, 0-1.400, 1.500 6-D13 6.75
2. 断面 0-1.000 4-D13, 0-1.400, 1.500 6-D13 6.75



地中梁増打要綱



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
1/10/10

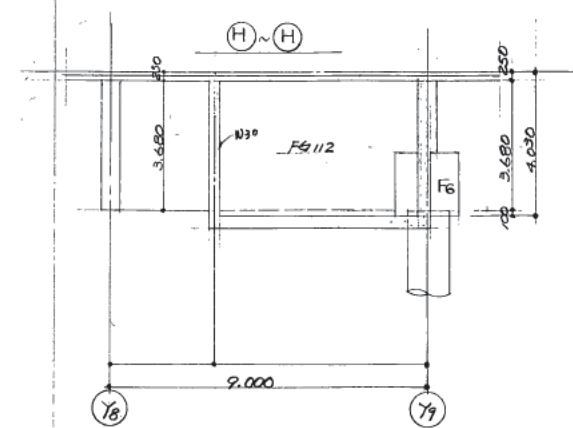
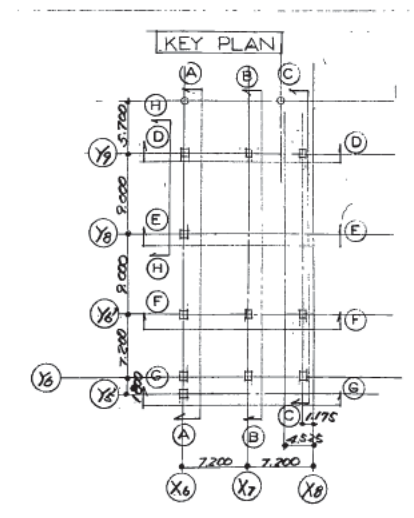
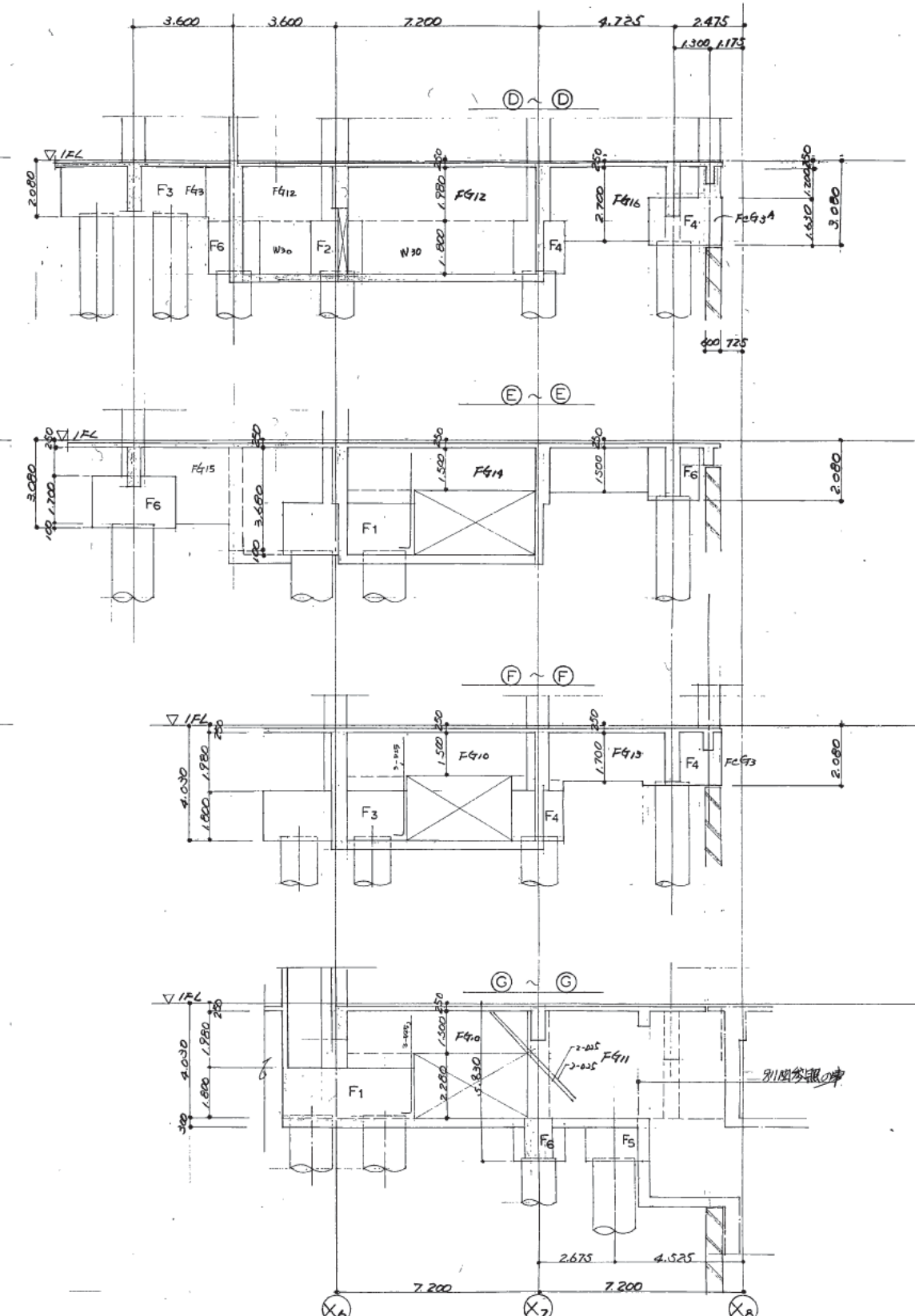
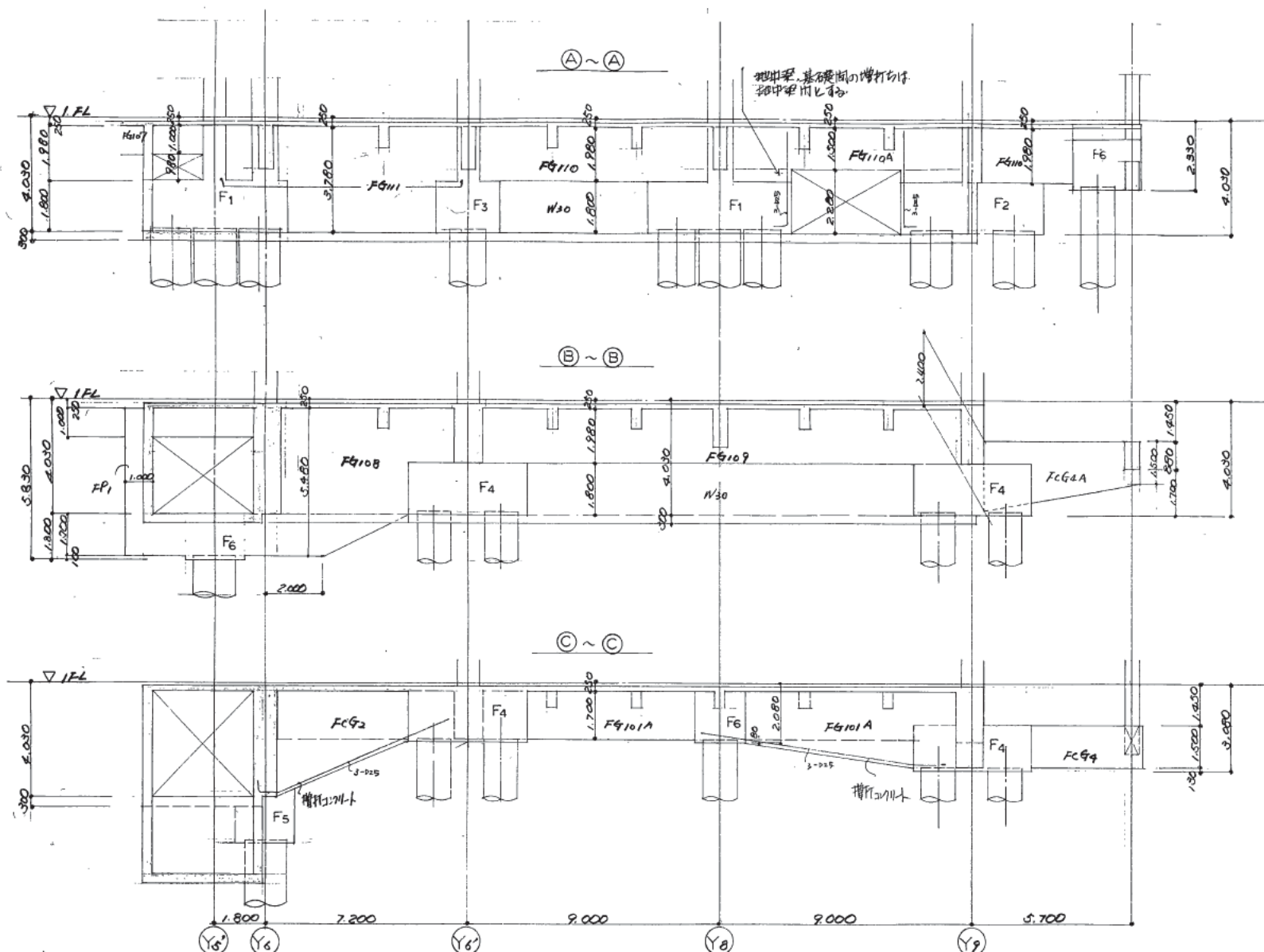
特

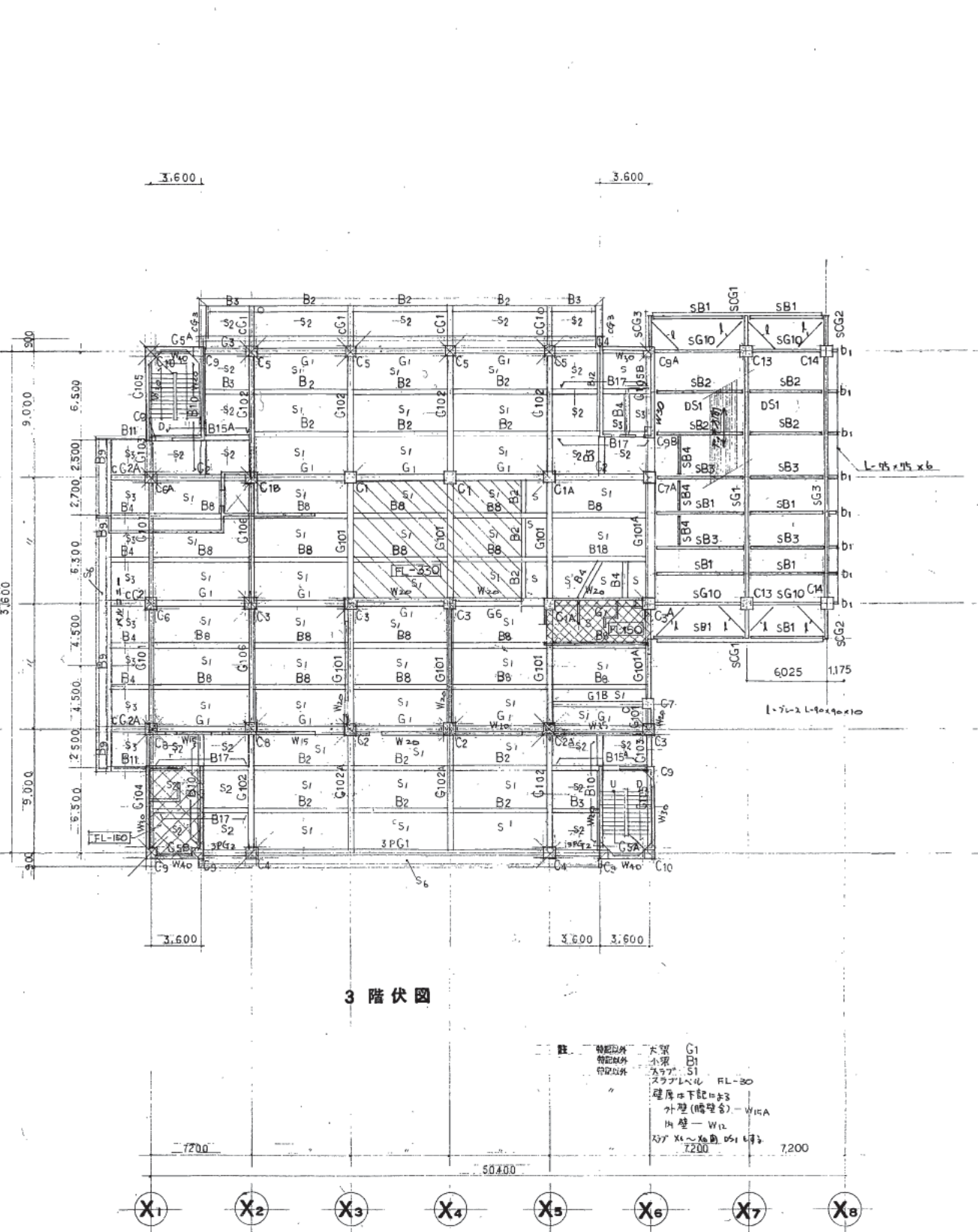
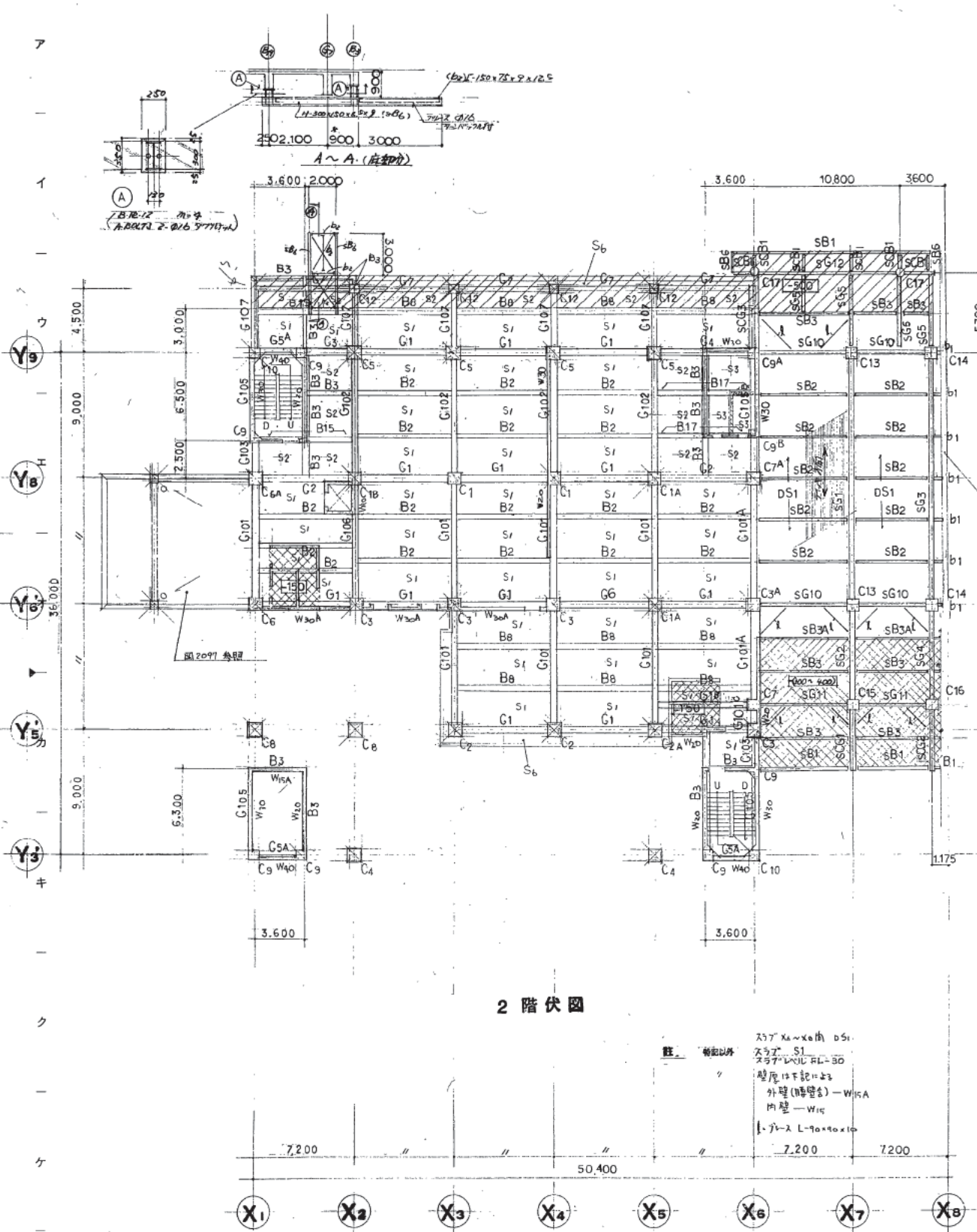
熊本市庁舎

図面内容
地中梁断面表
1/30

図面番号
2080
区分
建築構造図

変更図





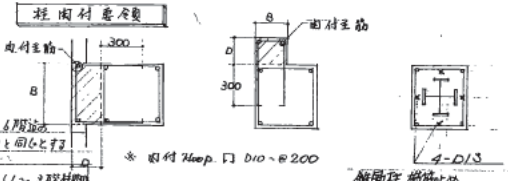
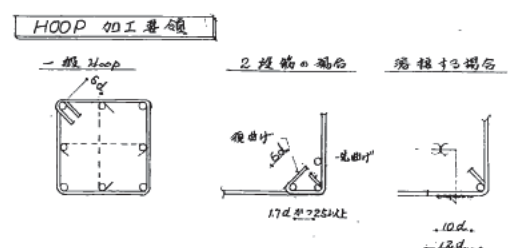
変更図

特記事項

1. D. HOPP D13-φ300±
2. 縦断面 HOPP D13-φ150±
3. 使用材料 S41 規格品とす。但し 〇 印は SH-50-A 規格品とす。

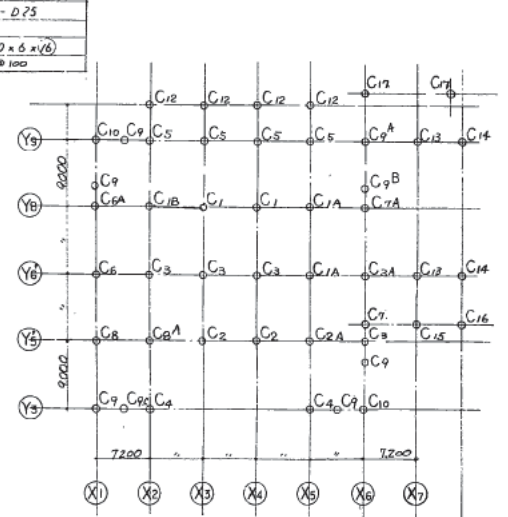
符号	C1	C1A (内)	C2, C2A (内)	C3	C4	C5	C6	C7	C8 (C8A)	C9 (C9B)	C10
6											
主筋	12-D25 (6-D25)	12-D25 (6-D25)	12-D25 (6-D25)				8-D25	14-D25	12-D25		
Hoop	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100				□ D10-φ100	□ D13-φ100	□ D13-φ100		
5	同上	同上	同上				同上	同上	同上		
主筋				16-D25	12-D25					16-D25	6-D25
Hoop				□ D10-φ100	□ D13-φ100					□ D10-φ100	□ D10-φ100
4											
主筋	16-D25 (8-D25)	16-D25 (8-D25)	16-D25 (8-D25)			12-D25	14-D25		18-D25		
Hoop	□ D13-φ100 (□ D10-φ100)	□ D13-φ100 (□ D10-φ100)	□ D13-φ100 (□ D10-φ100)			□ D10-φ100	□ D13-φ100		□ D13-φ80		
3	同上	同上	同上								
主筋				16-D25	12-D25	12-D25	12-D25	24-D25	22-D25	16-D25	8-D25
Hoop				□ D13-φ80	□ D13-φ100	□ D13-φ100	□ D10-φ100	□ D13-φ100	□ D13-φ80	□ D10-φ100	□ D10-φ100
3 柱脚											
主筋	12-D25	12-D25	12-D25	8-D25	12-D25	12-D25	8-D25	12-D25	12-D25	18-D25	12-D25
鉄骨	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)	X. B.H-500×150×6×(16) Y. B.H-500×150×6×(16)
Hoop	□ D13-φ100	□ D13-φ100	□ D13-φ100	□ D13-φ100	□ D13-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D13-φ100	□ D13-φ80	□ D10-φ100	□ D10-φ100
2											
主筋	12-D25	12-D25	12-D25	8-D25	12-D25	12-D25	8-D25	12-D25	12-D25	18-D25	12-D25
鉄骨	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)
Hoop	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100
1											
主筋	12-D25	12-D25	12-D25	8-D25	12-D25	12-D25	8-D25	12-D25	12-D25	18-D25	12-D25
鉄骨	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)	X. B.H-550×150×6×(16) Y. B.H-550×150×6×(16)
Hoop	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100	□ D10-φ100

符号	C11	C12
2		
主筋	4-D25	
鉄骨	X. Y.H. B.H-500×150×6×(16) Hoop □ D10-φ100	
1		
主筋		8-D25
鉄骨		□ D10-φ100
Hoop		□ D10-φ100



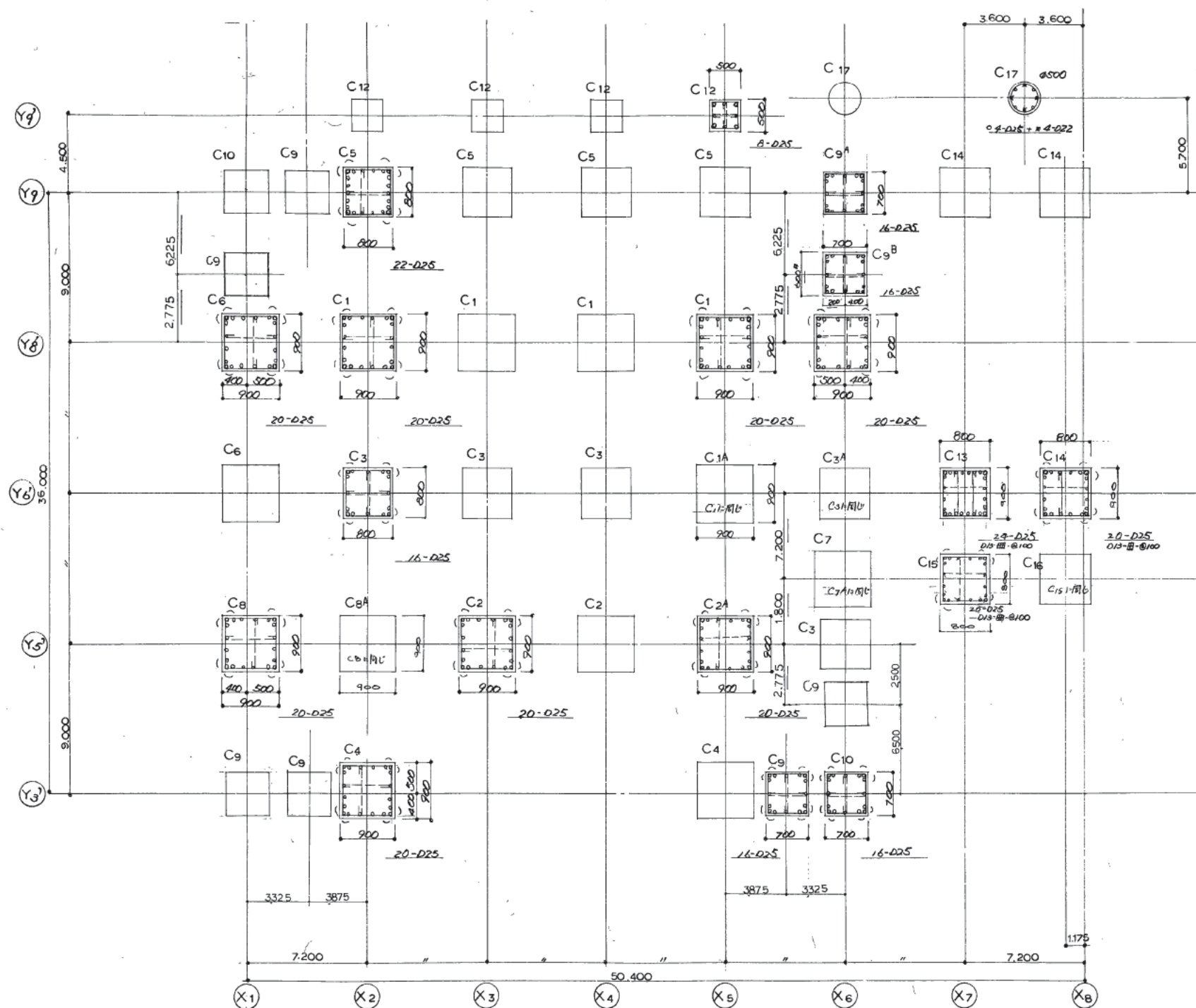
柱断面要領

D	B	500-700	700-1000
70-100	3-D13	4-D13	
100-200	3-D13	4-D16	
200以上	3-D19	4-D19	



1. HOOPは 口 D10 ~ @100 とする
2. 使用鋼材は SS41 規格品とする。
但し ○ 印は SM50-A 規格品とする。
3. CHは、各層棟根層部3階柱間直上1階

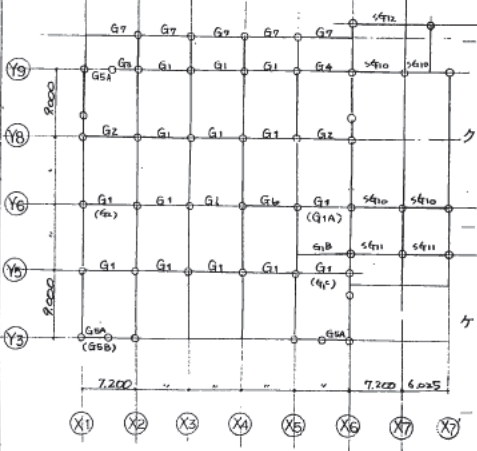
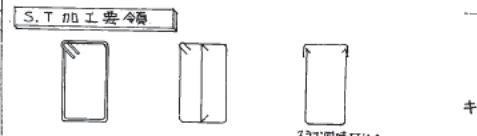
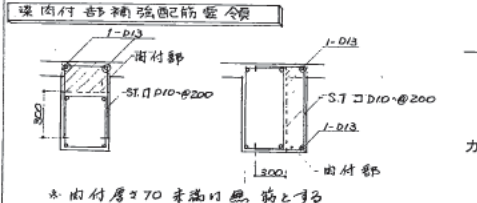
C18	C6A	
700 700 12 - φ25 10 - φ100	600 600 8 - φ25 10 - φ100	6 主筋 Heop
700 700 12 - φ25 10 - φ100	600 600 8 - φ25 10 - φ100	5 主筋 Heop
700 700 16 - φ25 13 - φ100	650 650 14 - φ25 13 - φ100	4 主筋 Heop
700 700 12 - φ25 10 - φ100	700 700 12 - φ25 10 - φ100	3 柱頭 主筋 Heop
(核脚) 700 700 12 - φ25 10 - φ100	(核脚) 700 700 12 - φ25 10 - φ100	3 核脚 主筋 Heop
700 700 12 - φ25 10 - φ100	700 700 12 - φ25 10 - φ100	2 主筋 鉄骨 Heop
700 700 12 - φ25 10 - φ100	700 700 12 - φ25 10 - φ100	1 主筋 鉄骨 Heop



1階柱脚断面表

特記時 D-HOP 十 @500
柱脚HOP D13-11 @100 (FL+1000以下)

階	符号	G1 端部 中央	G2 (G2A) 外端 中央 内端 ()内は G2A	G3 端部 中央	G4 外端 中央 内端	G5 全断面	G5A 全断面	G5B 全断面	G6 端部 中央	G1A X5端 中央 X6端	G1B X5端 中央 X6端	G1C X5端 中央 X6端
ア	R	6G1に同じ										
イ	ST		2-D25 (3) 3-D25 (3) 2-D25 (2) D10-@200							2-D25 3-D25 2-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 2-D25 3-D25 D10-@200
ウ	6											
エ	ST	3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	2-D25 2-D25 D10-@250	2-D25 2-D25 D10-@250			2-D25 3-D25 2-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200
オ	5											
カ	ST	3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	4-D25 4-D25 D10-@200	3-D25 4-D25 4-D25 D10-@200	同上 同上 D10-@250	同上 同上 D10-@250			3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 4-D25 3-D25 D10-@200
キ	4											
ク	ST	3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	5-D25 5-D25 D10-@200	3-D25 5-D25 5-D25 D10-@200	同上 同上 D10-@250	同上 同上 D10-@250			3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 3-D25 3-D25 D10-@200	3-D25 4-D25 3-D25 D10-@200
ケ	3										3G1に同じ	
コ	ST	2-D25 2-D25 D10-@250	2-D25 2-D25 2-D25 D10-@250	2-D25 2-D25 2-D25 D10-@200	2-D25 2-D25 2-D25 D10-@200	同上 同上 D10-@250	同上 同上 D10-@250	2-D25 2-D25 D10-@250	4-D25 2-D25 D10-@250			
	鉄部	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)	B.H-750x150x9x(16)			
	中央	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)	B.H-750x150x9x(12)			
	2										2G1に同じ	
	ST	2-D25 2-D25 D10-@250	2-D25 2-D25 2-D25 D10-@250	2-D25 2-D25 2-D25 D10-@200	2-D25 2-D25 2-D25 D10-@200	同上 同上 D10-@250	同上 同上 D10-@250		4-D25 2-D25 D10-@250			
	鉄部	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)			
	中央	B.H-750x150x9x(16)	(外端) B.H-750x150x9x(19) (中央・内端) B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	(外端・中央) B.H-750x150x9x(19) (内端) B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)	B.H-750x150x9x(19)			

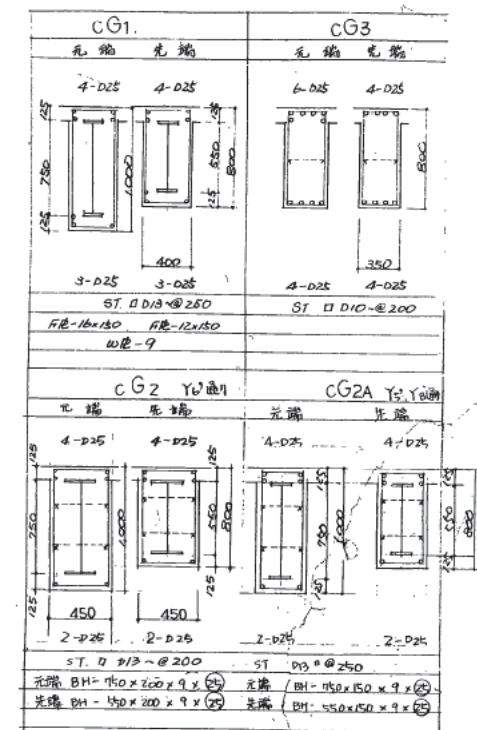


NO 2

特記事項

1. 腰筋... D=700, 800 - 2-D13 D=1000 4-D13以上
2. 巾止筋... D10-8 1000 以内以上
3. 使用鋼材はSS41とする
但し ① 細目 SM50-A とする

符号	G101	G102 (G102B)	G103	G104	G105	G106	G102A	G105B	G107
端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
R	4-D25 3-D25 400 800 4-D25 4-D25	() 同 G102 RG105に同じ	6G104に同じ	4-D22 700 350 4-D22	4-D22 700 350 4-D22	4-D22 700 350 4-D22	4-D22 700 350 4-D22	4-D22 700 350 4-D22	4-D22 700 350 4-D22
S T	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200
6	4-D25 3-D25 400 1000 4-D25 4-D25	5-D25 3-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 400 700 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 3-D25 400 700 4-D25 4-D25	2-D25 800 300 2-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25
S T	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200
5	7-D25 4-D25 400 1000 4-D25 4-D25	7-D25 4-D25 400 1000 4-D25 4-D25	7-D25 7-D25 400 700 4-D25 4-D25	3-D25 7-D25 7-D25 400 700 4-D25 4-D25	2-D25 800 300 2-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25
S T	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200
4	8-D25 4-D25 400 1000 4-D25 4-D25	8-D25 4-D25 400 1000 4-D25 4-D25	8-D25 7-D25 400 700 4-D25 4-D25	3-D25 7-D25 7-D25 400 700 4-D25 4-D25	2-D25 800 300 2-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25
S T	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200
3	3-D25 2-D25 400 1000 2-D25 2-D25	3-D25 2-D25 400 1000 2-D25 2-D25	2-D25 2-D25 400 700 2-D25 2-D25	2-D25 2-D25 2-D25 400 700 2-D25 2-D25	2-D25 800 300 2-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25
S T	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200
2	4-D25 3-D25 400 1000 4-D25 4-D25	4-D25 3-D25 400 1000 4-D25 4-D25	4-D25 3-D25 400 700 4-D25 4-D25	4-D25 3-D25 3-D25 400 700 4-D25 4-D25	2-D25 800 300 2-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25	3-D25 3-D25 5-D25 400 1000 4-D25 4-D25
S T	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200	□ D13-8 200



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

熊本市庁舎

大梁断面表 (2)
図面内容
縮尺 1/30

2089
図面番号
区分 建築構造図

特記事項

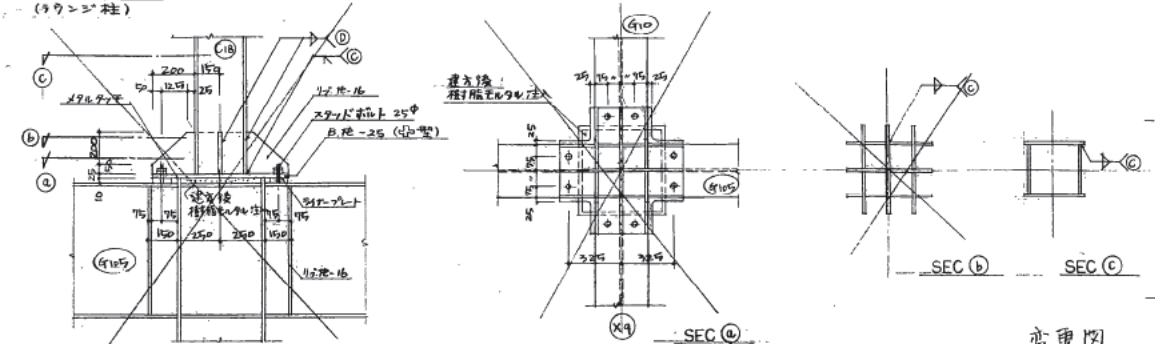
1. 用材 4-D13 (D=1,000) 2-D13 (D=800)
2. 用材 4-D13 (D=1,000) 2-D13 (D=800)
3. 使用鋼材は、SS41 である。但し、印は、SM50-A である。
4. 柱、梁、鉄骨規格図 No.2095 に準ずる。

	G101A	G101B	G101C	G7
	端部 中央	他端 中央 (1/4) 端	全断面	端部 中央
5				
4				
3				
2				

	SG1	SG2, SG4	SG3	SG5	SG10	SG11	SG12	SCG1, SCG2	SCG1A	SCG3
	断面図									
5										
4										
3										
2										

	SG13	SCG4
	断面図	
5		

C18 柱脚詳細図
(3/4 柱)



ア	符号	PcG1		PcG1		PcG2	
	位置	先端	根元	先端	根元	先端	根元
イ							
ウ	PS鋼材	4C		4C		4C	
	上筋筋	3 - D25		3 - D25		3 - D25	
エ	下筋筋	2 - D25		2 - D25		2 - D25	
	スチール棒筋	D13~口@200 (2-D13)		D13~口@200 (2-D13)		D13~口@200 (2-D13)	
オ							
		(X2)(X6)		(X1)		(X1)	
カ	符号	PcG3		PcD1		PcD2	
	位置	先端	根元	先端	根元	先端	根元
キ							
ク	PS鋼材	2C		4C		4C	
	上筋筋	3 - D25		3 - D25		3 - D25	
ケ	下筋筋	2 - D25		2 - D25		2 - D25	
	スチール棒筋	D13~口@200 (4-D13)		D13~口@200 (2-D13)		D13~口@200 (2-D13)	
コ							
		(X6)		(X2)(X6)		(X1)	

・使用PS鋼材...SBPR 110/115 20φ
・施工時緊張力...48.0kN
・施工時コンクリート強度...F_{mc}=100.9N/mm²
・寸法...面引き表示。集...片引き表示。

変更図

小梁断面表

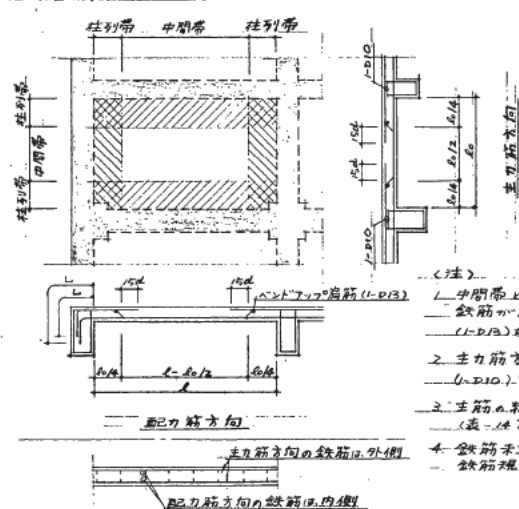
符号	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8 (B8A)	B9	B10
断面	端部 中央 4-D19 2-D19 3-D19 3-D19 350	端部 中央 4-D19 2-D19 3-D19 3-D19 350	全断面 3-D19 350	全断面 2-D16 250	X5 端 中央 他端 3-D22 3-D22 4-D22 4-D22 400	X5 端 中央 他端 3-D22 3-D22 4-D22 3-D22 4-D22 3-D22 400	端部 中央 4-D22 3-D22 3-D22 3-D22 400	端部 中央 4-D22 2-D22 3-D22 3-D22 (4-D22) 350	全断面 4-D22 B.H. 550×150×6×12 400	全断面 2-D19 B.H. 350×150×6×9 400
ST.	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200
符号	B11	B12	B13	B14	B15 (B15A)	B16	B17 (B17A)	B18	B19	B
断面	3-D16 3-D16 350	Y9 端 中央 他端 6-D25 4-D25 3-D25 4-D25 3-D25 3-D25 350	Y9 端 中央 他端 6-D25 4-D25 3-D25 4-D25 3-D25 3-D25 350	全断面 3-D22 5-D22 350	端部 中央 (B15A) 3-D25 3-D25 (B15A) 4-D25 6-D25 4-D25 350	端部 中央 3-D22 2-D22 3-D22 3-D22 350	4-D22 2-D22 3-D22 5-D22 (350)	X4 端 中央 X5 端部 4-D22 3-D22 6-D22 3-D22 5-D22 3-D22 350	2-D22 内端 3-D22 3-D22 4-D22 3-D22 350	
ST.	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D10-@200	
符号	FB1	FB2	FB3	FB4	FB5	FB6	FB7	FB8	FB9	B
断面	外端 中央 内端 3-D22 2-D22 5-D22 3-D22 4-D22 3-D22 350	外端 中央 内端 3-D22 2-D22 4-D22 3-D22 4-D22 3-D22 350	全断面 3-D22 350	全断面 4-D25 400	端部 中央 6-D25 4-D25 4-D25 4-D25 500	全断面 4-D25 400	端部 中央 6-D25 4-D25 4-D25 6-D25 400	全断面 5-D25 400	全断面 3-D19 350	
ST.	□ D10-@200	□ D10-@200	□ D13-@200	□ D13-@200	□ D13-@250	□ D13-@250	□ D13-@200	□ D13-@200	□ D10-@200	

床版配筋表

符号	厚	主筋方向	配筋方向	備考
S1	120	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S2	120	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S3	120	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S4	150	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S5	150	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S6	150	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S7	150	端部 中央 柱列等	端部 中央 柱列等	
S8				
FS1	300			
DS1	90			

注意事項

1. 配筋要領



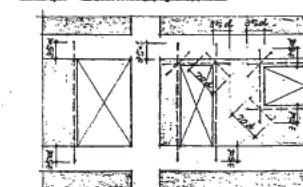
- ＜注＞
1. 中間部上柱列等の間をベントされた鉄筋がある床版は、ベントアツク筋(1-D13)を井型に配筋する。
 2. 主筋方向上端筋の省略として、(1-D10)を準上へ配筋する。
 3. 主筋の継ぎ位置は、鉄筋標準図(表-14)による。
 4. 鉄筋末端のフック定着長さ(L)は、鉄筋標準図(表-5)による。

壁配筋表

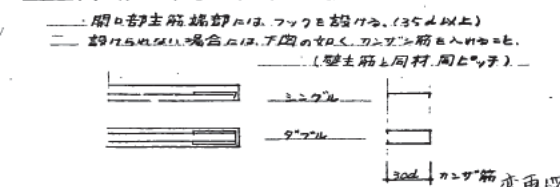
符号	厚	主筋	横筋	開口部補強筋	備考
W12	120	S	D10-@200	1-D13 1-D13 1-D13	
W15	150	S	D13-@200	2-D13 2-D13 2-D13	
W15A	150	CD	D13-@200	2-D13 2-D13 2-D13	
W20	200	D	D13-@200	2-D16 2-D16 2-D16	
W25	250	D	D13-@200	2-D19 2-D19 2-D19	
W30	300	D	D13-@200	4-D19 3-D19 4-D19	
W40	400	D	D13-@150	4-D22 4-D22 4-D22	
W30	300	D	D13-@150	4-D22 4-D22 4-D22	
BW					
BW					

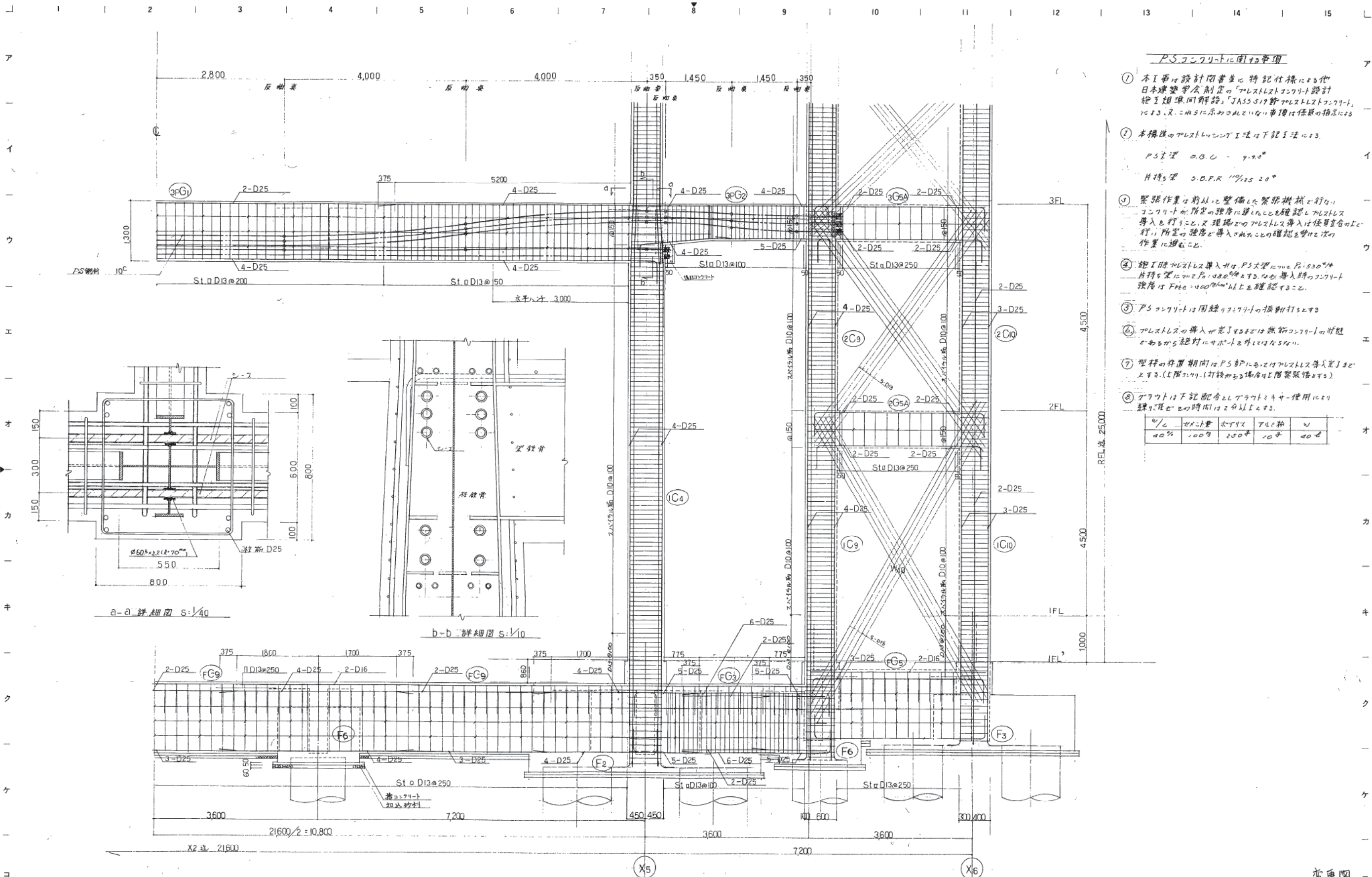
注意事項

1. 開口部補強要領

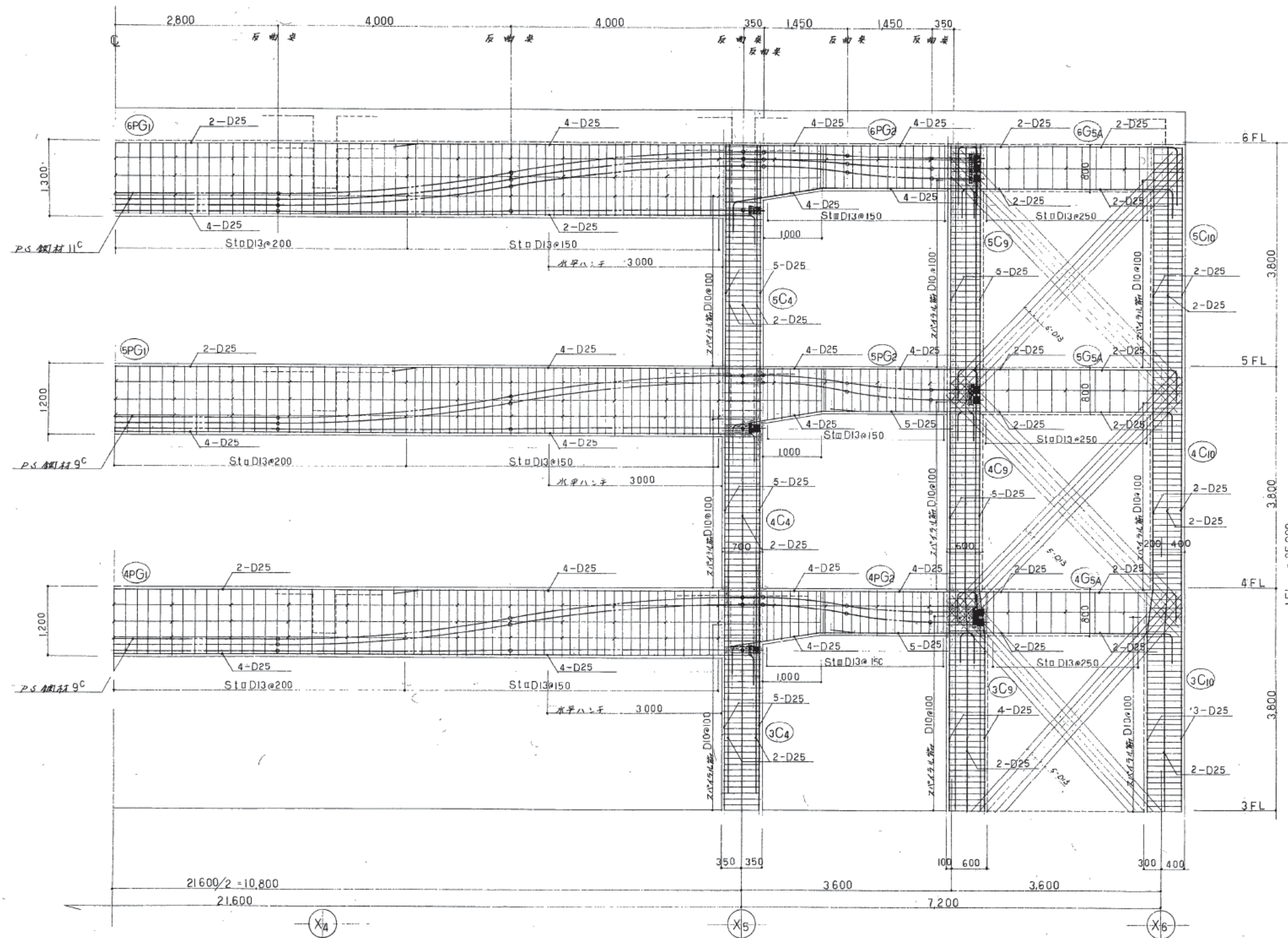


2. 壁開口部端部処理要領

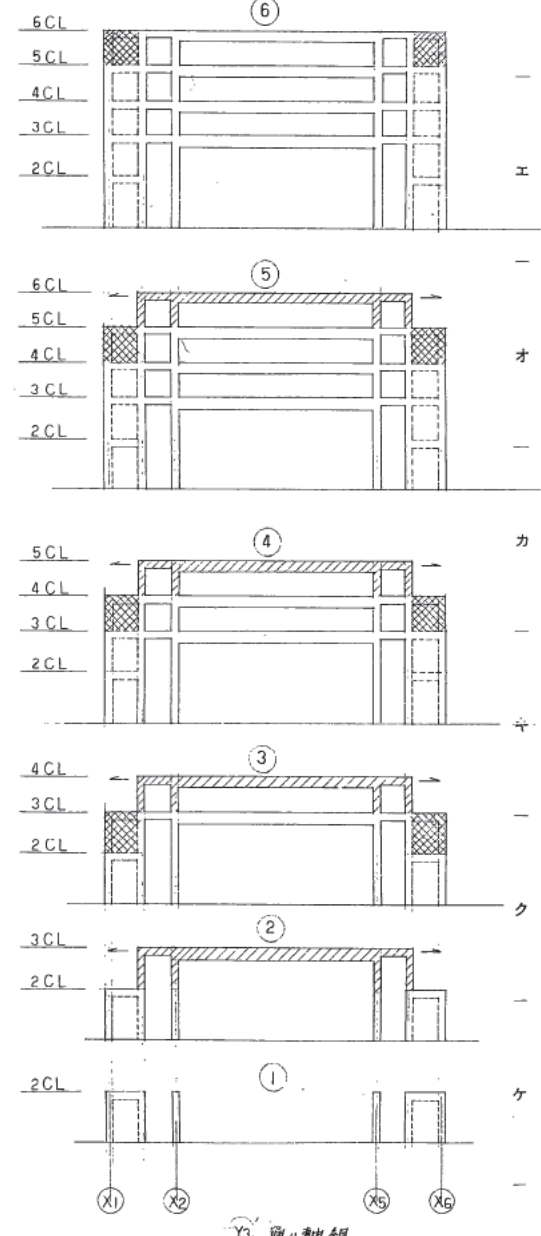




- PSコンクリートに関する事項
- ① 本工事は設計図書並に特記仕様による他、日本建築学会制定の「プレストレストコンクリート設計施工標準同解説」JASS517「プレストレストコンクリート」による、又、これらに示おされたい事項は関係の指示による。
 - ② 本構造のプレストレスト工法は下記工法による。
PS工法 0.3L - 9.90°
片持ち梁 5.B.F.R 110/25 20°
 - ③ 緊張作業は事前に整備した緊張機械で行い、コンクリートの所定の強度に達したことを確認し、プレストレス導入を行うこと。又、現場でのプレストレス導入は係員直下の工で行い、所定の強度を導入されたことを確認し、次の作業に進むこと。
 - ④ 施工時プレストレス導入は、PS大梁に於て $P=5300\text{kg}$ 片持ち梁に於て $P=4800\text{kg}$ とする。なお導入時のコンクリート強度は $F_{ck}=40\text{N/mm}^2$ と確認すること。
 - ⑤ PSコンクリートは周縁コンクリートの振動打ちとする。
 - ⑥ プレストレスの導入が完了するまでは無断コンクリートの状態であるから、絶対にサポートを外してはならぬ。
 - ⑦ 型枠の存置期間は、PS部にあるプレストレス導入完了後とする。(上層コンクリート打設がある場合、上層緊張後とする)。
 - ⑧ グラウトは下記配合とし、グラウトミキサー使用により、練り混ぜる時間は2分以内とする。
- | 水/セ | セメント | ホウソウ | シリカ | シリカ |
|-----|------|------|-----|-----|
| 40% | 100% | 250% | 10% | 40% |



(施工順序)
 ① PC鋼材緊張
 ② PC鋼材緊張後コンクリート打設(橋脚・橋脚)
 ③ コンクリート打設箇所
 ④ PC鋼材緊張
 ⑤ コンクリート打設箇所
 ⑥ PC鋼材緊張



変更図

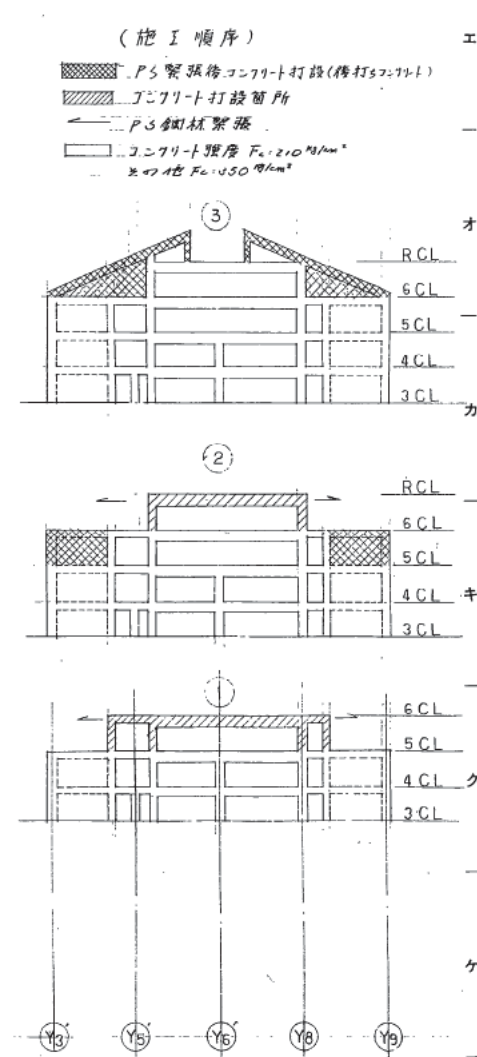
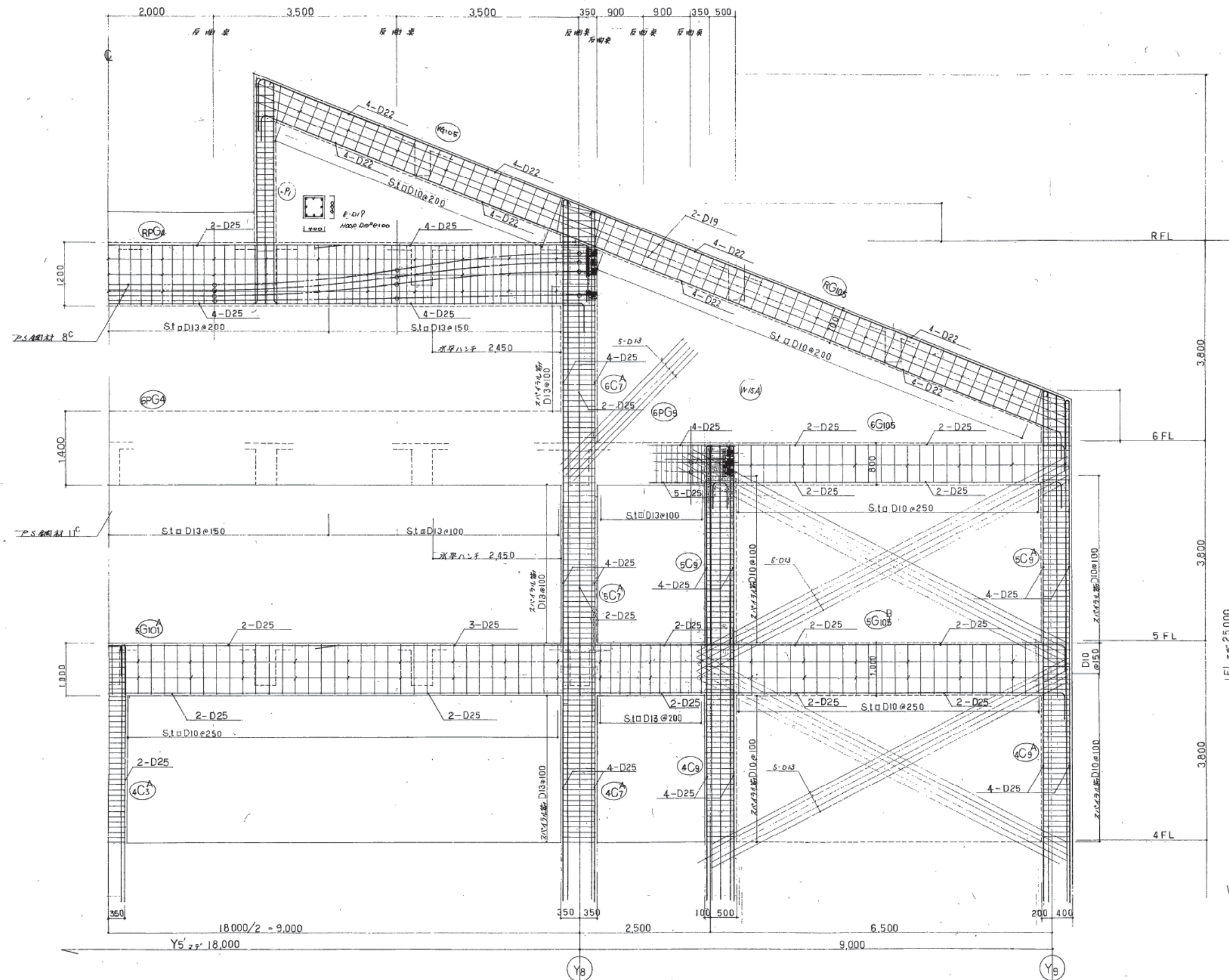
株式会社 山下設計
 YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工図
 8/10/80

訂正
 特記

熊本市庁舎

図面内容
 Y3'通り配筋詳細図
 図面番号
 2095
 校/内
 区分
 建築構造図



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS&ENGINEERS, INC.

竣工図
保管
承認
作成

訂正

特記

熊本市庁舎

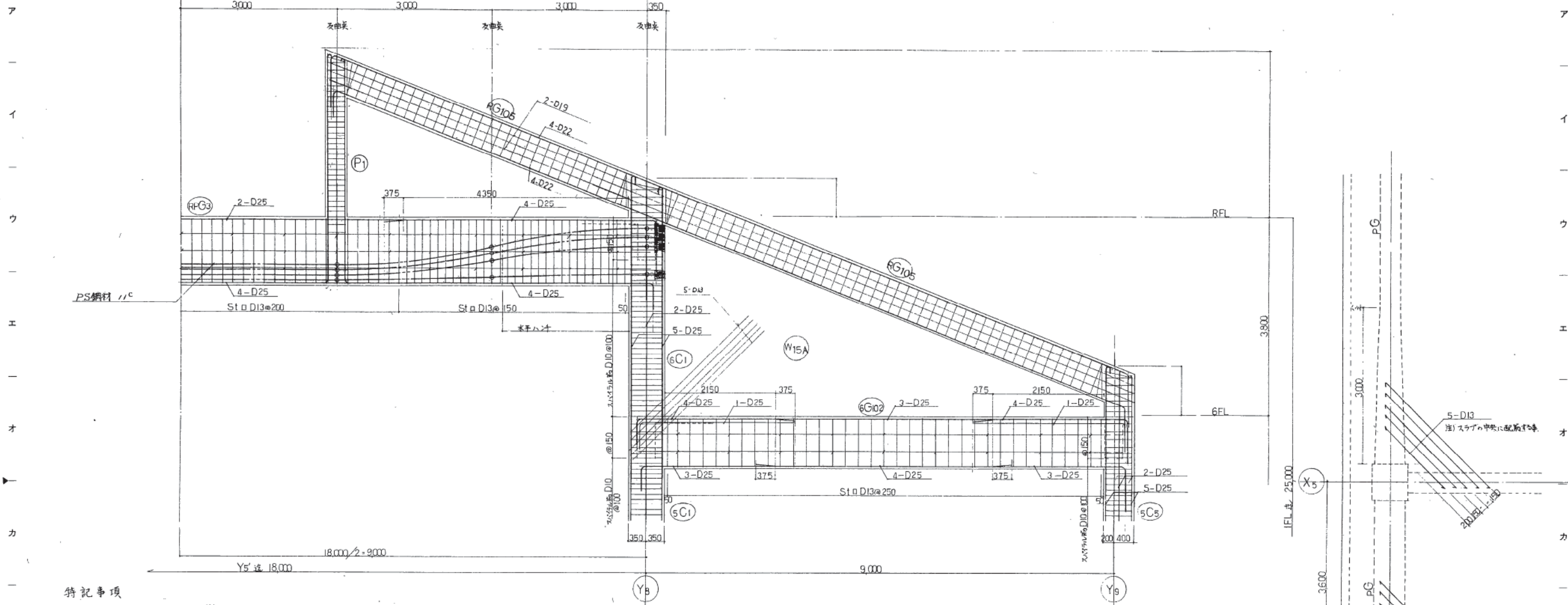
図面内容
概尺
1/40

X6 通リ 配筋詳細図

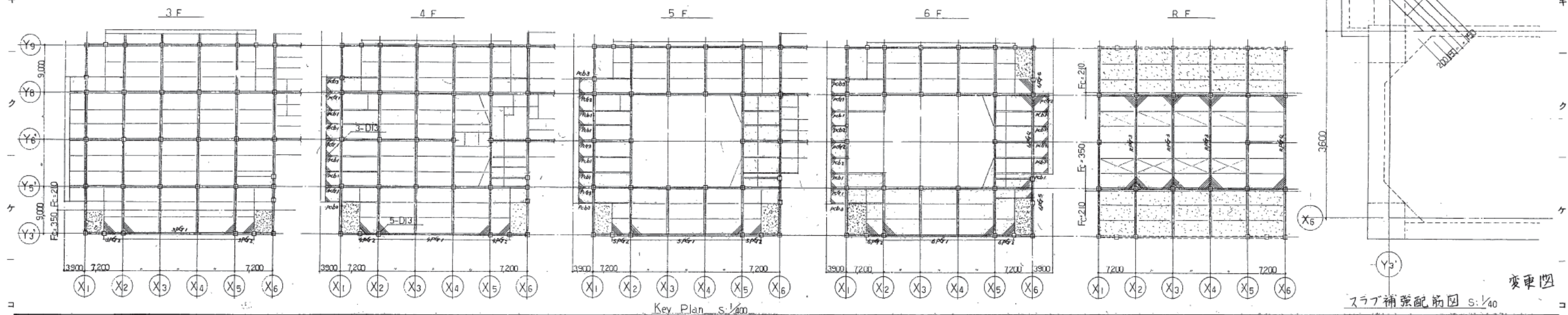
図面番号
2096
区分
建築構造図

変更図

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



- 特記事項
- コンクリート $F_c=350$ 打設部を示す。
 - 後打ちコンクリート部を示す。(一着送成にて施工)

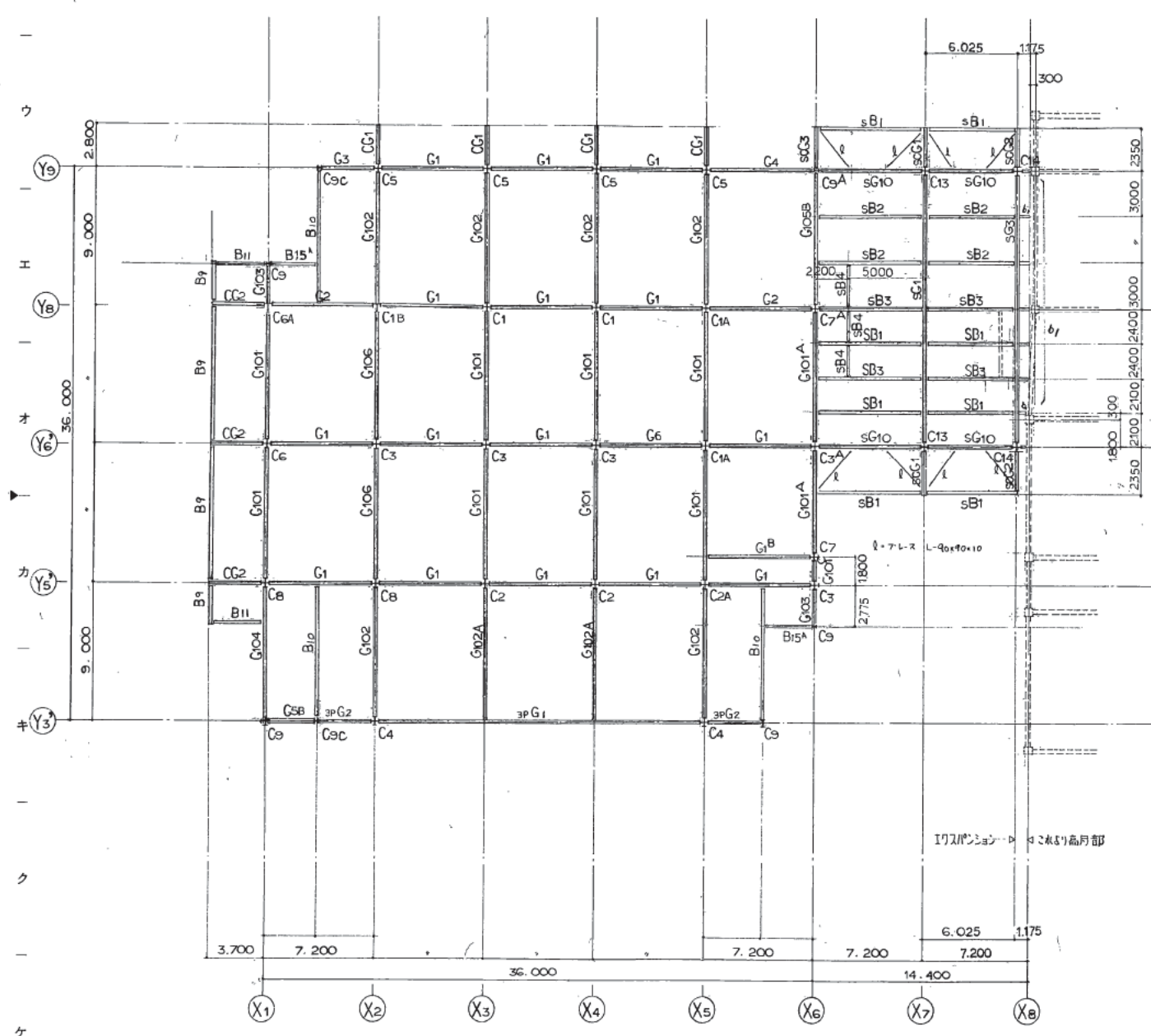


1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

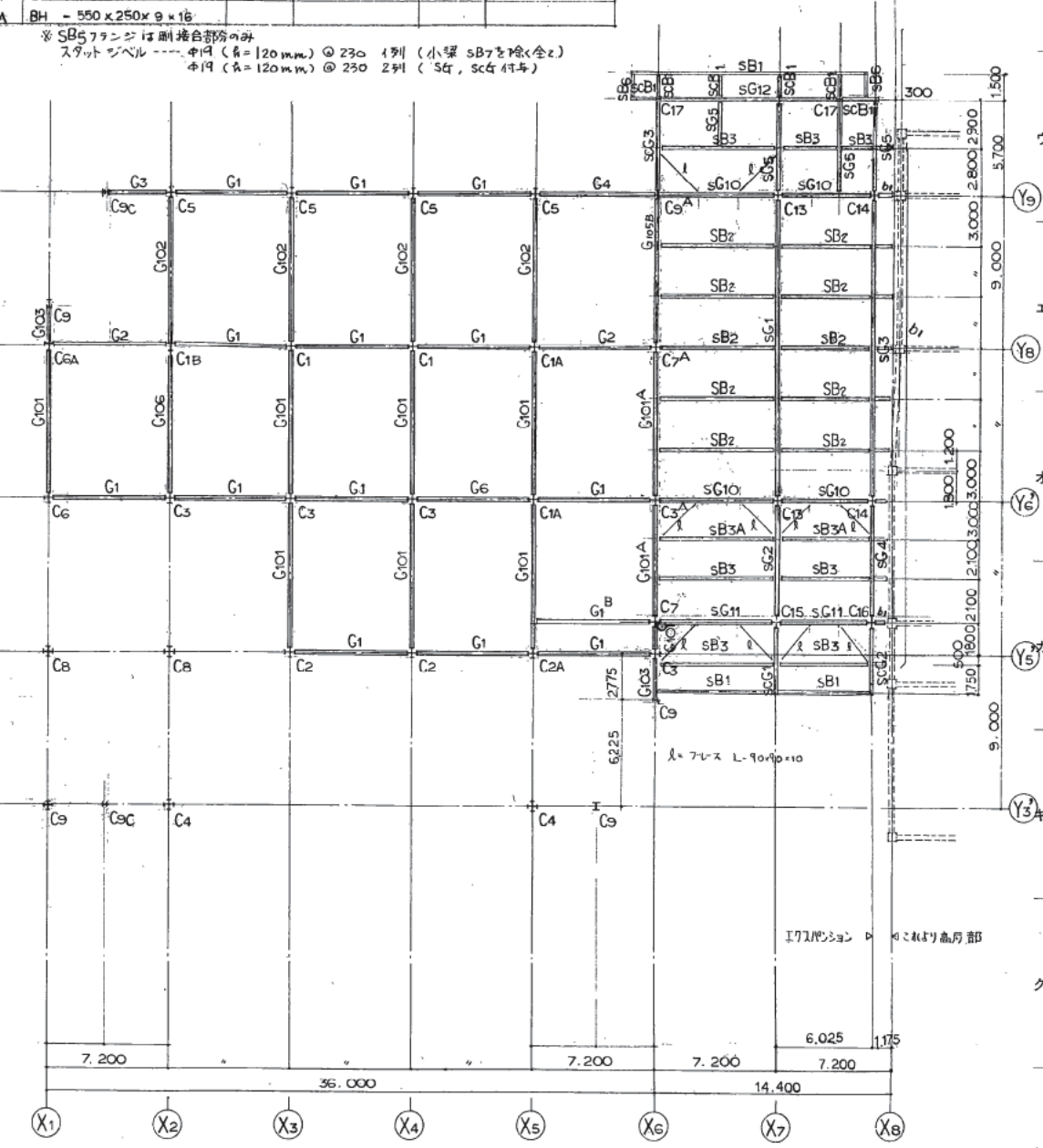
鉄骨小梁リスト SS41材 ○印はSH50A

符号	部材	H.T.B	フラッシュ	H.T.B	クエア
SB1	H - 450 × 200 × 9 × 14			4-M20	2R - 6 × 170 × 300
SB2	H - 400 × 200 × 8 × 13			3-M20	2R - 6 × 170 × 250
SB3	H - 500 × 200 × 10 × 16			5-M20	2R - 9 × 170 × 350
SB4	H - 350 × 175 × 7 × 11			3-M20	2R - 6 × 170 × 200
SB5	H - 596 × 199 × 10 × 15	6-M20	2R - 9 × 200 × 490 2R - 12 × 200 × 490	6-M20	2R - 9 × 170 × 450
SB6	H - 300 × 150 × 6.5 × 9			3-M20	2R - 6 × 170 × 200
SB7	BH - 700 × 200 × 12 × 22			7-M20	2R - 9 × 170 × 550
SCB1	BH - 500 × 150 × 9 × 13			4-M20	2R - 6 × 170 × 350
b	I - 200 × 90 × 8 × 13.5				
SB3A	BH - 550 × 250 × 9 × 16				

※ SB5 フラッシュは剛接合部のみ
スタートラベル --- 中19 (R=120mm) @ 230 1列 (小梁 SB7を除く全L)
--- 中19 (R=120mm) @ 230 2列 (Sc, Sc4 付与)

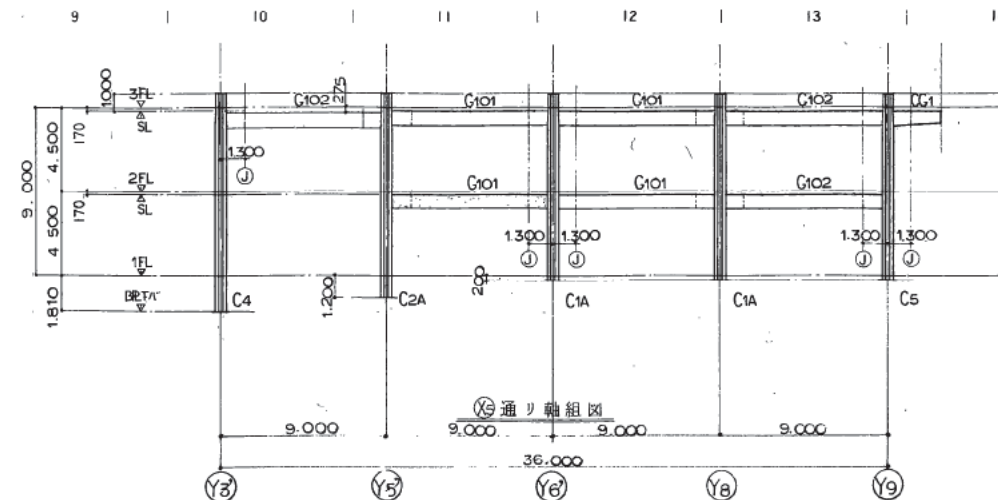
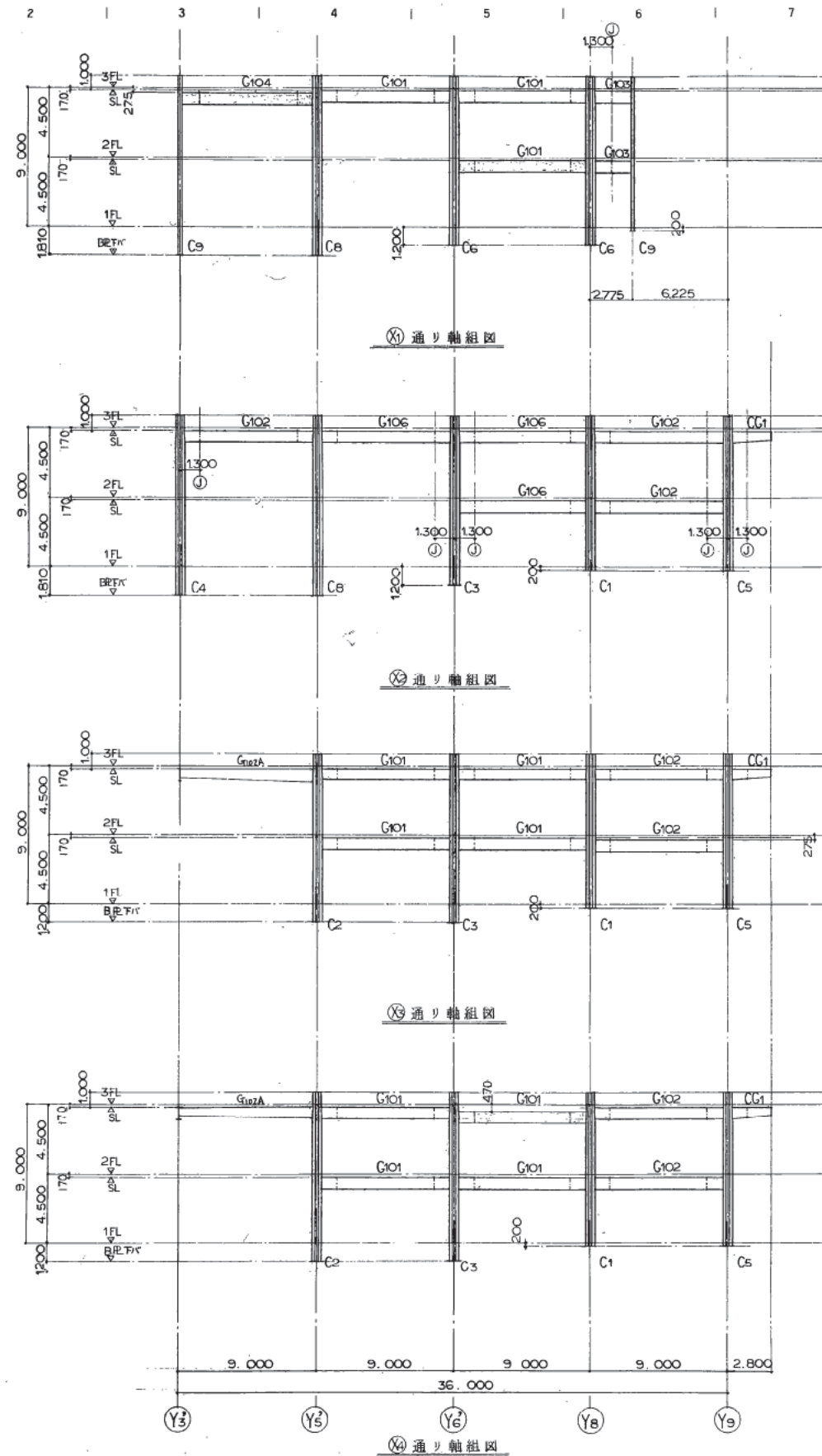


3階梁伏図



2階梁伏図

変更図



変更図

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
図面番号
21,030

訂正

特記

熊本市庁舎

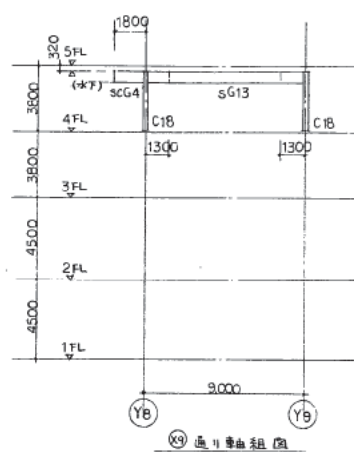
図面内容

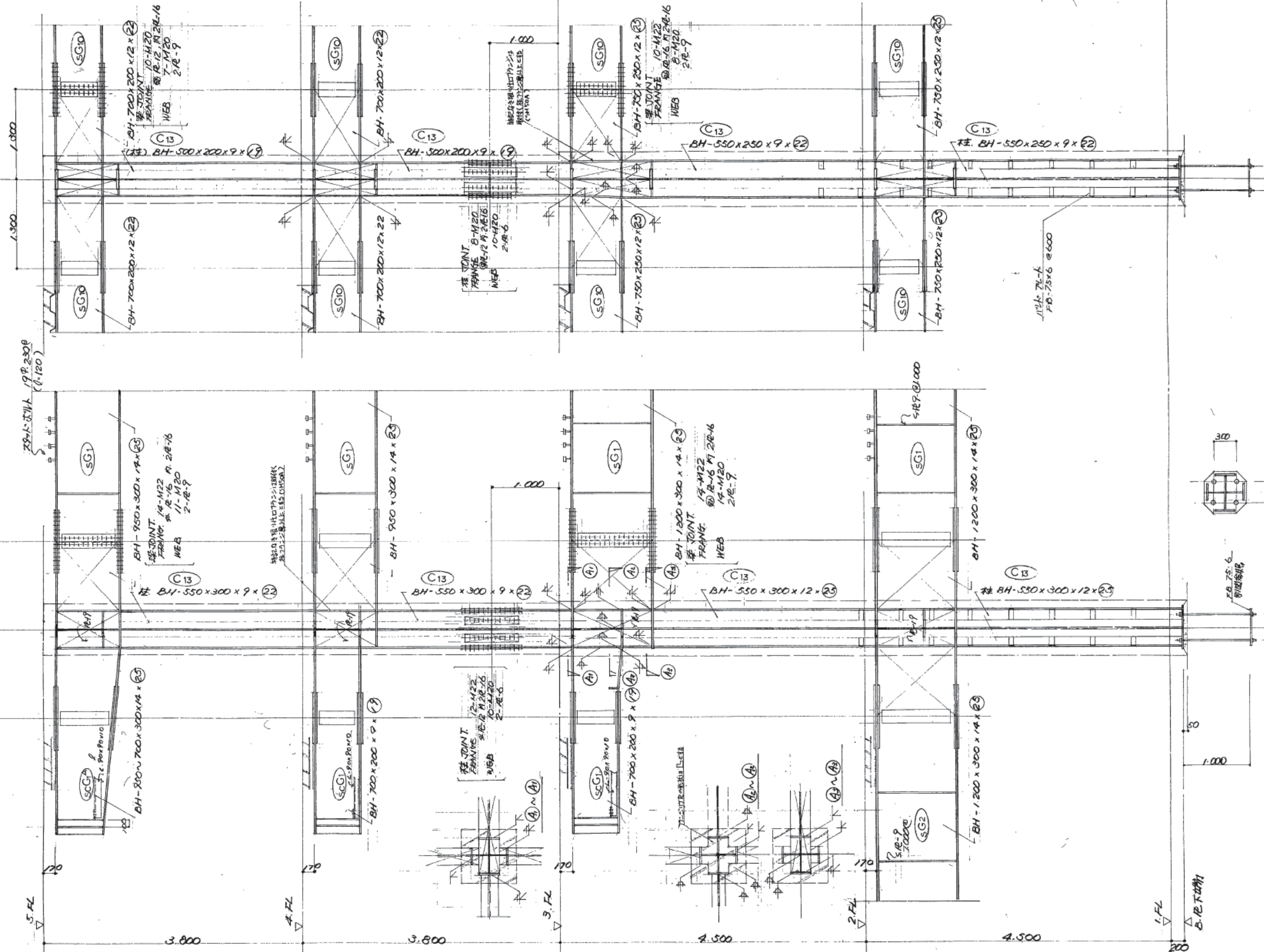
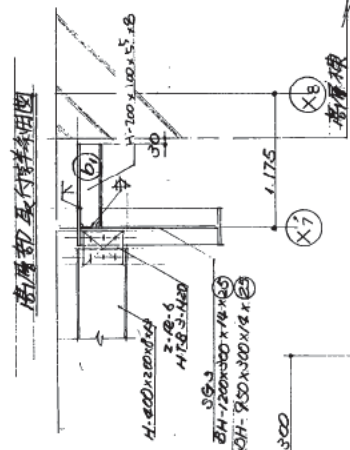
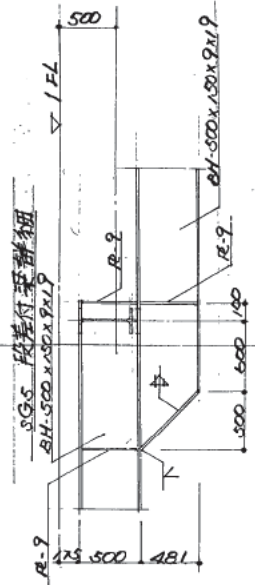
図面番号
2099

通り軸組図(1)

図面番号
2099
区分
建築構造図

1/200





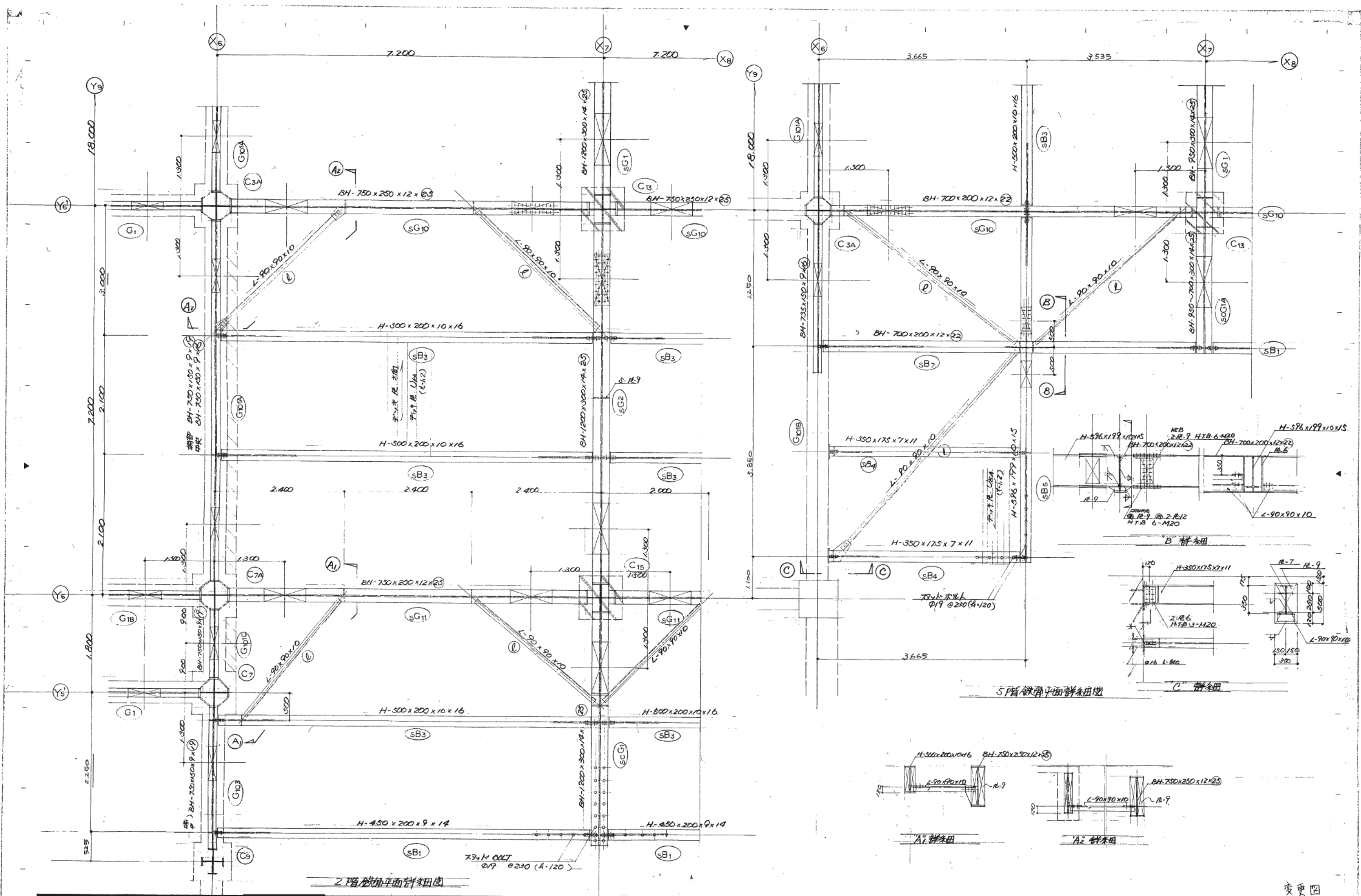
① 7.200 ② 7.200 ③ X6 ④ X7 ⑤ X8

① 7.200 ② 7.200 ③ X6 ④ X7 ⑤ X8

① 通川鉄骨梁構造詳細図

② 通川鉄骨梁構造詳細図

変更四



変更四

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
21.10.10

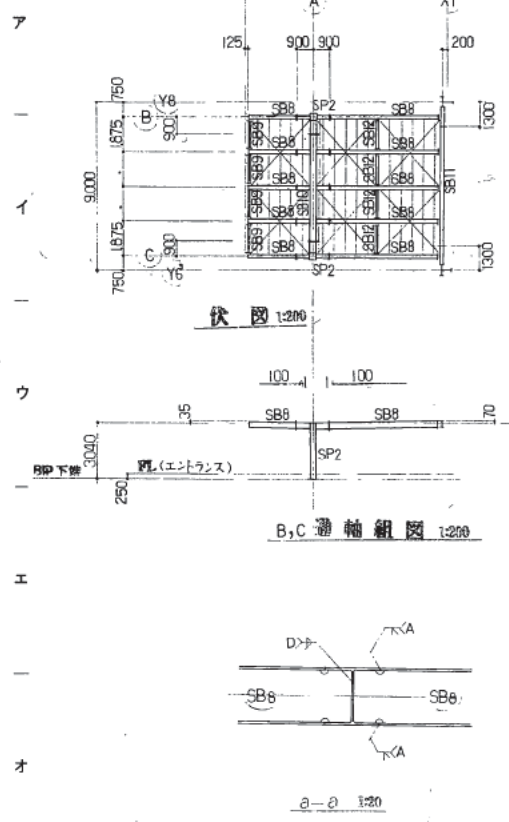
使用鋼材 SS-41 ○-SH50A

熊本市庁舎

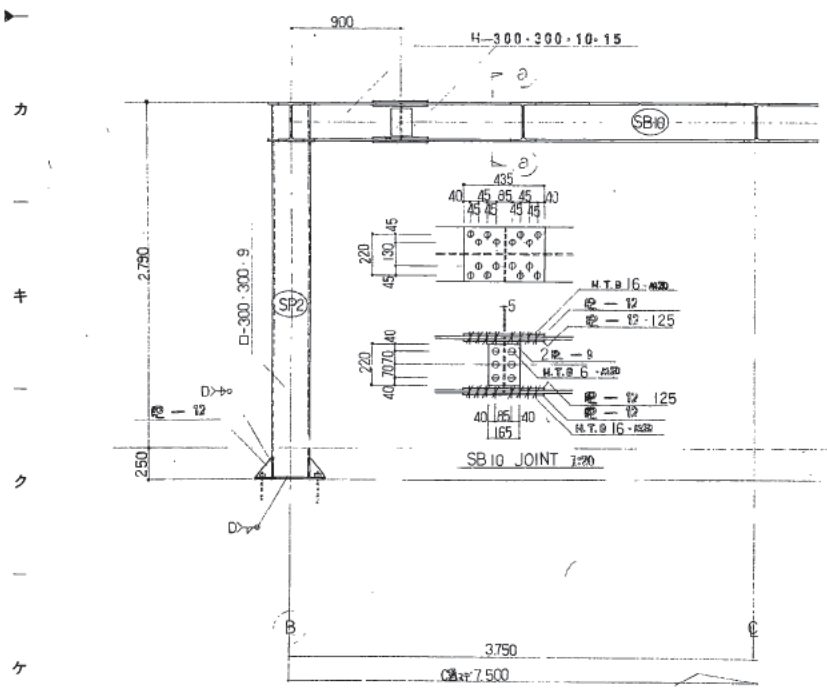
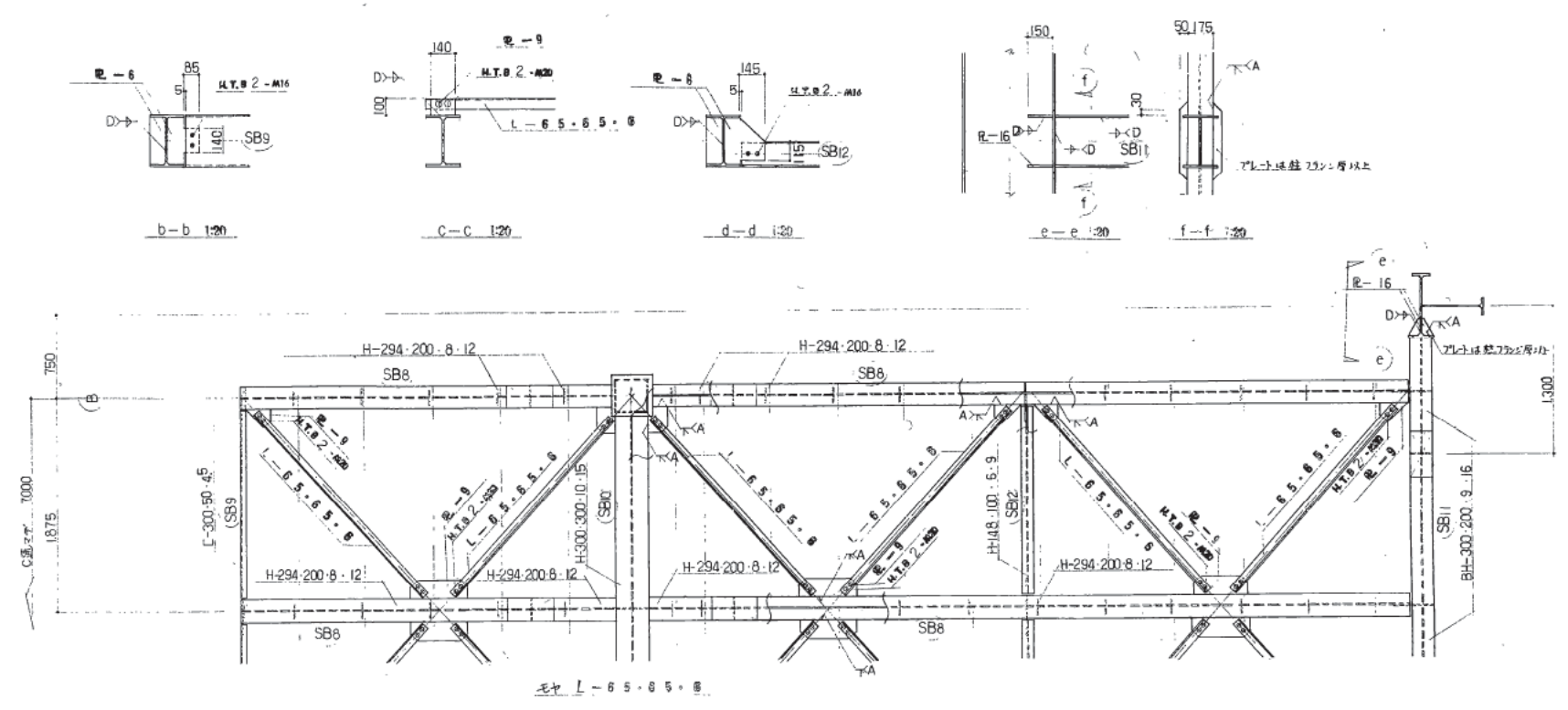
2階、5階平面詳細図
1/30

2104
図面番号
2104
図面内容
2階、5階平面詳細図
区分
建築構造図

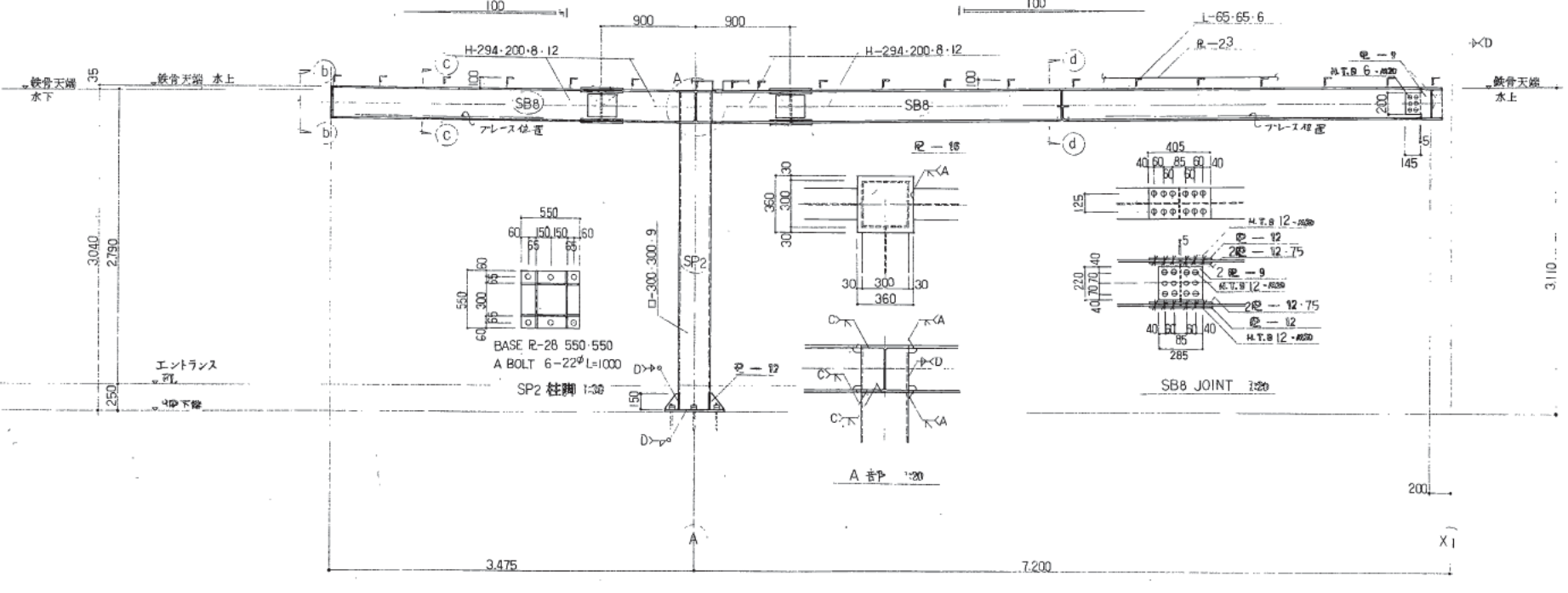
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15



部 材 リ ス ト		
記 号	部 材	備 考
SP2	□-300・300・9	柱
SB8	H-294・200・8・12	梁
SB9	C-300・50・45	
SB10	H-300・300・10・15	
SB11	BH-300・200・9・16	
SB12	H-148・100・6・9	
水平アレス	L-65・65・6	
モヤ	L-65・65・6	φ600
ヤス鉄板	R-23	



A 鋼鉄骨詳細図 1:30



B 鋼鉄骨詳細図 1:30

[illegible]

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS&ENGINEERS, INC.

竣工圖

訂正

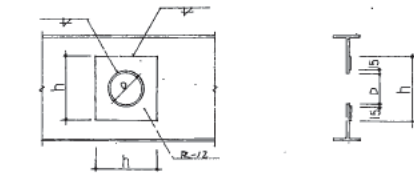
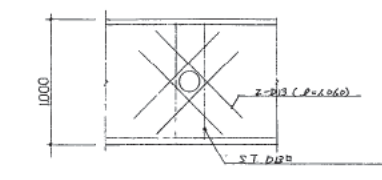
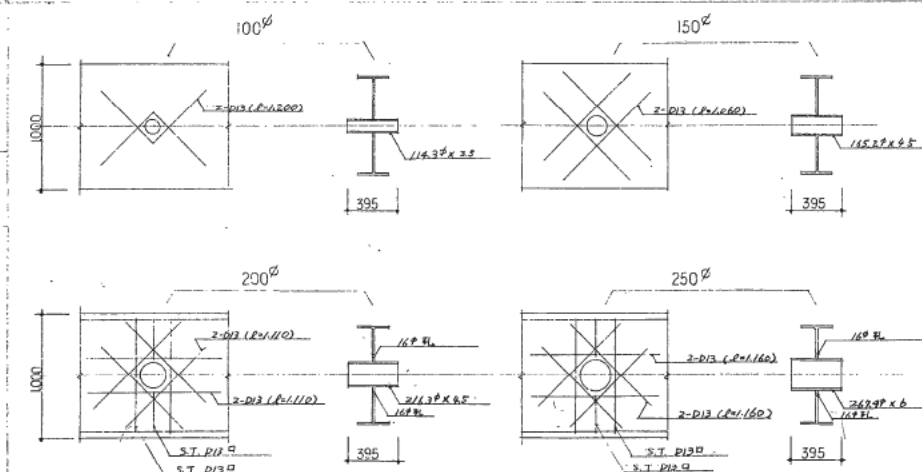
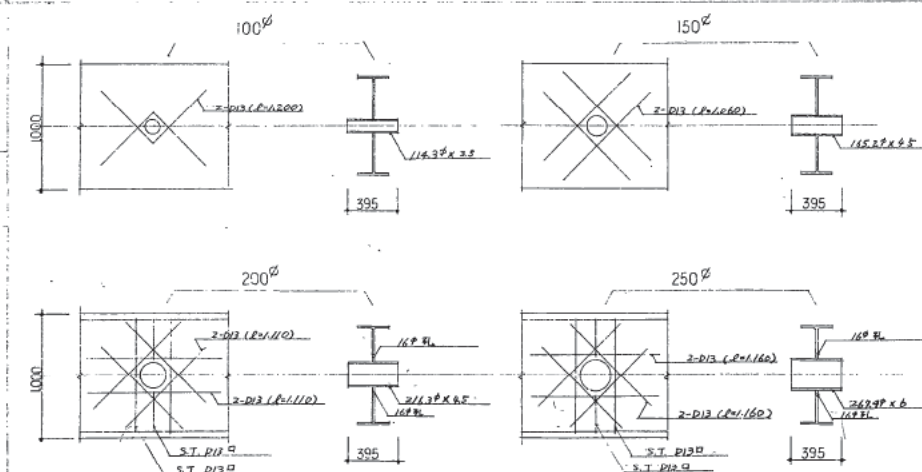
特記	
----	--

熊本市庁舎

圖面內容	階段詳細圖	
縮尺	1/30	1/

図面番号
2106
枚ノ内
区分
建築構造図

議会議事堂 設備貫通孔補強要領図

躯体種別	梁寸法	呼称	個数	補強方法	躯体種別	梁寸法	呼称	個数	補強方法
RC造	500 × 1400	100φ	3	100φ	RC造 (電丸)	400 × 1100	100φ	2	
		150φ	18	150φ			150φ	10	
		200φ	11	200φ			200φ	5	
		250φ	2	250φ			250φ	3	
	400 × 1000	100φ	62	100φ		400 × 1100	150φ	30	
		150φ	77	150φ					
		200φ	24	200φ					
		250φ	35	250φ					
	300 × 600	100φ	—	100φ		400 × 1000	100φ	39	
		150φ	28	150φ			150φ	75	
							200φ	25	
							250φ	8	
SRC造	400 × 1000	100φ	39	100φ		400 × 1000	100φ	39	
		150φ	75	150φ			150φ	75	
		200φ	25	200φ			200φ	25	
		250φ	8	250φ			250φ	8	

	100φ	150φ	200φ	250φ
D	120	150	200	250
h	290	350	450	560

注: RC造スリット管の電気工事

変更図

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

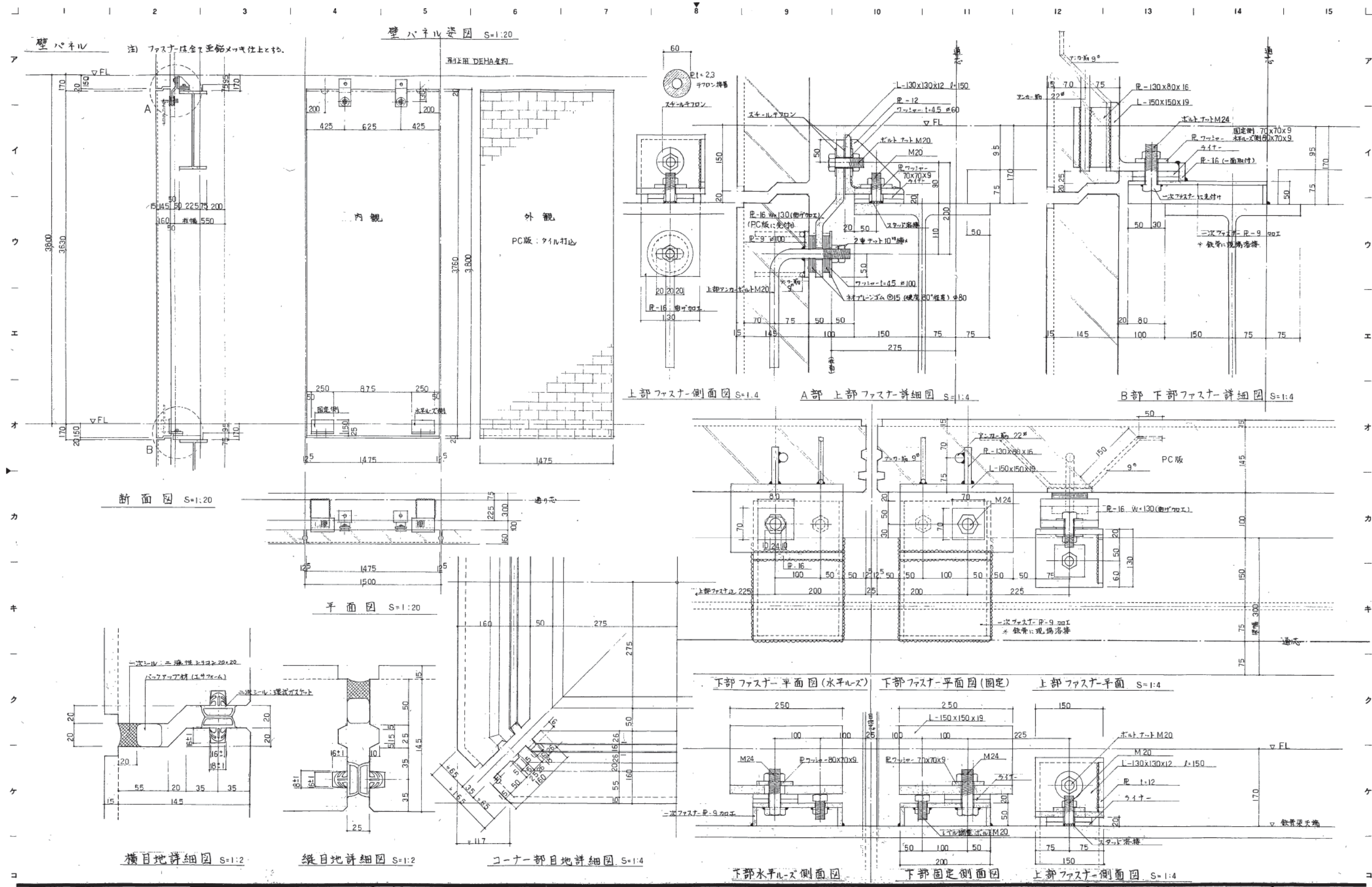
図面
作成
9/10/07

訂正
特記

熊本市庁舎

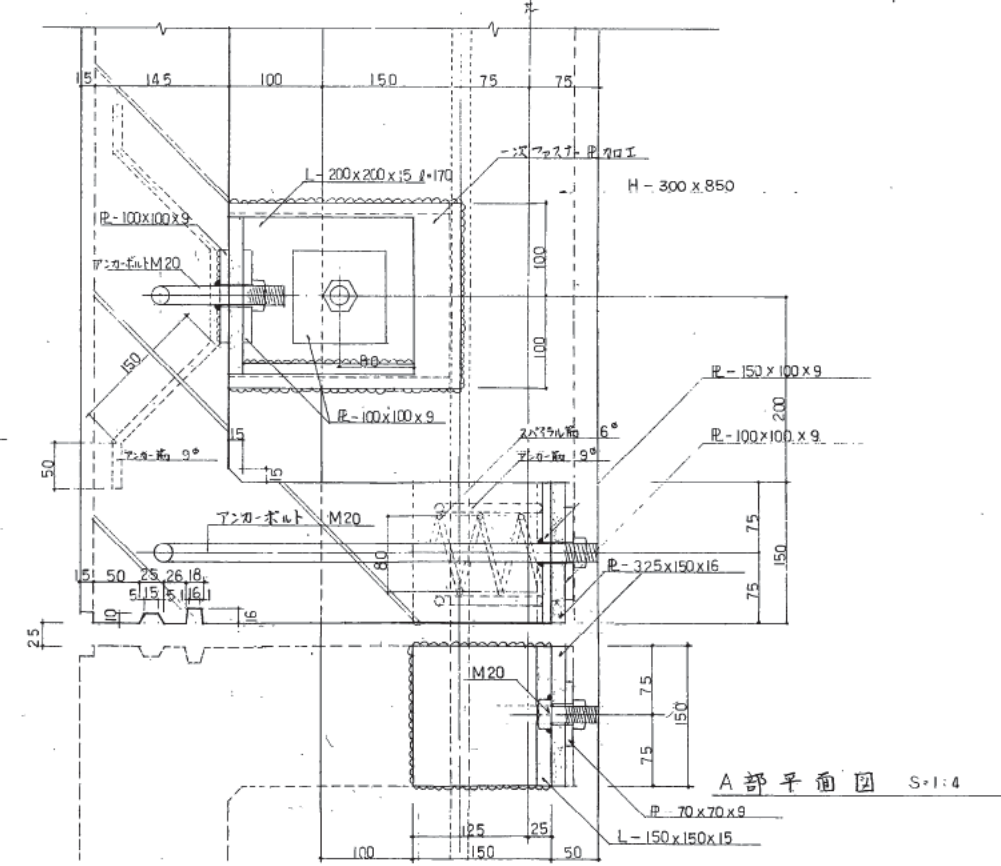
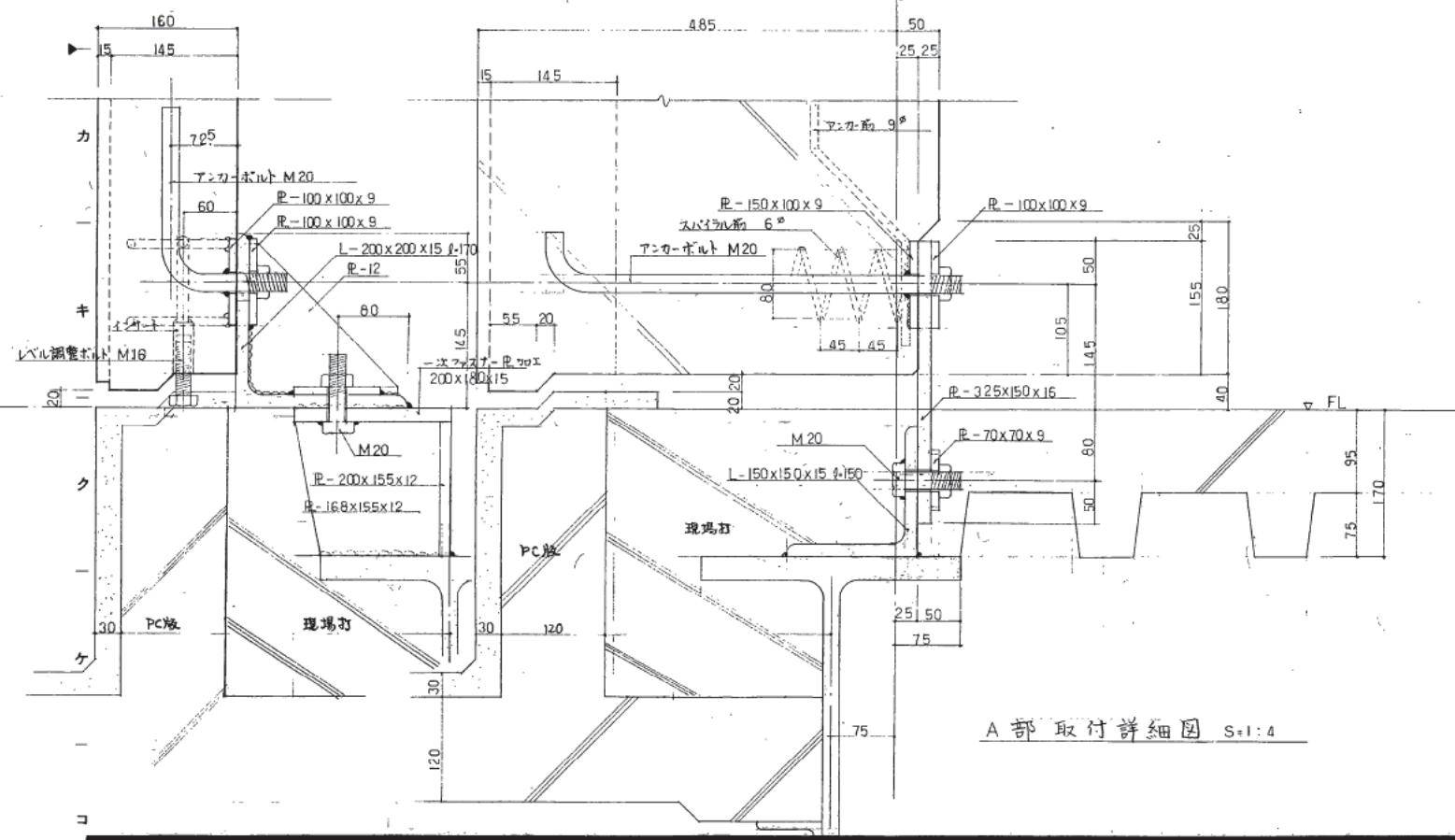
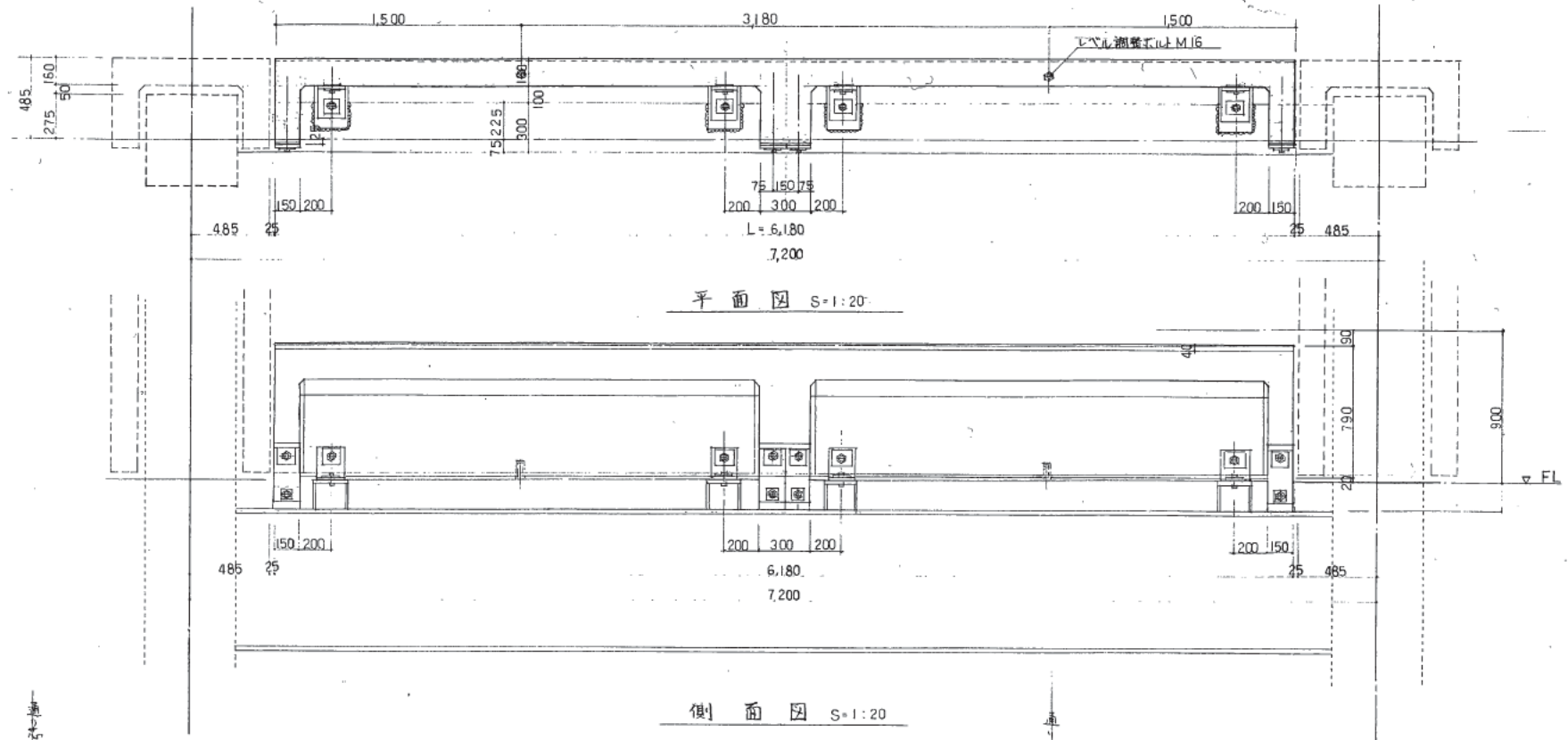
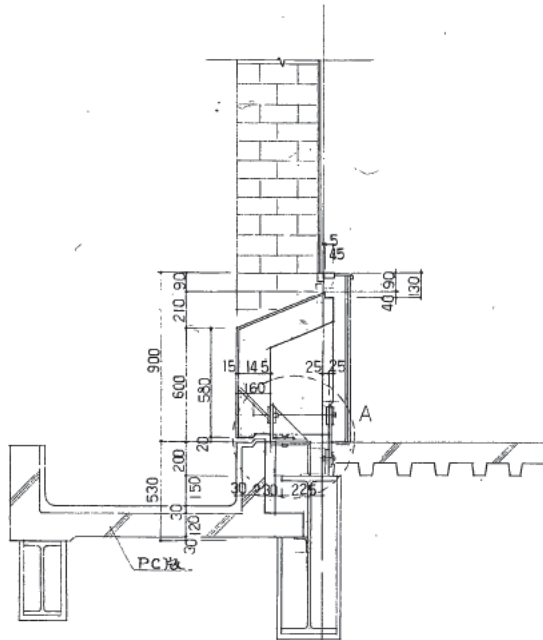
図面
内容
補強
補尺

図面
番号
2107
枚ノ内
区分
建築構造図



腰壁パネル

注) ファスナーは全て亜鉛メッキ仕上とする。



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

設計
21.10.20

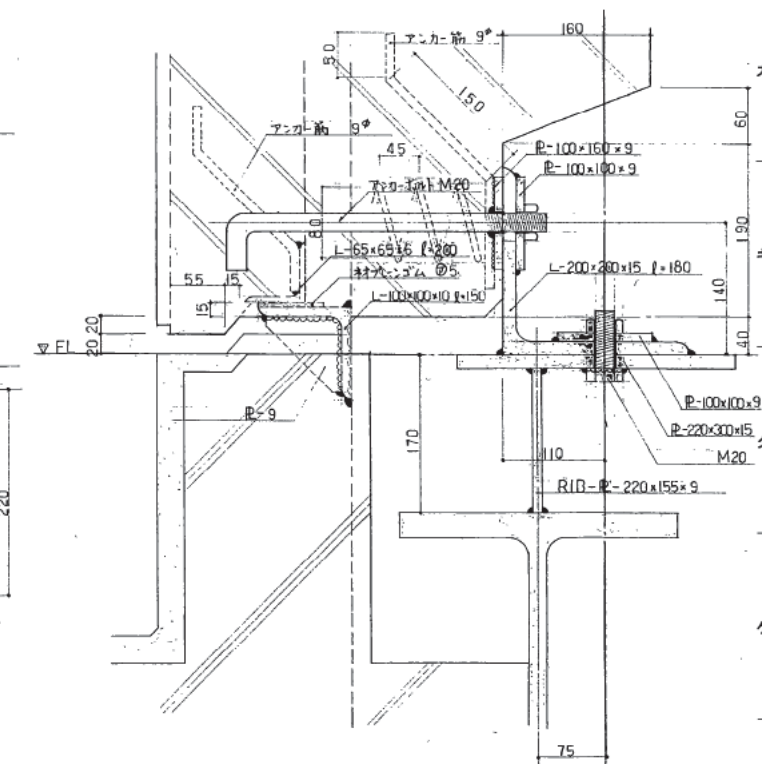
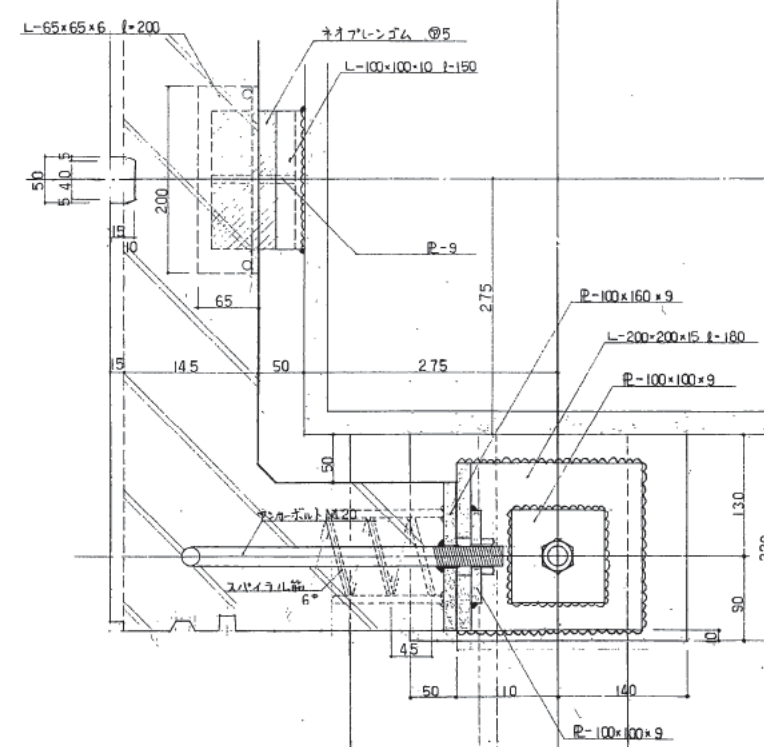
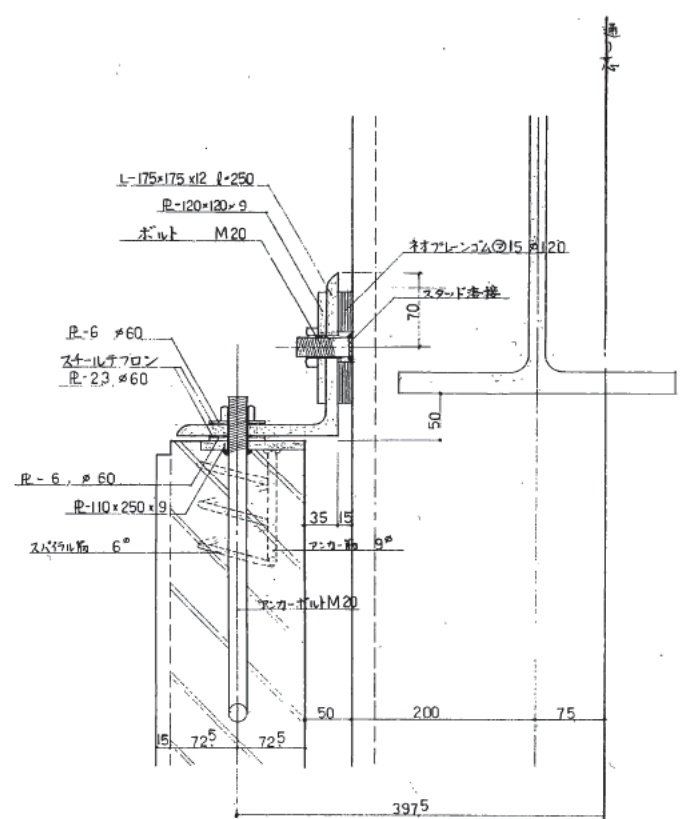
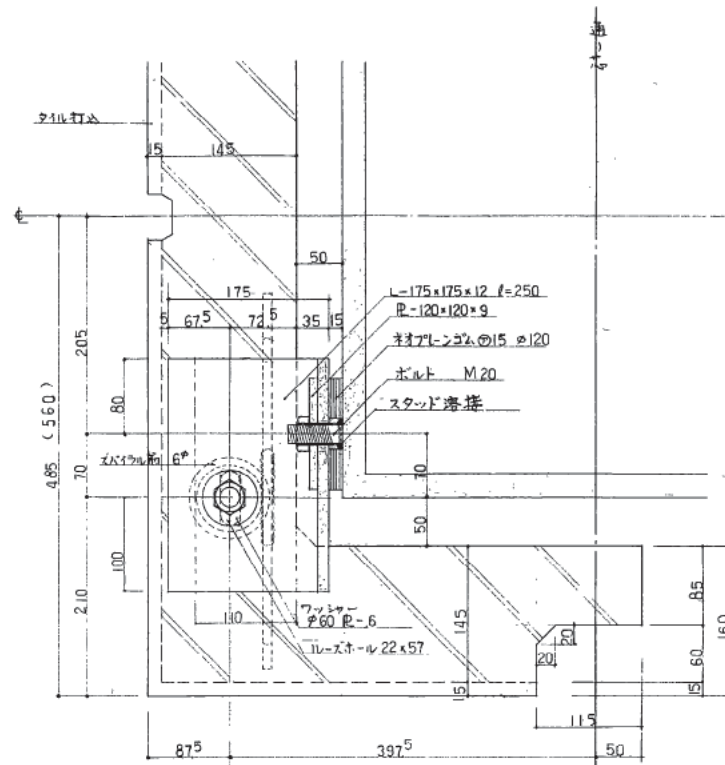
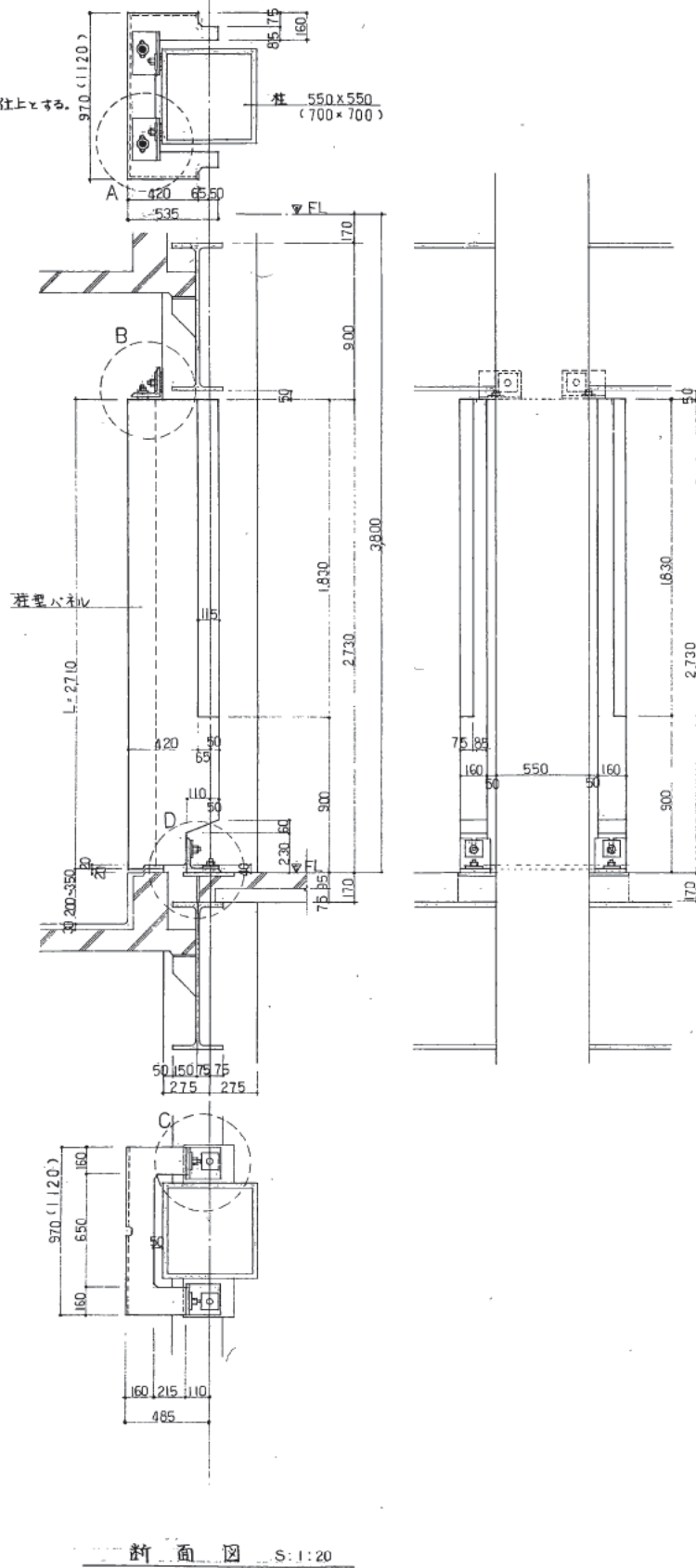
熊本市庁舎

図面内容
PG パネル詳細図(2)
縮尺
1/20 1/4

図面番号
2101
区分
建築構造図

柱型パネル

注) ファスナーは全て亜鉛メッキ仕とする。



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

熊本市庁舎

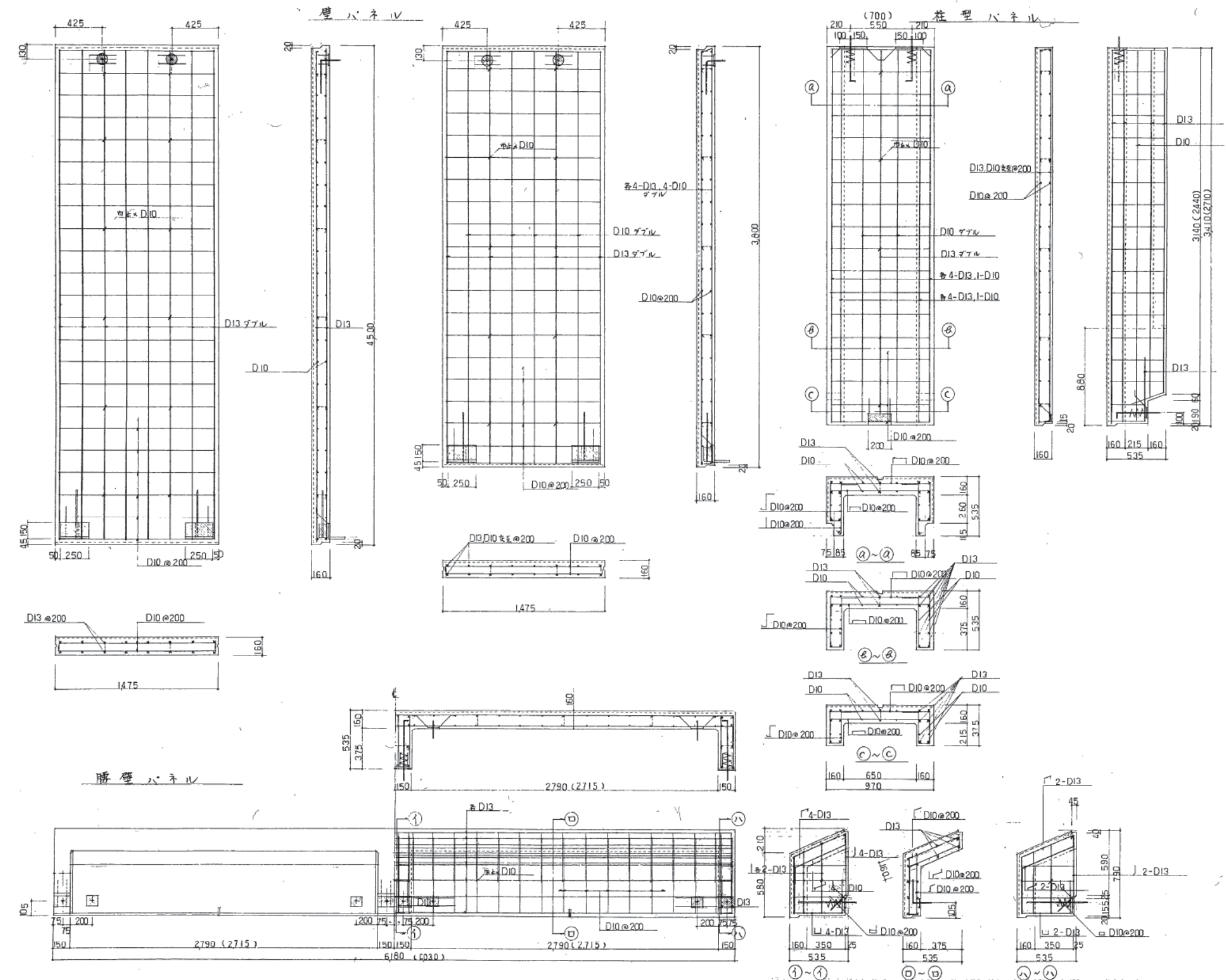
PC パネル 詳細図 (3)

2102

1/20 1/4

収分

標準パネル配筋図 S=1:20



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

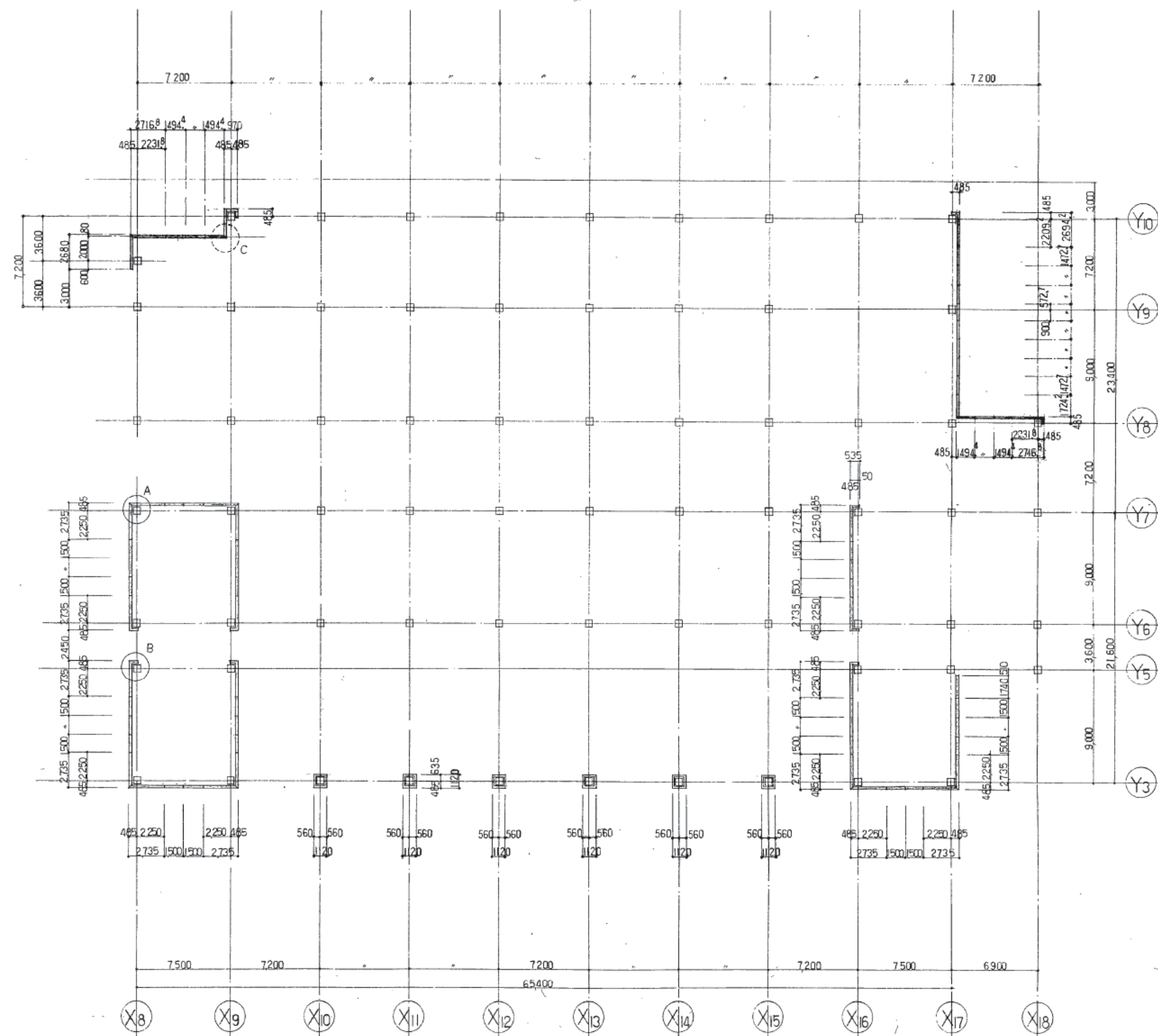
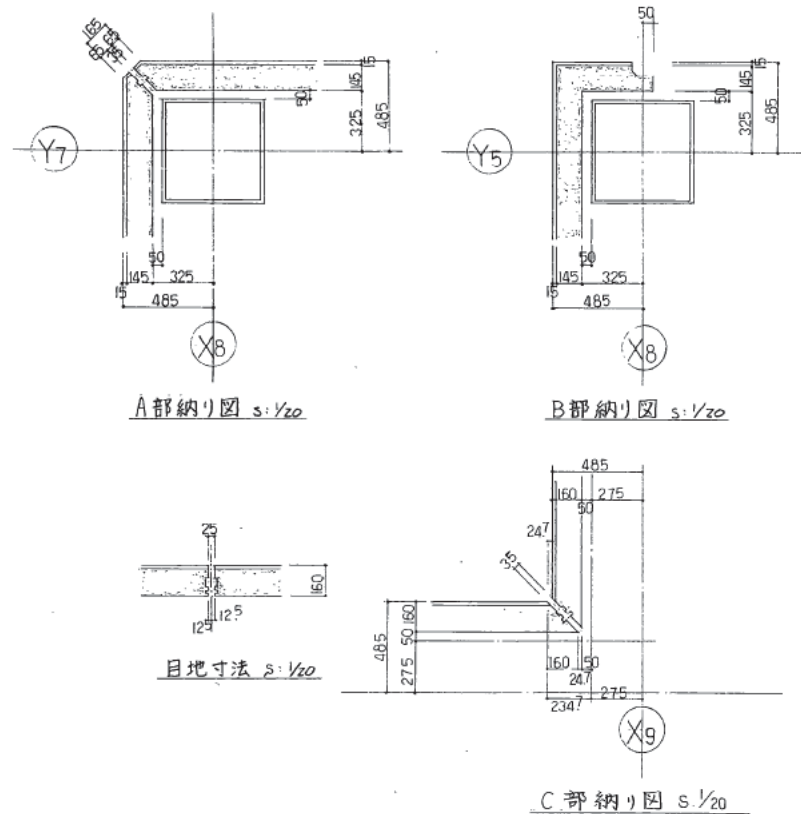
竣工図
2010.04.04

訂正

特記

熊本市庁舎

図面内容
PCパネル標準配筋図
図面番号
2103
枚数
1
区分
建築構造図



1階平面割付図 s: 1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

施工
図

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

訂正

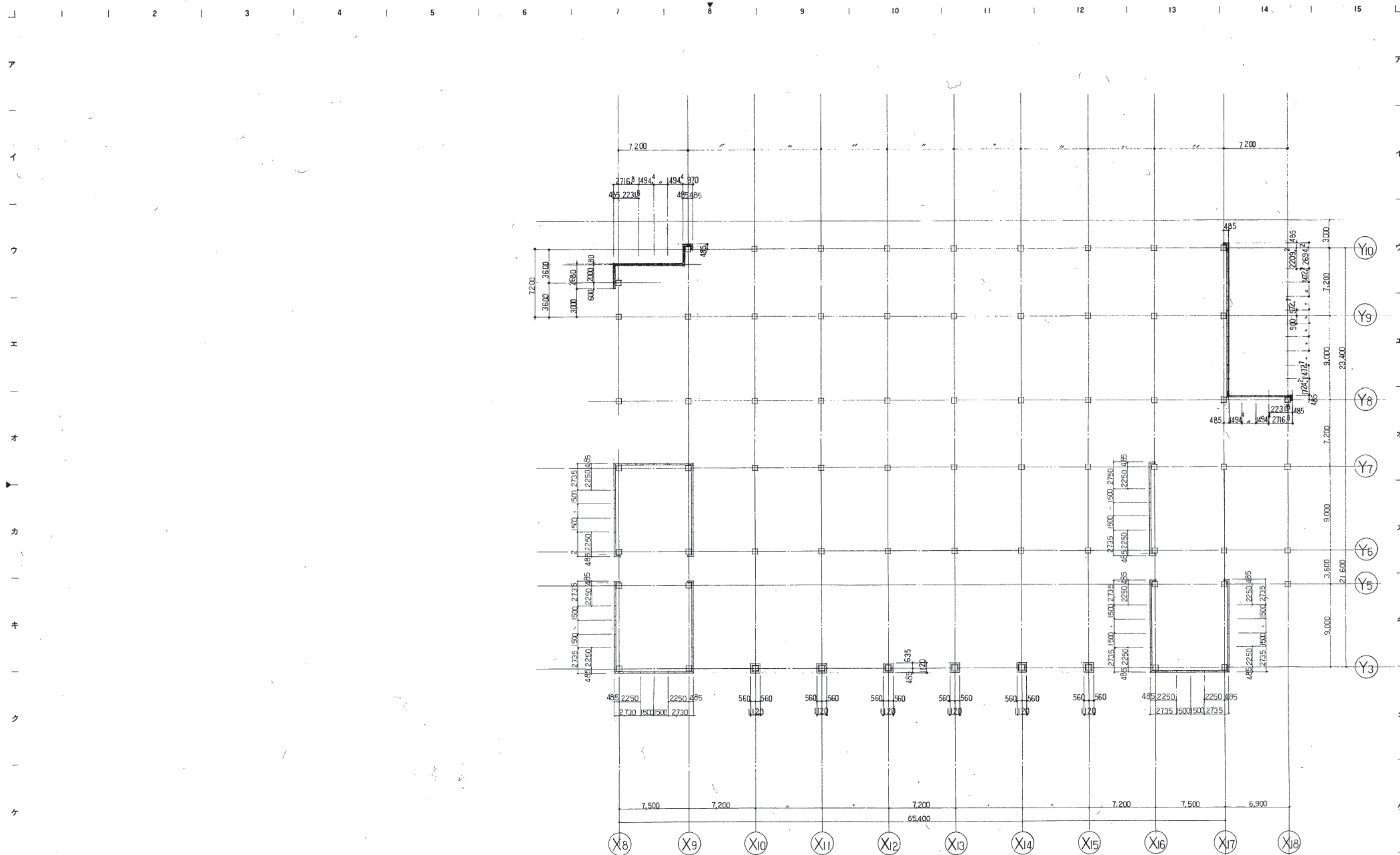
熊本市庁舎

1階平面割付図

2104

図面

区分



2階平面割付図 1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工図
2010.10.20

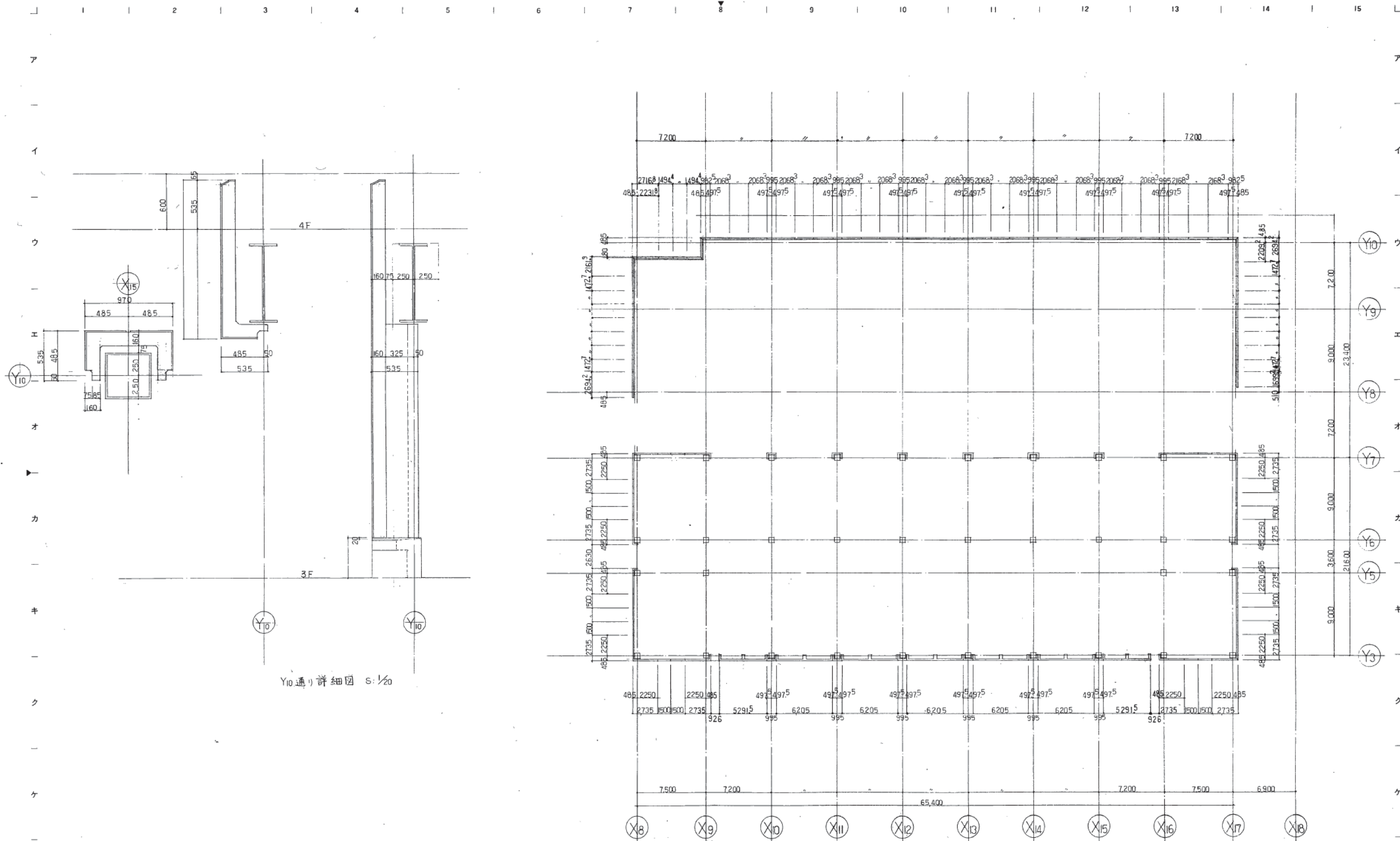
訂正
特記

熊本市庁舎

図面番号
2階平面割付図

図面番号
2105
枚数
1
区分
建築構造図





4階平面割付図 S:1/200

Y10通り詳細図 S:1/20

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

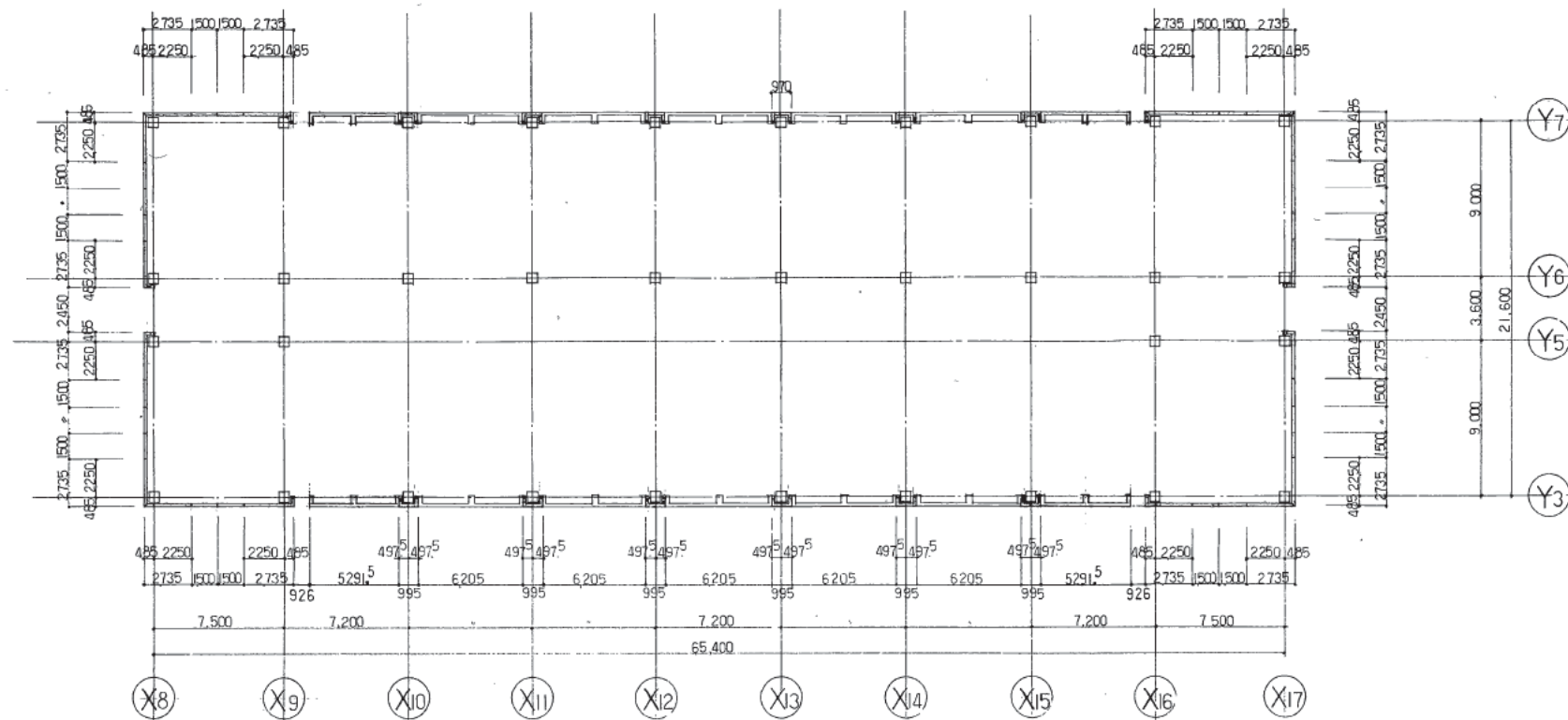
設計者
監理者
構造設計者
8/10/20

訂正
特記

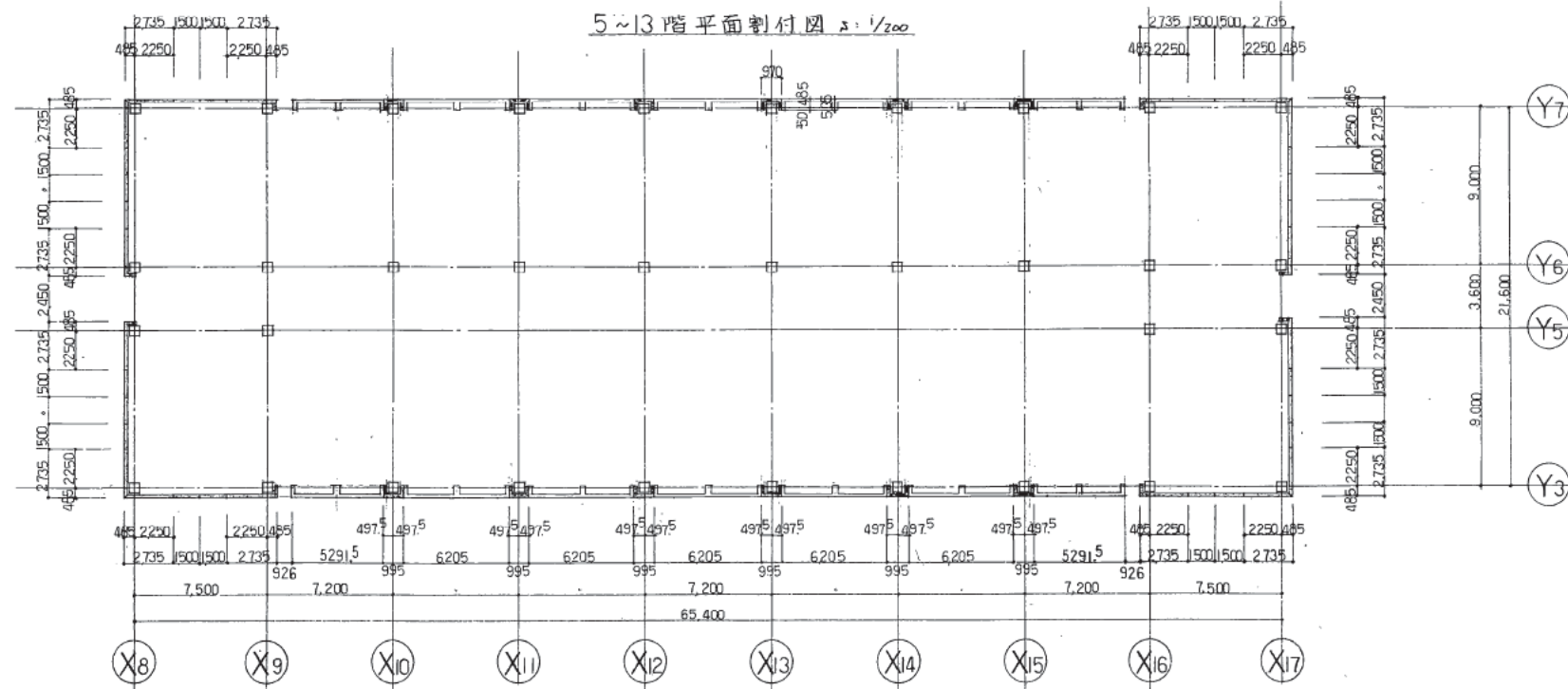
熊本市庁舎

図面内容
PCハル 4階平面割付図
縮尺

図面番号
2107
枚ノ内
区分
建築構造図



5~13階平面割付図 s: 1/200



14階平面割付図 s: 1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

竣工図
確認
作成

8/10/10

訂正

特記

熊本市庁舎

図面内容
縮尺

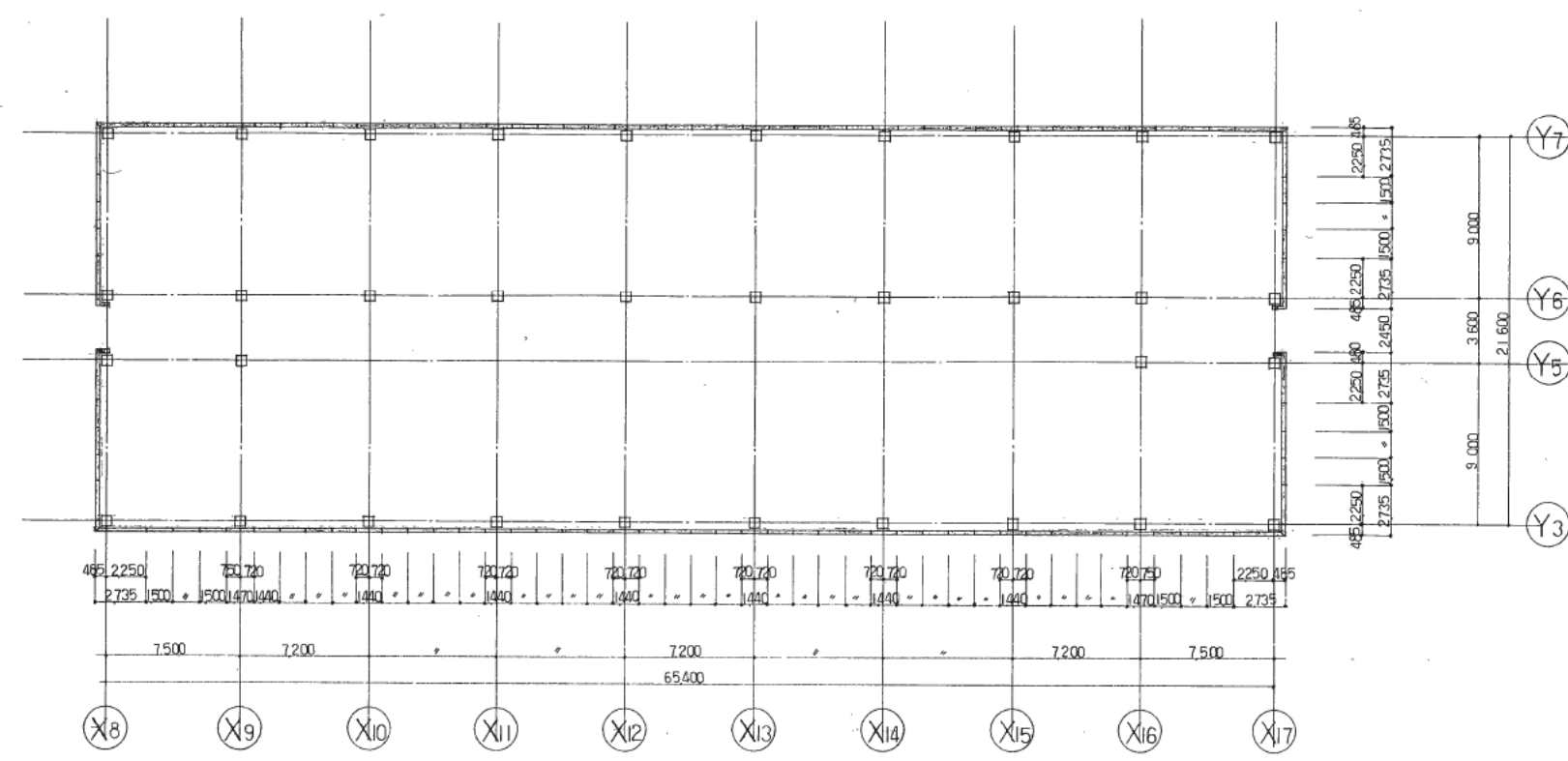
PCハル5~14階平面割付図

図面番号
枚ノ内
区分

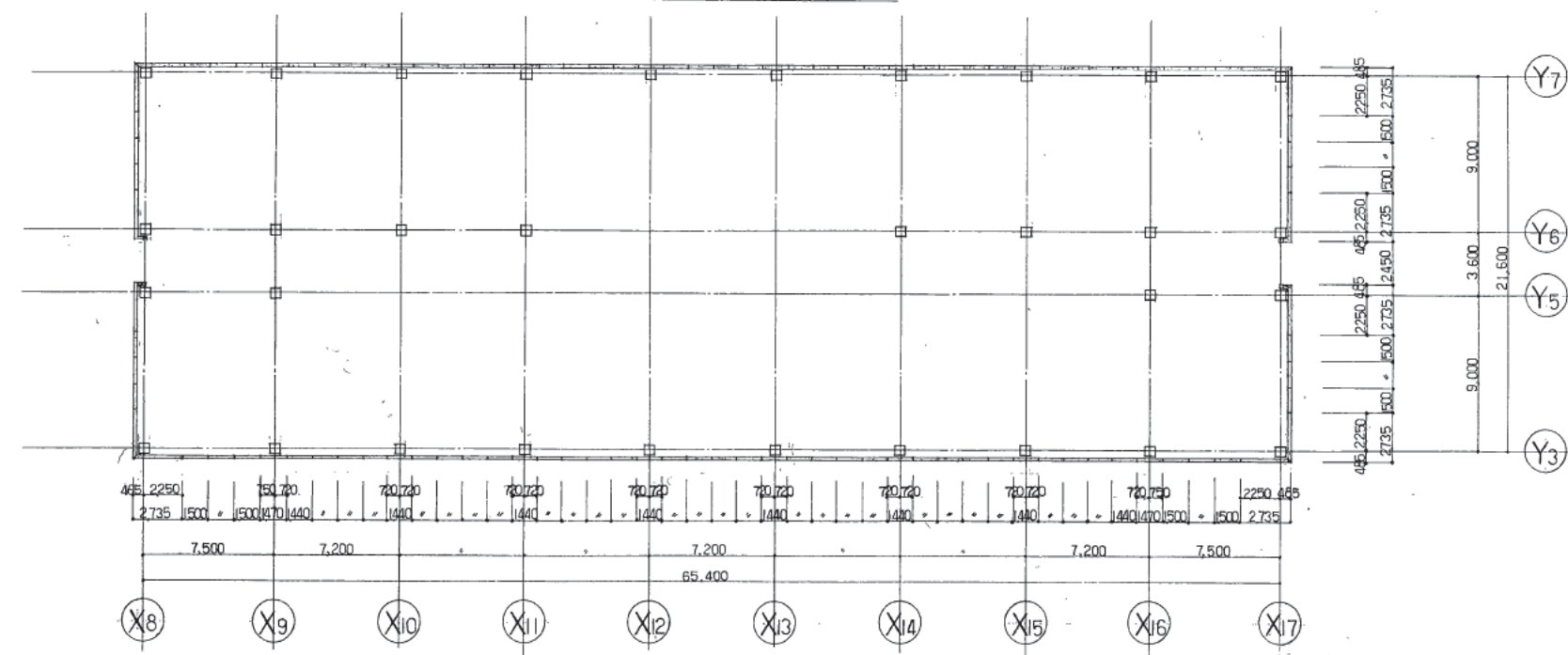
2108
建築構造図

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

ア
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク
ケ
コ



15階平面割付図 s:1/200



PH1階平面割付図 s:1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

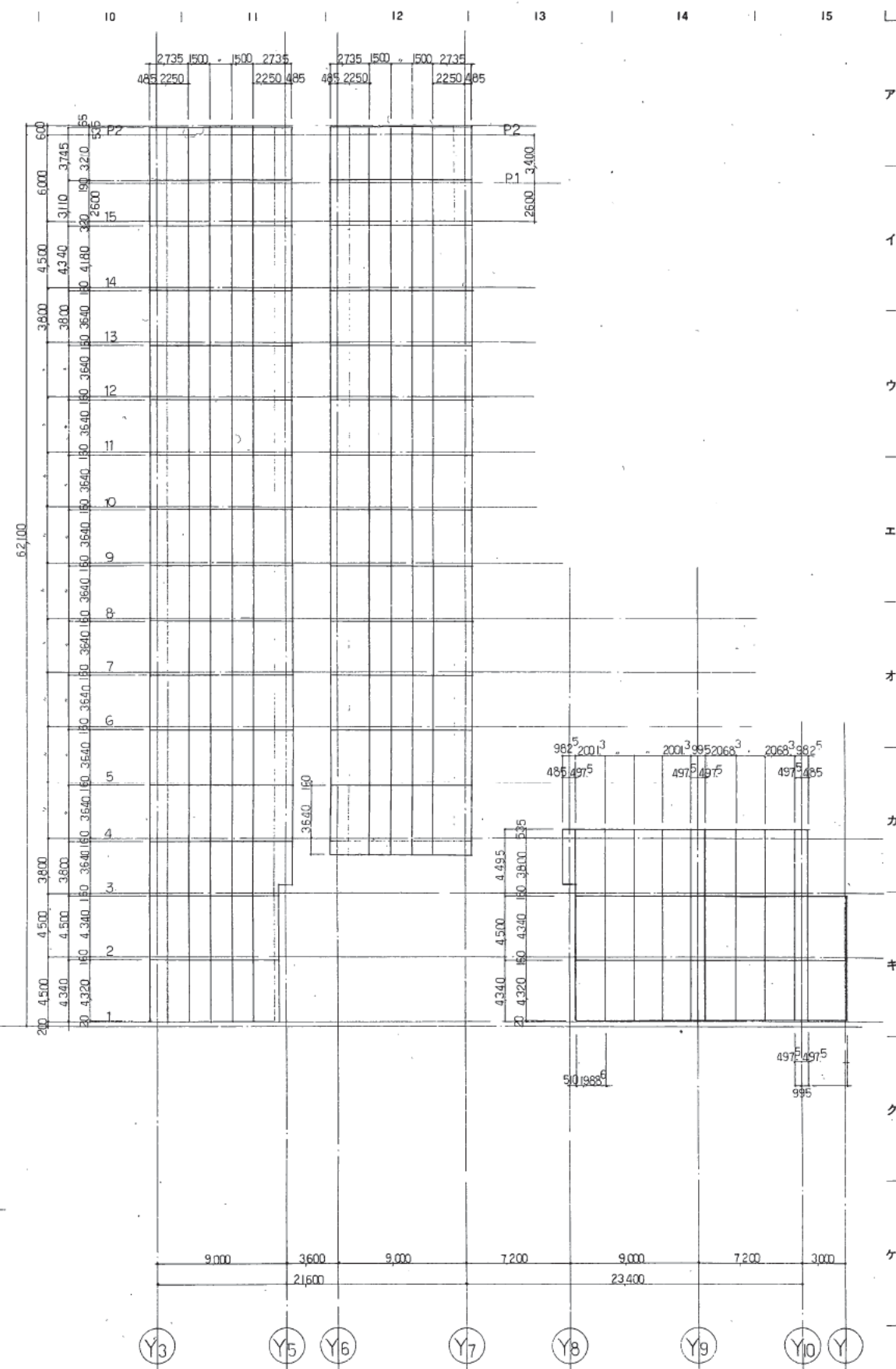
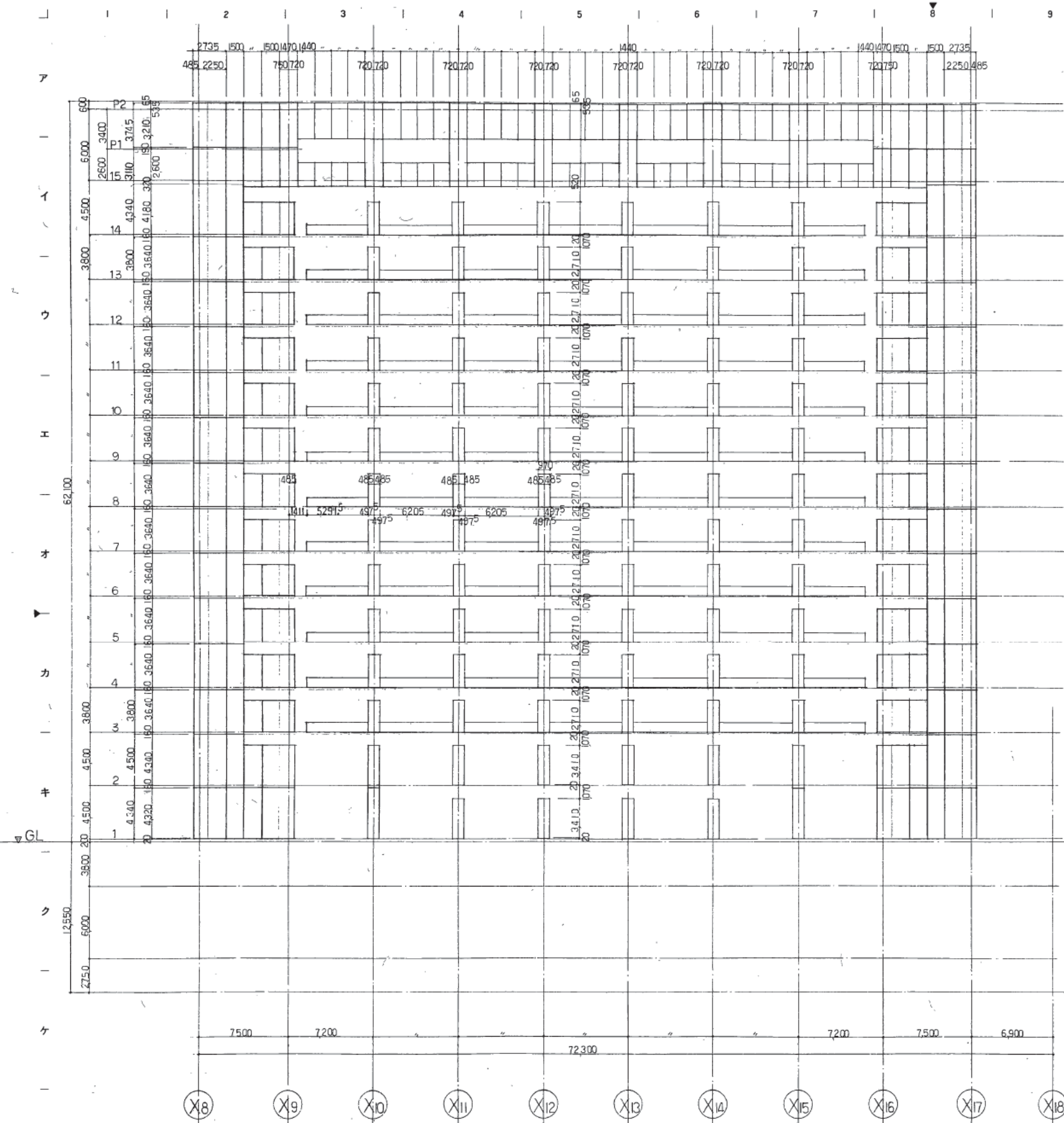
竣工図
21.10.00

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
PCハル 15, PH1階平面割付図
縮尺

図面番号
2109
枚ノ内
区分
建築構造図



株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

図面
作成

竣工
図

保存
承認
確認
作成

51.10.20

訂正

特記

熊本市庁舎

図面
内容

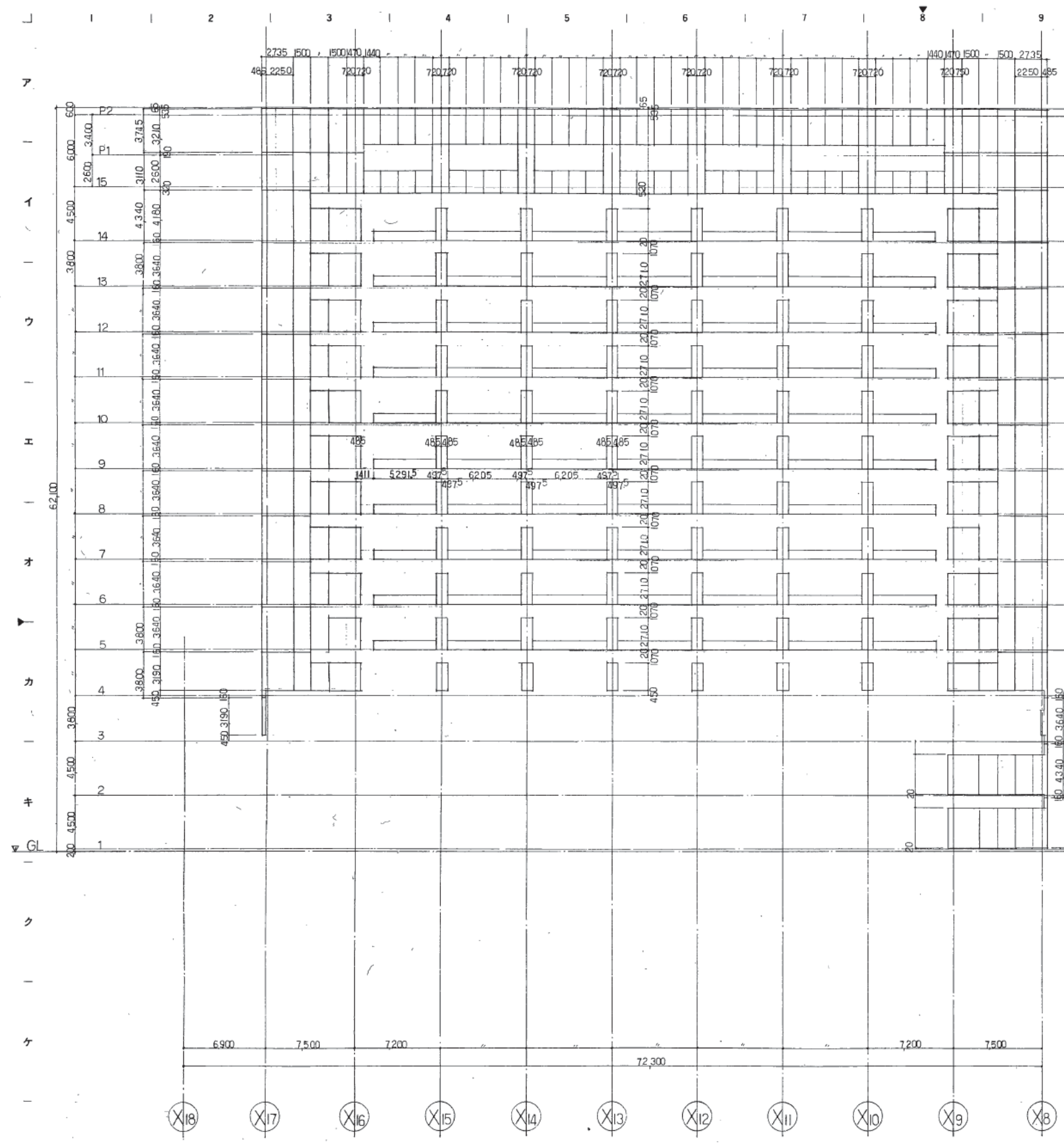
PC 平面立面割付図

枚ノ内

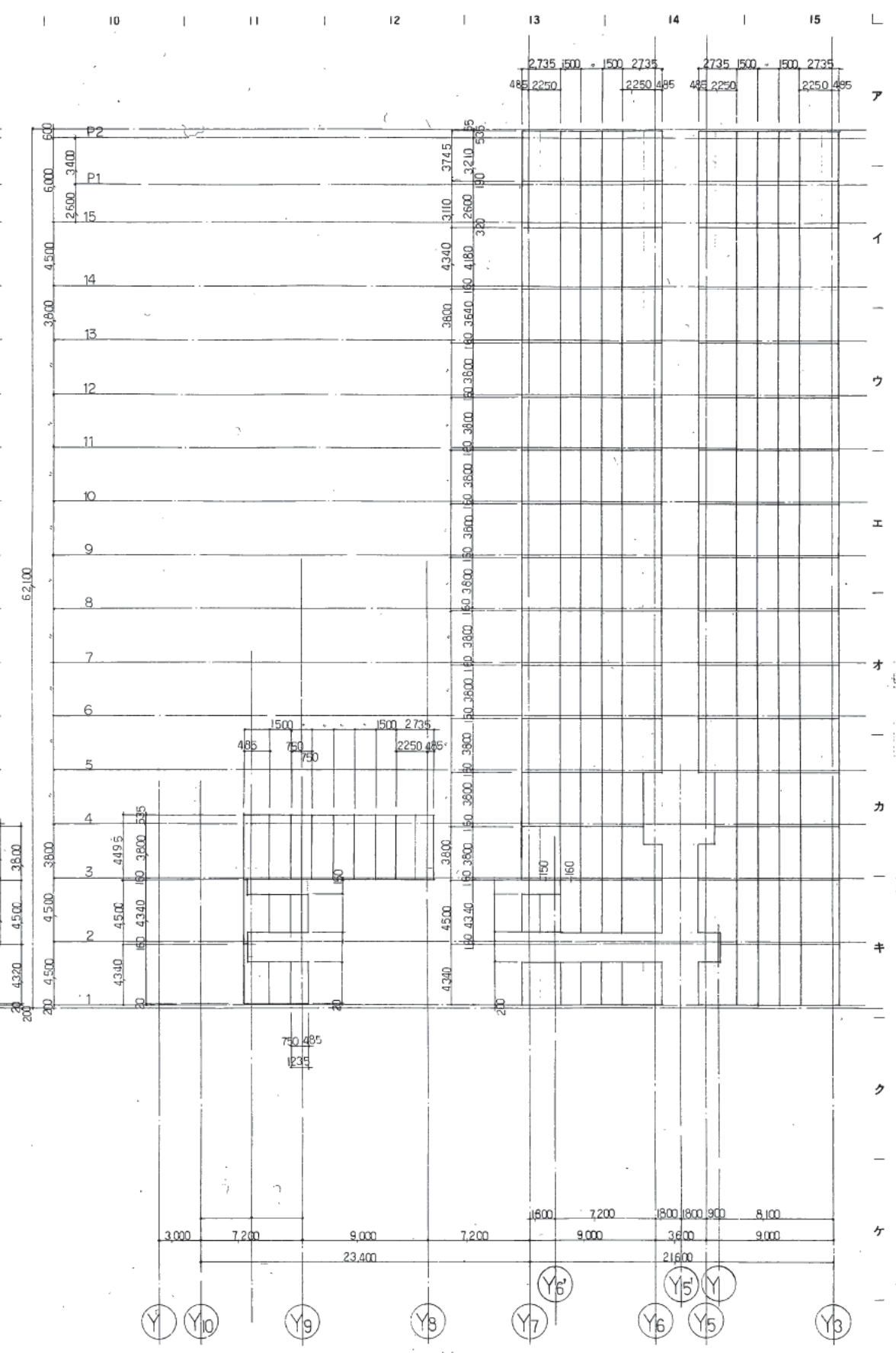
区分

2110

建築構造図



Y7 通り立面割付図 S:1/200



Y8 通り立面割付図 S:1/200

株式会社 山下設計
YAMASHITA ARCHITECTS & ENGINEERS INC.

竣工図
21.10.30

訂正
特記

熊本市庁舎

図面内容
PCパネル立面割付図
縮尺

図面番号
2111
枚ノ内
区分
建築構造図

